

系統看護学講座 全69巻

看護師国家試験出題基準(平成30年版)

クイックリファレンス

「系統看護学講座」との対照

QUICK
REFERENCE



2015/2016/2017/2018/2019

医学書院

はじめに

『クイックリファレンス』は、「看護師国家試験出題基準(平成 30 年版)」に対して、「系統看護学講座(全 69 巻・2017 年版)」における該当箇所を一覧にしたものです。看護師国家試験出題基準の小項目までが、「系統看護学講座」ではどの巻の、どのページに記載されているのかを示しています。平成 30 年版の出題基準の示すすべての範囲が「系統看護学講座」によって網羅されていることがお分かりいただけると思います。日常の授業や看護師国家試験対策にご活用いただければ幸いです。

「系統看護学講座(全 69 巻・2017 年版)」では、14 巻の改訂をし、新刊 1 巻を追加しました。また、すべての巻で、内容の刷新と強化をはかりました。看護のための基本的な知識体系の完成をめざす「系統看護学講座(全 69 巻・2017 年版)」のご活用をお願いいたします。

2017 年 7 月

「系統看護学講座」編集室

目 次

必修問題	1
人体の構造と機能	35
疾病の成り立ちと回復の促進	53
健康支援と社会保障制度	73
基礎看護学	93
成人看護学	107
老年看護学	133
小児看護学	147
母性看護学	157
精神看護学	169
在宅看護論	183
看護の統合と実践	197

必修問題

必修問題

目標Ⅰ．看護の社会的側面および倫理的側面について基本的な知識を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
1 健康の定義と理解	A 健康の定義	a 世界保健機関〈WHO〉の定義	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 B「健康のとらえ方」(p.94~96) 公衆衛生 : 第1章 A-2「ヘルス(衛生・健康)とはなにか」(p.15~16)
		b ウェルネスの概念	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 B「健康のとらえ方」(p.94~96)
	B 健康に関する指標	a 総人口	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-1-1「国民経済の現状」(p.40~43) 公衆衛生 : 第6章 B-3「健康指標の基礎資料——人口を把握する」(p.135~138) 社会保障・社会福祉 : 第2章 A-1-1「総人口の変化」(p.30) 統計学 : 第6章 B-1-1「全国総人口」(p.171)
		b 年齢別人口	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 D-2「平均寿命と出生」(p.108~110)、E-1「少子高齢化」(p.126~128) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-1-1「国民経済の現状」(p.40~43) 社会保障・社会福祉 : 第2章 A-1-2「人口動態および人口構成の変化」(p.30~35) 統計学 : 第6章 B-1-2「性別・年齢別人口(人口ピラミッド)」(p.171~172)
		c 労働人口	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 D-2「平均寿命と出生」(p.108~110)、E-1「少子高齢化」(p.126~128) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-1-1「国民経済の現状」(p.40~43) 社会保障・社会福祉 : 第2章 A-1-2「人口動態および人口構成の変化」(p.30~35)、A-5「雇用状況の変化」(p.42~44) 統計学 : 第6章 B-2「労働に関する指標」(p.173~175)
		d 将来推計人口	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 E-1「少子高齢化」(p.126~128) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-1-1「国民経済の現状」(p.40~43) 公衆衛生 : 第7章 C-2「超高齢社会・人口減少・少産多死に向かう日本」(p.193~194) 社会保障・社会福祉 : 第2章 A-1-2「人口動態および人口構成の変化」(p.30~35)
		e 世帯数	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 D-7「家族」(p.116~118) 社会保障・社会福祉 : 第2章 A-3-1「世帯の変化」(p.37) 統計学 : 第6章 B-3「世帯に関する統計」(p.175~176)
		f 婚姻、家族形態	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 D-5「結婚と出産」(p.113~114)、D-7「家族」(p.116~118) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 B-1「家族」(p.86~88)、第3章 B-1-2「多様化する女性のライフスタイル」(p.126~128) 社会保障・社会福祉 : 第2章 A-3-2「家族の機能と役割の変化」(p.37~39) 統計学 : 第6章 B-1-4「配偶関係別人口」(p.173)、B-3-2「世帯構造別人口」(p.175~176)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		g 出生と死亡の動向	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 3 章 D-2 「平均寿命と出生」 (p.108~110)、D-9 「老いと死」 (p.120~126) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 2 章 A-2-1 「生と死の動向」 (p.49~51) 小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 1 章 B-2 「出生と家族」 (p.10~12)、B-3 「子どもの死亡」 (p.12~15) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 2 章 A-2-1 「出生に関する動向」 (p.59~65)、A-2-2 「死亡に関する動向」 (p.65~73) 公衆衛生 : 第 6 章 B-2-2 「死亡率」 (p.132~133) 社会保障・社会福祉 : 第 2 章 A-1-2 「人口動態および人口構成の変化」 (p.30~35) 統計学 : 第 6 章 C-1 「出生に関するおもな指標」 (p.176~179)、C-2 「死亡に関するおもな指標」 (p.179~187)
		h 死因の概要	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 3 章 D-9 「老いと死」 (p.120~126) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 2 章 A-2-1 「生と死の動向」 (p.49~51) 小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 1 章 B-3 「子どもの死亡」 (p.12~15) 公衆衛生 : 第 6 章 B-2-3 「死因」 (p.133~135) 統計学 : 第 6 章 C-2 「死亡に関するおもな指標」 (p.179~187)
		i 平均余命、平均寿命	医学概論 : 付章 A-5 「死因統計」 (p.170~172) 基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 3 章 D-2 「平均寿命と出生」 (p.108~110) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 2 章 A-2-1 「生と死の動向」 (p.49~51) 公衆衛生 : 第 6 章 B-2-1 「平均寿命、平均余命、健康寿命」 (p.131~132) 社会保障・社会福祉 : 第 7 章 A-1-1 「長寿化の進展」 (p.162) 統計学 : 第 6 章 E 「生命表」 (p.191~194)
	C 受療状況	a 有訴者の状況	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 3 章 C-1 「国民全体の健康状態」 (p.102~104) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 2 章 A-2-2 「受療状況」 (p.51) 統計学 : 第 6 章 D-1 「国民生活基礎調査」 (p.188~189) 医学概論 : 付章 A-2 「有訴者率・通院者率」 (p.167) 公衆衛生 : 第 6 章 B-1 「疾患の発生状況を把握する」 (p.129~131)
		b 有病率、罹患率	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 3 章 C-2 「患者の状況」 (p.104~106) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 2 章 A-2-2 「受療状況」 (p.51) 総合医療論 : 第 3 章 A 「もしも私たちが病気やけがをしたら」 (p.56~70) 統計学 : 第 6 章 D-2 「患者調査」 (p.189~190) 医学概論 : 付章 A-2 「有訴者率・通院者率」 (p.167)
		c 受療行動、受療率	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 3 章 C-2 「患者の状況」 (p.104~106) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 2 章 A-2-2 「受療状況」 (p.51) 総合医療論 : 第 3 章 A 「もしも私たちが病気やけがをしたら」 (p.56~70) 統計学 : 第 6 章 D-2 「患者調査」 (p.189~190) 医学概論 : 付章 A-2 「有訴者率・通院者率」 (p.167)
		d 入院期間	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 3 章 C-2 「患者の状況」 (p.104~106) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 13 章 B-1 「医療提供体制・諸制度の変化」 (p.360~362) 総合医療論 : 第 3 章 A-2-4 「入院から退院まで」 (p.63~65) 精神保健福祉 : 第 5 章 A-1-1 「入院患者の概況」 (p.122~125)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		e 外来受診の状況	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 C-2 「患者の状況」 (p.104~106) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-2-2 「受療状況」 (p.51) 臨床外科看護総論 : 第7章 A-1 「現在の外来診療がおかれている状況」 (p.228) 医学概論 : 付章 A-2 「有訴者率・通院者率」 (p.167) 精神保健福祉 : 第1章 B-2 「精神保健福祉の課題」 (p.6~9)
2 健康に影響する要因	A 生活行動・習慣	a 食事と栄養	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 B-4 「生活と健康」 (p.99~101) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第2章 A 「食事援助の基礎知識」 (p.27~35) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-1-2 「日常生活の状況」 (p.43~48) 栄養学 : 第8章 「ライフステージと栄養」 (p.148~183)、第10章 「健康づくりと食生活」 (p.244~258) 栄養食事療法 : 第1章 「栄養食事療法とは」 (p.2~11)
		b 排泄	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第3章 「排泄援助技術」 (p.57~92)
		c 活動と運動、レクリエーション	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第4章 A 「基本的活動の援助」 (p.94~126) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-1-2 「日常生活の状況」 (p.43~48)
		d 休息と睡眠	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 B-4 「生活と健康」 (p.99~101) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第4章 B 「睡眠・休息の援助」 (p.127~136) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-1-2 「日常生活の状況」 (p.43~48) 解剖生理学 : 第8章 D-1-2 「睡眠」 (p.409~412)
		e 清潔と衣生活	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第6章 「清潔・衣生活援助技術」 (p.151~211)
		f 喫煙、嗜好品	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 B-4 「生活と健康」 (p.99~101) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-1-2 「日常生活の状況」 (p.43~48)、第5章 C-3 「喫煙と健康問題」 (p.172~173)
		g ストレス	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 E-4-2 「ストレス」 (p.133) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-1-2 「日常生活の状況」 (p.48)、第5章 B 「健康バランスに影響を及ぼす要因」 (p.164~169) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第2章 C 「ストレスと健康の危機」 (p.39~45) 総合医療論 : 第3章 F-1-1 「ストレス」 (p.90)
		h メンタルヘルス	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 E-4-5 「労働と失業」 (p.134~135) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-2-5 「心の病」 (p.56) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第1章 A-2 「日本における自殺問題とメンタルヘルス」 (p.3~4)、A-4 「世界的な課題としてのメンタルヘルス」 (p.6~7)、第2章 A 「精神の健康とは」 (p.26~33) 総合医療論 : 第1章 B-2 「現代人の不健康感と社会生活のストレス」 (p.25~26)
		i ライフスタイル	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第2章 C-1 「生活者としての人間 : 『生活』の4つの側面」 (p.86~88)、第3章 B-4 「生活と健康」 (p.99~101)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		j 性行動	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 1 章 B-1 「生活を営むこと」 (p.28~30)、B-2 「仕事を持ち、働くこと」 (p.30~34)、第 5 章 B-1 「ライフスタイルと健康問題」 (p.164~165) 総合医療論 : 第 1 章 B-3 「ライフサイクルのなかの病」 (p.26) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 1 章 A-2-1 「青年期 : 大人になること」 (p.9~17)、A-2-2 「壮年期・中年期 : 大人であること」 (p.17~26)、第 5 章 C-7-3 「性感染症」 (p.179~180) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 6 章 B-2-2 「性行動の実態」 (p.266)
	B 生活環境	a 水質、大気、土壌	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 2 章 A-1-3 「日常生活を取り巻く環境」 (p.48~49)、第 5 章 C-6-3 「大気・空気・紫外線の問題」 (p.176~178) 公衆衛生 : 第 4 章 A-4 「水質汚濁」 (p.89~92)、A-5 「大気汚染」 (p.92~94)、A-6 「土壌汚染」 (p.94~95) 医学概論 : 第 8 章 B-6 「環境」 (p.130~131)
		b 食品衛生	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 2 章 A-1-3 「日常生活を取り巻く環境」 (p.48)、第 5 章 C-6-1 「食品の安全性確保」 (p.177) 栄養学 : 第 10 章 D 「食の安全性と表示」 (p.254~258) 公衆衛生 : 第 4 章 B-2 「食品管理」 (p.99~102)
		c 住環境	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 5 章 C-6-2 「居住環境」 (p.177) 公衆衛生 : 第 4 章 B 「身のまわりの環境と健康」 (p.97~107)
	C 社会環境	a 職業と疾病	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 3 章 E-4-5 「労働と失業」 (p.134) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 1 章 B-2 「仕事を持ち、働くこと」 (p.30~34)、第 2 章 A-2-4 「自殺・職業性疾患・作業関連疾患」 (p.54~56)、第 4 章 B-2 「職場におけるヘルスプロモーションを促進する看護」 (p.157~160) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 13 章 F-1 「労働者の心の健康(メンタルヘルス)の現状」 (p.329~330) 病理学 : 第 1 章 C-3 「公害病・医原病・職業がん」 (p.10~11) 公衆衛生 : 第 1 章 B-3 「富の増大と職業病——産業保健のはじまり」 (p.20~22)、第 9 章 A-1 「労働者の健康問題や労働災害」 (p.304~309) 社会保障・社会福祉 : 第 5 章 D-2-1 「労災保険のしくみ」 (p.137~138)、第 8 章 F-1-3 「疾病の社会化」 (p.242~243)
		b 労働環境、雇用形態	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 3 章 D-6 「仕事と生計」 (p.114~116) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 1 章 B-2 「仕事を持ち、働くこと」 (p.30~34)、第 5 章 C-1 「就業・労働形態の変化がもたらす健康問題」 (p.169~171) 公衆衛生 : 第 9 章 「職場における健康とは」 (p.302~304) 社会保障・社会福祉 : 第 2 章 A-5-3 「近年の雇用問題」 (p.43~44)
		c ワーク・ライフ・バランス	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 3 章 D-6 「仕事と生計」 (p.114~116) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 1 章 B-2-3 「ワークライフバランス」 (p.33~34) 公衆衛生 : 第 9 章 C-3 「男女共同参画とワークライフバランス」 (p.320~321)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d 母性保護	社会保障・社会福祉：第2章 A-5-4「仕事と余暇——ワーク・ライフ・バランス」(p.44) 教育学：第4部 第1章-D-3「仕事以外の生活にも光をあてる」(p.203) 母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第2章 B-4「社会文化的環境」(p.91～94) 公衆衛生：第7章 A-3「母体保護のための母子保健活動(妊娠期の支援)」(p.158～160)、A-6-3「父親の役割と親性をはぐくむ取り組み」(p.168～169) 社会保障・社会福祉：第7章 C-2-2「母子保健法と母子保健施策」(p.199～202)、C-3「少子化対策と子育て支援」(p.205～208)
3 看護で活用する社会保障	A 医療保険制度の基本	a 医療保険の種類	看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第4章 D-1「医療保険制度」(p.173) 社会保障・社会福祉：第3章 B-2-1「医療保障制度の種類」(p.57～58) 看護関係法令：第7章 A「費用保障」(p.191～199)
		b 国民皆保険	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章 C-3-1「医療保険制度」(p.243～245) 看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第4章 D-1「医療保険制度」(p.173) 社会保障・社会福祉：第3章 B-2「わが国の医療保障制度の特徴」(p.57～60) 看護関係法令：第7章 A「費用保障」(p.191～199)
		c 国民医療費	公衆衛生：第7章 B-4-1「生活習慣病と健康日本21(第二次)」(p.181～183) 社会保障・社会福祉：第3章 G「国民医療費」(p.81～84)
		d 高齢者医療制度	社会保障・社会福祉：第3章 D「高齢者医療制度」(p.71～76) 看護関係法令：第7章 A-3「高齢者の医療の確保に関する法律」(p.197～199)
		e 給付の内容	社会保障・社会福祉：第3章 C-2「給付と患者負担」(p.65～69) 看護関係法令：第7章 A「費用保障」(p.191～199)
	B 介護保険制度の基本	a 保険者	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 B-1-4「福祉にかかわる対策——地域でのノーマライゼーションの広がり」(p.77～81) 老年看護学：第2章 B-2-2「介護保険制度の整備」(p.39～48) 在宅看護論：第4章 C「介護保険制度」(p.84～90) 社会保障・社会福祉：第4章 B-2「保険者」(p.91～92) 看護関係法令：第7章 A-4-1「保険者など」(p.199)
		b 被保険者	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 B-1-4「福祉にかかわる対策——地域でのノーマライゼーションの広がり」(p.77～81) 老年看護学：第2章 B-2-2「介護保険制度の整備」(p.39～48) 在宅看護論：第4章 C「介護保険制度」(p.84～90) 社会保障・社会福祉：第4章 B-3「被保険者」(p.92～93) 看護関係法令：第7章 A-4-2「被保険者・保険料」(p.200)
		c 給付の内容	老年看護学：第2章 B-2-2「介護保険制度の整備」(p.39～48) 在宅看護論：第4章 C「介護保険制度」(p.84～90) 社会保障・社会福祉：第4章 B-5「保険給付」(p.94～105) 看護関係法令：第7章 A-4-3「保険給付」(p.200～203)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d 要介護・要支援の認定	精神保健福祉：第6章 B-3「介護サービス利用時の連携と看護」(p.183～186) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 B-1-4「福祉にかかわる対策——地域でのノーマライゼーションの広がり」(p.77～81) 老年看護学：第2章 B-2-2「介護保険制度の整備」(p.39～48) 在宅看護論：第4章 C「介護保険制度」(p.84～90) 社会保障・社会福祉：第4章 B-4「要介護・要支援の認定」(p.93～94) 看護関係法令：第7章 A-4-4「要介護認定および要支援認定」(p.203～204)
		e 地域支援事業	精神保健福祉：第6章 B-3「介護サービス利用時の連携と看護」(p.183～186) 老年看護学：第7章 A-1「介護予防と看護」(p.336～340) 在宅看護論：第4章 C「介護保険制度」(p.84～90) 公衆衛生：第7章 C-6-2「地域包括ケアシステムを支えるもの」(p.198～200) 社会保障・社会福祉：第4章 B-5-10「地域支援事業」(p.103～105) 看護関係法令：第7章 A-4-6「地域支援事業」(p.205)
4 看護における倫理	A 基本的人権の擁護	a 個人の尊厳	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第1章 B-2-3「看護の質保障に欠かせない要件」(p.37～41)、第5章 B-1「患者の権利とインフォームドコンセント」(p.186～187)、C-1「看護の本質としての看護倫理」(p.199～200) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章 F「看護実践における倫理的判断」(p.120～128) 母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第1章 G「母性看護における倫理」(p.45～50) 在宅看護論：第5章 D-1「個人の尊厳」(p.159) 公衆衛生：第1章 C-3「日本国憲法のなかの公衆衛生」(p.30～31)、C-4「日本国憲法と世界人権宣言における健康と人権」(p.31～32)、第2章 B-1「看護職は「みんな」の権利をまもる守護神の1人」(p.47～48) 救急看護学：第1章 D-2「倫理面への配慮」(p.43～46) クリティカルケア看護学：第6章 A-4「人格の尊重」(p.209～210) 看護倫理：第2章 B「生命倫理の原則・規則」(p.25～29)、C「インフォームドコンセント」(p.29～35)
		b 患者の権利	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第5章 B-1「患者の権利とインフォームドコンセント」(p.186～187) 基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ)：第3章 B-3「倫理的配慮と価値判断」(p.220～222) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章 F「看護実践における倫理的判断」(p.120～128) 在宅看護論：第5章 D「在宅看護における権利保障」(p.158～169) 看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第2章 B-1「患者の権利」(p.21～22) 公衆衛生：第2章 B「看護職の公的責任と活動対象」(p.47～50) 救急看護学：第1章 D-2「倫理面への配慮」(p.43～46) クリティカルケア看護学：第6章 A-1「患者の権利と擁護」(p.206) 看護倫理：第2章 B「生命倫理の原則・規則」(p.25～29)、C「インフォームドコンセント」(p.29～35) 看護情報学：第7章 A「患者の権利と自己決定への支援」(p.144～149)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 自己決定権と患者の意思	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 5 章 B-1 「患者の権利とインフォームドコンセント」 (p.186~187)、C-2 「医療をめぐる倫理原則とケアの倫理」 (p.200~204) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 3 章 G 「意志決定支援」 (p.128~135) 在宅看護論 : 第 5 章 D-2 「自己決定権」 (p.159) 総合医療論 : 第 5 章 D 「生命倫理学と臨床倫理学の展開」 (p.122~127) 救急看護学 : 第 1 章 D-2 「倫理面への配慮」 (p.43~46) クリティカルケア看護学 : 第 6 章 A-5 「リビングウィルと DNAR・尊厳死」 (p.210~211) 緩和ケア : 第 3 章 B-4 「自己決定の自由の実現」 (p.47~52) 看護倫理 : 第 2 章 B 「生命倫理の原則・規則」 (p.25~29)、C 「インフォームドコンセント」 (p.29~35) 看護情報学 : 第 7 章 A 「患者の権利と自己決定への支援」 (p.144~149)
		d インフォームド・コンセント	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 5 章 B-1 「患者の権利とインフォームドコンセント」 (p.186~187) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 2 章 B-1-3 「医療にかかわる対策——健康への多様なニーズへの対応」 (p.72~77) 成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第 4 章 C 「造血器腫瘍」 (p.72~73) 在宅看護論 : 第 5 章 D-2 「自己決定権」 (p.159) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 3 章 B-2 「インフォームドコンセント」 (p.22~25) 総合医療論 : 第 5 章 G 「インフォームドコンセントと医療情報の開示」 (p.132~138) 臨床外科看護総論 : 第 6 章 C 「インフォームドコンセント」 (p.205~207) 救急看護学 : 第 1 章 D-2-1 「インフォームドコンセント」 (p.43~44) クリティカルケア看護学 : 第 6 章 A-3 「インフォームドコンセント」 (p.208~209) 緩和ケア : 第 4 章 A-1-4 「インフォームドコンセントと合意形成」 (p.55) 看護倫理 : 第 2 章 C 「インフォームドコンセント」 (p.29~35) 看護情報学 : 第 7 章 A-2 「インフォームドコンセント」 (p.145~146)
		e ノーマライゼーション	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 2 章 B-1-4 「福祉にかかわる対策——地域でのノーマライゼーションの広がり」 (p.77~81)、第 8 章 B-2-3 「維持期のリハビリテーションと看護」 (p.233~234) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 C-2-5 「統合失調症の治療」 (p.176~178)、第 7 章 B-10 「病院精神医学から地域・社会精神医学へ——社会療法の流れ」 (p.292~293) 総合医療論 : 第 3 章 E 「障害者のノーマライゼーションと社会的包摂」 (p.85~89) 社会保障・社会福祉 : 第 7 章 B-2-1 「ノーマライゼーション」 (p.174~175) 人間関係論 : 第 11 章 A 「ノーマライゼーションの基本概念」 (p.234~237) リハビリテーション看護 : 第 1 章 A 「リハビリテーションの定義と理念」 (p.5) 精神保健福祉 : 第 1 章 A 「人は人に支えられながら生きている」 (p.3)
		f 情報管理(個人情報の保護)	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 5 章 B-2-1 「守秘義務の遵守と個人情報保護」 (p.188)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I) : 第 3 章 D-2 「記載・管理における留意点」 (p.258～260) 在宅看護論 : 第 5 章 D-3 「個人情報の保護」 (p.159～162) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 3 章 G 「情報のマネジメント」 (p.128～136) 総合医療論 : 第 5 章 H 「医療情報の開示と診療録」 (p.138～139) 救急看護学 : 第 1 章 D-2-4 「プライバシー保護」 (p.46) 看護倫理 : 第 2 章 D 「守秘義務・個人情報保護」 (p.35～37) 看護情報学 : 第 8 章 「個人情報の保護」 (p.160～174)
	B 倫理原則	a 自律尊重	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 5 章 C-2-1 「倫理原則」 (p.200～202) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 3 章 F 「看護実践における倫理的判断」 (p.120～128) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 1 章 G 「母性看護における倫理」 (p.45～50) 人間関係論 : 第 3 章 A-3-3 「生命倫理の 4 原則」 (p.37～38) 看護倫理 : 第 2 章 B 「生命倫理の原則・規則」 (p.25～29)、第 6 章 「看護倫理とはなにか」 (p.84～105) 看護情報学 : 第 6 章 B-1-1 「自律尊重原則」 (p.138)
		b 善行	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 5 章 C-2-1 「倫理原則」 (p.200～202) 人間関係論 : 第 3 章 A-3-3 「生命倫理の 4 原則」 (p.37～38) 看護倫理 : 第 2 章 B 「生命倫理の原則・規則」 (p.25～29)、第 6 章 「看護倫理とはなにか」 (p.84～105) 看護情報学 : 第 6 章 B-1-2 「善行原則」 (p.138)
		c 公正、正義	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 5 章 C-2-1 「倫理原則」 (p.200～202) 人間関係論 : 第 3 章 A-3-3 「生命倫理の 4 原則」 (p.37～38) 看護倫理 : 第 2 章 B 「生命倫理の原則・規則」 (p.25～29)、第 6 章 「看護倫理とはなにか」 (p.84～105) 看護情報学 : 第 6 章 B-1-3 「正義原則」 (p.138)
		d 誠実、忠誠	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 5 章 C-2-1 「倫理原則」 (p.200～202) 看護倫理 : 第 2 章 B 「生命倫理の原則・規則」 (p.25～29)、第 6 章 「看護倫理とはなにか」 (p.84～105)
		e 無危害	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 5 章 C-2-1 「倫理原則」 (p.200～202) 人間関係論 : 第 3 章 A-3-3 「生命倫理の 4 原則」 (p.37～38) 看護倫理 : 第 2 章 B 「生命倫理の原則・規則」 (p.25～29)、第 6 章 「看護倫理とはなにか」 (p.84～105) 看護情報学 : 第 6 章 B-1-3 「無危害原則」 (p.138)
	C 看護師等の役割	a 説明責任	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 1 章 B-2-3 「看護の質保証に欠かせない要件」、第 5 章 B-1-3 「看護とインフォームドコンセント」 (p.187) 救急看護学 : 第 1 章 D-2-1 「インフォームドコンセント」 (p.43～44) 看護倫理 : 第 6 章 D 「看護実践上の倫理的概念」 (p.94～102)
		b 倫理的配慮	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 5 章 B-3 「医療専門職の倫理規定」 (p.192～199)、C-1 「看護の本質としての看護倫理」 (p.199～200)、C-2 「医療をめぐる倫理原則とケアの倫理」 (p.200～204)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 権利擁護〈アドボカシー〉	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 3 章 F「看護実践における倫理的判断」(p.120~128) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 4 章 B-5「看護職の職業倫理」(p.162~165) 公衆衛生 : 第 2 章 B-2「万国共通の看護職の公的責任」(p.48~49) 救急看護学 : 第 1 章 D-2「倫理面への配慮」(p.43~46) 看護倫理 : 第 7 章「専門職の倫理」(p.110~125) 看護情報学 : 第 6 章 B-3「看護倫理」(p.140~142) 基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 5 章 C-1「看護の本質としての看護倫理」(p.199~200) 社会保障・社会福祉 : 第 8 章 E-3「アドボカシー」(p.238~239)
		d エンパワメント	救急看護学 : 第 1 章 D-2-2「アドボカシー」(p.44~45) 看護倫理 : 第 6 章 D「看護実践上の倫理的概念」(p.94~102) 基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 5 章 C-1「看護の本質としての看護倫理」(p.199~200) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 7 章 C-3「エンパワメント」(p.218~219) 公衆衛生 : 第 7 章 B-6「健康教育」(p.186~189) 社会保障・社会福祉 : 第 8 章 E-2「エンパワメント」(p.237~238)
5 看護に関わる基本的法律	A 保健師助産師看護師法	a 保健師助産師看護師の定義	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 1 章 A-3-1「保健師助産師看護師法における定義」(p.10~11) 看護関係法令 : 第 2 章 A-2「定義」(p.21~22)
		b 保健師助産師看護師の業務	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 4 章 B-1-3「業務」(p.151~152) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 4 章 B-1「看護職の定義」(p.153~154) 看護関係法令 : 第 2 章 A-5「業務」(p.27~30)
		c 保健師助産師看護師の義務(守秘義務、業務従事者届出の義務、臨床研修等を受ける努力義務)	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 4 章 B-1「保健師助産師看護師法」(p.149~152) 基礎看護学 [2] (基礎看護技術 1) : 第 3 章 D-2「記載・管理における留意点」(p.258~260) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 3 章 G-3「守秘義務」(p.133) 看護関係法令 : 第 2 章 A-5「業務」(p.27~30)、A-7「義務」(p.30~34)
		d 養成制度	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 4 章 B-3「看護職の養成制度」(p.152~157)
	B 看護師等の人材確保の促進に関する法律	a 基本方針	看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 4 章 B-3-2「看護師等の人材確保の促進に関する法律」(p.157~158) 看護関係法令 : 第 2 章 B「看護師等の人材確保の促進に関する法律」(p.47~50)
		b ナースセンター	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 4 章 B-3「看護職の養成制度」(p.152~157)、C-2「看護職の就業状況」(p.158~160) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 3 章 D-3「労働環境」(p.110~118) 看護関係法令 : 第 2 章 B「看護師等の人材確保の促進に関する法律」(p.50)

目標Ⅱ．看護の対象および看護活動の場と看護の機能について基本的な知識を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
6 人間の特性	A 人間と欲求	a 基本的欲求	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 1 章 A-3-1 「看護の理論家にみる看護の定義」 (p.13~25)、第 2 章 A-5-1 「人間のニード(欲求)に関する理論: マズローの欲求段階説」 (p.77) 基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 第 1 章 A-b 「健康上のニーズ」 (p.3~4)
		b 社会的欲求	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 1 章 A-3-1 「看護の理論家にみる看護の定義」 (p.13~25)、第 2 章 A-5-1 「人間のニード(欲求)に関する理論: マズローの欲求段階説」 (p.77) 基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 第 1 章 A-b 「健康上のニーズ」 (p.3~4)
	B 対象の特性	a QOL	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 3 章 E-5 「健康・生活と QOL」 (p.135) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 2 章 A-3-2 「クオリティオブライフ(QOL)」 (p.59~60) 総合医療論 : 第 1 章 B-5 「QOL(生活の質)について考える」 (p.23) 社会学 : 第 5 章 B-4 「健康とクオリティオブライフ(QOL)」 (p.79~80)
		b ニーズ	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 2 章 C 「人間の「暮らし」の理解」 (p.86~91)
		c 健康や疾病に対する意識	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 3 章 B 「健康のとらえ方」 (p.94~102) 総合医療論 : 第 1 章 B 「健康とは」 (p.19~23)、C 「病の体験」 (p.24~27) 社会学 : 第 5 章 A 「健康・病気の見方・とらえ方のうつりかわり」 (p.74~76)、B 「健康・病気の新しい見方ととらえ方」 (p.76~84)
		d 疾病・障害の受容	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 2 章 A-5-2 「危機理論」 (p.77~79) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 8 章 A-2 「障害がある人の障害の認識過程」 (p.225~227) 成人看護学 [7] (脳・神経) : 第 1 章 B-2 「心理・社会的な問題とその援助」 (p.15~18) 社会学 : 第 5 章 A 「健康・病気の見方・とらえ方のうつりかわり」 (p.74~76)、B 「健康・病気の新しい見方ととらえ方」 (p.76~84) リハビリテーション看護 : 第 2 章 B-2 「障害者の体験」 (p.47~57)、C-3-3 「障害受容に対する援助」 (p.73~75)
7 人間のライフサイクル各期の特徴と生活	A 胎児期	a 形態的発達と異常	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第 1 章 B 「おもな疾患」 (p.5~10) 母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 3 章 A-2 「胎児の発育とその生理」 (p.64~72)、第 5 章 B-1 「新生児の診断」 (p.270~283) 解剖生理学 : 第 10 章 C 「受精と胎児の発生」 (p.496~512) 病理学 : 第 8 章 「先天異常と遺伝子異常」 (p.116~134) 病態生理学 : 第 1 章 F 「先天異常と遺伝子異常」 (p.21~24)
	B 新生児・乳児期	a 発達の原則	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 2 章 「小児の成長・発達」 (p.30~50)
		b 身体の発育	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 2 章 B-1 「身体的発育」 (p.80~81) 小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 4 章 A-1 「形態的特徴」 (p.68)、B-1 「形態的特徴」 (p.85~86)
		c 運動能力の発達	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 4 章 B-4 「運動機能」 (p.88~89)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d 栄養	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 3 章 D-1 「乳児期の栄養」 (p.56~64) 栄養学 : 第 8 章 A 「乳児期における栄養」 (p.153~154) 栄養食事療法 : 第 15 章 「小児の栄養食事療法」 (p.218~229)
		e 親子関係	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 4 章 A-4-5 「愛着形成」 (p.84~85)、B-7-1 「愛着形成」 (p.92) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 3 章 C 「母性の発達・成熟・継承」 (p.134~144) 母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 6 章 C-2 「児との関係確立への看護」 (p.341~342) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 4 章 A-4 「家族のなかの役割関係」 (p.111~114)、A-5 「システムとしての家族」 (p.114~122)
	C 幼児期	a 身体の発育	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 5 章 A-1 「形態的特徴」 (p.100)
		b 運動能力の発達	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 5 章 A-4 「運動機能」 (p.101)
		c 言語の発達	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 5 章 A-6 「コミュニケーション機能」 (p.103~104)
		d 社会性の発達	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 2 章 B-2 「心理・社会的側面における発達」 (p.81~86) 小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 5 章 A-7 「情緒・社会的機能」 (p.104~108)
		e 基本的生活習慣の確立	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 5 章 A-8-1 「日常生活の自立と世話」 (p.108~113) 栄養学 : 第 8 章 B-1 「幼児期の特徴と栄養摂取の要点」 (p.153~154) 栄養食事療法 : 第 15 章 A 「小児の栄養管理の基本」 (p.219~221)
	D 学童期	a 運動能力の発達、体力の特徴	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 5 章 B-3 「感覚・運動機能」 (p.118~119) 栄養学 : 第 8 章 C 「学童期における栄養」 (p.154~159)
		b 社会性の発達	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 2 章 B-2 「心理・社会的側面における発達」 (p.81~86) 小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 5 章 B-5 「社会的機能」 (p.120~122)
		c 学習に基づく行動	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 5 章 B-8 「学童の養育および看護」 (p.124~129)
	E 思春期	a 第二次性徴	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 1 章 A-2-1 「青年期：大人になること」 (p.9~17) 小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 6 章 2 「身体生理の特徴」 (p.133~135) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 5 章 B-1-1 「身体的特徴」 (p.185~187) 解剖生理学 : 第 10 章 D-1-3 「思春期における性成熟」 (p.514~516)
		b アイデンティティの確立	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 2 章 B-2 「心理・社会的側面における発達」 (p.81~84) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 1 章 A-2-1 「青年期：大人になること」 (p.9~17) 小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 6 章 3-3 「自我発達」 (p.136~137) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 5 章 B-1-2 「心理・社会的特徴」 (p.188~192) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 3 章 B-2 「ライフサイクルとアイデンティティ」 (p.73~78)
		c 親からの自立	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 1 章 A-2-1 「青年期：大人になること」 (p.9~17)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d 異性への関心	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 6 章 3-4 「社会性の発達」 (p.137~138) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 5 章 B-1-2 「心理・社会的特徴」 (p.188~192) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 1 章 A-2-1 「青年期 : 大人になること」 (p.9~17) 小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 6 章 3-4 「社会性の発達」 (p.137~138)、3-5 「性的傾向」 (p.138~139) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 5 章 B-1-2 「心理・社会的特徴」 (p.188~192)
	F 成人期	a 社会的責任と役割	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 2 章 B-2-2 「成人期の発達」 (p.84~85) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 1 章 A-2-2 「壮年期・中年期 : 大人であること」 (p.17~26) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 5 章 C-1-2 「心理・社会的特徴」 (p.206~211)
		b 生殖機能の成熟と衰退	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 1 章 A-2-2 「壮年期・中年期 : 大人であること」 (p.17~26)、A-2-3 「向老期 : 熟年から人生の有終へ——老年期への移行」 (p.26~27) 成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第 2 章 B 「女性生殖器の機能」 (p.26~36) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 6 章 D-1-1 「身体的特徴」 (p.218~220)
		c 基礎代謝の変化	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 3 章 B-2-7 「大人になるということ」 (p.78) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 1 章 A-2-2 「壮年期・中年期 : 大人であること」 (p.17~26) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 6 章 D-1-1 「身体的特徴」 (p.218~220) 栄養学 : 第 4 章 D 「エネルギー消費」 (p.80~88)
	G 老年期	a 身体的機能の変化	老年看護学 : 第 1 章 B-2 「身体的側面の変化」 (p.8~11) 老年看護 病態・疾患論 : 第 1 章 「高齢者の生理的特徴」 (p.32~36) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 6 章 E-1-1 「身体的特徴」 (p.233~237)
		b 認知能力の変化	老年看護学 : 第 1 章 B-3 「心理的側面の変化」 (p.11~12) 老年看護 病態・疾患論 : 第 1 章 B 「認知・知覚機能の老化」 (p.20~26) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 6 章 E-1-1 「身体的特徴」 (p.233~237)
		c 心理社会的変化	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 2 章 B-2-3 「老年期の発達」 (p.85~86) 老年看護学 : 第 1 章 B-3 「心理的側面の変化」 (p.11~12) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 6 章 E-1-2 「心理・社会的特徴」 (p.237~239) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 2 章 B-2-8 「新たな老年期の課題」 (p.78)
8 看護の対象としての患者と家族	A 家族の機能	a 家族関係	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 2 章 C-2-1 「看護の対象としての家族」 (p.88~90) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 1 章 B-3 「家族からとらえる大人」 (p.34~35)、第 3 章 H 「家族支援」 (p.136~140) 小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 7 章 「家族の特徴とアセスメント」 (p.154~166)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 家族構成員	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 3 章 B-2 「家族の発達段階と家族看護」 (p.130~134) 在宅看護論 : 第 2 章 C-2 「家族のとらえ方と看護師のかかわり」 (p.41~45) 社会保障・社会福祉 : 第 2 章 A-3 「家族・個人の変化」 (p.37~39) 人間関係論 : 第 9 章 A 「家族関係論と看護ケアの視点」 (p.186~199) 家族論・家族関係論 : 第 5 章 「患者家族と在宅ケア」 (p.138~166) 救急看護学 : 第 2 章 「救急患者家族の特徴」 (p.57~61) リハビリテーション看護 : 第 2 章 B-3 「家族の体験」 (p.58~60)、C-3-6 「家族援助」 (p.81~83) 基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 3 章 D-7 「家族」 (p.116~118) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 1 章 B-3 「家族からとらえる大人」 (p.34~35)、第 3 章 H 「家族支援」 (p.136~140) 小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 7 章 「家族の特徴とアセスメント」 (p.154~166) 在宅看護論 : 第 2 章 C-2 「家族のとらえ方と看護師のかかわり」 (p.41~45) 社会保障・社会福祉 : 第 2 章 A-3 「家族・個人の変化」 (p.37~39)
		c 疾病が患者・家族に与える心理・社会的影響	家族論・家族関係論 : 第 1 章 B 「家族の類型」 (p.4) 基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 2 章 C-2-1 「看護の対象としての家族」 (p.88~90) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 3 章 H 「家族支援」 (p.136~140) 小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 7 章 「家族の特徴とアセスメント」 (p.154~166) 在宅看護論 : 第 2 章 C 「家族」 (p.39~50) 家族論・家族関係論 : 第 5 章 「患者家族と在宅ケア」 (p.138~166) 救急看護学 : 第 2 章 「救急患者家族の特徴」 (p.57~61) リハビリテーション看護 : 第 2 章 B-3 「家族の体験」 (p.58~60)、C-3-6 「家族援助」 (p.81~83)
	B 家族形態の変化	a 家族の多様性	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 2 章 C-2-1 「看護の対象としての家族」 (p.88~90) 小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 7 章 B-3-e 「さまざまな状況の家族」 (p.163~166) 社会保障・社会福祉 : 第 2 章 A-3 「家族・個人の変化」 (p.37~39) 人間関係論 : 第 9 章 A-1 「家族機能と現代家族の動向」 (p.187~190)
		b 構成員の変化	家族論・家族関係論 : 第 1 章 「家族とは」 (p.2~20) 基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 3 章 D-7 「家族」 (p.116~118) 公衆衛生 : 第 7 章 B 「成人保健」 (p.172~175)、B-7 「家族のライフステージに応じた健康課題と健康づくり」 (p.189~191) 社会保障・社会福祉 : 第 2 章 A-3 「家族・個人の変化」 (p.37~39) 人間関係論 : 第 9 章 A-1 「家族機能と現代家族の動向」 (p.187~190) 家族論・家族関係論 : 第 1 章 「家族とは」 (p.2~20)
9 主な看護活動の場と看護の機能	A 看護活動の場と機能	a 病院	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 6 章 B-2-1 「医療施設における看護」 (p.217~222) 総合医療論 : 第 3 章 A-2 「診療所と病院」 (p.60~65) 看護関係法令 : 第 3 章 A-1 「医療法」 (p.52~74)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 診療所	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 6 章 B-2-1 「医療施設における看護」 (p.217~222) 総合医療論 : 第 3 章 A-2 「診療所と病院」 (p.60~65) 看護関係法令 : 第 3 章 A-1 「医療法」 (p.52~74)
		c 助産所	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 6 章 B-2-1 「医療施設における看護」 (p.217~222) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 2 章 A-5-1 「母性看護の場」 (p.83~85) 看護関係法令 : 第 3 章 A-1 「医療法」 (p.52~74)
		d 訪問看護ステーション	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 6 章 B-2-2 「地域における看護」 (p.222~229) 在宅看護論 : 第 4 章 A 「訪問看護制度の創設と発展経緯」 (p.76~78)
		e 介護保険施設	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 6 章 B-2-1 「医療施設における看護」 (p.217~222) 老年看護学 : 第 2 章 B-2-2 「介護保険制度の整備」 (p.39~48) 社会保障・社会福祉 : 第 4 章 B-5-8 「指定居宅サービス事業者と介護保険施設」 (p.100~102) 看護関係法令 : 第 7 章 A-4 「介護保険法」 (p.199~206)
		f 地域包括支援センター	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 6 章 B-2-2 「地域における看護」 (p.222~229) 老年看護学 : 第 2 章 B-2-2 「介護保険制度の整備」 (p.39~48) 看護関係法令 : 第 7 章 A-4-6 「地域支援事業」 (p.205)
		g 市町村	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 6 章 B-2-2 「地域における看護」 (p.222~229) 公衆衛生 : 第 3 章 B-3-2 「市町村保健センター」 (p.73~74) 看護関係法令 : 第 4 章 A-1-4 「市町村保健センター」 (p.122)
		h 保健所	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 6 章 B-2-2 「地域における看護」 (p.222~229) 公衆衛生 : 第 3 章 B-3-1 「保健所」 (p.72~73) 看護関係法令 : 第 4 章 A-1-3 「保健所」 (p.121~122)
		i 学校	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 2 章 C-2-2 「看護の対象としての集団・地域」 (p.90~91)、第 6 章 B-2-2 「地域における看護」 (p.222~229) 公衆衛生 : 第 8 章 A-1-2 「学校保健の対象」 (p.280)
		j 企業	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 2 章 C-2-2 「看護の対象としての集団・地域」 (p.90~91)、第 6 章 B-2-2 「地域における看護」 (p.222~229) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 4 章 B-2 「職場におけるヘルスプロモーションを促進する看護」 (p.157~160) 公衆衛生 : 第 9 章 B-1 「産業保健師・看護師の役割」 (p.316~317)
	B 看護の機能と役割	a 訪問看護	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 6 章 B-2-2 「地域における看護」 (p.222~229) 在宅看護論 : 第 3 章 A-2 「訪問看護」 (p.53~54)
		b チーム医療	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 1 章 C-4 「多職種チームとしての情報共有と継続的かわり」 (p.56~59)、第 6 章 B-1 「看護サービスの担い手とチーム医療」 (p.215~217) 総合医療論 : 第 7 章 B-4 「チーム医療・チームケア」 (p.173~175) 人間関係論 : 第 6 章 A 「保健医療チームの特質」 (p.124~128)
		c 退院調整	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 6 章 B-2-3 「継続看護」 (p.229~232)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d 入院のオリエンテーション(入院相談) e 地域医療連携 f 家族との調整	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 13 章 C 「退院支援の具体的方法」 (p.366~389) 在宅看護論 : 第 3 章 B-2 「退院支援・退院調整」 (p.57~64) 基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 第 1 章 C-3-3 「病院・施設における看護の役割と機能」 (p.49~51) 基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 6 章 B-2-3 「継続看護」 (p.229~232) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 13 章 B-1 「医療提供体制・諸制度の変化」 (p.360~362) 在宅看護論 : 第 1 章 B-2 「対象者のケアニーズに応じた在宅看護の提供」 (p.20~23) 基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 1 章 B-2-3 「看護の質保証に欠かせない要件」 (p.37~41)、第 2 章 C-2 「看護の対象としての家族」 (p.88~90) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 3 章 H 「家族支援」 (p.136~140) 在宅看護論 : 第 2 章 C-4 「家族への支援」 (p.47~48)、第 3 章 B-1 「患者・家族の意思決定支援と調整」 (p.56~57)

目標Ⅲ. 看護に必要な人体の構造と機能および健康障害と回復について基本的な知識を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
10 人体の構造と機能	A 人体の基本的な構造と正常な機能	a 内部環境の恒常性 b 神経系 c 運動系 d 感覚器系 e 循環器系 f 血液、体液	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 2 章 A-2 「看護の使命と結びつくホメオスタシス」 (p.67~68) 解剖生理学 : 第 1 章 C-3-2 「内部環境とホメオスタシス」 (p.50~52)、第 6 章 「内臓機能の調節」 (p.249~295) 成人看護学 [7] (脳・神経) : 第 2 章 「脳・神経系の構造と機能」 (p.20~52) 解剖生理学 : 第 1 章 B-5-4 「神経組織」 (p.34~36)、第 6 章 A 「自律神経による調節」 (p.252~260)、第 8 章 「情報の受容と処理」 (p.373~450) 病態生理学 : 第 12 章 A 「脳・神経、筋肉の機能」 (p.236~239) 成人看護学 [10] (運動器) : 第 2 章 「運動器の構造と機能」 (p.26~47) 解剖生理学 : 第 7 章 「からだの支持と運動」 (p.297~372) 病態生理学 : 第 12 章 I-1 「筋収縮のしくみ」 (p.261) 成人看護学 [13] (眼) : 第 2 章 「眼の構造と機能」 (p.14~25) 成人看護学 [14] (耳鼻咽喉) : 第 2 章 「耳鼻咽喉・頸部の構造と機能」 (p.22~43) 解剖生理学 : 第 8 章 「情報の受容と処理」 (p.373~450) 成人看護学 [3] (循環器) : 第 2 章 A 「心臓の構造と機能」 (p.16~23)、B 「血管の構造と機能」 (p.23~26)、C 「循環の調節」 (p.26~30) 解剖生理学 : 第 4 章 「血液の循環とその調節」 (p.157~218) 病理学 : 第 10 章 B 「心臓の疾患」 (p.174) 病態生理学 : 第 6 章 A-1 「心臓の構造と機能」 (p.90~93)、B-1 「血圧と血圧調節」 (p.108~111) 成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第 2 章 「血液の生理と造血のしくみ」 (p.18~30) 解剖生理学 : 第 1 章 C-3 「体液とホメオスタシス」 (p.48~52)、第 3 章 C 「血液」 (p.131~155) 生化学 : 第 6 章 「水と無機質」 (p.72~79)、第 7 章 A 「血液」 (p.82~93)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		g 免疫系	病態生理学：第4章 A-1「体液と電解質の調整」(p.56～59)、第5章「血液のはたらきと病態生理」(p.72～88) 成人看護学 [11] (アレルギー)：第2章 A「免疫反応と病気」(p.16～17) 成人看護学 [11] (感染症)：第2章 B「感染が成立する条件」(p.212～218) 解剖生理学：第9章 B「生体の防御機構」(p.458～470) 病理学：第4章 B「免疫と免疫不全」(p.54～69) 病態生理学：第1章 D「感染症」(p.14～18)、第3章 A「免疫のしくみ」(p.40～43) 微生物学：第7章「感染に対する生体防御機構」(p.98～132)
		h 呼吸器系	成人看護学 [2] (呼吸器)：第2章「呼吸器系の構造と機能」(p.20～39) 解剖生理学：第3章 A「呼吸器の構造」(p.99～110)、B「呼吸」(p.110～131) 病態生理学：第7章 A「呼吸器の構造と機能」(p.120～125)
		i 消化器系	成人看護学 [5] (消化器)：第2章「消化器の構造と機能」(p.20～43) 解剖生理学：第2章「栄養の消化と吸収」(p.53～96) 病態生理学：第8章 A「消化管の構造と機能」(p.142～145)
		j 栄養と代謝系	成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第2章 C「代謝の概要と機能」(p.44～47) 解剖生理学：第1章 B-2-2「エネルギーの変換とATP産生」(p.16～18)、第6章「内臓機能の調節」(p.250～295) 生化学：第9章「代謝のあらまし」(p.124～130) 病態生理学：第10章「内分泌・代謝のしくみと病態生理」(p.196～220)
		k 泌尿器系	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第2章「腎・泌尿器の構造と機能」(p.18～38) 解剖生理学：第5章「体液の調節と尿の生成」(p.219～248) 病態生理学：第9章 A「腎臓の構造と機能」(p.176～179)
		l 体温調節 m 内分泌系	解剖生理学：第9章 C「体温とその調節」(p.470～477) 成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第2章 A「内分泌器の構造と機能」(p.16～25)、B「内分泌器管とホルモンの機能」(p.25～44) 生化学：第8章「ホルモンと生理活性物質」(p.98～120)
		n 性と生殖系	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第2章 E「男性生殖器の構造と機能」(p.35～39) 成人看護学 [9] (女性生殖器)：第2章「女性生殖器の構造と機能」(p.20～36) 母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第3章 A「女性のライフサイクルに伴う形態・機能の変化」(p.97～124) 解剖生理学：第10章 A「男性生殖器」(p.481～486)、B「女性生殖器」(p.486～496) 病態生理学：第11章 A-1「女性の生殖機能」(p.222～224)、B-1「男性の生殖機能」(p.231～232)
		o 妊娠・分娩・産褥の経過	成人看護学 [9] (女性生殖器)：第2章 B-5「妊娠の成立」(p.32～34) 母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第3章 A-2-1「妊娠の成立」(p.110～117)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	B 人間の死	p 遺伝	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 A「妊娠期の身体的特性」(p.58~77)、第4章 A「分娩の要素」、B「分娩の経過」(p.178~205)、第5章 A「産褥経過」(p.308~320) 解剖生理学 : 第10章 C-1-1「生殖細胞」(p.496~500) 病理学 : 第8章 A「遺伝の生物学」(p.116~117)
		a 死の三徴候	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第9章 C-1-2「死の判定」(p.243~244) 病理学 : 第7章 C-1-1「死の3徴候」(p.111) 病態生理学 : 第1章 G-2「死の定義」(p.25~26) 救急看護学 : 第5章 O「脳死状態への対応」(p.276)
		b 死亡判定	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第9章 C-1-2「死の判定」(p.243~244) 解剖生理学 : 第8章 D-5「中枢神経系の障害」(p.416~419) 病理学 : 第7章 C「個体の死と終末期医療」(p.110~114) 病態生理学 : 第1章 G-2「死の定義」(p.25~26)
		c 脳死	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第9章 C-1-2「死の判定」(p.243~244) 成人看護学 [7] (脳・神経) : 第3章 B-1-4「さまざまな意識障害と脳死」(p.62~63) 病理学 : 第7章 C-2「脳死と植物状態」(p.112) 病態生理学 : 第1章 G-2「死の定義」(p.25~26) 総合医療論 : 第5章 C-2「死の判定——脳死と臓器移植」(p.120~122) 救急看護学 : 第5章 O「脳死状態への対応」(p.276~282) クリティカルケア看護学 : 第6章 A-6「臓器移植と脳死」(p.212~213)
		d 死の受容	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第2章 A-5-2「危機理論」(p.77~79) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第9章「人生の最期のときを支える看護」(p.238~254) 病理学 : 第7章 C-3「尊厳死と緩和医療」(p.113~114) 救急看護学 : 第2章 B-2-4「悲嘆反応」(p.59~60) 緩和ケア : 第8章 A-2「わるい知らせに対する心理的反応」(p.200~201)、A-3「死にゆく患者の心理」(p.201~202)
11 疾患と徴候	A 主要な症状と徴候	a 意識障害	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第3章 B-1「意識障害」(p.56~63)、第6章 B-1「意識障害のある患者の看護」(p.243~248) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第5章 7「意識障害」(p.361~368) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 B-2-5「意識の障害」(p.159~162) 病態生理学 : 第12章 G-1「意識障害」(p.249~250) 救急看護学 : 第5章 B「意識障害への対応」(p.176~182) クリティカルケア看護学 : 第3章 E-1-1「意識障害」(p.71) リハビリテーション看護 : 第4章 A-5-1「意識障害」(p.145~148)
		b ショック	成人看護学 [3] (循環器) : 第3章 H「ショック」(p.44~46) 成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第3章 1「ショック」(p.38~39)、第6章 D-1「ショック状態患者の看護」(p.222~225) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第5章 6「ショック」(p.357~361)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 高体温、低体温	病理学：第3章I「ショック」(p.42) 病態生理学：第6章B-2-a-2「ショック」(p.112～114) 臨床外科看護総論：第2章C-3「ショック」(p.71～74) 救急看護学：第5章D「ショック・循環障害への対応」(p.192～199) クリティカルケア看護学：第3章D「循環障害とケア」(p.63～70) 成人看護学 [11] (感染症)：第2章D-7「発熱」(p.224)、第6章B-1「発熱」(p.352～353) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論)：第5章9「発熱」(p.374～379) 解剖生理学：第9章C-4「発熱」(p.474～476)、C-5「高体温と低体温」(p.476～477) 病態生理学：第2章B-3「高体温」(p.35～37)、B-4「低体温」(p.37～38) 救急看護学：第5章H「体温異常への対応」(p.224～229) クリティカルケア看護学：第5章E「体温管理」(p.170～173)
		d 脱水	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第3章D「脱水」(p.51～52) 老年看護学：第4章B-4「脱水」(p.125～129) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論)：第5章13「脱水」(p.387～394) 病態生理学：第4章A-2-a-1「脱水症」(p.59～62) 救急看護学：第5章G-1「脱水症とは」(p.217) 臨床薬理学：第4章B-1「脱水症状に対する輸液による補正」(p.238～243)
		e 黄疸	成人看護学 [5] (消化器)：第3章K「黄疸」(p.64～65) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論)：第5章18「黄疸」(p.407～409) 病理学：第6章D-4「黄疸」(p.102～103) 病態生理学：第8章E-5「ビリルビン代謝と黄疸」(p.167～168) 臨床外科看護各論：第3章I-D-2「黄疸」(p.251～252) 救急看護学：第4章H-2-7「黄疸・貧血」(p.141)
		f 頭痛	成人看護学 [7] (脳・神経)：第3章B-8「頭痛」(p.86～88) 病態生理学：第12章E「頭痛」(p.247～248) 救急看護学：第4章D-NOTE「頭痛」(p.117) クリティカルケア看護学：第3章E-1-5「頭痛」(p.74) 臨床薬理学：第2章A「解熱鎮痛薬」(p.38～46)
		g 咳嗽、喀痰	成人看護学 [2] (呼吸器)：第3章A-1「喀痰」(p.42～44)、A-3「咳嗽」(p.46～49) 病態生理学：第7章C-1「咳嗽と喀痰」(p.127) 救急看護学：第4章E-2-4「咳と痰」(p.128) 緩和ケア：第7章B-10「咳嗽」(p.170～172) 臨床薬理学：第2章E「鎮咳・去痰薬」(p.60～64)
		h 吐血、咯血	成人看護学 [2] (呼吸器)：第3章A-2「血痰・咯血」(p.44～46) 成人看護学 [5] (消化器)：第3章E「吐血・下血」(p.53～55) 病態生理学：第8章D-5「吐血・咯血」(p.156～157)
		i チアノーゼ	成人看護学 [2] (呼吸器)：第3章B-1「チアノーゼ」(p.57～58) 成人看護学 [3] (循環器)：第3章E「チアノーゼ」(p.39～40) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論)：第5章5「チアノーゼ」(p.354～357) 病理学：第3章C-2-2「うっ血による変化」(p.31)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		j 呼吸困難	病態生理学：第6章 B-b「チアノーゼ」(p.117～118) 救急看護学：第5章 E-1-4「急性腹症の症状」(p.200～202) 成人看護学 [2] (呼吸器)：第3章 A-5「呼吸困難」(p.53～56) 成人看護学 [3] (循環器)：第3章 C「呼吸困難」(p.35～37) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論)：第5章 4「呼吸困難」(p.351～354) 病態生理学：第7章 B-1「呼吸困難」(p.125) 救急看護学：第5章 C「呼吸障害への対応」(p.183～192) クリティカルケア看護学：第3章 C-1「呼吸不全」(p.56)
		k 胸痛	緩和ケア：第7章 B-9「呼吸困難」(p.167～170) 成人看護学 [2] (呼吸器)：第3章 A-4「胸痛」(p.49～53) 成人看護学 [3] (循環器)：第3章 A「胸痛」(p.32～33) 病態生理学：第6章 A-2-NOTE「胸痛」(p.94) 救急看護学：第4章 F-2-4「胸部症状」(p.134)
		l 不整脈	成人看護学 [3] (循環器)：第5章 D「不整脈」(p.171～198) 病態生理学：第6章 A-2-b「心筋収縮の指令の障害」(p.97～100)
		m 腹痛、腹部膨満	救急看護学：第4章 F「循環器系」(p.129～135) 成人看護学 [5] (消化器)：第3章 D「腹痛」(p.51～53)、H「腹部膨満」(p.58～61) 病態生理学：第8章 D-1-1「腹痛」(p.151～152) 救急看護学：第4章 G「消化器系」(p.135～141)、第5章 E「急性腹症への対応」(p.199～206)
		n 悪心、嘔吐	成人看護学 [5] (消化器)：第3章 C「吐きけ・嘔吐」(p.49～50) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論)：第5章 10「嘔吐」(p.379～381) 病態生理学：第8章 D-4「嘔気(吐きけ)と嘔吐」(p.155～156) 救急看護学：第4章 G-2-3「吐きけ・嘔吐」(p.140)、第5章 E-1-4「急性腹症の症状」(p.200～202) 緩和ケア：第7章 B-4「悪心・嘔吐」(p.156～159) 臨床薬理学：第2章 B「制吐薬」(p.47～51)
		o 下痢	成人看護学 [5] (消化器)：第3章 F「下痢」(p.55～56) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論)：第5章 11「下痢」(p.382～384) 栄養学：第9章 F-2-b-1「下痢」(p.210) 病態生理学：第8章 D-2「下痢」(p.153) 微生物学：第8章 A-1「食中毒」(p.134～136) 救急看護学：第4章 G-2-2「下痢・便秘」(p.140)、第5章 E-1-4「急性腹症の症状」(p.200～202) 緩和ケア：第7章 B-7「下痢」(p.163～164) 栄養食事療法：第6章 L「下痢」(p.93～95) 臨床薬理学：第2章 D「下痢治療薬」(p.57～59)
		p 便秘	成人看護学 [5] (消化器)：第3章 G「便秘」(p.56～58) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論)：第5章 12「便秘」(p.384～387) 栄養学：第9章 F-2-b-2「便秘」(p.210～211) 病態生理学：第8章 D-1-2「便秘」(p.152～153) 救急看護学：第4章 G-2-2「下痢・便秘」(p.140) 緩和ケア：第7章 B-6「便秘」(p.161～163) 栄養食事療法：第6章 K「便秘」(p.91～93) 臨床薬理学：第2章 C「便秘治療薬」(p.57～59)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		q 下血	成人看護学 [5] (消化器) : 第3章 E「吐血・下血」(p.53~55) 病態生理学 : 第8章 D-5-2「下血・血便」(p.157) 救急看護学 : 第5章 E-1-4「急性腹症の症状」(p.200~202)
		r 乏尿、無尿、頻尿、多尿	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第3章 B-5-3「排泄障害」(p.79~80) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第3章 A-1「尿量の異常」(p.40~41)、B-1「蓄尿症状」(p.46~47) 病態生理学 : 第9章 C-1-3「尿量と排泄回数の異常」(p.191) 救急看護学 : 第5章 F-4「尿閉とは」(p.209) 緩和ケア : 第7章 B-13「下部尿路機能障害」(p.176~178)
		s 浮腫	成人看護学 [3] (循環器) : 第3章 D「浮腫」(p.37~39) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第3章 C「浮腫」(p.49~51) 成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第3章-10「リンパ浮腫」(p.45) 老年看護学 : 第4章 B-6「浮腫」(p.131~134) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第5章 14「浮腫」(p.394~397) 病理学 : 第3章 B「浮腫(水腫)」(p.29~30) 病態生理学 : 第1章 B-3「浮腫と胸水・腹水」(p.6~8) 救急看護学 : 第5章 G-4「浮腫とは」(p.219~220) 緩和ケア : 第7章 B-18「リンパ浮腫」(p.187~192)
		t 貧血	成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第3章 A-1「貧血」(p.33)、C-1「貧血」(p.39~41)、第5章 A-1「貧血のある患者の看護」(p.137~141) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第5章 16「貧血」(p.401~404) 栄養学 : 第9章 F-5-1「鉄欠乏性貧血」(p.227)、F-5-2「巨赤芽球性貧血」(p.227~228) 病理学 : 第11章 A-2「貧血」(p.190~191) 病態生理学 : 第5章 B-2-1「貧血とは」(p.75~79) 栄養食事療法 : 第9章 A「鉄欠乏性貧血」(p.148~152)、B「巨赤芽球性貧血」(p.152~154)
		u 睡眠障害	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第4章 B「睡眠・休息の援助」(p.127~136) 成人看護学 [2] (呼吸器) : 第5章 F-2「睡眠時無呼吸症候群」(p.196~197) 成人看護学 [3] (循環器) : 第5章 C-2-Column「閉塞性睡眠時無呼吸症候群」(p.167) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-5-2「睡眠障害(精神的要因によるもの)」(p.204~207) 病態生理学 : 第12章 F「睡眠障害」(p.248~249) 緩和ケア : 第8章 B-4「不眠」(p.226~233) 臨床薬理学 : 第2章 G「睡眠薬」(p.73~77)
		v 感覚過敏・鈍麻	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第3章 B-4「感覚機能障害」(p.74~76) 成人看護学 [14] (耳鼻咽喉) : 第3章 A-1「難聴」(p.47~48)、B-3「嗅覚障害」(p.51~52) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 B-2-4「知覚の障害——幻覚を中心に」(p.158~159) 病態生理学 : 第13章 D「皮膚感覚とその異常」(p.276~278)
		w 運動麻痺	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第3章 B-3「運動機能障害」(p.68~74) 成人看護学 [10] (運動器) : 第3章 D「神経の障害」(p.61~63)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		x けいれん	病態生理学：第12章 H-2「運動失調」(p.255)、H-6-2「運動麻痺」(p.259) 救急看護学：第5章 D-1「脳・神経系の観察とアセスメント」(p.114～121) クリティカルケア看護学：第3章 E-1-3「運動麻痺」(p.73) リハビリテーション看護：第3章 B-4「障害とリハビリテーション看護」(p.96～115)、第4章 A-5-2「運動障害」(p.148～164)、B-5-1「運動障害」(p.201～218)、C-5-1「運動麻痺」(p.231～244) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第3章 B-3-4「けいれん」(p.73～74)、第5章 H「てんかん」(p.212～217) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論)：第5章 8「けいれん」(p.368～374) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章 C-9「てんかん」(p.225～227) 病態生理学：第12章 H-1「けいれん」(p.256～257) 救急看護学：第4章 D-1-2-NOTE「けいれん」(p.120) クリティカルケア看護学：第3章 E-1-3「けいれん」(p.72) 臨床薬理学：第4章 D-4「抗けいれん薬の臨時投与」(p.273～276)
		y 気分〈感情〉障害	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章 C-3「気分〔感情〕障害〔双極性障害および関連障害群、抑うつ障害群〕」(p.183～192) 臨床薬理学：第4章 D-3「抗不安薬」(p.269～272)
	B 主要な疾患による健康障害と基本的な回復過程	a 生活習慣病	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-2-3「生活習慣病」(p.51～53)、第5章 C「生活行動がもたらす健康問題とその予防」(p.169～180) 成人看護学 [3] (循環器)：第5章 A「虚血性心疾患」(p.120～149)、C「血圧異常」(p.161～171)、第6章 E-3「血圧異常患者の看護」(p.328～330) 成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章 B-1「糖尿病」(p.132～164)、B-2「脂質異常症」(p.165～174)、B-3「肥満症とメタボリックシンドローム」(p.175～180)、B-4「尿酸代謝異常」(p.180～184)、第6章 B-1「糖尿病患者の看護」(p.236～271)、B-2「脂質異常症患者の看護」(p.271～275)、B-3「肥満症患者の看護」(p.275～278)、B-5「尿酸代謝異常患者の看護」(p.281～282) 生化学：第17章 B「糖尿病」(p.254～257)、C「脂質異常症」(p.258～260) 栄養学：第9章 F「高血圧症」(p.204～205)、「虚血性心疾患」(p.206)、「脳血管障害」(p.207～208)、「メタボリックシンドローム」(p.216)、「糖尿病」(p.218～220)、第10章 B「生活習慣病の予防」(p.247～248) 病理学：第3章 J「高血圧症」(p.44～46)、第6章 A「脂質代謝障害」(p.94～97)、C「糖尿病」(p.98～100)、第10章 B-5「虚血性心疾患」(p.176～182)、第16章 A-2「脳・神経系の循環障害(脳血管障害)」(p.288～293) 病態生理学：第6章 B-b「血圧の上昇による病態」(p.114)、第10章 B-2「糖代謝の異常」(p.210～214)、C-2「脂質異常症」(p.216～217)、第12章 B-2「脳血管障害」(p.240～242) 公衆衛生：第7章 B-4「生活習慣病対策」(p.181～184)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b がん	栄養食事療法：第1章 A-3-1「生活習慣病」(p.4~5)、第5章「循環器疾患患者の栄養食事療法」(p.58~70)、第8章 A「肥満」(p.130~133)、D「糖尿病」(p.138~141)、E「脂質異常症」(p.141~144)、F「高尿酸血症・通風」(p.144~146) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 B-1-2「保健にかかわる対策——健やかな生活をはぐくむために」(p.63~72)、第14章「がんとの共生を促す看護技術」(p.392~402) 病理学：第9章「腫瘍」(p.136~166) 病態生理学：第1章 E「腫瘍」(p.18~21) 公衆衛生：第7章 B-5「がん対策」(p.184~186) 看護関係法令：第4章 B-5「がん対策基本法」(p.136~137) 臨床外科看護総論：第2章 B「腫瘍」(p.55~63) がん看護学：第5章「がん治療に対する看護」(p.202~278) リハビリテーション看護：第5章 NOTE「がんリハビリテーション」(p.300~301)
		c 感染症	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第5章 C-7「感染症」(p.178~180) 成人看護学 [2] (呼吸器)：第5章 A「感染症」(p.138~164) 成人看護学 [5] (消化器)：第5章 C-2-1「感染性腸炎」(p.175~176)、D-1「肝炎」(p.209~228) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 F「脳・神経系の感染症」(p.198~207) 成人看護学 [9] (女性生殖器)：第5章 D「感染症」(p.198~202) 成人看護学 [11] (感染症)：第5章「疾患の理解」(p.268~320)、第6章「患者の看護」(p.322~367) 成人看護学 [12] (皮膚)：第5章 F「感染症」(p.133~151) 小児看護学 [2] (小児臨床看護各論)：第6章「感染症と看護」(p.138~171) 病理学：第5章「感染症」(p.76~92) 病態生理学：第1章 D「感染症」(p.14~17)、第7章 C-2「呼吸器感染症」(p.127~130) 微生物学：第3部「おもな病原微生物」(p.213~360) 公衆衛生：第7章 G「感染症対策」(p.250~271) クリティカルケア看護学：第3章 H「重症感染症とケア」(p.93~98)
		d 精神疾患	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-2-5「心の病」(p.56~57) 老年看護学：第6章 C-1「うつ」(p.292~297) 小児看護学 [2] (小児臨床看護各論)：第18章「精神疾患と看護」(p.482~513) 母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第7章 V「精神障害合併妊婦と家族の看護」(p.503~510) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章 C「精神障害の診断と分類」(p.164~232) 精神保健福祉：第4章「精神保健福祉活動の展開に必要な知識と技術」(p.66~120)、第5章「地域移行支援・地域生活支援の基礎」(p.122~156)、第6章「地域移行支援の展開」(p.158~204)、第7章「地域生活支援の展開」(p.206~241)、第8章「特定の状況に対する精神保健福祉」(p.244~289)
		e 小児の疾患	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論)：各章 B「おもな疾患」の項に収載
		f 高齢者の疾患	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 I「認知症」(p.217~224)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			成人看護学 [10] (運動器) : 第 5 章 H-6 「骨粗鬆症」 (p.175~177) 老年看護 病態・疾患論 : 第 4 章 「高齢者の疾患の特徴」 (p.118~260) 病理学 : 第 7 章 A 「個体の老化と老年症候群」 (p.106~107)、B 「加齢に伴う諸臓器の変化」 (p.107) 精神保健福祉 : 第 6 章 B 「高齢精神障害者の地域移行支援の展開」 (p.173~186)、第 7 章 B-3 「高齢精神障害者・身体合併症のある患者の地域生活支援の展開」 (p.225~226)
	C 基本的な臨床検査値の評価	a 血液学検査 b 血液生化学検査 c 免疫血清学検査 d 尿検査	臨床検査 : 第 4 章 「血液学的検査」 (p.88~116) 臨床検査 : 第 5 章 「化学検査」 (p.118~167) 臨床検査 : 第 6 章 「免疫・血清学検査」 (p.170~192) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 11 章 B-2 「尿検査」 (p.382~385) 臨床検査 : 第 3 章 A 「尿検査」 (p.63~77)
12 薬物の作用とその管理	A 主な薬物の作用と副作用 (有害事象)	a 抗感染症薬 b 抗癌薬 c 強心薬、抗不整脈薬 d 狭心症治療薬 e 抗血栓薬 f 降圧薬、昇圧薬 g 利尿薬	成人看護学 [11] (感染症) : 第 4 章 B 「抗菌薬」 (p.253~264)、C 「抗真菌薬」 (p.264)、D 「抗ウイルス薬」 (p.265) 薬理学 : 第 1 章 「抗感染症薬」 (p.62~88) 微生物学 : 第 11 章 B 「各種の化学療法薬」 (p.176~195) 臨床薬理学 : 第 4 章 E 「感染徴候がある者に対する薬物の臨時投与」 (p.277~283) 成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第 4 章 C-4-1 「化学療法」 (p.73~76) 薬理学 : 第 2 章 「抗がん薬」 (p.90~100) がん看護学 : 第 4 章 B 「薬物療法」 (p.153~180) 臨床薬理学 : 第 4 章 F-2-2 「抗がん薬の血管外漏出に伴う組織傷害」 (p.289~292) 成人看護学 [3] (循環器) : 第 5 章 D-4-1 「抗不整脈薬」 (p.194~195) 薬理学 : 第 7 章 C 「心不全治療薬」 (p.194~198)、D 「抗不整脈薬」 (p.198~203) 救急看護学 : 第 7 章 B-3 「抗不整脈薬」 (p.348~350) 臨床薬理学 : 第 3 章 C 「心不全」 (p.92~98)、D 「不整脈」 (p.99~104)、第 4 章 A-2 「持続点滴中のカテコールアミンの投与量の調整」 (p.214~219) 成人看護学 [3] (循環器) : 第 5 章 A-1-3 「治療」 (p.127~128) 薬理学 : 第 7 章 B 「狭心症治療薬」 (p.191~194) 臨床薬理学 : 第 3 章 B 「急性冠症候群」 (p.86~91) 薬理学 : 第 7 章 G-4 「抗血液凝固薬」 (p.213~216)、G-5 「血栓溶解薬および抗血小板薬」 (p.216~218) 臨床薬理学 : 第 3 章 E 「抗血小板・抗凝固療法」 (p.105~110) 成人看護学 [3] (循環器) : 第 5 章 C-2-2 「治療」 (p.166~167) 薬理学 : 第 7 章 A 「抗高血圧薬」 (p.184~191) 救急看護学 : 第 7 章 B-1 「昇圧薬」 (p.347)、B-2 「降圧・冠血管拡張薬」 (p.347~348) 臨床薬理学 : 第 3 章 A 「高血圧症」 (p.80~85)、第 4 章 A-2 「持続点滴中のカテコールアミンの投与量の調整」 (p.214~219)、A-3 「持続点滴中の降圧薬の投与量の調整」 (p.226~230) 薬理学 : 第 7 章 E 「利尿薬」 (p.203~206) 救急看護学 : 第 7 章 B-8 「その他の救急医薬品 (気管支拡張薬、利尿薬、電解質製剤)」 (p.352~353) 臨床薬理学 : 第 4 章 A-4 「持続点滴中の利尿薬の投与量の調整」 (p.226~230)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		h 消化性潰瘍治療薬	成人看護学 [5] (消化器) : 第 4 章 C-1-3 「酸分泌を抑制する薬物」 (p.118~119) 薬理学 : 第 8 章 B-1 「消化性潰瘍治療薬」 (p.227~229) 臨床薬理学 : 第 3 章 H 「胃・十二指腸潰瘍」 (p.125~131)
		i 下剤	成人看護学 [5] (消化器) : 第 4 章 C-1-2 「下剤」 (p.117~118) 薬理学 : 第 8 章 B-4 「下剤と止痢薬」 (p.231~233) 臨床薬理学 : 第 2 章 C 「便秘治療薬」 (p.52~56)
		j 抗アレルギー薬	成人看護学 [11] (アレルギー) : 第 3 章 B-1-2 「抗アレルギー薬」 (p.32~33) 成人看護学 [12] (皮膚) : 第 4 章 C-1 「全身療法 (内服・注射薬)」 (p.64~67)、第 6 章 E-1 「内服療法を受ける患者の看護」 (p.187~188) 薬理学 : 第 4 章 A-2 「抗アレルギー薬」 (p.227~229)
		k 副腎皮質ステロイド薬	成人看護学 [11] (膠原病) : 第 4 章 C-2-1 「副腎皮質ステロイド」 (p.117~118)、第 6 章 D-1-4 「薬物の種類と看護」 (p.162~165) 成人看護学 [12] (皮膚) : 第 4 章 C-1 「全身療法 (内服・注射薬)」 (p.64~67)、C-2 「外用療法」 (p.67~69)、第 6 章 E-1 「内服療法を受ける患者の看護」 (p.187~188)、E-2 「外用療法を受ける患者の看護」 (p.188~197) 生化学 : 第 8 章 C-6 「副腎皮質ホルモン」 (p.112~115) 薬理学 : 第 4 章 B-2 「ステロイド性抗炎症薬」 (p.122~124) 救急看護学 : 第 7 章 B-7 「ステロイド薬」 (p.351~352) 臨床薬理学 : 第 4 章 F 「副腎ステロイド薬による治療」 (p.284~296)
		l 糖尿病治療薬	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第 5 章 B-1-4 「糖尿病の治療」 (p.137~147)、巻末資料 「糖尿病治療薬」 (p.308~313) 薬理学 : 第 9 章 A-1 「糖尿病治療薬」 (p.242~248) 臨床薬理学 : 第 3 章 M 「糖尿病」 (p.159~168)、第 4 章 C 「インスリンの投与量の調整」 (p.252~258)
		m 中枢神経作用薬	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 6 章 B-1 「薬物療法」 (p.239~255) 薬理学 : 第 6 章 「中枢神経系に作用する薬物」 (p.152~182) 臨床薬理学 : 第 4 章 D 「精神および神経症状にかかわる薬剤の投与と調整」 (p.259~279)
		n 麻薬	薬理学 : 第 6 章 H 「麻薬性鎮痛薬」 (p.176~181) 臨床薬理学 : 第 2 章 F 「鎮静薬」 (p.65~72)、第 4 章 G 「術後ならびに呼吸管理にかかわる薬物の投与と調整」 (p.297~309)
		o 消炎鎮痛薬	薬理学 : 第 4 章 B 「炎症と抗炎症薬」 (p.118~124) 臨床薬理学 : 第 2 章 A 「解熱鎮痛薬」 (p.38~46)
	B 薬物の管理	a 禁忌	看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第 2 章 E-3-2 「患者にとって直接実害を及ぼす薬剤での間違いを防ぐ (禁忌薬に注意)」 (p.110) 薬理学 : 第 2 章 E-2 「薬物の副作用」 (p.48~51)、付録 ③ 「添付文書」 (p.318~321)
		b 保存方法	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 9 章 A-2-2 「薬の管理」 (p.289~290) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第 2 章 B-4 「注射事故防止のために求められる知識と技術」 (p.59)、E-2-3 「内服と薬特有の間違いの発生要因」 (p.107~109) 薬理学 : 第 2 章 F-1 「医薬品に関する法律」 (p.52~54)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 薬理効果に影響する要因	薬理学：第1章 B-2「薬物療法における看護師の役割」(p.9～13)、D「薬効の個人差に影響する因子」(p.41～46) 臨床薬理学：第1章 A-2「医薬品の体内動態と薬物相互作用」(p.12～17)

目標Ⅳ. 看護技術に関する基本的な知識を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
13 看護における基本技術	A コミュニケーション	a 言語的コミュニケーション	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ)：第1章 B「コミュニケーションの構成要素と成立過程」(p.22～28) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章 B「健康問題を持つ大人と看護師の人間関係」(p.94～100) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第6章 A-2「言語障害のある患者の看護」(p.248～252) 看護の統合と実践 [2] (医療安全)：第6章「医療安全とコミュニケーション」(p.204～213) 人間関係論：第3章「コミュニケーション」(p.50～69) クリティカルケア看護学：第5章 F「コミュニケーション」(p.173～176) 緩和ケア：第4章 A「患者が納得して医療を受けるためのコミュニケーション」(p.54～60)
		b 非言語的コミュニケーション	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ)：第1章 B「コミュニケーションの構成要素と成立過程」(p.22～28) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章 B「健康問題を持つ大人と看護師の人間関係」(p.94～100) 人間関係論：第3章「コミュニケーション」(p.50～69) クリティカルケア看護学：第5章 F「コミュニケーション」(p.173～176) 緩和ケア：第4章 A「患者が納得して医療を受けるためのコミュニケーション」(p.54～60)
		c 面接技法	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ)：第2章 B-1「問診(面接)の技術」(p.64) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第8章 C-3「話をすること、聞くこと」(p.19～25) 人間関係論：第4章 C-1「人間関係を築く面接技法」(p.92～97)
	B 看護過程	a 情報収集、アセスメント	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ)：第3章 C-1「アセスメント(情報の収集と分析)」(p.226～239)
		b 計画立案	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ)：第3章 C-3「看護計画」(p.247～252)
		c 実施	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ)：第3章 C-4「実施」(p.252～254)
		d 評価	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ)：第3章 C-5「評価」(p.254～256)
		e 記録方式	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ)：第3章 D「看護記録」(p.256～262)
	C フィジカルアセスメント	a バイタルサインの測定	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ)：第2章 C-3「バイタルサインの観察とアセスメント」(p.86～107) 救急看護学：第4章 A-2「全身状態の観察とアセスメント」(p.100～105)
		b 意識レベルの評価	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ)：第2章 C-3「バイタルサインの観察とアセスメント」(p.86～107) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第3章 B-1-2「意識障害の分類・評価」(p.57～60) 救急看護学：第4章 D-1「脳・神経系の観察とアセスメント」(p.114～117) クリティカルケア看護学：第2章 C-3-1「脳・神経系(意識)のアセスメント」(p.31～34)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
14 日常生活援助技術		c 呼吸音聴取	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第2章 D-2 「呼吸器系のフィジカルアセスメント」 (p.124～135) 成人看護学 [2] (呼吸器) : 第3章 B-4 「呼吸の異常」 (p.61～65) 救急看護学 : 第4章 E-1-3 「聴診」 (p.126) クリティカルケア看護学 : 第2章 C-1-1 「呼吸器系のアセスメント」 (p.26～27)
		d 腸蠕動音聴取	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第2章 D-5 「腹部のフィジカルアセスメント」 (p.152～162) 成人看護学 [5] (消化器) : 第4章 A-2 「聴診」 (p.73～74) 救急看護学 : 第4章 G-1-3 「聴診」 (p.138)
		e 運動機能の観察	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第2章 D-6 「筋・骨格系のフィジカルアセスメント」 (p.162～170) 救急看護学 : 第4章 D-1 「脳・神経系の観察とアセスメント」 (p.114～117) リハビリテーション看護 : 第2章 C-2-2 「日常生活活動(ADL)の評価」 (p.61～67)、第3章 B-4-2 「関節拘縮」 (p.103～104)、B-4-3 「筋萎縮」 (p.107～111)
	A 食事	a 食事の環境整備、食事介助	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第2章 B 「食事摂取の介助」 (p.35～39) 栄養学 : 第1章 C-1 「食事における看護師の役割」 (p.12～13) 栄養食事療法 : 第16章 A-4-2 「食事介助」 (p.236)
		b 誤嚥の予防	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第2章 B 「食事介助」 (p.35～39)、C 「摂食・嚥下訓練」 (p.40～47) 成人看護学 [7] (脳・神経) : 第6章 A-9 「嚥下障害のある患者の看護」 (p.280～286) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第4章 C 「誤嚥事故防止」 (p.168～174) リハビリテーション看護 : 第4章 A-5-4 「摂食・嚥下障害」 (p.168～175)、B-5-3 「摂食・嚥下障害」 (p.222～224) 栄養食事療法 : 第3章 F 「摂食・嚥下障害」 (p.40～43)
	B 排泄	a 床上排泄	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第3章 A-2-2 「床上排泄援助」 (p.67～70)
		b 導尿	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第3章 B 「導尿」 (p.73～80) 成人看護学 [7] (脳・神経) : 第6章 A-10 「排尿障害のある患者の看護」 (p.286～291) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第4章 D 「排尿管理」 (p.100～103)、第6章 V-A-1 「導尿を受ける患者の看護」 (p.265～266) リハビリテーション看護 : 第4章 C-3 「排尿障害」 (p.245～248)
		c 浣腸	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第3章 C-2 「浣腸(グリセリン浣腸)」 (p.81～85)
		d 摘便	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第3章 C-3 「摘便」 (p.85～86)
		e 失禁のケア	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第3章 A 「自然排尿および自然排便の介助」 (p.59～73) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第6章 II-3-4 「尿失禁のある患者の看護」 (p.216～220) 臨床外科看護各論 : 第3章 II-C-3 「大腸の手術を受ける患者の看護」 (p.343～354)
	C 活動と休息	a 体位、体位変換	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第4章 A-2 「体位」 (p.100～102)、A-3-1 「体位変換」 (p.103～112)
		b 運動	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第4章 A 「基本的活動の援助」 (p.94～126)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 移動、移送	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第4章 A-3「移動(体位変換・歩行・移乗・移送)」(p.103~126) 成人看護学 [10] (運動器) : 第6章 F-1-3「応急固定法と運搬法」(p.263~264) 在宅看護論 : 第5章 B-4「移動・移乗に関する在宅看護技術」(p.160~170)
		d ボディメカニクス	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第4章 A-1-2「ボディメカニクス」(p.97~100) 成人看護学 [10] (運動器) : 第6章 A-2-2「就床患者の体位と身体各部の相互位置関係」(p.194~197)
		e 廃用症候群の予防	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第4章 A「基本的活動の援助」(p.94~126) 成人看護学 [7] (脳・神経) : 第6章 B-4「運動麻痺のある患者の看護」(p.258~266)、C-2-2「リハビリテーションを受ける患者の看護」(p.316~320) 成人看護学 [10] (運動器) : 第5章 K「廃用症候群」(p.188) 臨床外科看護総論 : 第11章 D-2-2「廃用症候群」(p.389~391) リハビリテーション看護 : 第3章 B-3「骨折のリハビリテーションプログラム」(p.94~96)、B-4-2「関節拘縮」(p.102~106)、B-4-3「筋萎縮」(p.106~115)、第4章 A-5-2「運動障害」(p.148~164)、B-5-1「運動障害」(p.201~218)
		f 睡眠	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第4章 B「睡眠と休息の援助」(p.127~136)
	D 清潔	a 入浴	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第6章 A-2-1「入浴・シャワー浴」(p.159~164) 在宅看護論 : 第6章 B-5「清潔に関する在宅看護技術」(p.210~216) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第4章 E「入浴中の事故防止」(p.178~183) リハビリテーション看護 : 第4章 A-5-2「運動障害」(p.163~165)
		b 清拭	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第6章 A-2-2「全身清拭」(p.164~170) 在宅看護論 : 第6章 B-5「清潔に関する在宅看護技術」(p.210~216)
		c 口腔ケア	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第6章 A-2-8「口腔ケア」(p.195~202) 成人看護学 [15] (歯・口腔) : 特論「口腔ケア」(p.256~274) 在宅看護論 : 第6章 B-5「清潔に関する在宅看護技術」(p.210~216)
		d 洗髪	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第6章 A-2-3「洗髪」(p.170~179) 在宅看護論 : 第6章 B-5「清潔に関する在宅看護技術」(p.210~216)
		e 部分浴	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第6章 A-2-4「手浴」(p.179~182)、A-2-5「足浴とフットケア」(p.182~184) 在宅看護論 : 第6章 B-5「清潔に関する在宅看護技術」(p.210~216)
		f 陰部洗浄	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第6章 A-2-6「陰部洗浄」(p.185~188) 在宅看護論 : 第6章 B-5「清潔に関する在宅看護技術」(p.210~216)
		g 整容	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第6章 A-2-7「整容」(p.188~195)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
15 患者の安全・安楽を守る看護技術	A 療養環境	h 寝衣交換	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 6 章 B-2-2 「病衣・寝衣の交換」 (p.206～210)
		a 病室環境	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 1 章 「環境調整技術」 (p.9～24)
		b 共有スペース	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 1 章 「環境調整技術」 (p.9～24)
		c 居住スペース	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 1 章 「環境調整技術」 (p.9～24)
	B 医療安全対策	a 転倒・転落の防止	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 14 章 E 「転倒・転落防止」 (p.471～474) 在宅看護論 : 第 5 章 C-2-1 「転倒予防に関する教育と環境整備」 (p.139)、C-2-2 「転倒事故の予防」 (p.140～141)、C-2-3 「転落事故の予防」 (p.141～142) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第 4 章 B 「転倒・転落事故防止」 (p.142～168) リハビリテーション看護 : 第 4 章 A-6-2 「転倒」 (p.195～196)、B-5-7 「合併症の予防と管理(転倒と骨折)」 (p.226)
		b 誤薬の防止	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 14 章 B 「誤薬防止」 (p.463～469) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第 2 章 「患者に投与する業務における事故防止」 (p.39～112) 薬理学 : 第 1 章 B-2 「薬物療法における看護師の役割」 (p.9～13) 臨床薬理学 : 第 1 章 B 「薬物治療の実際」 (p.23～36)
		c 患者誤認の防止	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 14 章 D 「患者誤認防止」 (p.470～471) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第 5 章 A-2 「患者間違いのおもな要因と防止」 (p.187～194)、第 6 章 C-1-5 「患者間違いの防止」 (p.211)
		d 誤嚥・窒息の防止	在宅看護論 : 第 5 章 C-2-5 「窒息の予防」 (p.143～144)、第 6 章 B-2-2 「食生活・嚥下に関するアセスメント」 (p.189～190) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第 4 章 C 「誤嚥事故防止」 (p.168～174)、第 6 章 C-2-2 「摂食中の窒息・誤嚥事故防止における患者とのコミュニケーション」 (p.212)
		e 情報伝達と共有・管理	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 1 章 C 「看護の継続性と情報共有」 (p.40～53) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 3 章 G 「情報のマネジメント」 (p.128～136) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第 6 章 「医療安全とコミュニケーション」 (p.204～214)、第 7 章 A 「組織としての医療安全対策」 (p.216～2224) クリティカルケア看護学 : 第 7 章 B-1 「リスクマネジメント」 (p.229～231)
	C 感染防止対策	a 標準予防策〈スタンダードプリコーション〉	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 13 章 B 「標準予防策(スタンダードプリコーション)」 (p.427～435) 成人看護学 [11] (感染症) : 第 6 章 A 「感染予防」 (p.322～351) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 2 章 C-2-3 「院内感染対策」 (p.43～48) 微生物学 : 第 12 章 C-3-2 「標準予防策」 (p.207～208) 救急看護学 : 第 4 章 A 「周囲の安全確認とスタンダードプリコーション」 (p.96～98) クリティカルケア看護学 : 第 3 章 H-3 「感染対策」 (p.97～98)
		b 手洗い	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 13 章 B-2-1 「手指衛生」 (p.427～430)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 無菌操作	成人看護学 [11] (感染症) : 第 6 章 A-4-1 「適切な手指衛生」 (p.324~325) 臨床外科看護総論 : 第 6 章 E-1-2 「標準予防策の実践」 (p.215~217)、第 8 章 C-2-1 「手術時の手洗い・手指消毒」 (p.287~289) クリティカルケア看護学 : 第 5 章 G-1 「手洗い」 (p.176) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 13 章 E 「無菌操作」 (p.444~452)
		d 滅菌と消毒	臨床外科看護総論 : 第 8 章 A-2-6 「無菌操作」 (p.265) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 13 章 D 「洗浄・消毒・滅菌」 (p.439~444) 成人看護学 [11] (感染症) : 第 6 章 A-6 「洗浄・消毒・滅菌」 (p.332~335) 薬理学 : 第 13 章 「消毒薬」 (p.290~295) 微生物学 : 第 9 章 「滅菌と消毒」 (p.143~154)
		e 針刺し・切創の防止	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 13 章 H 「針刺し防止策」 (p.456~459) 成人看護学 [11] (感染症) : 第 6 章 A-8 「職業感染対策」 (p.336~339) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第 7 章 B-3-3 「注射・点滴実施時の間違い」 (p.235~236) 臨床検査 : 第 2 章 E-3-1 「採血時の針刺し事故とその対策」 (p.50~51)
		f 感染性廃棄物の取り扱い	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 13 章 F 「感染性廃棄物の取り扱い」 (p.452~453) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 3 章 F-5 「廃棄物の取り扱いと管理」 (p.127~128) 微生物学 : 第 9 章 A 「バイオハザードとバイオセーフティ」 (p.144) 臨床検査 : 第 2 章 E-3-2 「患者および検体からの業務上の感染とその予防」 (p.51~52)
16 診療に伴う看護技術	A 栄養補給	a 経管・経腸栄養法	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 2 章 D-1 「経管栄養法」 (p.47~54) 成人看護学 [5] (消化器) : 第 4 章 C-2-1 「栄養療法の概要」 (p.122~124) 在宅看護論 : 第 6 章 C-4 「経管栄養法」 (p.254~265) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第 2 章 F 「経管栄養(注入)業務と事故防止」 (p.113~118) 栄養学 : 第 9 章 B-1 「経腸栄養法」 (p.187~188) 臨床外科看護総論 : 第 3 章 D-3-2 「経腸栄養法」 (p.120) クリティカルケア看護学 : 第 5 章 D-3-1 「栄養摂取方法と管理上のポイント」 (p.168~169) 栄養食事療法 : 第 2 章 B-2 「経管・経腸栄養法」 (p.24~26)
		b 経静脈栄養法	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 2 章 D-2 「中心静脈栄養法」 (p.55) 成人看護学 [5] (消化器) : 第 4 章 C-2-1 「栄養療法の概要」 (p.122~124) 在宅看護論 : 第 6 章 C-5 「在宅中心静脈栄養法 (HPN)」 (p.265~270) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第 3 章 A-3-1 「中心静脈ラインの管理におけるおもな危険とその要因」 (p.123~125) 栄養学 : 第 9 章 B-2 「静脈栄養法」 (p.188~189) 臨床外科看護総論 : 第 2 章 D-3-1 「静脈栄養法」 (p.119) クリティカルケア看護学 : 第 5 章 D-3-1 「栄養摂取方法と管理上のポイント」 (p.168~169) 栄養食事療法 : 第 2 章 B-3 「経静脈栄養法」 (p.26)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	B 薬物療法	a 与薬方法	臨床薬理学：第4章 B-2「持続点滴中の高カロリーー輸液の投与量の調整」(p.243～251) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第9章「与薬の技術」(p.285～343) 看護の統合と実践 [2] (医療安全)：第2章「患者に投与する業務における事故防止」(p.39～112) 薬理学：第2章 B-1「薬物の投与経路」(p.24～28) クリティカルケア看護学：第5章 C-1「輸液の管理」(p.159～162)
		b 薬効・副作用(有害事象)の観察	臨床薬理学：第1章 B-1「患者と薬物治療」(p.23～25) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第9章 A「与薬の基礎知識」(p.286～290) 看護の統合と実践 [2] (医療安全)：第2章 B-5-4「注射実施後(点滴中)の観察・管理で知っておくべき注射薬の知識」(p.65～66)、E-4「内服と薬事故防止のために必要な知識・技術」(p.110～112) 薬理学：第1章 B-2「薬物療法における看護師の役割」(p.9～13) 臨床検査：第5章 N「血中薬物濃度の検査」(p.165～167) 臨床薬理学：第1章 B-2「薬物治療の評価」(p.26～29)
	C 輸液・輸血管理	a 刺入部位の観察	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第9章 H-2-4「静脈内注射」(p.320～336) 看護の統合と実践 [2] (医療安全)：第2章 B-3-2「注射実施後(点滴中)の観察・管理におけるおもな危険とその要因」(p.56～59) 臨床外科看護総論：第3章 C-2「輸液法」(p.113～114) 救急看護学：第6章 H-1「輸液」(p.313～314)
		b 輸液ポンプ、シリンジポンプ	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第9章 H-2-4「静脈内注射」(p.320～336) 看護の統合と実践 [2] (医療安全)：第2章 C「注射業務に用いる機器(輸液ポンプ・シリンジポンプ関連)での事故防止」(p.66～80) 臨床外科看護総論：第3章 C-2「輸液法」(p.113～114) 救急看護学：第6章 H-1「輸液」(p.313～314)
		c 点滴静脈内注射	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第9章 H-2-4「静脈内注射」(p.320～336) 看護の統合と実践 [2] (医療安全)：第2章 A「業務特性からみた患者に投与する業務の事故防止(総論)」(p.39～42)、B「注射業務と事故防止」(p.42～66)
		d 輸血	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第9章 I「輸血管理」(p.337～343) 成人看護学 [4] (血液・造血器)：第4章 C「造血器腫瘍」(p.88～90)、第5章 D-5「輸血療法」(p.187～190) 看護の統合と実践 [2] (医療安全)：第2章 D「輸血業務と事故防止」(p.81～93) 薬理学：付章 B「輸血剤」(p.305～311) 救急看護学：第6章 H-2「輸血」(p.315～316)
	D 採血	a 穿刺部位	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第11章 B-1「血液検査」(p.375～382) 看護の統合と実践 [2] (医療安全)：第2章 B-3-2「静脈穿刺時の危険——神経損傷、動脈誤穿刺」(p.56)
		b 採血方法	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第11章 B-1「血液検査」(p.375～382) 看護の統合と実践 [2] (医療安全)：第2章 D-2-2「血液型の間違いにつながる採血ミスの2つのパターン」(p.85～86) 臨床検査：第2章 D-3-2「血液」(p.38～41)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	E 電法	a 電法の種類と適応	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第5章 B-1「援助の基礎知識」(p.142~143) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第5章 B-2-1「温電法」(p.143~144) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第5章 B-2-2「冷電法」(p.145)
	F 呼吸管理	b 温電法	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第5章 B-2-1「温電法」(p.143~144)
		c 冷電法	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第5章 B-2-2「冷電法」(p.145)
		a 酸素療法の原則	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章 A「酸素吸入療法」(p.214~220) 成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 C-2「酸素療法」(p.111~114) 臨床外科看護総論 : 第3章 B-1「酸素療法」(p.101~105) 救急看護学 : 第6章 C「酸素投与」(p.295~297)
		b 酸素ボンベ	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章 A「酸素吸入療法」(p.214~220) 成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 C-2「酸素療法」(p.111~114)
		c 酸素流量計	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章 A「酸素吸入療法」(p.214~220) 成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 C-2「酸素療法」(p.111~114)
		d 鼻腔カニューラ	救急看護学 : 第6章 C「酸素投与」(p.295~297) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章 A「酸素吸入療法」(p.214~220) 成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 C-2「酸素療法」(p.111~114)
		e 酸素マスク	救急看護学 : 第6章 C「酸素投与」(p.295~297) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章 A「酸素吸入療法」(p.214~220) 成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 C-2「酸素療法」(p.111~114)
		f ネブライザー	救急看護学 : 第6章 C「酸素投与」(p.295~297) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章 D「吸入」(p.237~240) 成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 C-2「酸素療法」(p.111~114) クリティカルケア看護学 : 第5章 B-6「吸入療法」(p.158~159)
		g 口腔内・鼻腔内吸引	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章 B-2-3「吸引」(p.228~233) 救急看護学 : 第6章 F-1「口腔・鼻腔内吸引」(p.304~306)
		h 気管内吸引	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章 B-2-3「吸引」(p.228~233) 臨床外科看護総論 : 第10章 C-2-2 中「気管吸引」(p.366~367) 救急看護学 : 第6章 F-2「気管吸引」(p.306~308) クリティカルケア看護学 : 第5章 B-3「気管吸引の技術」(p.154~155)
		i 体位ドレナージ	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章 B-2-1「体位ドレナージ」(p.223~225) 成人看護学 [2] (呼吸器) : 第6章 B-1「体位ドレナージ」(p.234)
	G 救命救急処置	a 気道の確保	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第10章 B-2「一次救命処置の実際」(p.352~361) 成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 C-5「気道確保」(p.122~126) 臨床外科看護総論 : 第5章 A-2-2「気道確保——救急のA」(p.186~187) 救急看護学 : 第5章 A-1-1「気道確保」(p.163~164)、A-2-3「気管挿管・気道確保」(p.172~173)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 人工呼吸	クリティカルケア看護学：第5章 A-1「一次救命処置」(p.146～149) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第10章 B-2「一次救命処置の実際」(p.352～361) 臨床外科看護総論：第5章 A-2-3「人工呼吸(呼吸の確保・維持)——救急のB」(p.187～189) 救急看護学：第5章 A-1-3「人工呼吸」(p.165～167)、A-2-3「気管挿管・気道確保」(p.172～173) クリティカルケア看護学：第5章 A-1「一次救命処置」(p.146～149)
		c 胸骨圧迫	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第10章 B-2「一次救命処置の実際」(p.352～361) 臨床外科看護総論：第5章 A-2-4「心臓マッサージ」(p.189～190) 救急看護学：第5章 A-1-2「胸骨圧迫」(p.164～165) クリティカルケア看護学：第5章 A-1「一次救命処置」(p.146～149)
		d 直流除細動器	成人看護学 [3] (循環器)：第5章 D-4-2「直流通電による電気ショック」(p.196) 救急看護学：第5章 A-2「二次救命処置(ALS)」(p.170～173) クリティカルケア看護学：第5章 A-1「一次救命処置」(p.146～149)
		e 自動体外式除細動器 (AED)	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第10章 B-2「一次救命処置の実際」(p.352～361) 成人看護学 [3] (循環器)：第5章 D-3-7「心室細動」(p.190～191) 臨床外科看護総論：第5章 A-2-4-NOTE「電氣的除細動器」(p.191) 救急看護学：第5章 A-1-4「除細動」(p.167～170) クリティカルケア看護学：第5章 A-1「一次救命処置」(p.146～149)
		f 止血法	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第10章 C「止血法」(p.363～366) 成人看護学 [4] (血液・造血器)：第5章 B-3「看護活動」(p.144～145) 臨床外科看護総論：第4章 A-4「止血」(p.151～152) 救急看護学：第6章 B「止血法」(p.289～295)
		g 体温管理	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第7章 F「体温管理の技術」(p.247～255) 救急看護学：第5章 H「体温異常への対応」(p.224～229) クリティカルケア看護学：第5章 E「体温管理」(p.170～173)
		h トリアージ	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第7章 B-3-2「災害サイクル別の看護活動」(p.326～333) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第10章 A-3「トリアージ」(p.349～350) 臨床外科看護総論：第5章 B-3-2「初期情報からのアセスメントおよびトリアージ」(p.195～198) 救急看護学：第1章 C-3-4「災害時の医療」(p.36～37)、第3章 F「災害時における対応」(p.86～93)
	H 皮膚・創傷の管理	a 包帯法	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第8章 B-3「包帯法」(p.272～276)
		b 創傷管理	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第8章 A「創傷管理の基礎知識」(p.262～265)、B「創傷処置」(p.266～272) 臨床外科看護総論：第1章 E「創傷治療」(p.34～52) 救急看護学：第6章 O「創傷処置」(p.341～342) クリティカルケア看護学：第3章 I「創傷とケア」(p.98～105)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 褥瘡の予防・処置	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 8 章 C 「褥瘡予防」 (p.277～283) 成人看護学 [7] (脳・神経) : 第 6 章 A-13 「褥瘡の予防と看護」 (p.301～306) 成人看護学 [12] (皮膚) : 特論 「褥瘡患者の看護」 (p.245～266) 在宅看護論 : 第 6 章 C-1 「褥瘡の予防とケア」 (p.232～240) 臨床外科看護総論 : 第 1 章 E-7 「褥瘡の予防と処置」 (p.47～52) クリティカルケア看護学 : 第 3 章 I-2-2 「褥瘡」 (p.102) リハビリテーション看護 : 第 4 章 C-6-1 「褥瘡」 (p.256～258)

人体の構造と機能

人体の構造と機能

目標Ⅰ. 正常な人体の構造と機能について基本的な理解を問う。

目標Ⅱ. フィジカルアセスメントおよび日常生活の営みを支える看護に必要な人体の構造と機能について基本的な理解を問う。

目標Ⅲ. 疾病の成り立ちを知る前提となる人体の構造と機能について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
1 細胞と組織	A 細胞の構造	a 細胞膜と細胞質	解剖生理学：第1章 B-1「細胞の構造」(p.12~14) 生化学：第1章 C「細胞の構造と機能」(p.11~18) 病理学：第8章 A「遺伝の生物学」(p.116~118) 生物学：第1章 B-2-1「細胞質」(p.14~20)、D「細胞膜の輸送」(p.27~33)
		b 核	解剖生理学：第1章 B-2-3「核酸とタンパク質の合成」(p.18~19) 生化学：第1章 C-3-2「核」(p.14) 病理学：第8章 A「遺伝の生物学」(p.116~118) 生物学：第1章 B-2-2「核」(p.20)
		c 細胞小器官と細胞骨格	解剖生理学：第1章 B-1-2「細胞小器官と細胞骨格」(p.13~14) 生化学：第1章 C「細胞の構造と機能」(p.11~18) 病理学：第8章 A「遺伝の生物学」(p.116~118) 生物学：第1章 B-2-1「細胞質」(p.14~20)
	B 遺伝子と遺伝情報	a ゲノムと遺伝子	解剖生理学：第1章 B-4-2「染色体とゲノム」(p.26~27) 生化学：第18章 A「遺伝情報とは」(p.268~269) 病理学：第8章 A「遺伝の生物学」(p.116~118) 生物学：第4章 A「遺伝情報とその伝達・発現のしくみ」(p.73~132)
		b タンパク合成	解剖生理学：第1章 B-2-3「核酸とタンパク質の合成」(p.18~19) 生化学：第18章 C「転写」(p.274~279)、D「翻訳」(p.280~284) 生物学：第4章 E「タンパク質の合成——翻訳」(p.99~111)
	C 細胞分裂	a 染色体の複製と有糸分裂	解剖生理学：第1章 B-4「細胞の増殖と染色体」(p.24~27) 生化学：第18章 B「複製」(p.270~274) 病理学：第8章 A「遺伝の生物学」(p.116~118) 生物学：第3章 A「細胞分裂」(p.60~67)
		b 減数分裂	解剖生理学：第10章 C-1-1「生殖細胞」(p.496~498) 病理学：第8章 A「遺伝の生物学」(p.116~118) 生物学：第3章 A-4「減数分裂」(p.65~67)
	D 組織	a 上皮組織	解剖生理学：第1章 B-5-1「上皮組織」(p.27~30) 病理学：第2章 A-NOTE「いろいろな上皮とその細胞」(p.18)
		b 支持組織	解剖生理学：第1章 B-5-3「結合組織」(p.32~34)
		c 筋組織	解剖生理学：第1章 B-5-2「筋組織」(p.30~32)
		d 神経組織	解剖生理学：第1章 B-5-4「神経組織」(p.34~36)
	E 細胞内情報伝達	a イオンチャネル型受容体	解剖生理学：第8章 A-3「シナプスでの興奮の伝達」(p.380~382) 生化学：第1章 C-3-1「細胞膜」(p.14)
		b 代謝調節型受容体	解剖生理学：第6章 A-3「自律神経の神経伝達物質と受容体」(p.258~260)
2 生体リズムと内部環境の恒常性	A 生体リズム	a 概日リズム〈サーカディアンリズム〉	解剖生理学：第6章 C-6「その他の内分泌腺」(p.286~288)
		b 体内時計	解剖生理学：第8章 D-1「脳波と睡眠」(p.409~412)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
3 神経系	B 内部環境の恒常性	a 細胞外液	解剖生理学：第1章 C-3-1「体液」(p.49～50) 生化学：第6章「水と無機質」(p.72～79) 病態生理学：第4章 A-1-a「体液と電解質の調節」(p.56～59)
		b 恒常性維持機構	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第2章 A-2-2「体液の量と組成の維持」(p.26～28) 解剖生理学：第1章 C-3-2「内部環境とホメオスタシス」(p.50～52) 病理学：第15章 A「ホルモンとホメオスタシス」(p.276) 病態生理学：第4章 A-1-a「体液と電解質の調節」(p.56～59)
	A 神経細胞と神経組織	a 神経細胞と情報伝達	成人看護学 [7] (脳・神経)：第2章 A「神経系の分類と機能」(p.20～25) 成人看護学 [10] (運動器)：第2章 C-1「神経の構造と機能」(p.38～44) 解剖生理学：第1章 B-5-4「神経組織」(p.34～36)、第8章 A「神経系の構造と機能」(p.375～384) 病理学：第16章 A-1「脳・神経系の疾患」(p.288) 病態生理学：第12章 A-1「情報伝達のしくみ」(p.236～237) 薬理学：第5章 A「神経による情報伝達」(p.132～134) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第2章 A「神経系の分類と機能」(p.20～25) 解剖生理学：第8章 A-1「神経細胞と支持細胞」(p.376～380) 病理学：第16章 A-1「脳・神経系の疾患」(p.288)
	B 中枢神経系の構造と機能	a 大脳	成人看護学 [7] (脳・神経)：第2章 B-1-1「大脳」(p.27～32) 解剖生理学：第8章 B-2-4「大脳」(p.392～397) 病理学：第16章 A-1「脳・神経系の疾患」(p.288) 病態生理学：第12章 A-3「中枢神経における情報処理」(p.238) 薬理学：第6章 A-1「中枢神経系の組織機構」(p.152～154) 臨床外科看護各論：第4章 I-A-1-1「解剖と機能」(p.368～372)、I-A-1-2「脳の機能局在」(p.372～375) リハビリテーション看護：第4章 A-2-1「大脳」(p.136～139)
		b 視床、視床下部	成人看護学 [7] (脳・神経)：第2章 B-1-3「間脳と脳幹」(p.33～34) 解剖生理学：第8章 B-2-3「間脳」(p.391～392) 病態生理学：第12章 A-3「中枢神経における情報処理」(p.238) 臨床外科看護各論：第4章 I-A-1-1「解剖と機能」(p.368～372)、I-A-1-2「脳の機能局在」(p.372～375) リハビリテーション看護：第4章 A-2-2「間脳(視床・視床下部)」(p.139)
		c 中脳、橋、延髄	成人看護学 [7] (脳・神経)：第2章 B-1-3「脳幹」(p.34) 解剖生理学：第8章 B-2-1「脳幹」(p.388～390) 病態生理学：第12章 A-3「中枢神経における情報処理」(p.238) 臨床外科看護各論：第4章 I-A-1-1「解剖と機能」(p.368～372)、I-A-1-2「脳の機能局在」(p.372～375) リハビリテーション看護：第4章 A-2-3「脳幹」(p.139～140)
		d 小脳	成人看護学 [7] (脳・神経)：第2章 B-1-2「小脳」(p.33) 解剖生理学：第8章 B-2-2「小脳」(p.390～391)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		e 脊髄	病態生理学：第12章 A-3「中枢神経における情報処理」(p.238) 臨床外科看護各論：第4章 I-A-1-1「解剖と機能」(p.368～372)、I-A-1-2「脳の機能局在」(p.372～375) リハビリテーション看護：第4章 A-2-4「小脳」(p.140) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第2章 B-2「脊髄」(p.34～36) 解剖生理学：第8章 B-1「脊髄の構造と機能」(p.385～387) 病態生理学：第12章 A-3「中枢神経における情報処理」(p.238)
		f 姿勢反射	リハビリテーション看護：第4章 C-2「脊柱、脊髄、脊髄神経の構造・機能」(p.227) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第2章 A-2「神経伝達とそのしくみ」(p.23～25) 解剖生理学：第8章 B-1-2「脊髄の機能」(p.385～387)、D「脳の高次機能」(p.409～419) 病態生理学：第12章 A-2「反射性運動のしくみ」(p.237)
		g 髄膜と脳室	成人看護学 [7] (脳・神経)：第2章 D「脳・脊髄の保護構造と循環系」(p.41～46) 解剖生理学：第8章 B-2-5「脳室と髄膜」(p.397) 病態生理学：第12章 C-1「脳室系と脳脊髄液の循環のしくみ」(p.242)
		h 脳脊髄液の循環	臨床外科看護各論：第4章 I-A-1-1「解剖と機能」(p.368～372)、I-A-1-2「脳の機能局在」(p.372～375) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第2章 D-3「脳室系と脳脊髄液(髄液)循環」(p.45～46) 解剖生理学：第8章 B-2-6「脳脊髄液の循環」(p.397～399)
		i 感覚と運動の伝導路	臨床外科看護各論：第1章 I-A-1-1「解剖と機能」(p.368～372) 臨床検査：第3章 D「脳脊髄液(髄液)検査」(p.82～84) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第2章 E「運動機能と感覚機能」(p.47～52) 解剖生理学：第8章 E「運動機能と下行伝導路」(p.419～421)、F「感覚機能と上行伝導路」(p.421～425)
		j 覚醒と睡眠	病態生理学：第12章 H-1「運動制御のしくみ」(p.254) 解剖生理学：第8章 D「脳の高次機能」(p.409～419) 臨床検査：第11章 B-3-1「脳波」(p.322～327)
	C 末梢神経系の構造と機能	a 脳神経	成人看護学 [7] (脳・神経)：第2章 C-1「脳神経」(p.37～38) 解剖生理学：第8章 C-2「脳神経の構造と機能」(p.404～408)
		b 脊髄神経	臨床外科看護各論：第4章 I-A-1-1「解剖と機能」(p.368～372) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第2章 C-2「脊髄神経」(p.38～39) 解剖生理学：第8章 C-1「脊髄神経の構造と機能」(p.400～404)
		c 体性神経	リハビリテーション看護：第4章 C-2「脊柱、脊髄、脊髄神経の構造・機能」(p.227) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第2章 C「末梢神経系」(p.36～41)
		d 自律神経	解剖生理学：第8章 C「脊髄神経と脳神経」(p.400～408) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第2章 C-3「自律神経系」(p.39～41) 解剖生理学：第6章 A「自律神経による調節」(p.252～260)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
4 運動器系	A 骨格の構造と機能	a 骨	薬理学：第5章 A「神経系による情報伝達」(p.132～134) 成人看護学 [10] (運動器)：第2章 A「骨」(p.26～31) 解剖生理学：第7章 A「骨格とはどのようなものか」(p.299～305) リハビリテーション看護：第3章 A-2-1「骨の構造・機能」(p.89～90)
		b 軟骨 c 全身の骨の種類	解剖生理学：第1章 B-5-3「結合組織」(p.32～34) 成人看護学 [10] (運動器)：第2章 A-4「骨の形態・種類と機能」(p.29～31) 解剖生理学：第7章 D-1「脊柱」(p.314～316)、E「上肢の骨格と筋」(p.324～339)、F「下肢の骨格と筋」(p.339～351)
	B 関節の構造	a 関節の構造と種類	成人看護学 [10] (運動器)：第2章 B-1「関節の構造」(p.31～38) 解剖生理学：第7章 B-1「骨の連結」(p.306～308) リハビリテーション看護：第3章 A-2-2「関節の構造・機能」(p.90)
	C 骨格筋の構造と機能	a 骨格筋	成人看護学 [10] (運動器)：第2章 C-2「筋肉の構造と機能」(p.44～46) 解剖生理学：第7章 C-1「骨格筋の構造」(p.309～313) リハビリテーション看護：第3章 A-2-3「骨格筋の構造・機能」(p.91)
		b 筋収縮の機構	成人看護学 [10] (運動器)：第2章 C-2「筋肉の構造と機能」(p.44～46) 解剖生理学：第7章 H「筋の収縮」(p.359～371) 病態生理学：第12章 I-1「筋収縮のしくみ」(p.261) リハビリテーション看護：第3章 A-2-3「骨格筋の構造・機能」(p.91)
		c 全身の筋の種類	解剖生理学：第7章 G「頭頸部の骨格と筋」(p.351～359)、D「体幹の骨格と筋」(p.314～324)、E「上肢の骨格と筋」(p.324～339)、F「下肢の骨格と筋」(p.339～351)
5 感覚器系	A 体性感覚	a 刺激と感覚受容	解剖生理学：第9章 A「皮膚の構造と機能」(p.453～458) 病態生理学：第2章 A-1「皮膚の構造と機能」(p.28～29)、第13章 D-1「皮膚感覚の経路」(p.276)
		b 表在感覚	成人看護学 [12] (皮膚)：第2章 A-5「皮膚の脈管と神経」(p.29)、B-5「皮膚の知覚作用」(p.35) 解剖生理学：第7章 F-3「体性感覚の受容器の種類」(p.422)、F-4「皮膚の感覚受容器の分布」(p.422)、第8章 A-3-2「皮膚の神経」(p.456)
		c 深部感覚	解剖生理学：第7章 F-3「体性感覚の受容器の種類」(p.422)
	B 視覚	a 眼球と眼球付属器の構造	成人看護学 [13] (眼)：第2章 A「眼球」(p.14～21) 解剖生理学：第8章 G-1「眼の構造」(p.425～430)、G-2「眼球付属器」(p.430～432) 病態生理学：第13章 A-1「視覚器の構造と機能」(p.266～267) リハビリテーション看護：第6章 A-2「眼の構造・機能」(p.306～307)
		b 視力と視野	成人看護学 [13] (眼)：第2章 A-3「網膜」(p.16～17) 解剖生理学：第8章 G-3-1「視野と視力」(p.432～433) リハビリテーション看護：第6章 A-2「眼の構造・機能」(p.306～307)
		c 明暗覚、色覚	成人看護学 [13] (眼)：第2章 A-3「網膜」(p.16～18) 解剖生理学：第8章 G-3-2「色覚」(p.434) リハビリテーション看護：第6章 A-2「眼の構造・機能」(p.306～307)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d 視覚の伝導路	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第2章 E-2-2 「感覚の神経伝達」 (p.49~52) 成人看護学 [13] (眼) : 第2章 B 「視神経・視路」 (p.21~22) 解剖生理学 : 第8章 F-5-2 「視覚伝導路」 (p.423~424) 病態生理学 : 第13章 A-1 「視覚器の構造と機能」 (p.266~267) リハビリテーション看護 : 第6章 A-2 「眼の構造・機能」 (p.306~307)
		e 眼球運動	成人看護学 [13] (眼) : 第2章 C-4 「眼筋」 (p.23~25) 解剖生理学 : 第8章 G-3-5 「眼球運動の調節」 (p.436)
		f 眼に関する反射	成人看護学 [13] (眼) : 第2章 「眼の構造と機能」 (p.14~25) 解剖生理学 : 第8章 G-3-6 「眼球に関する反射」 (p.436~437)
	C 聴覚	a 外耳・中耳・内耳の構造	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉) : 第2章 A 「耳の構造と機能」 (p.22~26) 解剖生理学 : 第8章 H-1 「耳の構造」 (p.437~441) 病態生理学 : 第13章 B-1 「聴覚器の構造と機能」 (p.270~271) リハビリテーション看護 : 第6章 B-2 「聴覚器の構造・機能」 (p.325~326)
		b 聴力	解剖生理学 : 第8章 H-2 「聴覚」 (p.441~443) 病態生理学 : 第13章 B-1 「聴覚器の構造と機能」 (p.270~271)
	D 平衡感覚	a 平衡器官の構造	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉) : 第2章 A-3 「内耳」 (p.25) 解剖生理学 : 第8章 H-3 「平衡覚」 (p.442) 病態生理学 : 第13章 B-1 「聴覚器の構造と機能」 (p.270~271)
		b 平衡覚	解剖生理学 : 第8章 H-3 「平衡覚」 (p.442)
	E 味覚	a 味蕾	成人看護学 [15] (歯・口腔) : 第2章 D 「舌」 (p.25~26) 解剖生理学 : 第8章 I-1 「味覚器と味覚」 (p.443~444) 病態生理学 : 第13章 C-1 「味覚とその異常」 (p.274~275)
	F 嗅覚	a 嗅上皮	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉) : 第2章 B 「鼻の構造と機能」 (p.30~32) 解剖生理学 : 第8章 I-2 「嗅覚器と嗅覚」 (p.445~446) 病態生理学 : 第13章 C-2-1 「においを感じるしくみ」 (p.275)
	G 内臓感覚	a 内臓感覚の受容器と機能	解剖生理学 : 第8章 J-1-1 「体性痛と内臓痛」 (p.446~447)
	6 循環器系	A 心臓の構造と機能	成人看護学 [3] (循環器) : 第2章 A 「心臓の構造と機能」 (p.16~23)、B-3 「血液の循環力学」 (p.25~26) 解剖生理学 : 第4章 B 「心臓の構造」 (p.160~165)、C 「心臓の拍出機能」 (p.165~182) 病理学 : 第10章 B-1 「心臓の構造」 (p.174) 病態生理学 : 第6章 A-1-b 「心臓の構造と機能」 (p.90~93) 臨床外科看護各論 : 第2章 I-A-1-1 「解剖と機能」 (p.84~87) 成人看護学 [3] (循環器) : 第2章 A-2 「刺激伝導系と心臓の電気活動」 (p.19~20) 解剖生理学 : 第4章 C-1 「心臓の興奮とその伝播」 (p.166~168) 病態生理学 : 第6章 A-1-b-5 「心筋収縮の指令」 (p.93)
		a 心臓	
		b 刺激伝導系	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	B 血管系の構造と機能	c 心機能の調節	薬理学：第7章 D-1-1「心臓の調律のしくみ」(p.198～200) 臨床外科看護各論：第2章 I-A-1-1「解剖と機能」(p.84～87) 臨床検査：第10章 I-A-2「標準12誘導心電図」(p.276～292) 成人看護学 [3] (循環器)：第2章 C「循環の調節」(p.26～30) 解剖生理学：第4章 E「血液の循環の調節」(p.194～215)
		a 動脈、静脈、毛細血管	成人看護学 [3] (循環器)：第2章 B-1「動脈および静脈の構造」(p.23～24) 解剖生理学：第4章 D「末梢循環系の構造」(p.182～194) 病理学：第10章 A-1「血管の構造」(p.170) 臨床外科看護各論：第2章 I-B-1-2「血管の構造と機能」(p.111～113)
		b 血圧と血圧調節	循環器：第2章 C「循環の調節」(p.26～30) 解剖生理学：第4章 E-3「血圧・血流量の調節」(p.203～208)
		c 門脈系	解剖生理学：第4章 A「循環器系の構成」(p.158～160)
		d 肺循環と体循環	成人看護学 [3] (循環器)：第2章 B-2「体循環と肺循環」(p.25) 解剖生理学：第4章 A「循環器系の構成」(p.158～160) 病理学：第3章 A「循環系の概要」(p.28)
		e 冠循環	成人看護学 [3] (循環器)：第2章 A-1「心臓の構造」(p.16～18) 解剖生理学：第4章 B-4「心臓の血管と神経」(p.163～165) 病態生理学：第6章 A-1-b-2「冠循環」(p.91～92)
		f 脳循環	リハビリテーション看護：第5章 B-2「冠状動脈の構造・機能」(p.281) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第2章 D-2「血管系」(p.42～45)、D-3「脳室系と脳脊髄液(髄液)循環」(p.45～46) 解剖生理学：第4章 D-3-2「大動脈弓」(p.185～188) 病態生理学：第12章 B-1「脳・脊髄の血管系のしくみ」(p.239～240) リハビリテーション看護：第4章 A-2-5「脳の動脈系」(p.140)
		g 胎児・胎盤の血液循環	小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第4章 A-2-2「循環」(p.73～74) 母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第3章 A-2-3「胎児の生理」(p.67～69) 解剖生理学：第10章 C-3-5「胎児の血液循環」(p.510～512)
		h 末梢循環の調節	成人看護学 [3] (循環器)：第2章 C「循環の調節」(p.26～30) 解剖生理学：第4章 E-4「微小循環」(p.208～211)
			解剖生理学：第4章 F「リンパとリンパ管」(p.215～217)
7 血液	A 血液の成分と機能	b 胸管	解剖生理学：第4章 F「リンパとリンパ管」(p.215～217)
		a 血液の成分(血球、血漿、血清)	成人看護学 [4] (血液・造血器)：第2章 A「血液の成分と機能」(p.18～24) 解剖生理学：第3章 C-1-1「血液の組成」(p.131～132) 生化学：第7章 A-1「血液の構成成分とはたらき」(p.82～84)、A-2「血球」(p.84～88) 病理学：第11章 A-1「骨髄の機能と血球の分化・成熟」(p.188～189)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 血液の働き	病態生理学：第5章「血液のはたらきと病態生理」(p.72～88) 成人看護学 [4] (血液・造血器)：第2章 A「血液の成分と機能」(p.18～24) 解剖生理学：第3章 C-1「血液の組成と機能」(p.131～133) 生化学：第7章 A-1「血液の構成成分とはたらき」、A-2「血球」(p.82～88) 病態生理学：第5章「血液のはたらきと病態生理」(p.72～88)
		c 血液の物理化学的特性	成人看護学 [4] (血液・造血器)：第2章 A「血液の成分と機能」(p.18～24) 解剖生理学：第3章 C-1「血液の組成と機能」(p.131～133)、C-5「血漿タンパク質と赤血球沈降速度」(p.146～148) 生化学：第7章 A-1「血液の構成成分とはたらき」(p.82～84)、A-2「血球」(p.84～88)
		d 造血と造血因子	成人看護学 [4] (血液・造血器)：第2章 B「造血のしくみ」(p.24～30) 解剖生理学：第3章 C-1-1「血液の組成」(p.131～132) 生化学：第7章 A-2-1「血球の産生(造血)」(p.84)、第8章 E「サイトカイン」(p.119) 病理学：第11章 A-1「骨髄の機能と血球の分化・成熟」(p.188～189) 病態生理学：第5章 A-1「造血のしくみ」(p.72) 薬理学：第7章 G-2「造血因子の臨床応用」(p.210～212)
	B 止血機構	a 血液凝固	成人看護学 [4] (血液・造血器)：第2章 A-2-2「血液凝固」(p.22～23) 解剖生理学：第3章 C-6「血液の凝固と線維素溶解」(p.148～151) 生化学：第7章 A-3「止血と線溶」(p.88～93) 病理学：第3章 D-2「止血」(p.35) 病態生理学：第5章 D-1「血小板と止血・線維素溶解」(p.84～86)
		b 線維素溶解	薬理学：第7章 G-4「抗血液凝固薬」(p.213～216) 成人看護学 [4] (血液・造血器)：第2章 A-2-3「線溶」(p.23) 解剖生理学：第3章 C-6「血液の凝固と線維素溶解」(p.148～151) 生化学：第7章 A-3「止血と線溶」(p.88～93) 病態生理学：第5章 D-1「血小板と止血・線維素溶解」(p.84～86) 薬理学：第7章 G-5「血栓溶解薬および抗血小板薬」(p.216～218)
	C 血液型	a ABO 式	成人看護学 [4] (血液・造血器)：第4章 C-5-2「出血とその対策」(p.87～88) 看護の統合と実践 [2] (医療安全)：第2章 D-1「ABO 血液型不適合輸血はなぜおきるのか？」(p.81～83) 解剖生理学：第3章 C-7「血液型」(p.151～155) 臨床外科看護総論：第3章 E-4「輸血に関する検査」(p.133～134) 臨床検査：第6章 H「輸血に関する検査」(p.189～192)
		b Rh 式	成人看護学 [4] (血液・造血器)：第4章 C-5-2「出血とその対策」(p.87～88) 解剖生理学：第3章 C-7「血液型」(p.151～155) 臨床検査：第6章 H「輸血に関する検査」(p.189～192)
		c 不規則抗体	臨床検査：第6章 H「輸血に関する検査」(p.189～192)
	A 体液の構成	a 体液の区分	解剖生理学：第1章 C-3「体液とホメオスタシス」(p.48～53)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
9 生体の防御機構		b 体液の組成	病態生理学：第4章 A-1-a「体液分画とその組成」(p.56～57) 臨床外科看護総論：第3章 C「体液管理」(p.109～115) 解剖生理学：第1章 C-3「体液とホメオスタシス」(p.48～53) 生化学：第6章「水と無機質」(p.72～79) 病態生理学：第4章 A-1-a「体液分画とその組成」(p.56～57)
		a 電解質バランス	解剖生理学：第1章 C-3「体液とホメオスタシス」(p.48～53) 病態生理学：第4章 A-1「体液と電解質の調整」(p.56～59)
		b 酸塩基平衡	解剖生理学：第5章 C-4「酸塩基平衡」(p.246～248) 生化学：第6章 C「酸塩基平衡」(p.73～75)
	B 体液の調節	c 浸透圧調節	病態生理学：第4章 B-1「酸・塩基平衡」(p.65～67) 解剖生理学：第5章 C「体液の調節」(p.241～248)
		a 皮膚の構造と防御機構	成人看護学 [12] (皮膚)：第2章「皮膚の構造と機能」(p.21～36) 解剖生理学：第9章 B-1-1「皮膚・粘膜における防御」(p.458～459) 病理学：第5章 A-2「皮膚・気道・消化管の感染防御機構」(p.80) 病態生理学：第1章 A-1「皮膚の構造と機能」(p.28～29) 微生物学：第7章 A-1「上皮によるバリアー」(p.98～100)
		b 粘膜の構造と防御機構	解剖生理学：第9章 B-1-1「皮膚・粘膜における防御」(p.458～459) 病理学：第5章 A-2「皮膚・気道・消化管の感染防御機構」(p.80) 病態生理学：第1章 D-3「感染防御機構」(p.16～17) 微生物学：第7章 A-1「上皮によるバリアー」(p.98～100)、C「粘膜免疫のしくみ」(p.125～127)
		c 食細胞とサイトカイン	解剖生理学：第9章 B-1-2「貪食作用・細胞傷害物質による防御」(p.459) 生化学：第8章 E「サイトカイン」(p.119) 病理学：第4章 B「免疫と免疫不全」(p.54～59) 病態生理学：第1章 D-1-2「炎症組織での反応」(p.16) 微生物学：第7章 A-7「食細胞の機能」(p.103～104)、B-2「サイトカイン」(p.112)
	B 特異的生体防御反応(免疫系)	d 胸腺、脾臓、リンパ組織	解剖生理学：第9章 B-3「生体防御の関連臓器」(p.467～469) 微生物学：第7章 B-1-1「免疫担当組織・臓器」(p.108～109)
		a 免疫系の細胞	成人看護学 [11] (アレルギー)：第2章 B「アレルギーに関与する免疫担当細胞と伝達物質」(p.17～20) 成人看護学 [11] (感染症)：第2章 B-1「感染の成立と免疫」(p.213～216) 解剖生理学：第9章 B-2-1「免疫に関与するリンパ球の機能」(p.460～462) 病理学：第4章 B-2「免疫に関与する細胞」(p.55～57) 病態生理学：第3章 A「免疫反応」(p.40～43) 微生物学：第7章 B-1-2「免疫担当細胞」(p.109～112)
		b 抗原と抗体	成人看護学 [11] (アレルギー)：第2章 A「免疫反応と病気」(p.16～17)、B「アレルギーに関与する免疫担当細胞と伝達物質」(p.17～20) 成人看護学 [11] (感染症)：第2章 B-1「感染の成立と免疫」(p.213～216)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 補体	解剖生理学：第9章 B-2-1「免疫に関与するリンパ球の機能」(p.460～462)、B-2-2「液性免疫」(p.462～464) 病理学：第4章 B-2-1「抗体」(p.58) 病態生理学：第3章 A「免疫反応」(p.40～43) 微生物学：第7章 B-3「抗原と抗原特異的免疫」(p.112～122) 成人看護学 [11] (アレルギー)：第2章 A「免疫反応と病気」(p.16～17)、B「アレルギーに関与する免疫担当細胞と伝達物質」(p.17～20) 成人看護学 [11] (感染症)：第2章 B-1「感染の成立と免疫」(p.213～216)
		d 液性免疫	解剖生理学：第9章 B-2-2「液性免疫」(p.462～464) 病理学：第4章 B-2-2「補体」(p.59) 病態生理学：第3章 A-1-3「液性免疫」(p.41～42) 微生物学：第7章 A-8「補体の機能とその活性化」(p.104～106) 成人看護学 [11] (感染症)：第2章 B-1-2「獲得免疫」(p.214～216)
		e 細胞性免疫	解剖生理学：第9章 B-2-2「液性免疫」(p.462～464) 病理学：第4章 B-3「液性免疫と細胞性免疫」(p.57～60) 病態生理学：第3章 A-1-3「液性免疫」(p.41～42) 微生物学：第7章 B-3-5「液性免疫」(p.117～120) 成人看護学 [11] (感染症)：第2章 B-1-2「獲得免疫」(p.214～216)
		f アレルギー反応	解剖生理学：第9章 B-2-3「細胞性免疫」(p.464) 病理学：第4章 B-3「液性免疫と細胞性免疫」(p.57～60) 病態生理学：第3章 A-1-4「細胞性免疫」(p.42～43) 微生物学：第7章 B-3-5「細胞性免疫」(p.120～122) 成人看護学 [11] (アレルギー)：第2章「免疫のしくみとアレルギー」(p.16～25) 成人看護学 [12] (皮膚)：第4章 B-1-1「免疫・アレルギー検査」(p.53～55)、第6章 D-1「アレルギー検査を受ける患者の看護」(p.184～185)
		g 組織適合性抗原 (HLA)	解剖生理学：第9章 B-2-5「免疫の異常」(p.465～466) 病理学：第4章 C-1「アレルギー」(p.61～66) 病態生理学：第3章 C-1「アレルギー反応による障害」(p.46～50) 微生物学：第7章 B-6「アレルギー」(p.124) 成人看護学 [11] (膠原病)：第2章 A「自己と非自己の区別」(p.98～99) 解剖生理学：第3章 C-7-4「主要組織適合抗原」(p.154～155) 病理学：第4章 D-1-2「組織適合抗体」(p.70) 微生物学：第7章 B-1-2「免疫担当細胞」(p.109～112)
10 呼吸器系	A 気道の構造と機能	a 鼻腔、咽頭、喉頭、気管、気管支	成人看護学 [2] (呼吸器)：第2章 A-3「気管・気管支の構造」(p.24～26) 成人看護学 [14] (耳鼻咽喉)：第2章 B「鼻の構造と機能」(p.30～33)、D「咽頭の構造と機能」(p.34～37)、E「喉頭の構造と機能」(p.37～41) 解剖生理学：第3章 A「呼吸器の構造」(p.99～110) 病理学：第12章 A-1「気道」(p.202) リハビリテーション看護：第5章 A-2「呼吸器の構造・機能」(p.264～265)
		b 発声	解剖生理学：第3章 A-2-4「発声と構音」(p.103～104)
	B 肺の構造	a 肺	成人看護学 [2] (呼吸器)：第2章 A-1「肺の構造」(p.20～23) 解剖生理学：第3章 A-3-2「肺」(p.106～108)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 胸膜腔と縦隔	病理学：第12章 B-1「気管・気管支・肺の構造と機能」(p.205～206) 病態生理学：第7章 A-2「呼吸器の構造」(p.120～121) 臨床外科看護各論：第1章 I-A-1-1「構造と機能」(p.8～9) リハビリテーション看護：第5章 A-2「呼吸器の構造・機能」(p.264～265) 成人看護学 [2] (呼吸器)：第2章 A-4「縦隔の構造」(p.26～27)、A-5「肺と胸郭・胸腔・胸膜の関係」(p.27～29) 解剖生理学：第3章 A-4「胸膜・縦隔」(p.108～110)
	C 呼吸	a 呼吸筋 b 換気 c ガス交換 d 呼吸運動 e 呼吸調節	成人看護学 [2] (呼吸器)：第2章 A-6「横隔膜」(p.30)、B-2「換気運動」(p.33～35) 解剖生理学：第7章 D-4「胸部の筋」(p.318～321) 成人看護学 [2] (呼吸器)：第2章 B-2「換気運動」(p.33～35) 解剖生理学：第3章 B-4「ガス交換とガスの運搬」(p.120～123) 病態生理学：第7章 A-3-1「換気：呼吸運動とその調節」(p.121～122) 成人看護学 [2] (呼吸器)：第2章 B-3「ガス交換」(p.35～38) 解剖生理学：第3章 B-4「ガス交換とガスの運搬」(p.120～123) 成人看護学 [2] (呼吸器)：第2章 B「呼吸の生理」(p.30～39) 解剖生理学：第3章 B-2「呼吸器と呼吸運動」(p.111～117) 病態生理学：第7章 A-3-1「換気：呼吸運動とその調節」(p.121～122) 成人看護学 [2] (呼吸器)：第2章 B-1「呼吸調節」(p.32～33) 解剖生理学：第3章 B-6「呼吸運動の調節」(p.124～129) 病態生理学：第7章 A-3-2「呼吸調節と神経系」(p.123)
11 消化器系	A 咀嚼・嚥下	a 歯・口腔・唾液腺の構造と機能 b 咽頭・喉頭の構造と機能 c 食道の構造と機能 d 咀嚼 e 嚥下	成人看護学 [15] (歯・口腔)：第2章「歯・口腔の構造と機能」(p.14～32) 解剖生理学：第2章 A-1「口の構造と機能」(p.56～62) 成人看護学 [14] (耳鼻咽喉)：第2章 D「咽頭の構造と機能」(p.34～37)、E「喉頭の構造と機能」(p.37～41) 解剖生理学：第2章 A-2-1「咽頭」(p.63) 病理学：第12章 A-2「鼻腔・咽頭・喉頭の構造と機能」(p.202) 臨床外科看護各論：第5章 I-A-2「口腔・咽頭・喉頭・頸部の臨床解剖」(p.435～436) 成人看護学 [5] (消化器)：第2章 A「食道の構造と機能」(p.20～23) 解剖生理学：第2章 A-2-3「食道」(p.65～66) 病理学：第13章 A-1「口腔・食道の構造」(p.226) 臨床外科看護各論：第3章 I-A-1「基礎知識」(p.172～174) 成人看護学 [15] (歯・口腔)：第2章 G「口腔顎顔面の筋」(p.30～31) 解剖生理学：第2章 A-1-7「咀嚼」(p.62) 栄養学：第3章 A-2-1「機械的消化」(p.49) 病態生理学：第8章 A-1-1「咀嚼」(p.142) 成人看護学 [5] (消化器)：第2章 A-2「食道の機能」(p.22～23)、第3章 A-1「嚥下困難」(p.46～47)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			成人看護学 [7] (脳・神経) : 第3章 B-5-2 「嚥下障害」 (p.78~79) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第4章 C-2 「誤嚥の防止(ステップ1)」 (p.169~172) 解剖生理学 : 第2章 A-2-2 「嚥下」 (p.64~65) 病態生理学 : 第8章 A-1-2 「嚥下のしくみ」 (p.142~144)
	B 消化と吸収	a 胃の構造と機能	成人看護学 [5] (消化器) : 第2章 B 「胃・十二指腸の構造と機能」 (p.23~28) 解剖生理学 : 第2章 B-1 「胃の構造」 (p.66~68)、B-2 「胃の機能」 (p.68~71) 病理学 : 第13章 B-1 「胃の構造」 (p.228) 病態生理学 : 第8章 A-2 「消化と吸収」 (p.144~145) 臨床外科看護各論 : 第3章 I-B-1 「基礎知識」 (p.185~188)
		b 十二指腸の構造と機能	成人看護学 [5] (消化器) : 第2章 B 「胃・十二指腸の構造と機能」 (p.23~28) 解剖生理学 : 第2章 B-3-1 「十二指腸」 (p.72)、B-4-2 「十二指腸における消化」 (p.75~76) 病理学 : 第13章 C-1 「腸・腹膜の構造」 (p.234) 病態生理学 : 第8章 A-2 「消化と吸収」 (p.144~145) 臨床外科看護各論 : 第3章 I-B-1 「基礎知識」 (p.185~188)
		c 空腸・回腸の構造と機能	成人看護学 [5] (消化器) : 第2章 C 「小腸・大腸の構造と機能」 (p.29~33) 解剖生理学 : 第2章 B-3-2 「空腸と回腸」 (p.72)、B-4-3 「空腸・回腸における消化」 (p.76~77) 病理学 : 第13章 C-1 「腸・腹膜の構造」 (p.234) 臨床外科看護各論 : 第3章 I-C-1 「基礎知識」 (p.202~205)
		d 結腸・虫垂の構造と機能	成人看護学 [5] (消化器) : 第2章 C 「小腸・大腸の構造と機能」 (p.29~33) 解剖生理学 : 第2章 B-6-2 「結腸」 (p.81~82)、B-7 「大腸の機能」 (p.83~84) 臨床外科看護各論 : 第3章 I-C-1 「基礎知識」 (p.202~205)
		e 直腸・肛門の構造と機能	成人看護学 [5] (消化器) : 第2章 D 「直腸・肛門の構造と機能」 (p.33~35) 解剖生理学 : 第2章 B-6-3 「直腸と肛門」 (p.82)、B-7 「大腸の機能」 (p.83~84)
		f 肝臓・胆道の構造と機能	成人看護学 [5] (消化器) : 第2章 E 「肝臓の構造と機能」 (p.35~40)、F 「胆道系の構造と機能」 (p.40~41) 解剖生理学 : 第2章 C-2 「肝臓と胆嚢の構造」 (p.87~90)、C-3 「肝臓の機能」 (p.90~93) 病理学 : 第13章 D-1 「肝臓・胆管・胆嚢の構造」 (p.241~242) 病態生理学 : 第8章 E-1-1 「肝臓の構造と機能」 (p.158~159) 臨床外科看護各論 : 第3章 I-D-1 「基礎知識」 (p.246~250)
		g 膵臓の構造と機能	成人看護学 [5] (消化器) : 第2章 G 「膵臓の構造と機能」 (p.41~43) 解剖生理学 : 第2章 C-1 「膵臓」 (p.86~87) 病理学 : 第13章 E-1 「膵臓の構造」 (p.251) 病態生理学 : 第8章 F-1 「膵臓の機能」 (p.168~169) 臨床外科看護各論 : 第3章 I-G-1 「基礎知識」 (p.291~295)
		h 三大栄養素の消化と吸収	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第2章 C-1 「消化と吸収のメカニズム」 (p.44~45)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		i 消化管運動と反射 j 消化管ホルモン	解剖生理学：第2章 B-5「栄養素の消化と吸収」(p.77～80) 生化学：第9章 B「消化・吸収された栄養素の体内での代謝」(p.126～130) 栄養学：第3章 A-3「三大栄養素の消化」(p.50～51)、B-2「三大栄養素の吸収」(p.52～54) 解剖生理学：B-7「大腸の機能」(p.83～84) 栄養学：第3章 A-1「消化器系のしくみとはたらき」(p.44～49) 成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第2章 B-10「消化管ホルモン系」(p.41～42) 解剖生理学：B-2-3「胃液の分泌調節」(p.70～71) 生化学：第8章「ホルモンと生理活性物質」(p.98～120)
12 代謝系	A 栄養とエネルギー代謝	a 栄養所要量	栄養学：第5章 B「日本人の食事摂取基準」(p.92～97)、付録「日本人の食事摂取基準(2015年版)抄録」(p.259～265) 栄養学：第4章 D-1「基礎代謝」(p.81～82)
		b 基礎代謝	栄養学：第4章 D-1「基礎代謝」(p.81～82)
	B 物質代謝	a 同化作用と異化作用	解剖生理学：第1章 B-2「細胞を構成する物質とエネルギーの生成」(p.14～19) 生化学：第9章 A「代謝とは」(p.124～125) 栄養学：第3章 D「栄養素の代謝」(p.59～67) 生化学：第10章「酵素」(p.132～148) 成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第2章 C「代謝の概要と機能」(p.44～47) 生化学：第9章 B-2「糖質の代謝」(p.127～129)、第12章「糖質代謝」(p.166～190) 栄養学：第3章 D-2-1-1「糖質の代謝」(p.61～62) 病態生理学：第10章 B-1「糖代謝のしくみ」(p.209～210)
		b 酵素	成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第2章 C「代謝の概要と機能」(p.44～47) 生化学：第9章 B-2「糖質の代謝」(p.127～129)、第12章「糖質代謝」(p.166～190) 栄養学：第3章 D-2-1-1「糖質の代謝」(p.61～62) 病態生理学：第10章 B-1「糖代謝のしくみ」(p.209～210) 成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第2章 C「代謝の概要と機能」(p.44～47) 生化学：第9章 B-3「脂質の代謝」(p.129)、第13章「脂質代謝」(p.192～210) 栄養学：第3章 D-2-1-2「脂質の代謝」(p.62) 病態生理学：第10章 C-1「脂質代謝のしくみ」(p.215～216) 成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第2章 C「代謝の概要と機能」(p.44～47) 生化学：第9章 B-4「タンパク質の代謝」(p.129～130)、第14章「タンパク質代謝」(p.212～231) 栄養学：第3章 D-2-1-3「タンパク質の代謝」(p.62) 解剖生理学：第3章 C-2-4「赤血球の破壊」(p.138～140) 生化学：第16章 D「ビリルビンの代謝」(p.248～250) 病理学：第6章 D-4-1「ビリルビン代謝」(p.102～103) 生化学：第15章「核酸代謝」(p.234～242) 栄養学：第3章 D-3「核酸代謝」(p.64～65) 病態生理学：第10章 D-1「尿酸代謝のしくみ」(p.217) 生化学：第6章 D「無機質とは」(p.75～79)、第11章「ビタミンと補酵素」(p.150～164) 栄養学：第3章 D-2-1-4「ビタミンの貯蔵と活性化」(p.62)、D-2-1-5「ミネラルの貯蔵」(p.62) 病態生理学：第10章 C-4「カルシウム・リン代謝」(p.219)
		c 炭水化物の代謝	
		d 脂肪の代謝	
		e 蛋白質の代謝	
		f ビリルビンの代謝	
		g 核酸の代謝	
		h ビタミン・ミネラルの代謝	
13 泌尿器系	A 尿の生成	a 腎臓の構造	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第2章 A-1「腎臓の位置・構造」(p.18～23) 解剖生理学：第5章 A-1-1「腎臓の構造」(p.221～224) 生化学：第7章 B-1「腎臓の構造とはたらき」(p.93～94)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 糸球体濾過	病理学：第14章 A-1-1「腎臓の構造と機能」(p.254) 病態生理学：第9章 A-1「腎臓の構造」(p.176～177) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第2章 A-2「腎臓の機能」(p.23～30) 解剖生理学：第5章 A-2-2「糸球体濾過」(p.225～227)、A-5「クリアランスと糸球体濾過量」(p.234～236) 生化学：第7章 B-2「尿の生成」(p.94) 病態生理学：第9章 A-2「濾過機能」(p.177～178) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第2章 A-2「腎臓の機能」(p.23～30)
		c 再吸収と分泌	解剖生理学：第5章 A-3-2「尿細管の機能」(p.228～232)、A-4「クリアランスと糸球体濾過量」(p.234～236) 生化学：第7章 B-2「尿の生成」(p.94) 病態生理学：第9章 A-3「再吸収機能」(p.179)
	B 体液量の調節	a 抗利尿ホルモンの作用	成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第2章 B-6「ADH系」(p.34～35) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第2章 A-2「腎臓の機能」(p.23～30) 解剖生理学：第5章 A-3-2「尿細管の機能」(p.228～232) 生化学：第7章 B-2「尿の生成」(p.94)、第8章 C-2「下垂体ホルモン」(p.104～108) 病態生理学：第4章 A-1-b「体液の出納」(p.58～59)、第6章 B-1-b-2「血圧の内分泌性調節」(p.109～111)、第9章 A-3「再吸収機能」(p.179)
		b レニン-アンジオテンシン-アルドステロン系	成人看護学 [3] (循環器)：第2章 C「循環の調節」(p.26～30) 成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第2章 B-9「レニン-アンジオテンシン-アルドステロン系」(p.40～41) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第2章 A-2-3「内分泌臓器としての機能」(p.28～30) 解剖生理学：第5章 A-4-2「レニン-アンジオテンシン-アルドステロン系」(p.233～234) 生化学：第8章 C-6「副腎皮質ホルモン」(p.112～115) 病理学：第3章 J-1「血圧の調節」(p.44) 病態生理学：第4章 A-1-b「体液の出納」(p.58～59)、第6章 B-1-b-2「血圧の内分泌性調節」(p.109～111)、第9章 A-3「再吸収機能」(p.179)
	C 排尿	a 尿管の構造と機能	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第2章 B「尿管の構造と機能」(p.30) 解剖生理学：第5章 B-1-1「尿管」(p.236～237)、B-2-1「尿の輸送と貯蔵」(p.238) 病態生理学：第9章 C-1「尿をたくわえ排泄するしくみ」(p.188～191)
		b 膀胱の構造と機能	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第2章 C「膀胱の構造と機能」(p.32～34) 解剖生理学：第5章 B-1-2「膀胱」(p.237)、B-2-1「尿の輸送と貯蔵」(p.238)、B-2-2「排尿の機序」(p.239～240) 病態生理学：第9章 C-1「尿をたくわえ排泄するしくみ」(p.188～191)
		c 尿道の構造と機能	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第2章 D「尿道の構造と機能」(p.34～35) 解剖生理学：第5章 B-1-3「尿道」(p.237～238)、B-2-2「排尿の機序」(p.239～240) 病態生理学：第9章 C-1「尿をたくわえ排泄するしくみ」(p.188～191)
		d 排尿反射	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第2章 C「膀胱の構造と機能」(p.32～34)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			解剖生理学：第5章 B-2-2「排尿の機序」(p.239～240) 病態生理学：第9章 C-1-2「尿排泄の神経支配」(p.189～191)
14 体温調節	A 体温	a 核心温度と外殻温度	解剖生理学：第9章 C「体温とその調節」(p.470～477)
	B 体温の調節	a 熱放散と熱産生	解剖生理学：第9章 C「体温とその調節」(p.470～477) 病態生理学：第2章 B-1「体温調節のしくみ」(p.33～38)
		b 体温調節中枢	解剖生理学：第9章 C「体温とその調節」(p.470～477) 病態生理学：第2章 B-1「体温調節のしくみ」(p.33～38)
15 内分泌系	A ホルモンの種類	a ホルモンの化学的性質	成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第2章 A-1「ホルモンとそのはたらき」(p.16～18) 解剖生理学：第6章 B-1「内分泌とホルモン」(p.260～262) 生化学：第8章 A「ホルモンとは」(p.98)、B「ホルモンの種類と作用機序」(p.98～104) 病理学：第15章 A-1「内分泌とホルモン」(p.276) 病態生理学：第10章 A-1「ホルモン分泌のしくみ」(p.196～197)
		b ホルモンの受容体	成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第2章 A-1「ホルモンとそのはたらき」(p.16～18) 解剖生理学：第6章 B-1「内分泌とホルモン」(p.260～262) 生化学：第8章 B-2「ホルモンの作用機序」(p.99～104) 病態生理学：第10章 A-1「ホルモン分泌のしくみ」(p.196～197)
	B ホルモン分泌の調節	a 調節ホルモン、拮抗ホルモン	成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第2章「内分泌・代謝器官の構造と機能」(p.16～47) 解剖生理学：第6章 B-1「内分泌とホルモン」(p.260～262)
		b フィードバック機構	生化学：第8章 C「ホルモン各論」(p.104～116) 成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第2章「内分泌・代謝器官の構造と機能」(p.16～47) 解剖生理学：第6章 D「ホルモン分泌の調節」(p.288～289) 生化学：第8章 C-2「下垂体ホルモン」(p.104～108) 病理学：第15章 A-2「フィードバック機構」(p.276) 病態生理学：第10章 A-1「ホルモン分泌のしくみ」(p.196～197)
	C 内分泌器官の構造とホルモンの機能	a 視床下部	成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第2章 A-2「視床下部」(p.18～19)、B「内分泌器官とホルモンの機能」(p.25～44) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第2章 B-1-3「間脳と脳幹」(p.33～34) 解剖生理学：第6章 C-1「視床下部——下垂体系」(p.265～271) 生化学：第8章 C-1「視床下部ホルモン」(p.104) 病態生理学：第10章 A-2-1「視床下部——下垂体系のはたらき」(p.197～198)
		b 下垂体	成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第2章 A-3「下垂体」(p.19～21)、B「内分泌器官とホルモンの機能」(p.25～48) 解剖生理学：第6章 C-1「視床下部——下垂体系」(p.265～271) 生化学：第8章 C-2「下垂体ホルモン」(p.104～108) 病態生理学：第10章 A-2-1「視床下部——下垂体系のはたらき」(p.197～198)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 松果体	解剖生理学：第6章 C-6 「その他の内分泌腺」 (p.286～288)
		d 甲状腺	成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第2章 A-4 「甲状腺」 (p.21～23)、B 「内分泌器官とホルモンの機能」 (p.25～44) 解剖生理学：第6章 C-2 「甲状腺と副甲状腺」 (p.271～276) 生化学：第8章 C-3 「甲状腺ホルモン」 (p.108～109) 病態生理学：第10章 A-3-1 「甲状腺のはたらき」 (p.200～201)
		e 副甲状腺〈上皮小体〉	成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第2章 A-5 「副甲状腺」 (p.23)、B 「内分泌器官とホルモンの機能」 (p.25～44) 解剖生理学：第6章 C-2 「甲状腺と副甲状腺」 (p.271～276) 生化学：第8章 C-4 「副甲状腺(上皮小体)ホルモン」 (p.109) 病態生理学：第10章 A-4-1 「副甲状腺のはたらき」 (p.204)
		f 膵島	成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第2章 A-7 「消化管・膵臓」 (p.24～25)、B-11 「膵ホルモン」 (p.42～44) 解剖生理学：第6章 C-3 「膵臓」 (p.276～278) 生化学：第8章 C-5 「膵臓ホルモン」 (p.109～112) 病態生理学：第8章 F-1 「膵臓の機能」 (p.168～169)
		g 副腎皮質	成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第2章 A-6 「副腎」 (p.24)、B 「内分泌器官とホルモンの機能」 (p.25～44) 解剖生理学：第6章 C-4 「副腎」 (p.278～284) 生化学：第8章 C-6 「副腎皮質ホルモン」 (p.112～115) 病態生理学：第10章 A-5-1 「副腎皮質のはたらき」 (p.205～206) 臨床外科看護各論：第3章 I-I-1 「基礎知識」 (p.313～314)
		h 副腎髄質	成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第2章 A-6 「副腎」 (p.24)、B 「内分泌器官とホルモンの機能」 (p.25～44) 解剖生理学：第6章 C-4 「副腎」 (p.278～284) 生化学：第8章 C-7 「副腎髄質ホルモン」 (p.115～116) 病態生理学：第10章 A-6-1 「副腎髄質のはたらき」 (p.215) 臨床外科看護各論：第3章 I-I-1 「基礎知識」 (p.313～314)
		i 腎臓	成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第2章 B-9 「レニン-アンギオテンシン-アルドステロン系」 (p.40～41) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第2章 A-2-3 「内分泌臓器としての機能」 (p.28～30) 解剖生理学：第6章 C-6 「その他の内分泌腺」 (p.286～288)
		j 性腺	成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第2章 B-4 「ゴナドトロピン-性腺ホルモン系」 (p.32～33) 成人看護学 [9] (女性生殖器)：第2章 B-1 「性分化と性腺の発生」 (p.26～27) 解剖生理学：第6章 C-5 「性腺」 (p.284～286) 生化学：第8章 C-8 「性腺ホルモン」 (p.116) 病態生理学：第11章 A 「女性の生殖機能」 (p.222～224)
16 生殖系	A 女性の生殖器系の構造と機能	a 卵巣	成人看護学 [9] (女性生殖器)：第2章 A-2-4 「卵巣」 (p.25)、B-3-1 「卵巣周期」 (p.28～30)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所	
		b 卵管、子宮、膣	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 3 章 A-1-1 「女性の外性器」 (p.97～99)、A-1-2 「女性の内性器」 (p.100～102) 解剖生理学 : 第 10 章 B-1 「卵巣」 (p.487～488) 成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第 2 章 A-1-1 「外性器、外陰」 (p.20～21)、A-2 「内性器」 (p.22～26)、B-3-2 「子宮周期」 (p.30)	
		c 外陰部・会陰の構造	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 3 章 A-1-1 「女性の外性器」 (p.97～99) 解剖生理学 : 第 10 章 B-2 「卵管・子宮・膣」 (p.489～490)	
		d 性周期	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 3 章 A-1-1 「女性の外性器」 (p.97～99)、A-1-2 「女性の内性器」 (p.100～102) 解剖生理学 : 第 10 章 B-3 「女性の外陰部と会陰」 (p.491～492) 成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第 2 章 B-3 「性周期と性ホルモン」 (p.28～30)、B-4 「月経周期とホルモン動態」 (p.30～32)	
		e 妊娠、分娩、産褥	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 3 章 A-1-4 「女性生殖器の機能」 (p.103～110) 解剖生理学 : 第 10 章 B-5 「女性の生殖機能」 (p.493～496) 病態生理学 : 第 11 章 A 「女性の生殖機能」 (p.222～224) 成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第 2 章 B-5 「妊娠の成立」 (p.32～34)、B-6 「妊娠の診断」 (p.34～36) 母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 3 章 A 「妊娠期の身体的特性」 (p.58～77)、第 4 章 A 「分娩の要素」、B 「分娩の経過」 (p.178～205)、第 6 章 A-1 「産褥期の身体的変化」 (p.308～311)	
		f 妊娠・分娩に伴う変化	解剖生理学 : 第 10 章 C-3-3 「妊娠中の母体の変化」 (p.507～510)、C-3-4 「分娩」 (p.510) 母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 3 章 A 「妊娠期の身体的特性」 (p.58～77)、第 4 章 A 「分娩の要素」、B 「分娩の経過」 (p.178～205)	
		g 乳房	解剖生理学 : 第 10 章 C-3-3 「妊娠中の母体の変化」 (p.507～510)、C-3-4 「分娩」 (p.510) 成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第 2 章 A-1-2 「乳房」 (p.21～22) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 3 章 A-1-1 「女性の外性器」 (p.97～99) 母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 6 章 A-1-3 「乳汁分泌」 (p.310～311) 解剖生理学 : 第 10 章 B-4 「乳腺」 (p.492～493)	
		B 男性の生殖器系の構造と機能	a 精巣と精路	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第 2 章 E 「男性生殖器の構造と機能」 (p.35～37) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 3 章 A-1-3 「男性生殖器」 (p.102～103) 解剖生理学 : 第 10 章 A-1 「精巣(睾丸)」 (p.482)、A-2-1 「精路」 (p.483～484) 病態生理学 : 第 11 章 B-1 「男性の生殖機能」 (p.231～232)
		b 精子の形成	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第 2 章 E 「男性生殖器の構造と機能」 (p.35～37) 解剖生理学 : 第 10 章 C-1-1 「生殖細胞」 (p.496～498) 病態生理学 : 第 11 章 B-1 「男性の生殖機能」 (p.231～232)	
		c 精巣上体、精管、精嚢、前立腺、陰茎	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第 2 章 E 「男性生殖器の構造と機能」 (p.35～37)	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
17 成長と老化	C 受精と発生	a 受精	解剖生理学：第10章 C-2-2 「付属生殖腺」 (p.484) 成人看護学 [9] (女性生殖器)：第2章 B-5-2 「受精」 (p.33～34) 母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第3章 B-2-1 「妊娠の成立」 (p.110～117) 母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第3章 A-1-2 「妊娠の成立」 (p.59～63)
		b 着床	解剖生理学：第10章 C-1-2 「受精」 (p.498～499) 母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第3章 A-2-1 「妊娠の成立」 (p.59～63)
		c 胎児の発生	解剖生理学：第10章 C-2 「初期発生と着床」 (p.500～503) 母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第3章 A-1 「妊娠の生理」 (p.58～64)、A-2-1 「胎児の発育」 (p.64～65) 解剖生理学：第10章 C-3 「胎児と胎盤」 (p.503～512)
	A 成長による変化	a 成長による組織・臓器の形態的变化	解剖生理学：第10章 D 「成長と老化」 (p.512～522)
		b 成長による臓器の機能的変化	解剖生理学：第10章 D 「成長と老化」 (p.512～522)
	B 老化による変化	a 老化による組織・臓器の形態的变化	解剖生理学：第10章 D-2 「老化」 (p.516～522)
		b 老化による臓器の機能的変化	病理学：第7章 B 「加齢に伴う諸臓器の変化」 (p.107～110) 病態生理学：第1章 G-1 「老化」 (p.24～25) 老年看護 病態・疾患論：第1章 「高齢者の生理的特徴」 (p.16～36) 解剖生理学：第10章 D-2 「老化」 (p.516～522) 病理学：第7章 B-3 「造血器と免疫・内分泌と生殖器、骨・関節の加齢変化」 (p.109) 病態生理学：第1章 G-1 「老化」 (p.24～25)

疾病の成り立ちと回復の促進

疾病の成り立ちと回復の促進

目標Ⅰ. 健康から疾病を経て回復に至る過程について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
1 健康の維持増進	A 疾病の予防・早期発見	a 健康診断、健康診査 b 予防接種 c 健康教育	臨床検査：第1章 C-1「スクリーニング検査」(p.9～10) 医学概論：第8章 C「定期的健康診断」(p.132～133)、D「予防的定期的総合健診の意義」(p.133～137) 母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第5章 C-3「生後1か月健康診査に向けた退院時の看護」(p.303～306) 病理学：第5章 C-4「予防接種」(p.92) 医学概論：第8章 B-2「防疫——感染症の予防」(p.126) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章 A「生活行動のなかで健康行動を生みはぐくむ援助」(p.88～94)、第4章 B-2「職場におけるヘルスプロモーションを促進する看護」(p.169～180)、第10章「学習者である患者への看護技術」(p.257～272) 医学概論：第3章2「健康に対する個人と社会の責任」(p.51)、第8章「病気の予防」(p.122～139)
2 疾病の成立と疾病からの回復	A 疾病の要因	a 内因、外因 b 生活習慣 c ストレス	病理学：第1章 B「病気の原因」(p.6～11) 病態生理学：第1章 A-2「正常性をゆがめる要因」(p.2～4) 医学概論：第4章 B「病気の原因」(p.59～68) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第5章 C「生活行動がもたらす健康問題とその予防」(p.169～180) 栄養学：第10章 A「食生活の変遷と栄養の問題点」(p.244～247)、B「生活習慣病の予防」(p.247～248) 病理学：第1章 B「病気の原因」(p.6～11) 病態生理学：第1章 A-2「正常性をゆがめる要因」(p.2～4) 総合医療論：第3章 C「疾病の一次予防と健康増進」(p.73～77) 社会保障・社会福祉：第8章 F-1-2「疾病構造の変化とケアからケアの医療へ」(p.242) 基礎看護学 [1] (看護学概論)：第3章 E-4-2「ストレス」(p.133) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-1-2「日常生活の状況」(p.48)、第5章 B「健康バランスに影響を及ぼす要因」(p.164～169) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第2章 C「ストレスと健康の危機」(p.39～45) 総合医療論：第3章 F-1-1「ストレス」(p.90)
	B 生体の回復	a 回復過程 b 回復に影響する身体的／心理・社会的要因	病態生理学：第1章 A-3「正常への回復に影響する要因」(p.4) 病態生理学：第1章 A-3「正常への回復に影響する要因」(p.4)

目標Ⅱ. 疾病の要因と生体反応について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
3 基本的な病因とその成り立ち	A 細胞の障害	a 萎縮、変性、肥大	病理学：第2章 A「細胞の損傷と適応」(p.14～23) 病態生理学：第1章 C-1「細胞の損傷と適応現象」(p.9～10) 医学概論：第5章 A-2「進行性の変化」(p.77)、A-3「退行性の変化」(p.77～78)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 壊死（ネクローシス）とアポトーシス c 創傷と治癒	病理学：第2章 A-3「細胞の死」(p.19) 病態生理学：第1章 C-2「細胞の死」(p.10～11) 医学概論：第5章 A-3-3「壊死」(p.78) 病理学：第2章 B「組織の修復と創傷治癒」(p.23～26) 病態生理学：第1章 C-4-2「創傷治癒」(p.13) 臨床外科看護総論：第1章 E「創傷治癒」(p.34～52) 救急看護学：第6章 O「創傷処置」(p.341～342) クリティカルケア看護学：第3章 I-1-3「創傷の治癒過程」(p.99)
	B 生体の障害	a 循環障害、臓器不全 b 炎症、損傷 c 免疫異常、アレルギー d 内分泌・代謝異常 e 廃用症候群 f 老年症候群	成人看護学 [3] (循環器)：第3章 H「ショック」(p.44～46) 病理学：第3章「循環障害」(p.28～48) 病態生理学：第1章 B「循環障害」(p.4～8) 救急看護学：第5章 D-1「ショックとは」(p.192～195) クリティカルケア看護学：第3章 D「循環障害とケア」(p.63～70)、G「多臓器障害とケア」(p.85～93) 医学概論：第5章 A-1「血行障害による病変」(p.72～77) 病理学：第4章 A「炎症とその分類」(p.50～54) 病態生理学：第1章 C-4「炎症」(p.12～14) 薬理学：第4章 B「炎症と抗炎症薬」(p.118～124) 微生物学：第7章 A-6「炎症性サイトカインと急性期反応」(p.103) 臨床外科看護総論：第1章 C「炎症」(p.21～25)、第2章 C-1「外傷」(p.63～67) クリティカルケア看護学：第3章 A-2「侵襲に対する生体反応」(p.43～48)、I「損傷とケア」(p.98～105) 医学概論：第5章 A-4「炎症」(p.78～85) 成人看護学 [11] (アレルギー)：第2章 C「アレルギーのしくみ」(p.21～25)、第4章「症状と疾患の理解」(p.36～46) 成人看護学 [11] (膠原病)：第2章「自己免疫疾患とその機序」(p.98～102)、第3章「症状とその病態生理」(p.104～109)、第5章「疾患の理解」(p.124～150) 病理学：第4章 B「免疫と免疫不全」(p.54～60)、D「アレルギーと自己免疫疾患」(p.61～69) 病態生理学：第3章 C「免疫反応の過剰」(p.46～54) 微生物学：第7章 B-7「アレルギー(過敏症)」(p.124)、B-8「自己寛容と自己免疫」(p.124) 成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章 A「内分泌疾患」(p.82～132)、B「代謝疾患」(p.132～184) 生化学：第17章「代謝の異常」(p.252～263) 病理学：第6章「代謝障害」(p.94～104)、第15章「内分泌系の疾患」(p.276～286) 病態生理学：第10章「内分泌・代謝のしくみと病態生理」(p.196～220) 成人看護学 [10] (運動器)：第5章 K「廃用症候群」(p.188) 老年看護 病態・疾患論：第6章 B「寝たきり患者のリハビリテーション」(p.280～281) 病理学：第7章 A「個体の老化と老年症候群」(p.106～107) リハビリテーション看護：第3章 B-3「骨折のリハビリテーションプログラム」(p.94～96)、B-4-2「関節拘縮」(p.102～106)、B-4-3「筋萎縮」(p.106～115)、第4章 A-5-2「運動障害」(p.148～164)、B-5-1「運動障害」(p.201～218) 老年看護 病態・疾患論：第2章「老年症候群」(p.38～79) 病理学：第7章 A「個体の老化と老年症候群」(p.106～107)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		g 遺伝子異常、先天異常	病態生理学：第1章 G-1-2「個体の老化」(p.24～25) 小児看護学 [2] (小児臨床看護各論)：第1章「染色体異常・胎内環境により発症する先天異常と看護」(p.2～14) 生化学：第19章「先天性代謝異常」(p.292～296) 病理学：第8章「先天異常と遺伝子異常」(p.116～134) 病態生理学：第1章 F「先天異常と遺伝子異常」(p.21～24)
		h 腫瘍	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 A-2「脳腫瘍」(p.146～151) 病理学：第9章「腫瘍」(p.136～166) 病態生理学：第1章 F「腫瘍」(p.18～21) 臨床外科看護総論：第2章 B「腫瘍」(p.55～63) がん看護学：第2章「がんの病態と臨床経過」(p.44～88) 医学概論：第5章 A-5「腫瘍」(p.85～94)
		i 中毒、放射性障害	病理学：第9章 C-2「腫瘍の発生因子」(p.156) 救急看護学：第5章 K「中毒への対応」(p.258～263)、第5章 NOTE「放射線障害」(p.257) 臨床放射線医学：第11章 A「放射線障害」(p.246～250)
	C 感染	a 人と病原体の関わり	成人看護学 [11] (感染症)：第1章 A「あなたを取り巻く感染症」(p.200～202) 微生物学：第1章 B「微生物と人間」(p.7)、第2章 E「常在細菌叢」(p.34～37)、第6章 A-2「生体と病原体」(p.71～72)
		b ウイルス	成人看護学 [11] (感染症)：第2章 A「感染症とはなにか」(p.210～212) 病理学：第5章 B「おもな病原体と感染症」(p.82～87) 病態生理学：第1章 D-1-2「病原体」(p.15) 薬理学：第1章「抗感染症薬」(p.62～88) 微生物学：第5章「ウイルスの性質」(p.56～66)、第16章「おもなウイルスとウイルス感染症」(p.308～360) 臨床検査：第8章 C-6「ウイルス」(p.250～253)
		c 細菌	成人看護学 [11] (感染症)：第2章 A「感染症とはなにか」(p.210～212) 成人看護学 [12] (皮膚)：第5章 F「感染症」(p.133～156) 病理学：第5章 B「おもな病原体と感染症」(p.82～87) 病態生理学：第1章 D「感染症」(p.14～18) 薬理学：第1章「抗感染症薬」(p.62～88) 微生物学：第2章「細菌の性質」(p.14～38)、第13章「病原細菌と細菌感染症」(p.216～284) 臨床検査：第8章 C「各種病原体と検査」(p.241～256)
		d 真菌	成人看護学 [11] (感染症)：第2章 A「感染症とはなにか」(p.210～212) 薬理学：第1章「抗感染症薬」(p.62～88) 微生物学：第3章「真菌の性質」(p.40～96)、第14章「病原真菌と真菌感染症」(p.286～294) 臨床検査：第8章 C-2「真菌」(p.248～249)
		e 薬剤耐性 (AMR) (多剤耐性菌)	成人看護学 [11] (感染症)：第5章 T「多剤耐性菌感染症」(p.318～320) 病理学：第5章 C-3「薬剤耐性菌」(p.89) 病態生理学：第1章 D-3-2「病原体と化学療法薬」(p.17～13) 薬理学：第1章 A-3「薬物耐性」(p.65) 微生物学：第11章 A-3「薬剤耐性」(p.174～175)、第12章 C-2-3「院内感染で問題となっている薬剤耐性菌」(p.203)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			臨床検査：第8章 B-5「耐性菌の検査」(p.230～231)

目標Ⅲ. 疾病に対する診断・治療について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
4 疾病に対する医療	A 疾病の診断の基本と方法	a 医療面接(問診)、身体診察(視診・触診・聴診・打診)	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ)：第2章 C-1「フィジカルアセスメントに必要な技術」(p.74～81) 病理学：付章「病理診断の実際」(p.320～329) 臨床検査：第1章 B-1「検体検査」(p.8) 臨床検査：第10章Ⅰ「生理機能検査」(p.273～318) 臨床検査：第10章Ⅱ「画像検査」(p.318～328) 臨床放射線医学：第1部「画像診断」(p.18～168) 成人看護学 [5] (消化器)：第4章 B-6「内視鏡検査」(p.92～97) 臨床検査：第10章Ⅲ「内視鏡検査」(p.328～333) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第3章 B-NOTE「心理的特性をはかる検査」(p.103～104)
	B 疾病に対する薬物療法	b 検体検査	
		c 生体機能検査	
		d 画像検査	
		e 内視鏡検査	
		f 心理・精神機能検査	
	B 疾病に対する薬物療法	a 与薬方法	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第9章「与薬の技術」(p.285～343) 看護の統合と実践 [2] (医療安全)：第2章 E-1「事故の視点からみた内服と薬業務の特性——注射業務との違いから理解する」(p.94～98) 薬理学：第2章 B-1「薬物の投与経路」(p.24～28) 臨床薬理学：第1章 A「医薬品の取り扱い」(p.6～22)、B-1「患者と薬物療法」(p.23～25) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第9章 A-1「薬物の基本知識」(p.286～288) 薬理学：第2章 B-1「薬物の投与経路」(p.24～28) 臨床薬理学：第1章 A「医薬品の体内動態と薬物相互作用」(p.12～17) 薬理学：第2章 A「薬が作用するしくみ(薬力学)」(p.16～22) 臨床薬理学：第1章 A「医薬品の体内動態と薬物相互作用」(p.12～17) 薬理学：第2章 E-2「薬物の副作用」(p.48～51) 臨床薬理学：第1章 B-2「薬物治療の評価」(p.26～30)
		b 薬物動態(吸収、分布、代謝、排泄)	
		c 薬効	
		d 薬理作用と副作用(有害事象)	
	C 疾病に対する薬物療法以外の治療	a 手術、麻酔	[「成人看護学」各巻の第4章 B または C] 薬理学：第6章 B「全身麻酔薬」(p.155～159) 臨床外科看護総論：第3章 A「麻酔法」(p.76～101)、第4章「外科的治療の実際」(p.144～182) クリティカルケア看護学：第4章「過大侵襲に伴う手術患者の特徴とケア」(p.116～143) 臨床薬理学：第2章 F「鎮静薬」(p.65～72)、第4章 G-1「硬膜外カテーテルによる鎮痛薬の投与と投与量の調整」(p.297～303) 病理学：第9章 D-4-2「放射線療法」(p.162) がん看護学：第4章 C「放射線療法」(p.180～200) 臨床放射線医学：第2部「放射線治療」(p.169～242) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第9章 H-2-4「静脈内注射」(p.320～336)、I「輸血管理」(p.337～343) 成人看護学 [4] (血液・造血器)：第4章 C-5-2「出血とその対策」(p.87～90) 看護の統合と実践 [2] (医療安全)：第2章 D「輸血業務と事故防止」(p.81～93) 薬理学：付章「輸液製剤・輸血剤」(p.298～311) 臨床外科看護総論：第3章 E「輸血療法」(p.124～135) 救急看護学：第6章 H-2「輸血」(p.315～316) 臨床検査：第6章 H「輸血に関する検査」(p.189～192)
		b 放射線治療	
		c 輸血	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d リハビリテーション、運動療法	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 8 章「障害がある人の生活とリハビリテーション」(p.222~236) 成人看護学 [3] (循環器) : 第 6 章 F「心臓リハビリテーションと看護」(p.348~357) 成人看護学 [7] (脳・神経) : 第 6 章 C-2-2「リハビリテーションを受ける患者の看護」(p.316~320) リハビリテーション看護 : 全体 医学概論 : 第 7 章 E「リハビリテーション医学」(p.116~119)
		e 食事療法	栄養食事療法 : 全体
		f 臓器移植、再生医療	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 13 章 A-2-1「臓器移植」(p.407) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第 4 章 F「腎移植」(p.111~113) 病理学 : 第 4 章 D「移植と再生医療」(p.69~74) 臨床外科看護総論 : 第 4 章 C「臓器移植」(p.169~182) 臨床外科看護各論 : 第 1 章 I-A-6-3「肺がんの治療・予後」(p.17~21)、第 2 章 I-A-5-2「心臓移植」(p.111)、第 3 章 I-D-11「肝移植」(p.272~273) 救急看護学 : 第 5 章 O-1-4「脳死と臓器移植」(p.277~279) クリティカルケア看護学 : 第 4 章 G「肺移植後の看護」(p.139~142)
		g 人工臓器・透析	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第 4 章 E「透析療法」(p.103~110)
		h 精神療法	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 6 章 C「精神療法」(p.256~274)
	D 医療による健康被害	a 薬害(化学物質)	成人看護学 [11] (感染症) : 第 5 章 R-1「HIV 感染症」(p.310~313) 病理学 : 第 1 章 B-3-2「医原病」(p.11) 病態生理学 : 第 1 章 A-2-2「公害病・医原病・職業病」(p.3~4) 公衆衛生 : 第 7 章 F-2-2「難病対策」(p.239)
		b ウイルス性肝炎	成人看護学 [5] (消化器) : 第 5 章 D-1「肝炎」(p.209~228) 成人看護学 [11] (感染症) : 第 5 章 F-4「ウイルス性肝炎」(p.281~283) 病理学 : 第 13 章 D-2-2「ウイルス性肝炎」(p.243~245) 微生物学 : 第 16 章 C-1「肝炎ウイルス」(p.350~357)
		c 院内感染	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 13 章 A-2「院内感染の防止」(p.423~426) 成人看護学 [11] (感染症) : 第 5 章 T「多剤耐性菌感染症」(p.318~320) 病理学 : 第 5 章 C-2「院内感染」(p.90) 微生物学 : 第 12 章 B-2「院内感染とその特徴」(p.202~203)
		d 針刺し事故	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 13 章 H「針刺し防止策」(p.456~459) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第 7 章 B-3-3「注射・点滴実施時の間違い」(p.235~236) 臨床検査 : 第 2 章 E-3-1「採血時の針刺し事故とその対策」(p.50~51)

目標Ⅳ. 各疾患の病態と診断・治療について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
5 呼吸機能	A 呼吸器系の疾患の病態と診断・治療	a 炎症性疾患(気管支炎、肺炎、間質性肺炎、胸膜炎)	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第 5 章 A-1-2 「急性気管支炎」 (p.139)、A-3 「肺炎」 (p.142~153)、B 「間質性肺炎」 (p.164~176)、I-1-1 「胸膜炎」 (p.211~212) 成人看護学 [11] (感染症) : 第 5 章 B 「上気道感染症」 (p.270~272)、C 「下気道感染症」 (p.272~274) 病理学 : 第 12 章 A-1 「気道」 (p.202)、B-2 「肺炎」 (p.206~213) 病態生理学 : 第 7 章 C 「呼吸器系の防御機構の障害」 (p.126~132)
		b 気管支喘息	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第 5 章 C-1 「気管支喘息」 (p.176~181) 成人看護学 [11] (アレルギー) : 第 4 章 A 「気管支喘息」 (p.36~38) 小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第 5 章 B-2-2 「気管支喘息」 (p.110~114) 病理学 : 第 12 章 B-3-3 「気管支喘息」 (p.215~216) 病態生理学 : 第 7 章 B-4 「気管支喘息」 (p.131~132) 臨床薬理学 : 第 3 章 F 「気管支喘息」 (p.111~119)
		c 慢性閉塞性肺疾患 (COPD)	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第 5 章 C-3 「慢性閉塞性肺疾患」 (p.183~188) 病理学 : 第 12 章 B-3-NOTE 「慢性閉塞性肺疾患」 (p.214) 病態生理学 : 第 7 章 D-5 「閉塞性肺疾患」 (p.135~138) リハビリテーション看護 : 第 5 章 A 「慢性閉塞性肺疾患」 (p.264~280) 臨床検査 : 第 10 章 I-B 「呼吸機能検査」 (p.292~302) 臨床薬理学 : 第 3 章 G 「慢性閉塞性肺疾患」 (p.120~124)
		d 肺循環障害(肺高血圧、肺塞栓症)	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第 5 章 D 「肺血栓塞栓症」 (p.188~191)、E-3 「肺性心」 (p.194~195) 病理学 : 第 12 章 B-4 「肺の循環障害」 (p.217) 病態生理学 : 第 7 章 F 「肺循環の障害」 (p.138~139)
		e 肺結核	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第 5 章 A-4 「結核」 (p.153~164) 成人看護学 [11] (感染症) : 第 5 章 C-3 「肺結核」 (p.273~274) 病理学 : 第 12 章 B-2-1 「肺結核症」 (p.208) 病態生理学 : 第 7 章 C-2-5 「肺結核」 (p.130) 臨床検査 : 第 8 章 C-3 「抗酸菌」 (p.249)
		f 気胸	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第 5 章 I-3 「自然気胸」 (p.212~215) 病理学 : 第 12 章 C-3 「気胸」 (p.221) 病態生理学 : 第 7 章 B-2-2 「気胸」 (p.134) 臨床外科看護各論 : 第 1 章 I-B-1 「自然気胸」 (p.22~23)
		g 腫瘍(肺癌、中皮腫)	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第 5 章 G 「肺腫瘍」 (p.197~210)、I-5 「胸膜腫瘍」 (p.215~216) 病理学 : 第 12 章 B-5 「肺腫瘍」 (p.218~221)、C-1-4 「悪性胸膜中皮腫」 (p.222) 病態生理学 : 第 7 章 D-3 「気道における空気の通過障害」 (p.134) 臨床外科看護各論 : 第 1 章 I-A-5 「肺良性腫瘍」 (p.13)、I-A-6 「肺がん」 (p.13~21)、I-B-3 「悪性胸膜中皮腫」 (p.23) がん看護学 : 第 4 章 C-2-1 「治療決定の例(肺がん)」 (p.186~187) 臨床検査 : 第 6 章 G 「腫瘍マーカーの検査」 (p.185~188)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
6 循環機能	A 心臓の疾患の病態と診断・治療	a 先天性心疾患(心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、動脈管開存症、Fallot〈フアロー〉四徴症)	成人看護学 [3] (循環器) : 第 5 章 I 「先天性心疾患」 (p.211~220) 小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第 8 章 B-2 「先天性心疾患」 (p.193~202) 病理学 : 第 9 章 B-2 「先天性心疾患(心奇形)」 (p.174~177) 病態生理学 : 第 6 章 A-2-c-1 「先天性心疾患」 (p.100~103) 臨床外科看護各論 : 第 6 章 I-D 「先天性心疾患」 (p.513~532) 臨床検査 : 第 10 章 I-A 「循環機能検査」 (p.273~292)、II-A-2 「心臓超音波(心エコー)検査」 (p.319~321)
		b 虚血性心疾患(狭心症、急性冠症候群)	成人看護学 [3] (循環器) : 第 5 章 A 「虚血性心疾患」 (p.120~149) 病理学 : 第 10 章 B-5 「虚血性心疾患」 (p.179~180) 病態生理学 : 第 6 章 A-2-a 「冠循環の異常」 (p.93~97) 臨床外科看護各論 : 第 2 章 I-A-3-b 「虚血性心疾患」 (p.99~105) リハビリテーション看護 : 第 5 章 B 「虚血性心疾患」 (p.281~298) 臨床検査 : 第 5 章 B-3 「心筋マーカー」 (p.121~122)、第 10 章 I-A 「循環機能検査」 (p.273~292) 臨床薬理学 : 第 3 章 B 「急性冠症候群」 (p.86~91)
		c 心筋症(肥大型心筋症、拡張型心筋症)	成人看護学 [3] (循環器) : 第 5 章 G-1 「心筋症」 (p.205~209) 病理学 : 第 10 章 B-6 「心筋症」 (p.183) 病態生理学 : 第 6 章 A-2-c-3 「心筋症」 (p.105) 臨床検査 : 第 5 章 B-3 「心筋マーカー」 (p.121~122)、第 10 章 I-A 「循環機能検査」 (p.273~292)
		d 心不全(急性心不全、慢性心不全)	成人看護学 [3] (循環器) : 第 5 章 B 「心不全」 (p.149~161) 病理学 : 第 10 章 B-3 「心不全」 (p.177~187) 病態生理学 : 第 6 章 A-2-e 「心不全」 (p.106~107) 臨床検査 : 第 5 章 B-3 「心筋マーカー」 (p.121~122)、第 10 章 I-A 「循環機能検査」 (p.273~292) 臨床薬理学 : 第 3 章 C 「心不全」 (p.92)
		e 心タンポナーデ	成人看護学 [3] (循環器) : 第 5 章 F-2 「心タンポナーデ」 (p.204) 病理学 : 第 10 章 B-5-2 「心筋梗塞」 (p.180~183) 病態生理学 : 第 6 章 b 「心膜の障害」 (p.105~106) 救急看護学 : 第 5 章 I-1-3 「各部の外傷」 (p.231~238) 臨床検査 : 第 10 章 I-A 「循環機能検査」 (p.273~292)、II-A-2 「心臓超音波(心エコー)検査」 (p.319~321)
		f 不整脈(上室性頻脈性不整脈、心室性頻脈性不整脈、徐脈性不整脈)	成人看護学 [3] (循環器) : 第 5 章 D 「不整脈」 (p.171~198) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第 3 章 E-5 「不整脈」 (p.55) 病態生理学 : 第 6 章 A-2-b 「心筋収縮の指令の障害(不整脈)」 (p.97~100) 臨床外科看護各論 : 第 2 章 I-A-4 「不整脈の外科的治療」 (p.105~107) 臨床検査 : 第 10 章 I-A 「循環機能検査」 (p.273~292) 臨床薬理学 : 第 3 章 D 「不整脈」 (p.99~104)
		g 炎症性疾患(感染性心内膜炎、心筋炎、収縮性心膜炎)	成人看護学 [3] (循環器) : 第 5 章 E 「弁膜症」 (p.198~203)、F 「心膜炎」 (p.204~205) 成人看護学 [11] (感染症) : 第 5 章 D 「心血管系感染症」 (p.274~276) 病理学 : 第 10 章 B-7 「心内膜と心膜の疾患」 (p.183~184)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		h 弁膜症(大動脈弁疾患、僧帽弁疾患)	病態生理学：第6章 A-2-c-2「弁膜の機能不全」(p.103～105)、A-2-d「心膜の障害」(p.105～106) 臨床外科看護各論：第2章 I-A-3-a-4「感染性心内膜炎」(p.98～99) 臨床検査：第5章 B-3「心筋マーカー」(p.121～122)、第10章 I-A「循環機能検査」(p.273～292) 成人看護学 [3] (循環器)：第5章 E「弁膜症」(p.198～203) 病理学：第10章 B-8「心臓弁膜症」(p.185～186)
	B 血管系の疾患の病態と診断・治療	a 大動脈瘤、大動脈解離	成人看護学 [3] (循環器)：第5章 J-1「大動脈瘤」(p.220～221) 病理学：第10章 A-3「動脈瘤・大動脈解離」(p.173) 病態生理学：第6章 B-2-c-2「動脈瘤」(p.115) 臨床外科看護各論：第2章 I-B-3「動脈瘤」(p.123～130)
		b 閉塞性動脈硬化症	成人看護学 [3] (循環器)：第5章 J-3-4「閉塞性動脈硬化症」(p.223) 病理学：第10章 A-2「動脈硬化症」(p.170～173) 病態生理学：第6章 B-2-c-1「動脈硬化症」(p.115) 臨床外科看護各論：第2章 I-B-2-2「慢性動脈閉塞」(p.114～118)
		c 挫滅症候群	救急看護学：第5章 I-1-3「各部の外傷」(p.231～238)
		d 下肢静脈瘤、深部静脈血栓症	成人看護学 [2] (呼吸器)：第5章 D「肺血栓塞栓症」(p.188～191) 成人看護学 [3] (循環器)：第5章 K-3「静脈瘤」(p.227～228) 病理学：第3章 F-1「血栓塞栓症」(p.37～38)、第10章 A-4「静脈の疾患」(p.173～174) 病態生理学：第6章 B-2-d「静脈の障害」(p.115～117) 臨床外科看護各論：第2章 I-B-4-1「下肢静脈瘤」(p.130～133)、I-B-4-2「深部静脈血栓症」(p.133～135)
	C 血圧異常の病態と診断・治療	a 動脈硬化症	成人看護学 [3] (循環器)：第5章 A-3「冠状動脈硬化の危険因子」(p.143～149) 病理学：第10章 A-2「動脈硬化症」(p.170～173) 病態生理学：第6章 B-2-c-1「動脈硬化症」(p.115)
		b 本態性高血圧	成人看護学 [3] (循環器)：第5章 C-2「本態性高血圧」(p.166～168) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第3章 E-1「高血圧」(p.52～53) 病理学：第3章 J「高血圧症」(p.44～46) 病態生理学：第6章 B-2-b「血圧の上昇による病態」(p.114)
		c 二次性高血圧	臨床薬理学：第3章 A「高血圧症」(p.80～85) 成人看護学 [3] (循環器)：第5章 C-3「二次性高血圧」(p.168～170) 病理学：第3章 J「高血圧症」(p.44～46) 病態生理学：第6章 B-2-b「血圧の上昇による病態」(p.114)
		d 起立性低血圧	臨床薬理学：第3章 A「高血圧症」(p.80～85) 成人看護学 [3] (循環器)：第5章 C-4-1「起立性低血圧」(p.170～171)
	D ショックの病態と診断・治療	a 心原性ショック	成人看護学 [3] (循環器)：第3章 H「ショック」(p.44～46) 病理学：第3章 I「ショック」(p.42～44) 救急看護学：第5章 D「ショック・循環障害への対応」(p.192～199)
		b 出血性ショック	成人看護学 [3] (循環器)：第3章 H「ショック」(p.44～46) 病理学：第3章 I「ショック」(p.42～44)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 血流分布異常性ショック	救急看護学：第5章D「ショック・循環障害への対応」(p.192～199) 成人看護学 [3] (循環器)：第3章H「ショック」(p.44～46) 病理学：第3章I「ショック」(p.42～44) 病態生理学：第6章B-2-a-2「ショック」(p.112～114) 救急看護学：第5章D「ショック・循環障害への対応」(p.192～199)
7 栄養の摂取・消化・吸収・代謝機能	A 口腔、咽頭の疾患の病態と診断・治療	a 炎症性疾患(咽頭炎、扁桃炎) b う歯、歯周病 c 腫瘍(舌癌、咽頭癌)	成人看護学 [11] (感染症)：第5章B-2「急性咽頭炎・扁桃腺炎」(p.270～271) 成人看護学 [14] (耳鼻咽喉)：第5章C-2-1「咽頭炎」(p.152)、C-2-2「急性扁桃炎」(p.152～153)、C-2-3「慢性(反復性)扁桃炎」(p.153～154) 病理学：第12章A「鼻腔・咽頭・喉頭の疾患」(p.202～205) 成人看護学 [15] (歯・口腔)：第5章「疾患の理解」(p.106～160) 成人看護学 [14] (耳鼻咽喉)：第5章C-2-8「上咽頭がん」(p.158)、C-2-9「中咽頭がん」(p.158)、C-2-10「下咽頭がん」(p.158～159) 成人看護学 [15] (歯・口腔)：第5章G-1-1「扁平上皮がん」(p.141～144) 病理学：第12章A-7「悪性腫瘍」(p.205) 臨床外科看護各論：第5章I-A-4「口腔がん」(p.438)、I-A-6「咽頭がん」(p.439～440)
	B 上部消化管の疾患の病態と診断・治療	a 炎症性疾患(逆流性食道炎、急性胃炎、慢性胃炎、ヘリコバクターピロリ感染症) b 潰瘍性疾患(胃潰瘍、十二指腸潰瘍) c 腫瘍(食道癌、胃癌)	成人看護学 [5] (消化器)：第5章A-3「胃食道逆流症」(p.149～152)、B-2「胃炎」(p.154～157)、B-3「胃・十二指腸潰瘍」(p.157～166) 病理学：第13章A-3「食道の疾患」(p.227～228)、B「胃の疾患」(p.228～234) 病態生理学：第8章B-2-2「逆流防止機構の障害」(p.147)、C-1「胃の防御機能の破綻」(p.148～150) 臨床外科看護各論：第3章I-A-4「逆流性食道炎」(p.176～178) 臨床検査：第5章B-6「ペプシノゲン(PG)」(p.127～128)、第8章C-1-4「グラム陰性桿菌」(p.244～248) 臨床薬理学：第3章I「胃食道逆流症」(p.132～136) 成人看護学 [5] (消化器)：第5章B「胃・十二指腸疾患」(p.152～173) 病理学：第13章B-2「胃の疾患」(p.229～231)、C-2「腸の疾患」(p.234～240) 病態生理学：第8章C-1「胃の防御機構の破綻」(p.148～150) 臨床外科看護各論：第3章I-B-2「胃・十二指腸潰瘍」(p.188～193) 臨床検査：第7章J「消化管ホルモンの検査」(p.218～219)、第10章Ⅲ「内視鏡検査」(p.328～333) 臨床薬理学：第3章H「胃・十二指腸潰瘍」(p.125～131) 成人看護学 [5] (消化器)：第5章A-1「食道がん」(p.142～148)、B-4「胃がん」(p.166～173) 病理学：第13章A-3-3「食道がん」(p.228)、B-2-3「胃がん」(p.231)、C-2-6「大腸がん」(p.239) 病態生理学：第8章B-2-3「食道がん」(p.148)、D-3「胃がん」(p.151) 臨床外科看護各論：第3章I-A-7「食道がん」(p.179～184)、I-B-3「胃がん」(p.193～201) がん看護学：第4章A-4「手術の種類」(p.141～150) 臨床検査：第10章Ⅲ「内視鏡検査」(p.328～333)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	C 下部消化管の疾患の病態と診断・治療	a 炎症性疾患(潰瘍性大腸炎、Crohn〈クローン〉病、虫垂炎、痔瘻)	成人看護学 [5] (消化器) : 第 5 章 C-2 「腸炎」 (p.175～181)、C-4 「虫垂炎」 (p.184～187) 成人看護学 [11] (感染症) : 第 5 章 E-2 「虫垂炎」 (p.278) 病理学 : 第 13 章 C-2 「腸の疾患」 (p.234～240) 臨床外科看護各論 : 第 3 章 I-C-4 「非特異性炎症性腸疾患」 (p.210～217)、I-C-6 「虫垂炎」 (p.219～220)、I-C-12-2 「痔瘻」 (p.239) 臨床検査 : 第 6 章 A 「炎症マーカーの検査」 (p.171～172)
		b イレウス	成人看護学 [5] (消化器) : 第 5 章 C-6 「イレウス(腸閉塞症)」 (p.189～193) 病理学 : 第 13 章 C-1-5 「イレウス」 (p.230) 病態生理学 : 第 8 章 D-3-2 「腸閉塞」 (p.154～155) 臨床外科看護各論 : 第 3 章 I-C-7 「イレウス」 (p.220～223)
		c 腫瘍(大腸ポリープ、結腸癌、直腸癌)	成人看護学 [5] (消化器) : 第 5 章 C-9 「腸管ポリープおよびポリポーシス」 (p.196～199)、C-10 「結腸がん、直腸がん」 (p.199～205) 病理学 : 第 13 章 C-2 「腸の疾患」 (p.234～240) 臨床外科看護各論 : 第 3 章 I-C-9 「腸管ポリープ」 (p.225～228)、I-C-11-1 「大腸がん」 (p.229～236) がん看護学 : 第 4 章 A-4 「手術の種類」 (p.141～150) 臨床検査 : 第 10 章 III 「内視鏡検査」 (p.328～333)
		d 排便障害(便秘、下痢)	成人看護学 [5] (消化器) : 第 3 章 F 「下痢」 (p.55～56)、G 「便秘」 (p.56～58) 臨床薬理学 : 第 2 章 C 「便秘治療薬」 (p.52～56)、D 「下痢治療薬」 (p.57～59)
	D 肝臓・胆嚢・膵臓の疾患の病態と診断・治療	a 炎症性疾患(肝炎、胆管炎、膵炎)	成人看護学 [5] (消化器) : 第 5 章 D-1 「肝炎」 (p.209～228)、D-8 「急性胆嚢炎および胆管炎」 (p.251)、E-1 「膵炎」 (p.255～260) 成人看護学 [11] (感染症) : 第 5 章 F 「肝胆道系感染症」 (p.279～283) 病理学 : 第 13 章 D-2 「肝臓・胆管・胆嚢の疾患」 (p.242～247)、E-2 「膵臓の疾患」 (p.251) 病態生理学 : 第 8 章 E-2 「肝細胞・肝小葉の障害」 (p.160～164)、F-2 「膵臓の機能の障害」 (p.169～170) 臨床外科看護各論 : 第 3 章 I-D-8 「胆嚢炎・胆管炎」 (p.267～269)、I-G-3 「膵炎」 (p.296～298) 臨床検査 : 第 5 章 B 「血清酵素の検査」 (p.123～128) 臨床薬理学 : 第 3 章 J 「慢性肝炎」 (p.137～145)
		b 肝硬変	成人看護学 [5] (消化器) : 第 5 章 D-2 「肝硬変症」 (p.228～235) 病理学 : 第 13 章 D-2-5 「肝硬変症」 (p.247) 病態生理学 : 第 8 章 E-2-4 「肝硬変」 (p.161) 臨床検査 : 第 5 章 B 「血清酵素の検査」 (p.123～128)
		c 腫瘍(肝癌、胆嚢癌、胆管癌、膵癌)	成人看護学 [5] (消化器) : 第 5 章 D-5 「肝(臓)がん」 (p.241～246)、D-9 「胆管がん」 (p.251～252)、D-10 「胆嚢がん」 (p.252～253)、E-2 「膵(臓)がん」 (p.260～262) 病理学 : 第 13 章 D-2-6 「肝がん」 (p.248)、E-2-3 「膵がん」 (p.252)、第 15 章 B-5 「膵島の疾患」 (p.285) 病態生理学 : 第 8 章 E-2-6 「肝がん」 (p.163)、F-2-3 「膵臓がん」 (p.170) 臨床外科看護各論 : 第 3 章 I-D-3 「肝(臓)がん」 (p.252～260)、I-D-10 「胆道がん」 (p.269～272)、I-G-5 「膵(臓)がん」 (p.296～298) 臨床検査 : 第 6 章 G 「腫瘍マーカーの検査」 (p.185～188)
		d 脂肪肝、アルコール性肝炎	成人看護学 [5] (消化器) : 第 5 章 D-1-7 「アルコール性肝障害」 (p.226)、D-1-8 「脂肪肝」 (p.227)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	E 腹壁・腹膜・横隔膜の疾患の病態と診断・治療	e 胆石症	病理学：第13章 D-2-3「脂肪性肝疾患」(p.245～246) 病態生理学：第8章 E-2「肝細胞・肝小葉の障害」(p.160～164) 臨床検査：第5章 B「血清酵素の検査」(p.123～128) 成人看護学 [5] (消化器)：第3章 D-7「胆石症」(p.246～250) 病理学：第6章 D-4「黄疸」(p.102～103)、第13章 D-2-7「胆嚢炎、胆石症」(p.250) 病態生理学：第8章 E-4「胆汁産生と胆道の障害」(p.165～166) 臨床外科看護各論：第3章 I-D-7「胆石症」(p.263～267) 臨床検査：第5章 E「胆汁排泄関連物質の検査」(p.140～143)
		a 鼠径ヘルニア	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論)：第9章 B-7-6「外鼠径ヘルニア」(p.256～257) 臨床外科看護各論：第3章 I-H-2-1「鼠径部ヘルニア」(p.311)、第6章 I-C-23「鼠径ヘルニア」(p.506)
		b 腹膜炎	成人看護学 [5] (消化器)：第5章 C-3「腹膜炎」(p.182～184)
		c 横隔膜ヘルニア、吃逆	成人看護学 [2] (呼吸器)：第5章 J-3-1「吃逆(しゃっくり)」(p.218)、J-3-3「横隔膜ヘルニア」(p.218～219)
8 内部環境調節機能	A 内分泌系の疾患の病態と診断・治療	a 間脳・下垂体疾患	成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章 A-1「視床下部——下垂体前葉系疾患」(p.82～94)、A-2「視床下部——下垂体後葉系疾患」(p.94～97) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 A-2-2「おもな脳腫瘍」(p.148～151) 病理学：第15章 B-1「下垂体の疾患」(p.277～279) 病態生理学：第10章 A-2「視床下部——下垂体系のはたらきとその異常」(p.197～200) 臨床外科看護各論：第4章 I-A-4-4「下垂体腺腫」(p.389～391) 臨床検査：第7章 A「下垂体前葉ホルモンの検査」(p.196～200)、B「下垂体後葉ホルモンの検査」(p.200～201)
		b 甲状腺疾患(甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、甲状腺炎)	成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章 A-3「甲状腺疾患」(p.79～112) 病理学：第15章 B-2「甲状腺の疾患」(p.279～281) 病態生理学：第10章 B-3「甲状腺のはたらきとその異常」(p.200～203) 臨床外科看護各論：第5章 I-B「甲状腺・副甲状腺(上皮小体)の疾患」(p.444～455) 臨床検査：第7章 C「甲状腺ホルモンの検査」(p.202～208)
		c 副甲状腺(上皮小体)疾患	成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章 A-4「副甲状腺疾患」(p.112～118) 病理学：第15章 B-3「副甲状腺の疾患」(p.281～282) 病態生理学：第10章 A-4「副甲状腺のはたらきとその異常」(p.204～205) 臨床外科看護各論：第5章 I-B「甲状腺・副甲状腺(上皮小体)の疾患」(p.444～455) 臨床検査：第7章 D「副甲状腺ホルモンの検査」(p.208～209)
		d 副腎皮質・髄質疾患	成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章 A-5「副腎疾患」(p.118～125) 病理学：第15章 B-4「副腎の疾患」(p.282～284) 病態生理学：第10章 A-5「副腎皮質のはたらきとその異常」(p.205～208)、B-6「副腎髄質のはたらきとその異常」(p.208)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		e 腫瘍(下垂体腫瘍、甲状腺癌)	臨床外科看護各論：第3章 I-I「副腎の疾患」(p.312～319) 臨床検査：第7章 E「副腎皮質ホルモンの検査」(p.209～214)、F「副腎髄質ホルモンの検査」(p.214～215) 成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章 A-1「視床下部——下垂体前葉系疾患」(p.82～94)、A-2「視床下部——下垂体後葉系疾患」(p.94～97)、A-3-6「甲状腺腫瘍」(p.108～112)、A-8「多発性内分泌腫瘍症」(p.128～129) 病理学：第15章 B-1-2「下垂体腺腫」(p.278)、B-2-5「甲状腺がん」(p.281) 臨床外科看護各論：第4章 I-A-4-4「下垂体性腺腫」(p.389～391)、第5章 I-B-3「甲状腺腫瘍」(p.450～453) 臨床検査：第7章 A「下垂体前葉ホルモンの検査」(p.196～200)、B「下垂体後葉ホルモンの検査」(p.200～201)、C「甲状腺ホルモンの検査」(p.202～208)
	B 代謝異常の疾患の病態と診断・治療	a メタボリックシンドローム、肥満症	成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章 B-3「肥満症とメタボリックシンドローム」(p.175～180) 病理学：第6章 A-1「肥満」(p.94) 臨床検査：第5章 D「脂質代謝の検査」(p.135～140)
		b 糖尿病	成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章 B-1「糖尿病」(p.132～164) 病理学：第6章 C「糖尿病」(p.98～100) 病態生理学：第10章 B「糖代謝とその異常」(p.209～214) 臨床検査：第5章 C「糖代謝の検査」(p.128～135) 臨床薬理学：第3章 M「糖尿病」(p.159～168)、第4章 C「インスリンの投与量の調整」(p.252～258)
		c 脂質異常症	成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章 B-2「脂質異常症」(p.165～174) 病理学：第6章 A-4「脂質異常症」(p.96～97) 病態生理学：第10章 C「脂質代謝とその異常」(p.215～217) 臨床検査：第5章 D「脂質代謝の検査」(p.135～140) 臨床薬理学：第3章 N「脂質異常症」(p.169～174)
		d 高尿酸血症、痛風	成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章 B-4「尿酸代謝異常」(p.180～184) 病理学：第6章 D-2「痛風」(p.101) 病態生理学：第10章 D「尿酸代謝とその異常」(p.217～218)
		e ビタミン欠乏症	臨床検査：第5章 E「窒素化合物の検査」(p.143～145) 生化学：第11章「ビタミンと補酵素」(p.150～164) 栄養学：第9章 F-3-5「ビタミンの欠乏症・過剰症」(p.217～218) 臨床検査：第5章 M「ビタミンの検査」(p.143～145)
	C 体液調節の疾患の病態と診断・治療	a 水・電解質の異常(脱水、浮腫、低ナトリウム血症、高カリウム血症)	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第3章 C「浮腫」(p.49～51)、D「脱水」(p.51～52)、E-4「電解質の異常」(p.57～58) 病態生理学：第4章 A-2「体液・電解質の異常」(p.59～65) 救急看護学：第5章 G「体液・代謝異常への対応」(p.216～224) クリティカルケア看護学：第5章 C「体液・循環管理」(p.159～164) 臨床検査：第5章 I「水・電解質の検査」(p.152～157) 臨床薬理学：第4章 A-5「持続点滴中の糖質・電解質輸液の投与量の調整」(p.231～237)、B-1「脱水症状に対する輸液による補正」(p.238～243)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 酸塩基平衡の異常(アシドーシス、アルカローシス)	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第 2 章 B-4 「酸塩基平衡」 (p.38~39)、第 4 章 B-8-2 「酸塩基平衡」 (p.105~108) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第 3 章 E-5 「酸塩基平衡の障害」 (p.58~59) 生化学 : 第 6 章 C 「酸塩基平衡」 (p.73~75) 病態生理学 : 第 4 章 B-2 「酸・塩基平衡の異常」 (p.67~70) クリティカルケア看護学 : 第 5 章 C 「体液・循環管理」 (p.159~164) 臨床検査 : 第 5 章 J 「血液ガス分析」 (p.157~162)
9 造血機能	A 血液・造血器の疾患の病態と診断・治療	a 貧血(鉄欠乏性貧血、巨赤芽球性貧血、溶血性貧血、骨髄異形成症候群、二次性貧血) b 白血球減少症 c 出血性疾患(血栓性血小板減少性紫斑病〈TTP〉、免疫性血小板減少性紫斑病〈ITP〉、播種性血管内凝固〈DIC〉) d 腫瘍(白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫)	成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第 3 章 A-1 「貧血」 (p.33)、C 「貧血」 (p.39~41)、第 4 章 A 「赤血球系の異常」 (p.50~67) 病理学 : 第 11 章 A-2 「貧血」 (p.190~191) 病態生理学 : 第 5 章 B-2 「赤血球の障害」 (p.75~79) 成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第 3 章 C-3 「白血球減少症」 (p.43~44)、第 4 章 B-1 「無顆粒球症」 (p.67) 病理学 : 第 11 章 A-3-2 「白血球減少症」 (p.192) 病態生理学 : 第 5 章 C-2-1 「白血球減少症」 (p.82) 成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第 3 章 A-4 「出血傾向」 (p.35)、C-6 「出血性素因」 (p.46~48)、第 4 章 D 「出血性疾患」 (p.125~133) 病理学 : 第 3 章 K 「播種性血管内凝固」 (p.47~48)、第 11 章 A-7 「出血性疾患」 (p.195~196) 病態生理学 : 第 5 章 D-2 「出血傾向」 (p.86~88) クリティカルケア看護学 : 第 3 章 F 「凝固・線溶系障害とケア」 (p.78~84) 成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第 4 章 C 「造血器腫瘍」 (p.69~89) 病理学 : 第 11 章 A-4 「白血病」 (p.192)、A-6 「形質細胞腫と多発性骨髄腫」 (p.194)、B-2 「悪性リンパ腫」 (p.196~199) 病態生理学 : 第 5 章 C-3 「白血球の腫瘍化」 (p.82~84)
10 免疫機能	A 自己免疫疾患の病態と診断・治療	a 全身性エリテマトーデス〈SLE〉 b 関節リウマチ c Sjögren 〈シェーグレン〉症候群	成人看護学 [11] (膠原病) : 第 5 章 B 「全身性エリテマトーデス」 (p.130~133) 病理学 : 第 4 章 C-3 「膠原病と類縁疾患」 (p.68~69) 病態生理学 : 第 3 章 C-2-2 「全身性自己免疫疾患」 (p.52) 成人看護学 [10] (運動器) : 第 5 章 B-2 「関節リウマチとその類縁疾患」 (p.136~143) 成人看護学 [11] (膠原病) : 第 5 章 A 「関節リウマチ」 (p.128~130) 病理学 : 第 4 章 C-3 「膠原病と類縁疾患」 (p.68~69)、第 17 章 4-3 「関節リウマチ」 (p.309) 病態生理学 : 第 3 章 C-2-2 「全身性自己免疫疾患」 (p.52) リハビリテーション看護 : 第 3 章 C 「関節リウマチ」 (p.116~133) 臨床薬理学 : 第 3 章 P 「関節リウマチ」 (p.179~184) 成人看護学 [11] (膠原病) : 第 5 章 G 「シェーグレン症候群」 (p.142~143) 病理学 : 第 4 章 C-3 「膠原病と類縁疾患」 (p.68~69) 病態生理学 : 第 3 章 C-2-2 「全身性自己免疫疾患」 (p.52)
	B アレルギー性疾患の病態と診断・治療	a 花粉症(アレルギー性鼻炎)	成人看護学 [11] (アレルギー) : 第 4 章 B 「アレルギー性鼻炎」 (p.38) 病理学 : 第 4 章 C-1-1 「I 型アレルギー(即時型アレルギー)」 (p.61~62) 病態生理学 : 第 3 章 C-1 「I 型アレルギー」 (p.46~48)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 蕁麻疹	臨床検査：第6章E「アレルギー検査」(p.183～184) 成人看護学 [11] (アレルギー)：第4章F「蕁麻疹」(p.43～44) 成人看護学 [12] (皮膚)：第5章A-2-1「蕁麻疹」(p.86～87) 病理学：第18章B-3「蕁麻疹」(p.316)
		c 接触皮膚炎	病態生理学：第3章C-1「I型アレルギー」(p.46～48) 成人看護学 [11] (アレルギー)：第4章G「接触皮膚炎」(p.44～45) 成人看護学 [12] (皮膚)：第5章A-1-2「接触皮膚炎」(p.82～83)
		d アナフィラキシーショック	病理学：第4章C-1-4「IV型アレルギー(遅延型アレルギー)」(p.66)、第17章B-3「接触皮膚炎」(p.316) 病態生理学：第3章C-4「IV型アレルギー」(p.50) 成人看護学 [11] (アレルギー)：第4章E「アナフィラキシーショック」(p.42～43) 病理学：第3章I「ショック」(p.42～44) 病態生理学：第6章B-2-a-1「ショック」(p.112～114) 救急看護学：第5章D「ショック・循環障害への対応」(p.192～199)
	C 免疫低下に関連する疾患の病態と診断・治療	a 敗血症	成人看護学 [11] (感染症)：第2章C-2「SIRSと敗血症」(p.219～221) 病理学：第5章A-1「感染と体内での拡散」(p.76～79) 病態生理学：第1章B-4-4「敗血症」(p.14)
		b ヒト免疫不全ウイルス〈HIV〉感染症	成人看護学 [11] (感染症)：第5章R-1「HIV感染症」(p.310～313) 母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第7章I B-14「後天性免疫不全症候群(エイズ)」(p.381) 病理学：第4章B-4「免疫不全症」(p.60) 病態生理学：第3章B-3「T細胞の機能低下」(p.45) 微生物学：第16章B-11-2「ヒト免疫不全ウイルス」(p.347～350)
11 神経機能	A 中枢神経系の疾患の病態と診断・治療	a 脳血管障害(脳内出血、くも膜下出血、脳梗塞、もやもや病)	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章A-1「脳血管障害」(p.124～146) 病理学：第16章A-2「脳・神経系の循環障害(脳血管障害)」(p.288～293) 病態生理学：第12章B-2「脳循環障害」(p.240～242) 臨床外科看護各論：第4章I-A-3「脳血管疾患」(p.381～385) リハビリテーション看護：第4章A「脳血管障害」(p.136～196)
		b 頭蓋内圧亢進症	成人看護学 [7] (脳・神経)：第3章B-6「頭蓋内圧亢進と脳ヘルニア(脳嵌入)」(p.81～85)、第5章A-2「脳腫瘍」(p.146～151) 病理学：第16章A-2-6「頭蓋内圧亢進症」(p.293) 病態生理学：第12章C-2「脳圧の異常による障害」(p.243) 救急看護学：第5章A-2-1「意識障害時の救急処置」(p.178～179)
		c 変性疾患(Parkinson〈パーキンソン〉病、筋萎縮性側索硬化症〈ALS〉)	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章E-2「脳・神経の変性疾患」(p.187～198) 病理学：第16章A-4「変性疾患」(p.297～299) 病態生理学：第12章H-3-2「パーキンソン病」(p.262～264)、I-2「筋萎縮性側索硬化症(ALS)」(p.262～263) リハビリテーション看護：第4章B「パーキンソン病」(p.197～226)
		d 脱髄疾患(多発性硬化症)	臨床薬理学：第3章Q「パーキンソン病」(p.185～190) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章E-1「脱髄疾患」(p.184～187)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		e 認知症 (Alzheimer〈アルツハイマー〉病、血管性認知症、Lewy〈レビー〉小体型認知症)	病理学：第16章 A-5「脱髄疾患」(p.300～301) 病態生理学：第12章 A-5-1「多発性硬化症」(p.300～301) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 I「認知症」(p.217～224) 老年看護 病態・疾患論：第4章 A「認知症」(p.119～134) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章 C-7-1「認知症」(p.210～205) 病理学：第16章 A-4-1「アルツハイマー病」(p.286～287) 病態生理学：第12章 G-3「認知症」(p.252) 臨床薬理学：第3章 R「認知症(アルツハイマー病)」(p.191～195)
		f 感染症(脳炎、髄膜炎)	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 A-3「脳の感染症」(p.198～207) 成人看護学 [11] (感染症)：第5章 K「中枢神経感染症」(p.293～294) 病理学：第16章 A-3「脳・神経系の感染症」(p.294～297)
		g 頭部外傷	病態生理学：第12章 D-4「髄膜炎と脳炎」(p.245) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 A-3「頭部外傷」(p.152～157) 病理学：第16章 A-2-5「頭部外傷」(p.292) 臨床外科看護各論：第4章 I-A-2「頭部外傷」(p.378～381)
		h 脊髄損傷	救急看護学：第5章 I-1-3「各部の外傷」(p.231～238) 成人看護学 [10] (運動器)：第5章 D-1「脊髄損傷」(p.117) 臨床外科看護各論：第4章 I-B-4「外傷に伴う脊髄疾患」(p.398～400) 救急看護学：第5章 I-1-3「各部の外傷」(p.231～238) リハビリテーション看護：第4章 C「脊髄損傷」(p.226～259)
		i 機能的疾患(てんかん)	成人看護学 [7] (脳・神経)：第3章 B-8「頭痛」(p.86～88)、第5章 H「てんかん」(p.212～217) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章 C-9「てんかん」(p.225～227) 病態生理学：第12章 E「頭痛」(p.247～248)、H-4「けいれん・てんかん」(p.256～258) 臨床薬理学：第3章 T「てんかん」(p.203～208)
		j 腫瘍(脳腫瘍)	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 A-2「脳腫瘍」(p.146～151) 病理学：第16章 A-6「脳腫瘍」(p.301～302) 病態生理学：第12章 D「脳腫瘍」(p.245～246) 臨床外科看護各論：第4章 I-A-4「脳腫瘍」(p.385～392)
	B 末梢神経系の疾患の病態と診断・治療	a Guillain-Barré〈ギラン・バレー〉症候群	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 C-3「ギラン・バレー症候群」(p.169～170) 成人看護学 [10] (運動器)：第5章 F-3-2「多発性ニューロパチー」(p.165～166) 病理学：第16章 A-7-1「末梢神経障害」(p.302)
		b 圧迫性神経障害	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 C-5「単ニューロパチー」(p.171～173) 病態生理学：第12章 H-6-2「末梢神経の圧迫障害」(p.260～261)
		c 顔面神経麻痺(Bell〈ベル〉麻痺)	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 C-7「顔面神経麻痺」(p.174～175) 病態生理学：第12章 H-NOTE「ベル麻痺」(p.260) 救急看護学：第5章 D-1-2「視診」(p.117～119)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	C 感覚器系の疾患の病態と診断・治療	d 自律神経失調症	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第3章 B-5 「自律性のある機能の障害」 (p.76~81)
		a 視覚障害(白内障、緑内障、網膜剥離、網膜症)	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第3章 B-4-2 「特殊感覚の障害」 (p.76)、B-5-1 「対光反射の障害と瞳孔不同」 (p.76~78) 成人看護学 [13] (眼) : 第3章 A 「視機能に関連した症状」 (p.28~31)、第5章 A 「機能の障害」 (p.96~114) 病理学 : 第18章 A-1 「眼の疾患」 (p.312~314) 病態生理学 : 第13章 A 「視覚器の機能とその異常」 (p.266~270) リハビリテーション看護 : 第6章 A 「視覚障害」 (p.304~324)
		b 聴覚障害(難聴、Ménière〈メニエール〉病)	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉) : 第3章 A-1 「難聴」 (p.47~48)、第5章 A-3-2 「メニエール病(特発性内リンパ水腫)」 (p.123~125) 病理学 : 第18章 A-1 「耳の疾患」 (p.314~315) 病態生理学 : 第13章 B 「聴覚器の機能とその異常」 (p.270~274) リハビリテーション看護 : 第6章 B 「聴覚障害」 (p.324~334)
		c 嗅覚・味覚障害	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉) : 第3章 B-3 「嗅覚障害」 (p.51~52)、第5章 C-6 「味覚障害」 (p.151) 病態生理学 : 第13章 C 「味覚・嗅覚とその異常」 (p.274~276)
		d 皮膚障害(湿疹、アトピー性皮膚炎、带状疱疹、疥癬、蜂窩織炎)	成人看護学 [11] (アレルギー) : 第4章 C 「アトピー性皮膚炎」 (p.39~40) 成人看護学 [12] (皮膚) : 第5章 A-1 「湿疹・皮膚炎群」 (p.80~86)、F-5-2 「带状疱疹」 (p.144~145)、G-7-3 「疥癬」 (p.150~151) 病理学 : 第18章 B 「皮膚の疾患」 (p.315~318) 病態生理学 : 第2章 A-3 「体内の反応による皮膚の異常」 (p.31~33)
12 運動機能	A 骨・関節の疾患の病態と診断・治療	a 骨折、脱臼、捻挫	成人看護学 [10] (運動器) : 第5章 A 「骨折」 (p.92~110)、B 「脱臼」 (p.110~115)、C 「捻挫および打撲」 (p.115~116) 病理学 : 第17章 1 「骨折」 (p.306) リハビリテーション看護 : 第3章 B 「骨折」 (p.92~115)
		b 骨粗鬆症	成人看護学 [10] (運動器) : 第5章 H-7 「骨粗鬆症」 (p.175~177) 老年看護 病態・疾患論 : 第4章 J-7 「骨粗鬆症」 (p.228~231) 生化学 : 第17章 A 「骨粗鬆症」 (p.252~253) 病理学 : 第17章 3 「骨粗鬆症」 (p.306) 病態生理学 : 第10章 E-2-2 「骨粗鬆症」 (p.219) 臨床薬理学 : 第3章 O 「骨粗鬆症」 (p.175~178)
		c 腫瘍(骨肉腫)	成人看護学 [10] (運動器) : 第5章 C 「骨腫瘍および軟部腫瘍」 (p.150~157) 病理学 : 第17章 6 「骨肉腫」 (p.310)、7 「転移性骨腫瘍」 (p.310)
		d 変形性関節症	成人看護学 [10] (運動器) : 第5章 B-7 「関節の変性疾患 : 変形性関節症」 (p.148~150) 老年看護 病態・疾患論 : 第4章 J-2 「変形性膝関節症」 (p.222~224) 病理学 : 第17章 4-2 「変形性関節症」 (p.308)
		e 腰痛症(椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症)	成人看護学 [10] (運動器) : 第5章 H-3 「腰部脊柱管狭窄症」 (p.172)、H-5 「椎間板ヘルニア」 (p.173~175)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		f 炎症性疾患(骨・骨髄炎、関節炎)	老年看護 病態・疾患論：第4章 J-4「椎間板ヘルニア」(p.225～226)、J-5「腰部脊柱管狭窄症」(p.226～227) 病理学：第17章 5「椎間板ヘルニア」(p.309) 臨床外科看護各論：第4章 I-B-2「腰椎疾患」(p.394～396) 成人看護学 [10] (運動器)：第5章 B「骨・関節の炎症性疾患」(p.134～150) 病態生理学：第17章 2「骨髄炎」(p.306)、「関節炎」(p.308～309)
	B 筋肉・神経筋接合部の疾患の病態と診断・治療	a 筋ジストロフィー	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 D-1「筋ジストロフィー」(p.176～179) 病理学：第16章 B-1「進行性筋ジストロフィー」(p.303) 病態生理学：第12章 I-4「進行性筋ジストロフィー」(p.263)
		b 重症筋無力症	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 D-5「重症筋無力症」(p.181～184) 病理学：第16章 B-2「重症筋無力症」(p.304) 病態生理学：第12章 I-3「重症筋無力症」(p.263)
13 排泄機能	A 泌尿器系の疾患の病態と診断・治療	a 腎炎、慢性腎臓病	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第5章 A-3「慢性腎臓病」(p.123～126)、C「糸球体腎炎」(p.130～135)、D「全身性疾患による腎障害」(p.135～145) 病理学：第14章 A「腎・泌尿器系の疾患」(p.254～260) 病態生理学：第9章 B「腎機能の障害」(p.180～188) 臨床検査：第5章 F「腎機能の検査」(p.147～152) 臨床薬理学：第3章 K「慢性腎臓病(CKD)」(p.146～152)
		b 炎症性疾患(腎盂腎炎、膀胱炎)	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第5章 I「尿路・性器の感染症」(p.153～159) 成人看護学 [11] (感染症)：第5章 G「尿路感染症」(p.283) 病理学：第14章 A「腎・泌尿器系の疾患」(p.254～260) 病態生理学：第11章 C-2「泌尿器の機能の障害」(p.191～193)
		c 腫瘍(腎癌、尿管癌、膀胱癌)	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第5章 M「尿路・性器の腫瘍」(p.175～186) 病理学：第14章 A-6「腎がん」(p.260)、A-7-3「尿路がん」(p.261) 病態生理学：第11章 B-8「腎臓から発生する腫瘍」(p.188)、C-3「尿路系の悪性腫瘍」(p.194)
		d 腎・尿路結石	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第5章 J「尿路の通過障害と機能障害」(p.159～166) 病理学：第14章 A-7「尿路の疾患」(p.260～261) 病態生理学：第11章 C-2-2「通過障害」(p.192～193)
		e 排尿障害(過活動膀胱、腹圧性尿失禁、夜尿症)	成人看護学 [7] (脳・神経)：第3章 B-5-3「排泄障害」(p.79～80) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第3章 B「排尿に関連した症状」(p.46～49) 病態生理学：第9章 C-2「泌尿器の機能の障害」(p.191～193) リハビリテーション看護：第4章 A-5-9「排尿障害」(p.190～192)、C-5-3「排尿障害」(p.245～248)
		f 腎不全	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第5章 A「腎不全と慢性腎臓病」(p.117～126) 病理学：第14章 A-5「腎不全」(p.259～260) 病態生理学：第11章 B-7「腎不全」(p.185～188) 臨床検査：第5章 F「腎機能の検査」(p.147～152)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
14 生殖機能	A 生殖器系の疾患の病態と診断・治療	a 女性生殖器の疾患(子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣嚢腫) b 乳腺の疾患(乳腺炎、乳腺症) c 男性生殖器の疾患(前立腺炎、前立腺肥大) d 腫瘍(乳癌、子宮体癌、子宮頸癌、卵巣癌、前立腺癌) e 生殖機能障害(月経異常、更年期障害)	成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第 5 章 B-3-5 「子宮筋腫」 (p.123~126)、B-3-6 「子宮内膜症」 (p.126~128)、B-5-1 「卵巣の良性腫瘍」 (p.138~140) 病理学 : 第 14 章 B-3 「女性生殖器の疾患」 (p.264~270) 病態生理学 : 第 11 章 A 「女性生殖器の機能とその異常」 (p.222~229) 成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第 5 章 B-7-3 「乳腺良性腫瘍性疾患」 (p.166~168)、B-7-5 「炎症」 (p.169~170) 病理学 : 第 14 章 C 「乳腺の疾患」 (p.271~272) 臨床外科看護各論 : 第 1 章 I-D-2 「その他の乳腺疾患」 (p.36~37) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第 5 章 I 「尿路・性器の感染症」 (p.153~159)、N 「発生・発育の異常」 (p.186~190) 老年看護 病態・疾患論 : 第 4 章 I-4-1 「前立腺肥大症」 (p.219) 病理学 : 第 14 章 B-2 「男性生殖器の疾患」 (p.262~264) 病態生理学 : 第 11 章 B-2 「男性生殖器の異常」 (p.232~233) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第 5 章 M 「尿路・性器の腫瘍」 (p.175~186) 成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第 5 章 B-3-3 「子宮頸がん」 (p.115~120)、B-3-4 「子宮体がん」 (p.120~123)、B-5-2 「卵巣の悪性腫瘍」 (p.140~144)、B-7-1 「乳がん」 (p.145~164) 病理学 : 第 14 章 B-3-5 「子宮頸がん」 (p.267~268)、B-3-6 「子宮体がん」 (p.268~269)、B-3-7 「卵巣腫瘍」 (p.269~270)、C-2-4 「乳がん」 (p.272) 病態生理学 : 第 11 章 A-4 「子宮頸がんと子宮体がん」 (p.227~228)、A-6 「卵巣腫瘍」 (p.229)、A-7 「乳がん」 (p.230~231)、B-2 「男性生殖器の異常」 (p.232~233) 臨床外科看護各論 : 第 1 章 I-D-1 「乳がん」 (p.26~36) 成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第 5 章 A-6 「性腺疾患」 (p.125~127) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第 3 章 J-3 「精巣および性機能障害」 (p.65)、O 「男性不妊症、男性性機能障害、その他の男性生殖器疾患」 (p.190~192) 成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第 5 章 C-1 「月経異常・月経随伴症状」 (p.171~176)、C-2 「更年期障害」 (p.176~178) リハビリテーション看護 : 第 4 章 A-5-11 「性機能障害」 (p.194~195)、C-5-5 「性機能障害」 (p.250~255)
15 精神機能	A 精神・心身の疾患の病態と診断・治療	a 症状性を含む器質性精神障害 (Alzheimer 〈アルツハイマー〉病、血管性認知症、Lewy 〈レビー〉小体型認知症)、せん妄 b 精神作用物質使用による精神・行動の異常(アルコール依存症、覚醒剤・大麻精神病) c 統合失調症	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第 5 章 I 「認知症」 (p.217~224) 老年看護 病態・疾患論 : 第 4 章 A-4 「認知症をきたす疾患の診断と治療」 (p.125~131) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 C-7 「器質性精神障害」 (p.209~219) 臨床薬理学 : 第 3 章 R 「認知症(アルツハイマー病)」 (p.191~195) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 C-8 「精神作用物質使用による精神および行動の障害」 (p.220~225) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 C-2 「統合失調症」 (p.165~183)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d 気分〈感情〉障害(うつ病、双極性障害)	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 C-3 「気分 [感情] 障害 [双極性障害および関連障害群、抑うつ症候群]」 (p.183~192) 臨床薬理学 : 第 3 章 S 「うつ病・うつ状態」 (p.196~202)
		e 神経症性障害、ストレス関連障害 (パニック障害、心的外傷後ストレス障害 (PTSD)、適応障害)	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 C-4 「神経性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害」 (p.193~203)
		f 生理的障害、身体的要因に関連した精神障害または行動症候群 (摂食障害、不眠症、ナルコレプシー、睡眠時無呼吸症候群)	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 C-5 「生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群」 (p. 203~209)
		g 小児・青年期の精神・心身医学的疾患、成人の人格・行動障害	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第 18 章 B 「おもな疾患」 (p.493~506) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 C-10 「神経発達障害群」 (p.227~232)

健康支援と社会保障制度

健康支援と社会保障制度

目標Ⅰ. 社会生活を視点とした個人・家族・集団の機能や変化について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
1 社会・生活基盤と健康	A 生活単位の機能と変化	a 人口構造(少子高齢化、総人口の減少)	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 D-2「平均寿命と出生」(p.108~110)、E-1「少子高齢化」(p.126~128) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-1-1「国民経済の現状」(p.40~43) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 A-2-1「出生に関する動向」(p.59~65) 公衆衛生 : 第6章 B-3「健康指標の基礎資料——人口を把握する」(p.135~138)、第7章 A-1-3「日本の少子化対策」(p.155) 社会保障・社会福祉 : 第2章 A-1「人口の変化」(p.30~35)
		b 家族、世帯	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第2章 C-2-1「看護の対象としての家族」(p.88~90)、第3章 D-7「家族」(p.116~118) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 B-3「家族からとらえる大人」(p.34~35)、第3章 H「家族支援」(p.136~140) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第3章 B-2-1「家族の発達段階」(p.130~133) 公衆衛生 : 第7章 B-7「家族のライフステージに応じた健康課題と健康づくり」(p.189~191) 社会保障・社会福祉 : 第2章 A-3「家族・個人の変化」(p.37~39) 社会学 : 第11章 D「結婚と家族」(p.180~183)、E「保健医療からみた結婚と家族」(p.183~186) 家族論・家族関係論 : 第1章 A「家族を巡る基本概念」(p.2~3)
		c 住居	在宅看護論 : 第2章 B「住まい方と健康」(p.36~39)
	B ライフサイクル	a 出生	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 D-2「平均寿命と出生」(p.108~110) 小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第1章 B-2「出生と家族」(p.9~12) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 A-2-1「出生に関する動向」(p.59~65)
		b 教育、養育	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 D-3「子どもの健康」(p.110~112)
		c 婚姻、離婚	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 D-5「結婚と出産」(p.113~114) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 B-1-1「婚姻の動向」(p.86~88)
	C 労働と健康	a 就業構造	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 D-6「仕事と生計」(p.114~116) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 B-2-2「労働の実態と社会状況」(p.31~33) 社会保障・社会福祉 : 第2章 A-4「経済状況の変化」(p.39~41)、A-5「雇用状況の変化」(p.42~44) 社会学 : 第7章 A「『働き方』と『働かせ方』」(p.106~111)
		b 労働時間	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 D-6「仕事と生計」(p.114~116) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-2-4「自殺・職業性疾患・作業関連疾患」(p.54~56)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 余暇	社会学：第7章B『働き方』『働かせ方』による健康への影響」(p.111～114)、D『仕事と生活の調和」(p.117～120) 家族論・家族関係論：第4章C-2「長時間労働と遠距離通勤」(p.113～115) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第1章B-2-3「ワークライフバランス」(p.33～34) 社会保障・社会福祉：第2章A-5-4「仕事と余暇——ワーク・ライフ・バランス」(p.44)
		d 健康診断と受療状況	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章A-2-2「受療状況」(p.51) 公衆衛生：第7章B-3「健診・検診」(p.179～181)、第9章A-2-2「『労働安全衛生法』に基づく健康管理の実践」(p.311～313)
		e 労働基準法	母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第6章D-2「職場復帰」(p.353～354) 公衆衛生：第1章B-3「富の増大と職業病——産業保健のはじまり」(p.20～22)、第9章A-1-1「労働者の健康問題と労働関連法令の変遷」(p.304～305) 看護関係法令：第9章A-1「労働基準法」(p.234～237)
		f 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律〈育児・介護休業法〉	母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第2章A-3-2「母性看護に関するおもな法律」(p.75～76) 母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第6章D-2「職場復帰」(p.353～354) 公衆衛生：第9章C-3「男女共同参画とワークライフバランス」(p.320～321) 看護関係法令：第9章A-5「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」(p.241～242)
2 家族の機能やライフスタイルの変化	A 家族の機能	a 夫婦、親子	公衆衛生：第7章B「成人保健」(p.172～175)、B-7「家族のライフステージに応じた健康課題と健康づくり」(p.189～191) 社会保障・社会福祉：第2章A-3-2「家族の機能と役割の変化」(p.37～39) 社会学：第11章D-2「わが国における結婚と家族の変化」(p.181～183) 家族論・家族関係論：第2章C「夫と妻の役割と常識」(p.41～50)
		b 育児、介護	総合医療論：第3章D「少子高齢化社会と世代間のきずな」(p.77～85) 公衆衛生：第7章A-4「育児支援のための母子保健活動」(p.160～164)、A-7「地域の母親によるエンパワメント」(p.169～171)、C-7「高齢者保健の課題」(p.200～205)、C-8「地域コミュニティによる支えとは」(p.205～207) 社会保障・社会福祉：第2章A-3-2「家族の機能と役割の変化」(p.37～39)、第4章A-1「介護保険制度創設の背景」(p.86) 家族論・家族関係論：第3章A「ベアレンティングとは」(p.64～71)、第4章D「高齢化社会と少子化」(p.123～135)
		c 家事	社会保障・社会福祉：第2章A-3-2「家族の機能と役割の変化」(p.37～39) 家族論・家族関係論：第4章A「家族の生活文化」(p.98～105)
	B ライフスタイルの変化	a 雇用形態	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第3章D-6「仕事と生計」(p.114～116) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第1章B-2-2「労働の実態と社会状況」(p.31～33)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 女性の労働	社会保障・社会福祉：第2章 A-5「雇用状況の変化」(p.42～44) 社会学：第7章 A-2「わが国における変化」(p.108～110) 家族論・家族関係論：第4章 C「職場と家族」(p.112～123) 基礎看護学 [1] (看護学概論)：第3章 D-6「仕事と生計」(p.114～116) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第1章 B-2-2「労働の実態と社会状況」(p.31～33) 母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第2章 B-4-2「労働」(p.92～93) 社会保障・社会福祉：第2章 A-3-2「家族の機能と役割の変化」(p.37～39)、A-5「雇用状況の変化」(p.42～44) 社会学：第7章 A-2「わが国における変化」(p.108～110) 家族論・家族関係論：第4章 C「職場と家族」(p.112～123)
		c 少子化、晩婚化、晩産化	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第3章 D-5「結婚と出産」(p.113～114)、E-1「少子高齢化」(p.126～128) 小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第1章 A-1-2「子どもと家族、社会」(p.5) 母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第5章 C-1-2「心理・社会的特徴」(p.206～211) 公衆衛生：第7章 A-1-3「日本の少子化対策」(p.155) 社会保障・社会福祉：第2章 A-1-2「人口動態および人口構成の変化」(p.30～35)、第7章 C-3-1「少子化の課題と家族」(p.205) 人間関係論：第9章 A-1「家族機能と現代家族の動向」(p.187～190) 家族論・家族関係論：第4章 D-3「少子化」(p.133～135)
		d 地域活動への参加	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第3章 E-3「人とのつながり」(p.129～130) 老年看護学：第2章 A-5「高齢者の暮らし」(p.30～35) 社会保障・社会福祉：第7章 A-2-5「高齢者の健康増進と社会参加促進対策」(p.166)
		e 家族観の多様化	社会保障・社会福祉：第2章 A-3-2「家族の機能と役割の変化」(p.37～39) 社会学：第11章「性・ジェンダー・家族と保健医療」(p.172～187) 家族論・家族関係論：第1章 C「家族の変貌」(p.5～12)、D「わが国における家族の変貌」(p.12～19)、第4章 A「家族の生活文化」(p.98～105)
3 社会の中の集団	A 集団の機能と変化	a 地域集団（コミュニティ・グループ）	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章 C-1「集団（グループ）の持つ意味」(p.101～103) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第4章 B-1「集団のなかの自己」(p.128～129)、B-2「グループプロセス」(p.129) 公衆衛生：第2章「公衆衛生の活動対象」(p.44～59) 社会学：第1章 C「集団・組織・ネットワーク」(p.15～17) 人間関係論：第4章 A-2「集団のなかでの行動パターン」(p.77～82)
		b 集団心理	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第4章 B-4「全体としてのグループ」(p.132～136) 社会保障・社会福祉：第8章 C「集団援助技術（グループワーク）」(p.228～234) 人間関係論：第4章 A-2「集団のなかでの行動パターン」(p.77～82)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c グループダイナミクス	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 3 章 C-1 「集団 (グループ) の持つ意味」 (p.101~103) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 4 章 B-3 「グループの歴史——なぜグループなのか」 (p.129~132)、B-4 「全体としてのグループ」 (p.132~136) 公衆衛生 : 第 3 章 D-1 「住民組織・自助グループ・サポートグループ」 (p.78) 社会保障・社会福祉 : 第 8 章 C 「集団援助技術 (グループワーク)」 (p.228~234) 人間関係論 : 第 4 章 A-2-4 「レヴィンのグループダイナミクス研究」 (p.79~80)
	B 地域や職場における人間関係	a ソーシャルサポートネットワーク	公衆衛生 : 第 2 章 A 「自分の生活と健康に関する社会集団」 (p.45~47)、第 3 章 D 「住民との協働」 (p.78~79) 社会保障・社会福祉 : 第 8 章 H-3 「地域ケアシステムにおける他機関との連携」 (p.256~257) 社会学 : 第 12 章 「地域社会と保健医療」 (p.190~202) 人間関係論 : 第 10 章 「ソーシャルサポートをめぐる人間関係」 (p.212~231) 家族論・家族関係論 : 第 4 章 B 「地域と家族」 (p.105~112) 精神保健福祉 : 第 4 章 A-2 「精神保健福祉に関する支援システム」 (p.73~81)
		b フォーマルサポート、インフォーマルサポート	在宅看護論 : 第 4 章 F-3 「社会資源の活用」 (p.102~103) 社会保障・社会福祉 : 第 8 章 H-3 「地域ケアシステムにおける他機関との連携」 (p.256~257) 社会学 : 第 12 章 「地域社会と保健医療」 (p.190~202)

目標Ⅱ. 社会保障の理念、社会保険制度および社会福祉に関する法や施策について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
4 社会保障制度の基本	A 社会保障の理念と変遷	a 目的、機能	社会保障・社会福祉 : 第 1 章 A-2 「社会保障の目的」 (p.4)、A-3 「社会保障の機能」 (p.5) 社会学 : 第 13 章 「保健医療制度」 (p.206~217)
		b 日本国憲法第 25 条	公衆衛生 : 第 1 章 C-3 「日本国憲法のなかの公衆衛生」 (p.30~31)、C-4 「日本国憲法と世界人権宣言における健康と人権」 (p.31~32)、第 2 章 B-1 「看護職は『みんな』の権利をまもる守護神の 1 人」 (p.47~48) 社会保障・社会福祉 : 第 1 章 A-1 「社会保障の概念」 (p.2~4) 看護関係法令 : 第 1 章 C 「厚生行政のしくみ」 (p.12~18)
		c 人権、倫理	総合医療論 : 第 5 章 D 「生命倫理学と臨床倫理学の展開」 (p.122~127) 公衆衛生 : 第 2 章 B-2 「万国共通の看護職の公的責任」 (p.48~49) 社会保障・社会福祉 : 第 1 章 A-1 「社会保障の概念」 (p.2~4)、A-2 「社会保障の目的」 (p.4)
		d ノーマライゼーション	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 2 章 B-1-4 「福祉にかかわる対策——地域でのノーマライゼーションの広がり」 (p.77~81) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 C-2-5 「統合失調症の治療」 (p.176~178)、第 7 章 B-10 「病院精神医学から地域・社会精神医学へ——社会療法の流れ」 (p.292~293) 総合医療論 : 第 3 章 E 「障害者のノーマライゼーションと社会的包摂」 (p.85~89)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		e 情報公開、地方分権、参加	社会保障・社会福祉：第7章 B-2-1「ノーマライゼーション」(p.174～175) 社会学：第12章 E「ノーマライゼーションと地域」(p.201～202) 人間関係論：第11章「ノーマライゼーションをはぐくむ人間関係」(p.234～253) 精神保健福祉：第1章 A「人は人に支えられながら生きている」(p.3) 総合医療論：第5章 G「インフォームド・コンセントと医療情報の開示」(p.132～138) 公衆衛生：第3章 B-2「地方自治体レベル」(p.71～72)、D「住民との協働」(p.78～79) 社会保障・社会福祉：第1章 B-1「社会福祉の法制度の歴史的展開」(p.12～15)、第2章 A-2-3「地方分権の動向」(p.36)
	B 社会保障制度	a 社会保障給付費 b 社会保障制度改革 c 地域包括ケアシステム	社会保障・社会福祉：第1章 A-6「社会保障給付費」(p.10～11) 社会保障・社会福祉：第2章 B「社会保障・社会福祉の動向」(p.44～50) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第13章 B-1「医療提供体制・諸制度の変化」(p.360～362) 総合医療論：第7章 F「地域包括医療システムの新しい展開」(p.186～187) 公衆衛生：第7章 C-6「地域の特定に応じた地域包括ケアシステム」(p.197～200) 社会保障・社会福祉：第4章 B-5-10「地域支援事業」(p.103～105) 看護情報学：第5章 C「保健医療福祉のネットワークと情報システム」(p.117～127)
		d 社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)	看護関係法令：第9章 B-10「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」(p.251～252)
5 社会保険制度の基本	A 社会保険の理念と変遷	a 目的、機能 b 国民皆保険・皆年金	社会保障・社会福祉：第1章 A-4-1「社会保険」(p.5～6) 基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章 C-3-1「医療保険制度」(p.243～245) 看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第4章 D「医療制度」(p.173～182) 社会保障・社会福祉：第3章 A「医療保障制度の沿革」(p.52～55)、B-2「わが国の医療保障制度の特徴」(p.57～60)、第5章 B-4-1「国民皆年金までの道のり」(p.128)
	B 医療保険制度	a 被用者保険 b 国民健康保険 c 高齢者医療制度(高齢者の医療の確保に関する法律〈高齢者医療確保法〉) d 国民医療費の動向	看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第4章 D-1「医療保険制度」(p.173) 社会保障・社会福祉：第3章 B-2-1「医療保険制度の種類」(p.57～58) 社会保障・社会福祉：第3章 B-2「わが国の医療保障制度の特徴」(p.57～60)、C「健康保険と国民健康保険」(p.60～70) 社会保障・社会福祉：第3章 D「高齢者医療制度」(p.71～76) 看護関係法令：第7章 A-3「高齢者の医療の確保に関する法律」(p.197～199) 基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章 C-3「看護サービスと経済のしくみ——診療報酬と人員配置」(p.243～247) 社会保障・社会福祉：第3章 G「国民医療費」(p.81～84) 看護関係法令：第7章 A「費用保障」(p.191～199)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		e 公費医療制度	在宅看護論：第4章B「在宅看護にかかわる法令・制度」(p.78～84) 社会保障・社会福祉：第3章F「公費負担医療」(p.79～81)
		f 診療報酬制度	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章C-3「看護サービスと経済のしくみ——診療報酬と人員配置」(p.243～247) 社会保障・社会福祉：第3章E「保険診療のしくみ」(p.76～79)
	C 介護保険制度	a 基本理念	老年看護学：第2章B-2-2「介護保険制度の整備」(p.39～50) 在宅看護論：第4章B-1「介護保険制度」(p.78～79) 社会保障・社会福祉：第4章B-1「制度の基本理念」(p.91) 看護関係法令：第7章A-4「介護保険法」(p.199～206)
		b 保険者、被保険者	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章B-1-4「福祉にかかわる対策——地域でのノーマライゼーションの広がり」(p.77～81) 在宅看護論：第4章C-1「保険者・被保険者・受給権者」(p.84～85) 社会保障・社会福祉：第4章B-2「保険者」(p.91～92)、B-3「被保険者」(p.92～93) 看護関係法令：第7章A-4-1「保険者など」(p.199)、A-4-2「被保険者」(p.200)
		c 要介護・要支援の認定	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章B-1-4「福祉にかかわる対策——地域でのノーマライゼーションの広がり」(p.77～81) 在宅看護論：第4章C-2「利用の手続き」(p.85～86) 社会保障・社会福祉：第4章B-4「要介護・要支援の認定」(p.93～94) 看護関係法令：第7章A-4-4「要介護認定および要支援認定」(p.203～204) 精神保健福祉：第6章B-3「介護サービス利用時の連携と看護」(p.183～186)
		d 保険給付と利用者負担	在宅看護論：第4章C-4「利用料」(p.90) 社会保障・社会福祉：第4章B-5「保険給付」(p.94～105)
		e ケアマネジメント	看護関係法令：第7章A-4「介護保険法」(p.199～206) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章E-3「ケアマネジメント」(p.119～120) 在宅看護論：第4章F-4「介護保険制度におけるケアマネジメント」(p.103～104) 社会保障・社会福祉：第4章B-5-6「居宅介護支援と介護予防支援」(p.97～98)、第8章D-2-2「ケアマネジメント」(p.235～236)
		f 介護サービス	在宅看護論：第4章C-3「介護保険で給付対象となるサービス」(p.86～90) 社会保障・社会福祉：第4章B-5「保険給付」(p.94～105)
		g 介護予防	在宅看護論：第4章C-3「介護保険で給付対象となるサービス」(p.86～90) 社会保障・社会福祉：第4章B-5-4「介護予防サービス」(p.96)
	D 年金制度	a 制度の体系	社会保障・社会福祉：第5章B-3「わが国の年金保険制度のしくみ」(p.121～128) 看護関係法令：第7章B「年金」(p.206～208)
		b 給付と費用負担	社会保障・社会福祉：第5章B-3「わが国の年金保険制度のしくみ」(p.121～128)
	E B～D 以外の社会保険制度	a 雇用保険	社会保障・社会福祉：第5章D-1「雇用保険制度」(p.134～137)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 労働者災害補償保険法	看護関係法令：第9章 A-4「雇用保険法」(p.241) 社会保障・社会福祉：第5章 D-2「労働者災害補償保険制度」(p.137~140) 看護関係法令：第9章 A-3「労働者災害補償保険法」(p.240~241)
6 社会福祉に関する法や施策	A 社会福祉の理念と変遷	a 措置制度と利用契約制度	社会保障・社会福祉：第1章 B-2「社会福祉サービスの内容とサービス提供のしくみ」(p.15~18)、第2章 B-3-1「社会福祉基礎構造改革」(p.48~49)
		b 利用者保護の制度	社会保障・社会福祉：第2章 B-3-1「社会福祉基礎構造改革」(p.48~49)
	B 社会福祉に関わる機関と機能	a 福祉事務所	社会保障・社会福祉：第1章 B-5-1「社会福祉行政」(p.24)
		b 児童相談所	小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第8章 A-2「現在の児童福祉」(p.174~176) 社会保障・社会福祉：第1章 B-3-2「福祉6法」(p.19~23)、B-5-1「社会福祉行政」(p.24)、第7章 C-2-1「児童福祉法」(p.198~199) 精神保健福祉：第4章 B-2-1「児童虐待への対応」(p.87~89)
		c 更生相談所	社会保障・社会福祉：第1章 B-5-1「社会福祉行政」(p.24)
		d 社会福祉施設	社会保障・社会福祉：第1章 B-2「社会福祉サービスの内容とサービス提供のしくみ」(p.15~18)
		e 在宅サービスの実施機関	社会保障・社会福祉：第1章 B-2「社会福祉サービスの内容とサービス提供のしくみ」(p.15~18)、第4章 B-5-6「居宅介護支援と介護予防支援」(p.97~98)、B-5-8「指定居宅サービス事業者と介護保健施設」(p.100~102) 看護関係法令：第7章 A-4-5「事業者・施設の指定など」(p.204~205) 精神保健福祉：第6章 B-3「介護サービス利用時の連携と看護」(p.183~186)
	C 社会福祉における民間活動	a 民生委員、児童委員	公衆衛生：第3章 D-2「民生委員・母子保健推進員・健康推進員」(p.79) 社会保障・社会福祉：第1章 B-6「社会保障・社会福祉の従事者と担い手」(p.26) 看護関係法令：第8章 A-3-2「民生委員法」(p.215) 精神保健福祉：第4章 A-2-2「支援システムを構成するおもな社会資源」(p.75~78)
		b 社会福祉協議会	社会保障・社会福祉：第1章 B-5-2「社会福祉協議会」(p.24)
		c ボランティア活動	総合医療論：第7章 G-2「保健・医療・福祉におけるボランティア活動の意義」(p.188~189) 社会保障・社会福祉：第8章 H-3「地域ケアシステムにおける他機関との連携」(p.254~255) 精神保健福祉：第4章 A-2-2「支援システムを構成するおもな社会資源」(p.75~78)
	D 生活保護に関する法や施策	a 基本理念と原則	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第6章 E-2-3「生活を支えるための法律と制度」(p.330~334) 社会保障・社会福祉：第6章 B-1「生活保護制度の目的・原理・原則」(p.144~146) 看護関係法令：第8章 A-2「生活保護法」(p.213~215) 精神保健福祉：第8章 A-2「貧困・低所得に対する社会補償制度」(p.246~248)
		b 扶助の種類と内容	社会保障・社会福祉：第6章 B-2「生活保護の種類と方法」(p.146~151) 看護関係法令：第8章 A-2「生活保護法」(p.213~215) 精神保健福祉：第8章 A-2「貧困・低所得に対する社会補償制度」(p.246~248)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	E 障害者(児)に関する法 や施策	a 障害者基本法	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 2 章 B-1-4 「福祉にかかわる対策——地域でのノーマライゼーションの広がり」 (p.77~81) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 6 章 E-2-3 「生活を支えるための法律と制度」 (p.330~334) 公衆衛生 : 第 7 章 F-1 「障害・難病とは」 (p.234~236) 社会保障・社会福祉 : 第 7 章 B-3-4 「障害者基本法の改正」 (p.179~180)、B-4-1 「障害者基本法の抜本的改正」 (p.181~182) 看護関係法令 : 第 8 章 D-1 「障害者基本法」 (p.224~225) リハビリテーション看護 : 第 1 章 B-1-2 「障害者基本法」 (p.8)
		b 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 (障害者総合支援法)	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 2 章 B-1-4 「福祉にかかわる対策——地域でのノーマライゼーションの広がり」 (p.77~81) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 6 章 E-2-3 「生活を支えるための法律と制度」 (p.330~334) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 13 章 C 「生活を支えるための社会資源・サービス」 (p.280~292) 在宅看護論 : 第 4 章 B-3 「障害者総合支援法」 (p.80~81) 公衆衛生 : 第 7 章 D-2-2 「地域での生活を支える制度」 (p.213~215)、F-2 「障害者支援活動の理念と法的根拠」 (p.237~239)、F-3 「地域支援システム」 (p.239~249) 社会保障・社会福祉 : 第 7 章 B-4-3 「障害者総合支援法の成立」 (p.182~186) 看護関係法令 : 第 8 章 D-2 「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律」 (p.225~228) リハビリテーション看護 : 第 1 章 B-1-6 「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)」 (p.9) 精神保健福祉 : 第 3 章 A-2 「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)」 (p.47~55)
		c 身体障害者福祉法	社会保障・社会福祉 : 第 1 章 B-3-2 「福祉 6 法」 (p.19~23)、第 7 章 B-3-1 「障害者福祉制度の成立と障害種別の格差」 (p.177~178) 看護関係法令 : 第 8 章 D-3-4 「身体障害者福祉法」 (p.229~230) リハビリテーション看護 : 第 1 章 B-1-3 「身体障害者福祉法」 (p.8)
		d 知的障害者福祉法	社会保障・社会福祉 : 第 1 章 B-3-2 「福祉 6 法」 (p.19~23)、第 7 章 B-3-1 「障害者福祉制度の成立と障害種別の格差」 (p.177~178) 看護関係法令 : 第 8 章 D-3-6 「知的障害者福祉法」 (p.231~232)
		e 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 (精神保健福祉法)	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 7 章 E-1-4 「精神科看護の基本となる法律」 (p.319~320)、E-2 「精神科領域で必要な法律と制度」 (p.320~340) 公衆衛生 : 第 7 章 D-2-2 「地域での生活を支える制度」 (p.213~215) 社会保障・社会福祉 : 第 7 章 B-3-1 「障害者福祉制度の成立と障害種別の格差」 (p.178~179) 看護関係法令 : 第 4 章 B-1 「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」 (p.125~132) リハビリテーション看護 : 第 1 章 B-1-4 「精神保健福祉法」 (p.8) 精神保健福祉 : 第 3 章 A-1 「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(精神保健福祉法)」 (p.40~47)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		f 発達障害者支援法	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 7 章 E-2-5 「個別の課題に対応した法律」 (p.337~340) 公衆衛生 : 第 7 章 F-3-2 「就学支援」 (p.243~247) 社会保障・社会福祉 : 第 7 章 B-3-5 「発達障害者支援法の成立」 (p.180) 看護関係法令 : 第 8 章 D-3-7 「発達障害者支援法」 (p.232) リハビリテーション看護 : 第 1 章 B-1-5 「発達障害者支援法」 (p.8)
		g 障害者の雇用の促進等に関する法律〈障害者雇用促進法〉	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 7 章 E-2-3 「生活を支えるための法律と制度」 (p.330~334) 看護関係法令 : 第 9 章 A-6-2 「障害者の雇用の促進等に関する法律」 (p.243) 公衆衛生 : 第 7 章 D-2-3 「リカバリーを支えるために」 (p.215~218) 社会保障・社会福祉 : 第 7 章 B-5-2 「就労支援」 (p.188~192) リハビリテーション看護 : 第 1 章 B-2 「障害者を支えるおもな制度」 (p.10~12) 精神保健福祉 : 第 5 章 B-4 「精神障害者の就労支援」 (p.145)
		h 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律〈障害者差別解消法〉	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 7 章 E-2-1 「権利擁護に関する法律と制度」 (p.321~327) 社会保障・社会福祉 : 第 7 章 B-4-4 「障害者差別解消法の成立」 (p.186) 看護関係法令 : 第 8 章 D-3-1 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」 (p.228) リハビリテーション看護 : 第 1 章 B-2 「障害者を支えるおもな制度」 (p.10~12)
		i 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律〈障害者虐待防止法〉	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 7 章 E-2-1 「権利擁護に関する法律と制度」 (p.321~327) 社会保障・社会福祉 : 第 7 章 B-4-2 「障害者虐待防止法の成立」 (p.182) 看護関係法令 : 第 8 章 D-3-2 「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」 (p.228~229) リハビリテーション看護 : 第 1 章 B-2 「障害者を支えるおもな制度」 (p.10~12) 精神保健福祉 : 第 8 章 B 「障害者虐待と精神保健福祉」 (p.253~265)
		j 障害者基本計画	社会保障・社会福祉 : 第 7 章 B-3-3 「新障害者基本計画と新障害者プラン」 (p.179) リハビリテーション看護 : 第 1 章 B-2 「障害者を支えるおもな制度」 (p.10~12)
	F 児童に関する法や施策	a 児童福祉法	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 8 章 A 「児童福祉」 (p.168~173) 公衆衛生 : 第 7 章 A-1-2 「日本の母子保健の歩み」 (p.153~154) 社会保障・社会福祉 : 第 1 章 B-3-2 「福祉 6 法」 (p.19~23)、第 7 章 C-2-1 「児童福祉法」 (p.198~199) 看護関係法令 : 第 8 章 B-1 「児童福祉法」 (p.217~219)
		b 児童虐待の防止等に関する法律〈児童虐待防止法〉	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 8 章 A 「児童福祉」 (p.170~176) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 6 章 G 「児童虐待と看護」 (p.301~307) 公衆衛生 : 第 7 章 A-5 「児童虐待防止のための母子保健活動」 (p.164~167) 社会保障・社会福祉 : 第 7 章 C-4-1 「児童虐待の防止等に関する法律」 (p.208~209) 看護関係法令 : 第 8 章 B-2-2 「児童虐待の防止等に関する法律」 (p.220)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 母子及び父子並びに寡婦福祉法	精神保健福祉：第4章 B-2-1「児童虐待への対応」(p.87～89) 社会保障・社会福祉：第1章 B-3-2「福祉6法」(p.19～23) 看護関係法令：第8章 B-2-5「母子及び父子並びに寡婦福祉法」(p.221～222) 家族論・家族関係論：第4章 D-3「少子化」(p.133～135)
	G 高齢者に関する法や施策	a 老人福祉法	老年看護学：第2章 B-2-1「保健医療福祉制度の変遷」(p.36～39) 社会保障・社会福祉：第1章 B-3-2「福祉6法」(p.19～23) 看護関係法令：第8章 C-1「老人福祉法」(p.222～223) 老年看護学：第2章 C-2-6「高齢者虐待防止法」(p.58～60) 在宅看護論：第5章 D-6「虐待の防止」(p.165～166) 公衆衛生：第7章 C-7-6「介護者の健康、虐待予防」(p.204～205) 社会保障・社会福祉：第4章 B-8「利用者の権利擁護」(p.111～112) 看護関係法令：第8章 C-2-2「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」(p.224) 社会保障・社会福祉：第4章 B-7「介護保健事業計画など」(p.109～110)
		b 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律〈高齢者虐待防止法〉	
		c 老人福祉計画	
	H D～G以外の法や施策	a 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律〈DV防止法〉	母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第5章 F「性暴力を受けた女性に対する看護」(p.291～300) 社会保障・社会福祉：第7章 C-2-4「DV対策」(p.202～203) 看護関係法令：第9章 B-7「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」(p.247～248)
		b 次世代育成支援、少子化対策	小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第8章 A「児童福祉」(p.170～176) 母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第2章 A-4-4「次世代育成支援」(p.81～82) 公衆衛生：第7章 A-1-3「日本の少子化対策」(p.155) 社会保障・社会福祉：第7章 C-3「少子化対策と子育て支援」(p.205～208)
		c 依存症対策(アルコール依存、薬物依存、病的賭博)	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第7章 E-4-2「薬物・アルコール依存症対策」(p.343～344) 精神保健福祉：第8章 C「物質依存と精神保健福祉」(p.265～279)

目標Ⅲ. 公衆衛生の基本、保健活動の基盤となる法や施策および生活者の健康増進について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
7 健康と公衆衛生	A 公衆衛生の基本	a 公衆衛生の領域、活動の特徴	公衆衛生：序章 A「みんなの健康」(p.2)、第1章 A「公衆衛生とはなにか」(p.14～16)
		b 健康の概念に基づく公衆衛生	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-3「大人の健康」(p.57～62) 総合医療論：第1章 B「健康とは」(p.19～23) 公衆衛生：序章 A「みんなの健康」(p.2)、第1章 A「公衆衛生とはなにか」(p.14～16)
		c プライマリヘルスケア	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第3章 B-5「健康の実現：ヘルスプロモーション」(p.101～102)、第7章 A-5-1「プライマリヘルスケアとヘルスプロモーション」(p.307～309) 公衆衛生：第1章 D-1「プライマリヘルスケア」(p.32～34)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d ヘルスプロモーション	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 3 章 B-5 「健康の実現 : ヘルスプロモーション」 (p.101~102)、第 7 章 A-5-1 「プライマリヘルスケアとヘルスプロモーション」 (p.307~309) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 4 章 「ヘルスプロモーションと看護」 (p.146~160) 公衆衛生 : 第 1 章 D-2 「ヘルスプロモーション」 (p.34~40)
		e ポピュレーションアプローチ、ハイリスクアプローチ	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 4 章 A-3-1 「集団の健康を増進するための方法」 (p.152~155) 公衆衛生 : 第 2 章 D-5 「ハイリスクとポピュレーションの複眼——社会集団の健やかな生活を保障するために」 (p.58~59)
	B 疫学的方法に基づく公衆衛生	a 健康被害と母集団	公衆衛生 : 第 6 章 B 「公衆衛生の場での疫学——集団をとらえる」 (p.128~138)
		b 疫学的因果関係の推定	公衆衛生 : 第 6 章 C-2 「疫学的因果関係」 (p.141~142)
		c 臨床疫学とエビデンス	総合医療論 : 第 6 章 A 「臨床疫学——医療における合理的判断」 (p.142~148) 公衆衛生 : 第 6 章 E 「エビデンスを使う、つくる」 (p.143~145)
	C 健康に関する指標に基づく公衆衛生	a 国勢調査	公衆衛生 : 第 6 章 B-3 「健康指標の基礎資料——人口を把握する」 (p.135~138)
		b 人口静態	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 2 章 A-1-1 「国民経済の現状」 (p.40~43) 公衆衛生 : 第 6 章 B-3 「健康指標の基礎資料——人口を把握する」 (p.135~138)
		c 出生	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 3 章 D-2 「平均寿命と出生」 (p.108~110) 小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 1 章 B-2 「出生と家族」 (p.9~12) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 2 章 A-2-1 「出生に関する動向」 (p.59~65) 公衆衛生 : 第 6 章 B-3 「健康指標の基礎資料——人口を把握する」 (p.135~138)
		d 死亡、死因	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 3 章 D-9 「老いと死」 (p.120~126) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 2 章 A-2-1 「生と死の動向」 (p.49~51) 公衆衛生 : 第 6 章 B-3 「健康指標の基礎資料——人口を把握する」 (p.135~138)
		e 死産、周産期死亡、乳児死亡	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 3 章 D-3 「子どもの健康」 (p.110~112) 小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 1 章 B-3 「子どもの死亡」 (p.12~15) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 2 章 A-2-2 「死亡に関する動向」 (p.65~73) 公衆衛生 : 第 6 章 B-3 「健康指標の基礎資料——人口を把握する」 (p.135~138)、第 7 章 A-1-1 「日本の母子保健統計の動向」 (p.150~152)
		f 平均余命、平均寿命	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 3 章 D-2 「平均寿命と出生」 (p.108~110) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 2 章 A-2-1 「生と死の動向」 (p.49~51) 公衆衛生 : 第 6 章 B-2-1 「平均寿命、平均余命、健康寿命」 (p.131~132)
		g 健康寿命	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 3 章 E-2 「健康寿命」 (p.128~129) 公衆衛生 : 第 6 章 B-2-1 「平均寿命、平均余命、健康寿命」 (p.131~132)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
8 公衆衛生における感染症と対策	A 感染症の基本	h 受療状況、有病率、罹患率	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 2 章 A-2-2 「受療状況」 (p.51) 公衆衛生 : 第 6 章 B-1 「疾患の発生状況を把握する」 (p.129~131)
		a 感染症の成立要因	成人看護学 [11] (感染症) : 第 2 章 B 「感染症が成立する条件」 (p.212~218) 微生物学 : 第 6 章 「感染と感染症」 (p.69~96)
		b 感染症の流行	微生物学 : 第 12 章 B-1 「新興・再興感染症」 (p.200~201) 公衆衛生 : 第 7 章 G-3 「公衆衛生上の重要な感染症とその対策」 (p.261~271)
		c 感染症の予防	成人看護学 [11] (感染症) : 第 6 章 A 「感染予防」 (p.322~351) 微生物学 : 第 12 章 C-3 「感染予防の理念と実際」 (p.206~208) 公衆衛生 : 第 7 章 G-2 「院内感染とその予防」 (p.259~261)
		d 予防接種	成人看護学 [11] (感染症) : 第 6 章 A-10 「予防接種とワクチン」 (p.342~351) 小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 8 章 D 「予防接種」 (p.183~190) 微生物学 : 第 12 章 C-4 「ワクチンと予防接種」 (p.208~211) 公衆衛生 : 第 7 章 G-1-4 「予防接種」 (p.256~259) 看護関係法令 : 第 4 章 C-3 「予防接種法」 (p.153~157)
		e 院内感染と予防、感染防御	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 13 章 「感染防止の技術」 (p.421~459) 成人看護学 [11] (感染症) : 第 6 章 A 「感染予防」 (p.322~351) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 2 章 C-2-3 「院内感染対策」 (p.43~48) 微生物学 : 第 12 章 B-2 「院内感染とその特徴」 (p.202~203) 公衆衛生 : 第 7 章 G-2 「院内感染とその予防」 (p.259~261) 救急看護学 : 第 4 章 A 「周囲の状況確認とスタンダードプリコーション」 (p.96~98)
		f 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 (感染症法)	成人看護学 [11] (感染症) : 第 2 章 A 「感染症とはなにか」 (p.210~212) 微生物学 : 第 12 章 C-1 「感染症法および関連する法律」 (p.203~205) 公衆衛生 : 第 7 章 G-1 「『感染症法』とその予防対策」 (p.252~259) 看護関係法令 : 第 4 章 C-1 「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」 (p.143~152)
	B 主要な感染症と動向	a 結核	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第 5 章 A-4 「結核」 (p.153~164) 成人看護学 [11] (感染症) : 第 6 章 A-10 「予防接種とワクチン」 (p.342~351) 公衆衛生 : 第 7 章 G-3-2 「結核」 (p.262~265) 看護関係法令 : 第 4 章 C-1-10 「結核」 (p.151)
		b ヒト免疫不全ウイルス (HIV) 感染症、後天性免疫不全症候群 (AIDS)	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 5 章 C-7-3 「性感染症」 (p.179~180) 成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第 5 章 D-1-6 「HIV 感染症 / エイズ (AIDS)」 (p.200~201) 成人看護学 [11] (感染症) : 第 5 章 R 「HIV 感染症と日和見感染症」 (p.310~315) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 6 章 C 「HIV に感染した女性に対する看護」 (p.269~278)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 新型インフルエンザ	微生物学：第16章 B-11-2「ヒト免疫不全ウイルス」(p.347～350) 公衆衛生：第7章 G-3-3「エイズ、HIV 感染症」(p.265～269) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 B-1-2「保健にかかわる対策——健やかな生活をはぐくむために」(p.63～72) 成人看護学 [2] (呼吸器)：第5章 A-2「インフルエンザ」(p.140～142) 成人看護学 [11] (感染症)：第5章 S「新興・再興感染症」(p.315～318) 微生物学：第16章 B-1-1「A 型・B 型・C 型インフルエンザウイルス」(p.321～325) 公衆衛生：第7章 G-3-1「新型インフルエンザ」(p.261～262) 看護関係法令：第4章 C-2「新型インフルエンザ等対策特別措置法」(p.152～153)
		d 薬剤耐性菌感染症	公衆衛生：第7章 G-2-1「さまざまな院内感染」(p.259～260)
		e 人獣共通感染症	成人看護学 [11] (感染症)：第5章 N「人動物咬傷」(p.299～300) 微生物学：第8章 C-2「動物由来感染症と人獣共通感染症」(p.138)
9 公衆衛生における生活環境と問題への対策	A 地球環境	a 地球温暖化	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-1-3「日常生活を取り巻く環境」(p.48～49) 公衆衛生：第4章 A-1「地球温暖化」(p.84～86)
		b オゾン層の破壊	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-1-3「日常生活を取り巻く環境」(p.48～49) 公衆衛生：第4章 A-2「オゾン層の破壊」(p.86～88)
		c アスベスト、放射性物質	公衆衛生：第4章 A-5「大気汚染」(p.92～94)、A-7「放射性物質」(p.95～97)
		d 水質汚染	公衆衛生：第4章 A-4「水質汚濁」(p.89～92) 看護関係法令：第10章 B-5「水質汚濁防止法」(p.260～261)
		e 大気汚染	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-1-3「日常生活を取り巻く環境」(p.48～49)、第5章 C-6-3「大気・空気・紫外線の問題」(p.177) 公衆衛生：第4章 A-5「大気汚染」(p.92～94) 看護関係法令：第10章 B-1「大気汚染防止法」(p.257～258)
		f 土壌汚染	公衆衛生：第4章 A-5「土壌汚染」(p.94～95) 看護関係法令：第10章 B-7「土壌汚染対策法」(p.261)
	B 食品および家庭用品	a 食品安全確保対策	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-1-3「日常生活を取り巻く環境」(p.48～49)、第5章 C-6-1「食品の安全性確保」(p.177) 公衆衛生：第4章 B-2「食品管理——食品安全確保対策、食品衛生管理制度」(p.99～102) 看護関係法令：第4章 D-1「食品安全基本法」(p.157)
		b 食品衛生管理制度	公衆衛生：第4章 B-2「食品管理——食品安全確保対策、食品衛生管理制度」(p.99～102) 看護関係法令：第4章 D-2「食品衛生法」(p.157～159)
		c 食中毒の予防	公衆衛生：第7章 G-3-6「食中毒予防」(p.270～271)
		d 家庭用品の管理安全対策	公衆衛生：第4章 B-3「家庭用品の安全対策」(p.102～103)
	C ごみ・廃棄物	a 一般廃棄物と産業廃棄物	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第5章 C-6-4「廃棄物処理」(p.177～178) 看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第3章 F-5「廃棄物の取り扱いと管理」(p.127～128) 公衆衛生：第4章 B-4-1「一般廃棄物と産業廃棄物」(p.103)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
10 保健活動の基盤となる法や施策	D 住環境	b 市町村と企業の責任	看護関係法令：第10章 B-11「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(p.262～264) 公衆衛生：第4章 B-4-2「廃棄物処理——市町村と企業の責任」(p.103～104)、B-4-3「医療廃棄物」(p.104～105)
		a バリアフリー	公衆衛生：第4章 B-5「バリアフリー」(p.106～107) 看護関係法令：第9章 B-6「高齢者、障害者等の異動等の円滑化の促進に関する法律」(p.246～247)
		b 室内環境と健康問題	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第5章 C-6-2「居住環境」(p.177) 成人看護学 [11] (アレルギー)：第2章 C-2「アレルギーの種類」(p.24～25) 公衆衛生：第4章 B-1「室内環境」(p.98～99)
	A 地域保健	a 地域保健法と施策	公衆衛生：第3章 A「政策展開」(p.64～74) 社会保障・社会福祉：第2章 B-2-3「地域保健対策の展開」(p.48)
		b 健康日本 21	看護関係法令：第4章 A-1「地域保健法」(p.120～123) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 B-1-2「保健にかかわる対策——健やかな生活をはぐくむために」(p.63～72) 公衆衛生：第3章 A-3-2「健康日本 21」(p.67～68)、第7章 B-2「健康づくり対策の変遷」(p.176～179) 社会保障・社会福祉：第2章 B-2-2「健康づくり対策の展開」(p.47～48)
		c 健康増進法	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 B-1-2「保健にかかわる対策——健やかな生活をはぐくむために」(p.63～72) 公衆衛生：第3章 A-3-2「健康日本 21」(p.67～68)、第7章 B-3「健診・検診」(p.179～181) 社会保障・社会福祉：第2章 B-2-2「健康づくり対策の展開」(p.47～48) 看護関係法令：第4章 A-2「健康増進法」(p.123～124)
	B 母子保健	a 母子保健法と施策	小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第8章 B「母子保健」(p.176～181) 母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第2章 A-3-2「母性看護に関するおもな法律」(p.75～76) 公衆衛生：第7章 A-1-2「日本の母子保健の歩み」(p.153～154)、A-2「母子保健の理念としくみ」(p.155～158) 社会保障・社会福祉：第7章 C-2-2「母子保健法と母子保健施策」(p.199～202)
		b 母子健康手帳	看護関係法令：第4章 B-2「母子保健法」(p.132～134) 小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第8章 B-2-1「母子保健手帳」(p.178～179) 母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第2章 A-4-1「妊産婦と乳幼児に対する支援」(p.77～81) 母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第3章 D-1-1「妊娠の届出と母子健康手帳の交付」(p.126～127) 公衆衛生：第7章 A-3-1「妊娠届および母子健康手帳の交付」(p.158～159) 社会保障・社会福祉：第7章 C-2-2「母子保健法と母子保健施策」(p.199～202)
		c 保健指導、訪問指導	看護関係法令：第4章 B-2「母子保健法」(p.132～134) 母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第2章 A-4-1「妊産婦と乳幼児に対する支援」(p.77～81) 母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第3章 D-1「妊婦が受ける母子保健サービス」(p.126～130)、第6章 D「施設退院後の看護」(p.351～354)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d 健康診査、健康教育	公衆衛生：第7章 A-3「母体保護のための母子保健活動（妊娠期の支援）」（p.158～160）、A-4「育児支援のための母子保健活動」（p.160～164）、A-5「児童虐待防止のための母子保健活動」（p.164～167）、A-6「親性をはぐくむ母子保健活動（思春期含む）」（p.167～169） 社会保障・社会福祉：第7章 C-2-2「母子保健法と母子保健施策」（p.199～202） 看護関係法令：第4章 B-2「母子保健法」（p.132～134） 小児看護学 [1]（小児看護学概論）：第2章 D「成長の評価」（p.35～46）、E「発達の評価」（p.47～50） 母性看護学 [1]（母性看護学概論）：第2章 A-4-1「妊産婦と乳幼児に対する支援」（p.77～81） 母性看護学 [2]（母性看護学各論）：第3章 D-1「妊婦が受ける母子保健サービス」（p.126～130） 公衆衛生：第7章 A-3-2「妊産婦保健指導・訪問指導、妊婦健康診査」（p.159～160）、A-4-2「乳幼児健康診査」（p.161～162） 社会保障・社会福祉：第7章 C-2-2「母子保健法と母子保健施策」（p.199～202） 看護関係法令：第4章 B-2「母子保健法」（p.132～134） 母性看護学 [1]（母性看護学概論）：第2章 A-3-2「母性看護に関するおもな法律」（p.75～76） 公衆衛生：第7章 A-6-1「思春期保健対策」（p.167～168） 看護関係法令：第4章 B-3「母体保護法」（p.134～135）
		e 母体保護法	公衆衛生：第7章 A-6-1「思春期保健対策」（p.167～168） 看護関係法令：第4章 B-3「母体保護法」（p.134～135）
	C 精神保健	a 精神保健医療福祉の施策	精神看護学 [1]（精神看護の基礎）：第7章 B「日本における精神医学・精神医療の流れ」（p.293～304） 公衆衛生：第7章 D-2「地域生活を支えるためのしくみ」（p.212～218）、D-3「精神障害者の医療」（p.218～220） 社会保障・社会福祉：第1章 B-1「社会福祉の法制度の歴史的展開」（p.12～15）、第7章 B-3「障害者福祉制度の変遷」（p.177～181） 精神保健福祉：第2章 A「わが国の精神保健福祉の変遷」（p.12～33）、第3章「精神保健福祉に関する法律と施策」（p.40～63）
		b 精神障害者（児）の医療と福祉	精神看護学 [1]（精神看護の基礎）：第7章 E-1-4「精神科看護の基本となる法律」（p.319～320）、E-2-2「医療を受けるための法律と制度」（p.327～330）、E-2-3「生活を支えるための法律と制度」（p.330～334）、E-2-5「個別の課題に対応した法律」（p.337～340） 公衆衛生：第7章 D-2「地域生活を支えるためのしくみ」（p.212～218）、D-3「精神障害者の医療」（p.218～220） 社会保障・社会福祉：第7章 B「障害者福祉」（p.169～196） 看護関係法令：第4章 B-1「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」（p.125～132） 精神保健福祉：第3章「精神保健福祉に関する法律と施策」（p.40～63）、第4章「精神保健福祉活動の展開に必要な知識と技術」（p.66～120）、第5章「地域移行支援・地域生活支援の基礎」（p.122～156）、第6章「地域移行支援の展開」（p.158～204）、第7章「地域生活支援の展開」（p.206～241）、第8章「特定の状況に対する精神保健福祉」（p.244～289）
		c こころの健康対策、自殺対策	精神看護学 [1]（精神看護の基礎）：第1章 A「『心のケア』と現代社会」（p.2～7）、第7章 E-4-1「自殺・うつ病対策」（p.341～343） 公衆衛生：第7章 D-4「自殺と自殺予防対策」（p.220～223）

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d 発達障害に関する医療と福祉	看護関係法令：第4章 B-7「自殺対策基本法」(p.138～139) 精神保健福祉：第4章 B-2-3「自殺対策」(p.93～96) 小児看護学 [2] (小児臨床看護各論)：第18章 B-2「発達障害(神経発達症群)」(p.494～498) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章 C-10「神経発達障害群」(p.227～232)、第7章 E-2-5「個別の課題に対応した法律」(p.337～340) 公衆衛生：第7章 F-2-2「就学支援」(p.243～247) 社会保障・社会福祉：第7章 B-3-5「発達障害者支援法の成立」(p.180)、B-5-1「特別支援教育」(p.186～188) 看護関係法令：第8章 D-3-7「発達障害者支援法」(p.232)
	D 学校保健	a 学校保健安全法	小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第8章 E「学校保健」(p.190～195) 公衆衛生：第8章 A-1「学校保健が目ざすもの」(p.279～286) 看護関係法令：第4章 B-4「学校保健安全法」(p.135～136)
		b 健康診断、健康相談	小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第8章 E-2「健康診断」(p.191～193)、E-3「健康相談」(p.194) 公衆衛生：第8章 B「学校保健の展開」(p.291～297) 看護関係法令：第4章 B-4「学校保健安全法」(p.135～136) 教育学：第2部 第3章 B-3「保健的能力(保健の知識・技能・自治能力)の育成」(p.91)
		c 感染症対応	小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第8章 E-4「感染予防」(p.194) 公衆衛生：第8章 B-2「感染症の予防と対策」(p.292～294) 看護関係法令：第4章 B-4「学校保健安全法」(p.135～136) 教育学：第2部 第3章 B-3「保健的能力(保健の知識・技能・自治能力)の育成」(p.91)
		d 学校環境衛生	小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第8章 E「学校保健」(p.190～195) 公衆衛生：第8章 A-1-4「学校保健の構造」(p.280～284) 看護関係法令：第4章 B-4「学校保健安全法」(p.135～136) 教育学：第2部 第3章 B-3「保健的能力(保健の知識・技能・自治能力)の育成」(p.91)
	E A～D以外の保健活動の基盤となる法や施策	a がん対策基本法	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 B-1-2「保健にかかわる対策——健やかな生活をはぐくむために」(p.63～72) 公衆衛生：第7章 B-5「がん対策」(p.184～186) 看護関係法令：第4章 B-5「がん対策基本法」(p.136～137) がん看護学：第1章 A「がんを取り巻く状況」(p.12～22) 緩和ケア：第1章 D「わが国のがん対策と緩和ケア」(p.10～11)
		b 難病の患者に対する医療等に関する法律〈難病支援法〉	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第7章 C-1「セルフマネジメントの支援」(p.213～215) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第6章 A-5-3「在宅療養支援態勢」(p.239～242) 成人看護学 [11] (膠原病)：第1章 A-2「医療の動向と看護」(p.90～92) 在宅看護論：第4章 B-4「難病法」(p.81～82)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
11 生活者の健康増進	A 生活習慣病の予防		公衆衛生：第7章 F-3-5「医療支援」(p.248～249) 社会保障・社会福祉：第3章 F「公費負担医療」(p.79～81) 看護関係法令：第4章 B-10「難病の患者に対する医療等に関する法律」(p.140)
		a 主な生活習慣病の現状	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-2-3「生活習慣病」(p.51～53) 公衆衛生：第7章 B-4「生活習慣病対策」(p.181～184)
		b 栄養、運動、休息	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-1-2「日常生活の状況」(p.43～48)、第5章 C-4「身体活動量低下と運動不足」(p.173～175) 栄養学：第10章 B「生活習慣病の予防」(p.247～248) 公衆衛生：第7章 B-4「生活習慣病対策」(p.181～184)
		c 喫煙・飲酒対策	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-1-2「日常生活の状況」(p.43～48)、第5章 C-2「飲酒がもたらす健康問題」(p.171～172)、C-3「喫煙と健康問題」(p.172～173) 公衆衛生：第7章 B-4「生活習慣病対策」(p.181～184) 精神保健福祉：第8章 C「物質依存と精神保健福祉」(p.265～279)
		d 健康教育と早期発見	公衆衛生：第7章 B-1-1「疾病予防」(p.175～176)、B-6「健康教育」(p.186～189) 医学概論：第8章 D「予防的定期的総合健診の意義」(p.133～137)
		e 循環器疾患の予防	成人看護学 [3] (循環器)：第5章 A-3「冠動脈硬化の危険因子」(p.143～149) 公衆衛生：第7章 B-4「生活習慣病対策」(p.181～184)
		f 糖尿病の予防	公衆衛生：第7章 B-4「生活習慣病対策」(p.181～184)
		g 特定健康診査、特定保健指導	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 B-1-2「保健にかかわる対策——健やかな生活をはぐくむために」(p.63～72) 公衆衛生：第7章 B-4-2「特定健康診査・特定保健指導」(p.183～184) 社会保障・社会福祉：第2章 B-2-2「健康づくり対策の展開」(p.47～48)
	B 職場の健康管理	a 労働安全衛生法	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第4章 B-2「職場におけるヘルスプロモーションを促進する看護」(p.157～160) 公衆衛生：第9章 A-1-1「労働者の健康問題と労働関連法令の変遷」(p.304～305)、A-2-1「労働安全衛生法」(p.310) 看護関係法令：第9章 A-2「労働安全衛生法」(p.237～239)
		b 職業病の予防	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第4章 B-2「職場におけるヘルスプロモーションを促進する看護」(p.157～160)、第5章 C-1「就業・労働形態の変化がもたらす健康問題」(p.169～171) 公衆衛生：第9章 A-2「労働安全衛生法に基づく職場での健康管理」(p.309～313)、A-3「職場の健康管理体制」(p.313～316)、B-2「予防と個別支援、集団・組織支援」(p.317～319) 看護関係法令：第9章 A-2「労働安全衛生法」(p.237～239) 医学概論：第8章 B-5「労働衛生」(p.129～130)
		c トータル・ヘルスプロモーション	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第4章 B「ヘルスプロモーションを促進する看護の場と活動」(p.155～160) 公衆衛生：第9章 A-2-2「労働安全衛生法」に基づく健康管理の実践」(p.311～313) 医学概論：第8章 B-5「労働衛生」(p.129～130)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d 作業環境管理	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 4 章 B-2 「職場におけるヘルスプロモーションを促進する看護」 (p.157~160) 公衆衛生 : 第 9 章 A-3 「職場の健康管理体制」 (p.313~316)
		e ワーク・ライフ・バランス	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 1 章 B-2-3 「ワークライフバランス」 (p.33~34) 公衆衛生 : 第 9 章 C 「産業保健における今後の課題と新たな動き」 (p.319~321) 社会保障・社会福祉 : 第 2 章 A-5-4 「仕事と余暇——ワーク・ライフ・バランス」 (p.44) 社会学 : 第 7 章 D 「仕事と生活の調和」 (p.117~120)

目標Ⅳ. 人々の健康を守るための従事者に関する法や施策およびサービス提供体制について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
12 人々の健康を守る従事者や機関に関する法や施策	A 看護職に関する法	a 保健師助産師看護師法	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 6 章 B-1 「保健師助産師看護師法」 (p.149~152) 看護関係法令 : 第 2 章 A 「保健師助産師看護師法」 (p.20~47)
		b 看護師等の人材確保の促進に関する法律	看護関係法令 : 第 2 章 B 「看護師等の人材確保の促進に関する法律」 (p.47~50)
	B 医療や社会福祉関連職に関する法	a 医療法	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 6 章 C-1-3 「衛生法規」 (p.234~240) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 2 章 B-1-3 「医療にかかわる対策——健康への多様なニーズへの対応」 (p.72~74) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 4 章 B-3-3 「医療法」 (p.158) 看護関係法令 : 第 3 章 A 「医療法」 (p.52~74) 看護関係法令 : 第 3 章 B-1 「医師法」 (p.74~77)
		b 医師法	看護関係法令 : 第 3 章 B-2 「歯科医師法」 (p.77~78)
		c 歯科医師法	看護関係法令 : 第 3 章 B-3 「薬剤師法」 (p.79~80)
		d 薬剤師法	看護関係法令 : 第 3 章 B-4 「診療放射線技師法」 (p.80~81)
		e 診療放射線技師法	看護関係法令 : 第 3 章 B-5 「臨床検査技師等に関する法律」 (p.82~83)
		f 臨床検査技師等に関する法律	看護関係法令 : 第 3 章 B-6 「理学療法士及び作業療法士法」 (p.83~84)、B-8 「言語聴覚士法」 (p.86~87)
		g 理学療法士及び作業療法士法、言語聴覚士法	看護関係法令 : 第 3 章 C-2 「精神保健福祉士法」 (p.101~102)、C-4 「社会福祉士及び介護福祉士法」 (p.103~105)
		h 社会福祉士及び介護福祉士法、精神保健福祉士法	看護関係法令 : 第 3 章 C-3 「栄養士法」 (p.102~103)
		i 栄養士法	
	C サービスの提供体制	a 医療計画	公衆衛生 : 第 3 章 A-3-1 「医療計画」 (p.66~67) 社会保障・社会福祉 : 第 2 章 B-2-1 「医療提供体制の特色と課題」 (p.47) 看護関係法令 : 第 3 章 A-12 「医療計画など医療提供体制の確保」 (p.69~70)
		b 医療提供施設(病院、診療所、介護老人保健施設等)の機能	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 6 章 B-2-1 「医療施設における看護」 (p.217~222) 総合医療論 : 第 3 章 A-2 「診療所と病院」 (p.60~65) 看護関係法令 : 第 3 章 A 「医療法」 (p.52~74)
		c 助産所	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 6 章 B-2-1 「医療施設における看護」 (p.217~222) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 2 章 A-5-1 「母性看護の場」 (p.83~85) 看護関係法令 : 第 3 章 A 「医療法」 (p.52~74)
		d 訪問看護ステーション	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 6 章 B-2-2 「地域における看護」 (p.222~229)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		e 地域包括支援センター	在宅看護論：第4章 D-2「訪問看護ステーションに関する規程」(p.94～95) 基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章 B-2-2「地域における看護」(p.222～229)
		f 救急医療	看護関係法令：第7章 A-4-6「地域支援事業」(p.205) 総合医療論：第3章 A-1「救急医療と蘇生術」(p.58～60)
		g 在宅医療	救急看護学：第1章「救急看護の概念」(p.2～46) 基礎看護学 [1] (看護学概論)：第1章 C-5「在宅療養を可能にする連携と継続的なかわり」(p.60～62) 在宅看護論：第4章「在宅看護にかかわる法令・制度とその活用」(p.76～109)
		h 診療記録と情報公開	総合医療論：第5章 G「インフォームド・コンセントと医療情報の開示」(p.132～138) 看護関係法令：第3章 A-10「診療に関する諸記録など」(p.67～68)
		i 安全管理〈セーフティマネジメント〉	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章 E「医療安全と医療の質保証」(p.276～287) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章 E-2「リスクマネジメント」(p.118～119) 看護の統合と実践 [2] (医療安全)：序章「医療安全を学ぶことのたいせつさ」(p.2～6)、第1章「事故防止の考え方を学ぶ」(p.8～36) 総合医療論：第6章 B「患者の安全」(p.148～154) 看護関係法令：第2章 A-10「医療過誤」(p.37～39)
		j 医薬品と医療機器の取り扱い	看護関係法令：第5章 A-1「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」(p.162～171)
		k 毒薬・劇薬・麻薬・血液製剤等の取り扱い	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第9章 A-2-2「薬の管理」(p.289～290) 薬理学：第1章 F-1「医薬品に関する法律」(p.58) 看護関係法令：第5章 A-1-8「医薬品等の取扱い」(p.168)

基礎看護学

基礎看護学

目標Ⅰ．看護の基本となる概念について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
1 看護の基本となる概念	A 看護の本質	a 看護の定義	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第1章 A-3 「看護の定義」 (p.10~25) 基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 序章 A 「技術とはなにか」 (p.2~3)
		b 役割と機能	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第1章 B 「看護の役割と機能」 (p.27~48)
		c 職業としての看護	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第1章 A-2-3 「看護の歴史」 (p.4~10)、第4章 A 「職業としての看護」 (p.138~149)
		d 学問としての看護	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第1章 A-2-3 「看護の歴史」 (p.4~10)、A-3-3 「看護の理論家にみる看護の定義」 (p.13~25)、[資料1] 「主要な看護理論家の看護概念」 (p.340~345)
		e 看護の変遷	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第1章 A-2 「看護の変遷」 (p.2~10)、第4章 A 「職業としての看護」 (p.138~149)
	B 看護の対象	a 全体 (whole) としての人間	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第2章 「看護の対象の理解」 (p.64~91)
		b 成長・発達する存在	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第2章 B 「生涯発達しつづける存在としての人間」 (p.79~86) 基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 第1章 A 「ライフサイクルからとらえた対象者と家族の健康上のニーズ」 (p.2~32) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 A 「対象の理解：大人になること、大人であること」 (p.4~27)
		c ニーズをもつ存在	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第1章 A-3-3 「看護理論家にみる看護の定義」 (p.13~25)、第2章 A-5-1 「人間のニード(欲求)に関する理論：マズローの欲求段階説」 (p.77) 基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 第1章 A 「ライフサイクルからとらえた対象者と家族の健康上のニーズ」 (p.2~32)
		d 生活を営む存在	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第2章 C-1 「生活者としての人間：『生活』の4つの側面」 (p.86~91) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 B 「対象の生活：働いて生活を営むこと」 (p.27~38) 社会学 : 第7章 「『働き方』『働かせ方』と健康・病気」 (p.106~120)
		e 適応する存在	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第1章 A-3-3 「看護理論家にみる看護の定義」 (p.13~25)、第2章 A-2 「看護の使命と結びつくホメオスタシス」 (p.67~68)、A-3 「『こころ』と『からだ』にかかるストレスの影響」 (p.68~74)
		f 社会・文化的存在	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第1章 B-1-2 「看護におけるケア」 (p.29~33)、第2章 C-1 「生活者としての人間：『生活』の4つの側面」 (p.86~88)、第7章 8-2 「多文化看護理論」 (p.318~320)
		g ライフサイクルと発達課題	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第2章 B-2 「心理・社会的側面における発達」 (p.81~86) 基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 第1章 A-1 「ライフサイクルと発達課題」 (p.5~7) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 A-1-2 「発達段階・発達課題」 (p.6~9)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	C 健康と生活	a 健康のとらえ方	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 B-2 「ライフサイクルとアイデンティティ」 (p.73~78) 基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 B 「健康のとらえ方」 (p.94~102) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A 「大人の生活からとらえる健康」 (p.40~62) 公衆衛生 : 第1章 A-2 「ヘルス・健康」とはなにか」 (p.15~16) 社会学 : 第5章 A 「健康・病気の見方・とらえ方のうつりかわり」 (p.74~76)、B 「健康・病気の新しい見方ととらえ方」 (p.76~84)
		b 健康の諸相	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 B 「健康のとらえ方」 (p.94~102)
		c 健康への影響要因	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 B 「健康のとらえ方」 (p.94~102) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第5章 B 「健康バランスに影響を及ぼす要因」 (p.164~169)
		d 生活習慣とセルフケア	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第1章 B-3-4 「生活習慣病対策・健康増進運動における看護への期待」 (p.48)、第2章 C-1 「生活者としての人間：「生活」の4つの側面」 (p.86~88)、第3章 B-4 「生活と健康」 (p.99~101)、E-5 「健康・生活とQOL」 (p.135) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A 「大人の生活からとらえる健康」 (p.40~62)、第7章 「健康生活の慢性的な揺らぎの再調整を促す看護」 (p.206~219)
		e QOL の維持と向上	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 E-5 「健康・生活とQOL」 (p.135) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-3-2 「クオリティオブライフ(QOL)」 (p.59~60) 総合医療論 : 第1章 B-5 「QOL(生活の質)」について考える」 (p.23) 公衆衛生 : 第1章 D-2-4 「オタワ憲章——健康は手段か目的か」 (p.37~40) 社会学 : 第5章 B-4 「健康とクオリティオブライフ(QOL)」 (p.79~80)
	D 看護における倫理	a 基本的人権、世界人権宣言、個人の尊厳	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 B-1-2 「権利としての健康」 (p.95~96)、第5章 B-1-1 「インフォームドコンセントの誕生」 (p.186~187) 公衆衛生 : 第1章 C-3 「日本国憲法のなかの公衆衛生」 (p.30~31)、C-4 「日本国憲法と世界人権宣言における健康と人権」 (p.31~32)、第2章 B-1 「看護職は「みんな」の権利をまもる守護神の1人」 (p.47~48) 看護倫理 : 第2章 A-2 「生命倫理の歴史」 (p.22~25)
		b 医療の倫理原則	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第1章 B-2-3 「看護の質保障に欠かせない要件」 (p.37~41)、第5章 C-2 「医療をめぐる倫理原則とケアの倫理」 (p.200~204) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第3章 F 「看護実践における倫理的判断」 (p.120~128) 人間関係論 : 第3章 A 「倫理・生命倫理」 (p.34~39) 看護倫理 : 第2章 「生命倫理」 (p.22~37) 看護情報学 : 第6章 B 「医療倫理」 (p.137~142)
		c 患者の権利と擁護	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第1章 B-2-3 「看護の質保証に欠かせない要件」 (p.37~41)、第5章 B-1 「患者の権利とインフォームドコンセント」 (p.186~187)、C-1 「看護の本質としての看護倫理」 (p.199~200) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第2章 B 「患者の権利の尊重」 (p.21~25) 救急看護学 : 第2章 D-2 「倫理面への配慮」 (p.43~46)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d 倫理綱領	クリティカルケア看護学：第6章 A-1-2「権利の擁護」(p.206) 看護倫理：第2章 C「インフォームドコンセント」(p.29～35)、第6章 D「看護実践上の倫理的概念」(p.94～102) 看護情報学：第7章「患者の権利と情報」(p.144～158) 基礎看護学 [1] (看護学概論)：第5章 B-3「医療専門職の倫理規定」(p.192～199) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章 F「看護実践における倫理的判断」(p.120～128) 看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第4章 B-5「看護職の職業倫理」(p.162～165) 看護倫理：第7章「専門職の倫理」(p.110～125) 看護情報学：第6章「情報倫理と医療倫理」(p.132～142)
		e 倫理的葛藤と対応	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第5章 B-2「現代医療におけるさまざまな倫理的問題」(p.188～192)、C-3「看護実践場面での倫理的ジレンマ」(p.204～207) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章 F「看護実践における倫理的判断」(p.120～128) 看護倫理：第6章 D「看護実践上の倫理的概念」(p.94～102)、E「看護実践と倫理」(p.102～105)、第8章「倫理的問題へのアプローチ」(p.128～150) 看護情報学：第4章 B-4「意思決定支援」(p.81～86)
2 看護の展開	A 対象との関係の形成	a 信頼関係	基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I)：第1章 D「効果的なコミュニケーションの実践」(p.39～52) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章 B「健康問題を持つ大人と看護師の人間関係」(p.94～100) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第8章 A「ケアの前提」(p.2～7)、B「ケアの原則」(p.8～15) 社会学：第9章「患者-医療者関係とコミュニケーション」(p.140～153) 人間関係論：第7章 B-3「信頼関係の構築に向けて」(p.151～153)
		b 援助関係	人間関係論：第2章 C「援助的役割を実現するためのガイドライン」(p.39～47)
		c 協働関係	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章 B「健康問題を持つ大人と看護師の人間関係」(p.94～100) 社会学：第9章「患者-医療者関係とコミュニケーション」(p.140～153) 人間関係論：第7章 A「患者・家族と保健医療従事者」(p.140～148)
	B 基盤となる思考過程	a 根拠に基づいた看護 (EBN)	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第1章 B-2-3「看護の質保障に欠かせない要件」(p.37～41) 基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I)：序章 E「看護技術の発展と習得のために」(p.14～15) 看護研究：第1章 B-2「最良のケアの追求と EBP」(p.20～22)
		b クリティカル・シンキング	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第1章 B-2-3「看護の質保障に欠かせない要件」(p.37～41) 基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I)：第3章 B-2「クリティカルシンキング」(p.214～220)
		c 問題解決過程	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第1章 B-2-3「看護の質保障に欠かせない要件」(p.37～41) 基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I)：第3章 B-1「問題解決過程」(p.211～214)
	C 看護における連携と協働	a 看護の継続性	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第1章 C「看護の継続性と情報共有」(p.48～62)、第6章 B-2-3「継続看護」(p.229～232)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 看護職間の連携と協働	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 1 章 C 「看護の継続性と情報共有」 (p.48～62)、第 6 章 B-2-3 「継続看護」 (p.229～232)
		c 多職種間の連携と協働	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 1 章 C 「看護の継続性と情報共有」 (p.48～62)、第 6 章 B-1 「看護サービスの担い手とチーム医療」 (p.215～217) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 3 章 D 「チームアプローチ」 (p.106～110) 在宅看護論 : 第 4 章 G 「地域における多職種連携」 (p.104～109) 社会保障・社会福祉 : 第 8 章 H 「連携の場面とその方法」 (p.252～256) 人間関係論 : 第 6 章 「保健医療チームの人間関係」 (p.124～138) クリティカルケア看護学 : 第 6 章 B-4 「クリティカルケア看護にかかわる他職種との連携」 (p.218～221) リハビリテーション看護 : 第 1 章 E-2 「連携職種」 (p.29～32)、E-3 「多職種連携のあり方」 (p.32～36) 緩和ケア : 第 2 章 D 「チームの範囲と各メンバーの役割」 (p.22～32) 臨床検査 : 第 2 章 「臨床検査の流れと看護師の役割」 (p.24～58)
		d チームでの活動	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 1 章 C-2 「入院中の情報伝達と共有」 (p.51～55) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 3 章 D 「チームアプローチ」 (p.106～110) 栄養学 : 第 1 章 G-2 「ニュートリションサポートチーム」 (p.12～14) 社会保障・社会福祉 : 第 8 章 H 「連携の場面とその方法」 (p.252～256) 緩和ケア : 第 2 章 D-3 「組織横断的に活動するチーム・メンバーの役割」 (p.29～32)

目標Ⅱ. 基礎的な看護技術と適用のための判断プロセスについて基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
3 看護における基本技術	A コミュニケーション	a コミュニケーションの構造とプロセス	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第 1 章 B 「コミュニケーションの構成要素と成立過程」 (p.22～28) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 3 章 B-1 「医療における人間関係」 (p.95～96) 人間関係論 : 第 3 章 A 「コミュニケーションとは」 (p.50～56) 緩和ケア : 第 4 章 A 「患者が納得して医療を受けるためのコミュニケーション」 (p.54～60) 看護情報学 : 第 1 章 D 「情報の伝達とコミュニケーション」 (p.18～21)
		b コミュニケーション技法	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第 1 章 D 「効果的なコミュニケーションの実際」 (p.39～52) 人間関係論 : 第 3 章 C 「援助的コミュニケーション」 (p.61～65) 緩和ケア : 第 4 章 B 「意思決定を共有するためのコミュニケーションスキル」 (p.60～64)
		c コミュニケーションに障害のある人々への対応	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第 1 章 E 「コミュニケーション障害への対応」 (p.52～58) 成人看護学 [7] (脳・神経) : 第 6 章 B-2 「言語障害のある患者の看護」 (p.248～252) 人間関係論 : 第 3 章 B 「コミュニケーションの障害」 (p.56～61)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	B 学習支援	a 学習に関わる諸理論	クリティカルケア看護学：第5章F「コミュニケーション」(p.173～176) 基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I)：第4章A「看護における学習支援とは」(p.278～282) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章A-1-1「大人の学習」(p.89～90)、第10章「学習者である患者への看護技術」(p.258～272) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第3章A-3「学習と行動」(p.61～64)
		b 対象者に合わせた目標設定	基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I)：第4章D「看護の中に含まれる学習支援」(p.291～319)
		c 対象者に合わせた支援方法と媒体の工夫	基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I)：第4章D「看護の中に含まれる学習支援」(p.291～319)
		d 個別指導・集団指導の特性と適用	基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I)：第4章D「看護の中に含まれる学習支援」(p.291～319) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章A「生活のなかで健康行動を生み、はぐくむ援助」(p.88～94)、C「人々の集団における調和や変化を促す看護アプローチ」(p.101～106) 母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第3章D-1-5「保健相談の方法」(p.129～130)
	C 看護過程	a 情報の種類・収集方法、情報の分析・統合	基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I)：第3章C-1「アセスメント」(p.226～239) 看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第2章E-3「情報の活用」(p.62～70) 看護情報学：第5章A-2「看護過程による情報処理」(p.90～91)
		b 看護問題の明確化と優先順位決定	基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I)：第3章C-2「看護問題の明確化(看護診断)」(p.239～247)
		c 看護目標の設定と計画	基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I)：第3章C-3「看護計画」(p.247～252)
		d 実施	基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I)：第3章C-4「実施」(p.252～254)
		e 評価	基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I)：第3章C-5「評価」(p.254～256)
	D 看護情報管理	a 医療情報と看護情報	基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I)：第3章D「看護記録」(p.256～262)
		b 看護における情報管理	基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I)：第3章D「看護記録」(p.256～262)
		c 看護情報の記録・報告と共有	基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I)：第3章D「看護記録」(p.256～262) 看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第2章E-3-5「看護記録」(p.67～68) 看護情報学：第5章A-3「看護記録の構成要素」(p.91～94)
	E フィジカルアセスメント	a 看護におけるフィジカルアセスメントの意義	基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I)：第2章A「ヘルスアセスメントとは」(p.60～64) クリティカルケア看護学：第2章A-1「クリティカルな患者におけるアセスメントの意義」(p.18)
		b 医療面接(インタビュー、問診)	基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I)：第2章B「健康歴とセルフケア能力のアセスメント」(p.64～74)
		c 身体診察(視診、触診、聴診、打診)の基本	基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I)：第2章C-1「フィジカルアセスメントに必要な技術」(p.74～81)
		d 全身の診察(全身の観察、バイタルサイン)	基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I)：第2章C「全体の概観」(p.74～122) 救急看護学：第4章B「全身と外観の観察とアセスメント」(p.99～106)
		e 系統別のフィジカルアセスメント	基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I)：第2章D「系統別フィジカルアセスメント」(p.122～194)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			救急看護学：第4章「救急患者の観察とアセスメント」(p.95～156) クリティカルケア看護学：第2章C「系統別アセスメントの実践」(p.26～37)
	F 感染防止対策	a 感染の成立と予防 b 標準予防策〈スタンダードプリコーション〉と感染経路別予防策 c 手洗い、消毒、滅菌法、無菌操作 d 感染性廃棄物の取り扱い e 感染拡大の防止の対応	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第13章A「感染防止の基礎知識」(p.423～426) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第11章D-2-4「感染予防」(p.304～306) 看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第2章D-2-3「院内感染対策」(p.43～50) 微生物学：第6章「感染と感染症」(p.70～96) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第13章B「標準予防策(スタンダードプリコーション)」(p.427～435)、C「感染経路別予防策」(p.436～439) 微生物学：第12章C-3-2「標準予防策」(p.207～208)、C-3-3「感染経路別予防策」(p.208) 救急看護学：第4章A「周囲の状況確認とスタンダードプリコーション」(p.96～98) クリティカルケア看護学：第5章G「感染予防対策」(p.176～180) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第13章B-2-1「手指衛生」(p.427～430)、D「洗浄・消毒・滅菌」(p.439～444)、E「無菌操作」(p.444～452) 微生物学：第9章「滅菌と消毒」(p.143～154) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第13章F「感染性廃棄物の取り扱い」(p.452～453) 在宅看護論：第5章C-5-3「在宅ケアでの諸問題への対応」(p.150～152) 看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第3章F-5「廃棄物の取り扱いと管理」(p.127～128) 微生物学：第9章A「バイオハザードとバイオセーフティ」(p.144) 公衆衛生：第4章B-4-3「医療廃棄物」(p.104～105) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第13章A「感染防止の基礎知識」(p.423～426)
	G 安全管理〈セーフティマネジメント〉	a 医療安全の概念と安全管理〈セーフティマネジメント〉 b 誤薬の起こりやすい状況と対策 c 転倒・転落の起こりやすい状況と対策 d チューブ・ライントラブルの起こりやすい状況と対策	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章E「医療安全と医療の質の向上」(p.276～287) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第14章「安全確保の技術」(p.461～478) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章E-2「リスクマネジメント」(p.118～119) 看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第2章C「安全管理」(p.25～50) 看護の統合と実践 [2] (医療安全)：第7章A「組織としての医療安全対策」(p.216～224)、B「システムとしての事故防止の具体例」(p.224～239) クリティカルケア看護学：第7章B「クリティカルケア看護と安全管理」(p.229～235) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第14章B「誤薬防止」(p.463～469) 看護の統合と実践 [2] (医療安全)：第2章B「注射業務と事故防止」(p.42～65)、E「内服と薬業務と事故防止」(p.94～112) 臨床薬理学：第1章B-3「安全管理」(p.30～35) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第14章E「転倒・転落防止」(p.471～474) 看護の統合と実践 [2] (医療安全)：第4章B「転倒・転落事故防止」(p.142～167) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第14章C「チューブ類の予定外抜去防止」(p.469～470)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		e 針刺しの起こりやすい状況と対策	看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第 3 章 A 「チューブ管理と事故防止」 (p.120~132) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 13 章 H 「針刺し防止策」 (p.456~459) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 2 章 C-2-2 「医療事故」 (p.35~43) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第 7 章 B-3-3 「注射・点滴実施時の間違い」 (p.235~236)
		H 安楽の確保	
		a 安楽の概念	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 1 章 B-2-3 「看護の質保証に欠かせない要件」 (p.37~41) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 5 章 C 「身体ケアを通じてもたらされる安楽」 (p.145~150) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 11 章 C 「安全・安楽・安心を援助する看護技術」 (p.292~297)
		b ボディメカニクスの原理と看護実践への活用	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 4 章 A 「基本的活動の援助」 (p.94~126)
		c 安楽な姿勢・体位の保持	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 4 章 A-1 「基本的活動の基礎知識」 (p.94~100)、A-2 「体位」 (p.100~102)、第 5 章 A 「体位保持」 (p.138~142) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 11 章 C-2 「ポジショニング」 (p.294~296)
		d 安楽を提供するためのケア (マッサージ、痛みの軽減、電法)	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 5 章 「苦痛の緩和・安楽確保の技術」 (p.137~150)
		e 安楽を保つための療養環境の調整	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 1 章 「環境調整技術」 (p.9~24)
		I 終末期のケア	
		a グリーフケア	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 15 章 B 「死にゆく人と周囲の人々へのケア」 (p.482~487) 在宅看護論 : 第 6 章 B-8 「在宅におけるエンドオブライフケア」 (p.224~232) 緩和ケア : 第 9 章 D-4 「家族・遺族のケア」 (p.246)、第 11 章 D 「遺族ケア」 (p.286~290)
		b 死亡後のケア	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 15 章 「死の看取りの援助」 (p.479~497) 在宅看護論 : 第 6 章 B-8 「在宅におけるエンドオブライフケア」 (p.224~232)
4 基本的日常生活援助技術	A 環境の調整	a 環境調整の意義	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 1 章 「環境調整技術」 (p.9~24) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 3 章 E-1-3 「対象者に配慮した施設・設備環境の整備」 (p.120~122)
		b 療養環境のアセスメント	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 1 章 A-2 「病室の環境のアセスメントと調整」 (p.11~17)、B-1 「ベッド周囲の環境整備」 (p.17~19)
		c 療養環境の調整と整備	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 1 章 A-2 「病室の環境のアセスメントと調整」 (p.11~17)、B 「援助の実際」 (p.17~24) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 3 章 E-1-3 「対象者に配慮した施設・設備環境の整備」 (p.120~122)
	B 食事と栄養	a 食事と栄養の意義	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 2 章 A 「食事援助の基礎知識」 (p.27~35) 栄養学 : 第 1 章 B 「保健・医療における栄養学」 (p.8~11)、C 「看護と栄養」 (p.12~16) 栄養食事療法 : 第 1 章 「栄養食事療法とは」 (p.2~11)
		b 健康な食生活と食事摂取基準	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 2 章 A 「食事援助の基礎知識」 (p.27~35) 栄養学 : 第 5 章 B 「日本人の食事摂取基準」 (p.92~97)、第 9 章 「臨床栄養」 (p.186~242) 臨床外科看護総論 : 第 3 章 D-2 「栄養状態の評価と栄養療法の選択」 (p.116~119)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 治療食、療養食	栄養食事療法：第1章 A-1「食生活と栄養食事療法」(p.2～3) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第2章 A-2「医療施設で提供される食事の種類と形態」(p.33～35) 栄養学：第1章 B「保健・医療における栄養学」(p.8～11)、C「看護と栄養」(p.12～16)、第9章 C「病院食」(p.190～198)
		d 食事と栄養に影響する要因	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第2章 A「食事援助の基礎知識」(p.27～35) 栄養学：第1章 C「看護と栄養」(p.12～14)
		e 食事と栄養のアセスメント	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第2章 A「食事援助の基礎知識」(p.27～35) 栄養学：第7章「栄養状態の評価・判定」(p.128～146) 栄養食事療法：第2章 C「栄養アセスメントの基本」(p.26～30)
		f 食事摂取の自立困難な人への援助	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第2章 B「食事介助」(p.35～39)
		g 嚥下障害のある人への援助	栄養食事療法：第2章 B「栄養補給法」(p.23～26) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第2章 C「摂食・嚥下訓練」(p.40～47) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第6章 B-9「嚥下障害のある患者の看護」(p.280～286) 成人看護学 [14] (耳鼻咽喉)：特論「摂食・嚥下障害患者の看護」(p.243～270) 栄養学：第9章 F-8「咀嚼・嚥下障害患者の食事療法」(p.230～231) クリティカルケア看護学：第5章 M「摂食・嚥下促進」(p.196～199) リハビリテーション看護：第4章 A-5-4「摂食・嚥下障害」(p.168～175)、B-5-3「摂食・嚥下障害」(p.222～224) 栄養食事療法：第3章 F「摂食・嚥下障害」(p.40～43)
		h 経管・経腸栄養法	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第2章 D-1「経管栄養法」(p.47～54) 成人看護学 [5] (消化器)：第4章 C-2-2「食事療法・食事指導の概要」(p.124～127) 栄養学：第9章 B-1「経腸栄養法」(p.187～188) 臨床外科看護総論：第3章 D-3-3「経腸栄養法」(p.120) 栄養食事療法：第2章 B-2「経管・経腸栄養法」(p.24～26)
		i 経静脈栄養法	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第2章 D-2「中心静脈栄養法」(p.55) 栄養学：第9章 B-2「静脈栄養法」(p.188～189) 臨床外科看護総論：第3章 D-3-2「静脈栄養法」(p.119) 栄養食事療法：第2章 B-3「経静脈栄養法」(p.26) 臨床薬理学：第4章 B-2「持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整」(p.243～251)
	C 排泄	a 排泄の意義	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第3章 A-1-1「排泄の意義」(p.59)
		b 排泄に影響する要因	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第3章 A-1「自然排尿および自然排便の基礎知識」(p.59～65)
		c 排泄のアセスメント	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第3章 A-1-3「観察とアセスメント」(p.62～65)
		d 自然な排泄を促す援助	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第3章 A「自然排尿および自然排便の介助」(p.59～73) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第6章 B-10「排尿障害のある患者の看護」(p.286～291) リハビリテーション看護：第4章 A-5-9「排尿障害」(p.190～192)、A-5-10「排便障害」(p.192～194)、C-5-3「排尿障害」(p.245～248)、C-5-4「排便障害」(p.245～250)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		e トイレ・ポータブルトイレでの排泄の援助 f 床上での排泄の援助 g 自然な排泄が困難な人への援助 h 尿失禁、便失禁のある人への援助	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第3章 A-2-1「トイレにおける排泄の援助」(p.65~67) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第3章 A-2-2「床上排泄の援助」(p.67~70)、A-2-3「おむつによる排泄の援助」(p.70~73) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第3章 B「導尿」(p.73~80)、C「排便を促す援助」(p.80~86)、D「ストーマケア」(p.86~92) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第3章 A「自然排尿および自然排便の援助」(p.59~73) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第3章 B-1-3「尿失禁」(p.47~48)、第6章Ⅱ-3-4「尿失禁のある患者の看護」(p.216~220)
	D 活動と運動	a 活動と運動の意義 b 活動と運動に影響する要因 c 活動と運動のアセスメント d 活動と運動を促す援助 e 療養生活におけるレクリエーション	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第4章 A-1「基本的活動の基礎知識」(p.94~100) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第4章 A-1「基本的活動の基礎知識」(p.94~100) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第4章 A「基本的活動の援助」(p.94~126) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第4章 A「基本的活動の援助」(p.94~126) リハビリテーション看護 : 第4章 A-5-2「運動障害」(p.148~164)、C-5-1「運動麻痺」(p.231~244) 社会保障・社会福祉 : 第8章 C「集団援助技術(グループワーク)」(p.228~234)
	E 休息と睡眠	a 休息と睡眠の意義 b 休息と睡眠に影響する要因 c 休息と睡眠のアセスメント d 休息と睡眠を促す援助	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第4章 B-1「援助の基礎知識」(p.127~132) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第4章 B-1「援助の基礎知識」(p.127~132) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第4章 B-1「援助の基礎知識」(p.127~132) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第4章 B「睡眠と休息の援助」(p.127~136)
	F 清潔と衣生活	a 清潔と衣生活の意義 b 清潔と衣生活に影響する要因 c 清潔と衣生活のアセスメント d 清潔行動・衣生活の自立困難な人への援助	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第6章 A-1「清潔の援助の基礎知識」(p.153~158)、B-1「援助の基礎知識」(p.202~204) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第6章 A-1「清潔の援助の基礎知識」(p.153~158)、B-1「援助の基礎知識」(p.202~204) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第6章「清潔・衣生活援助技術」(p.151~211) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第6章「清潔・衣生活援助技術」(p.151~211) リハビリテーション看護 : 第4章 A-5「障害とリハビリテーション看護」(p.145~196)、B-5「障害とリハビリテーション看護」(p.201~226)、C-5「障害とリハビリテーション看護」(p.231~259)
5 診療に伴う看護技術	A 呼吸、循環、体温調整	a 呼吸・循環・体温調整のアセスメント b 呼吸を楽にする姿勢と呼吸法 c 血圧・血流を保持する姿勢	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章「呼吸・循環を整える技術」(p.213~259) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第5章 A「体位保持」(p.138~142)、第7章 B「排痰ケア」(p.220~233) 成人看護学 [2] (呼吸器) : 第6章 B-4「呼吸困難のある患者の看護」(p.239~242) 成人看護学 [3] (循環器) : 第6章 B-4「呼吸困難に対する看護」(p.245~248) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第4章 A-1「基本的活動の基礎知識」(p.94~100)、第5章 A「体位保持」(p.138~142)、第7章 G「末梢循環促進ケア」(p.255~259)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d 酸素吸入の適応と方法	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章 A「酸素吸入療法」(p.214~220) 成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 C-2「酸素療法」(p.111~114)、第6章 D-2「酸素療法を受ける患者の看護」(p.250~254) 臨床外科看護総論 : 第3章 B-2-1「人工呼吸の目的と適応」(p.106) 救急看護学 : 第6章 C「酸素投与」(p.295~297) クリティカルケア看護学 : 第5章 B-1「酸素療法」(p.152)
		e 口腔内・鼻腔内・気管内吸引の適応と方法	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章 B-2-3「吸引」(p.228~233) 救急看護学 : 第6章 F「吸引」(p.304~309) クリティカルケア看護学 : 第5章 B-3「気管吸引の技術」(p.154~155)
		f 排痰法の適応と方法	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章 B「排痰ケア」(p.220~233) 成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 C-4-2「気道の清浄化」(p.120~121)、第6章 B-1「咳嗽・喀痰のある患者の看護」(p.232~234) リハビリテーション看護 : 第5章 A-6-5「看護」(p.272~280)
		g 体温調整のための方法	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第5章 B「電法」(p.142~145)、第7章 F「体温管理の技術」(p.247~255) クリティカルケア看護学 : 第5章 E「体温管理」(p.170~173)
	B 皮膚・創傷管理	a 創傷の治癒過程	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第8章 A「創傷管理の基礎知識」(p.262~265) 臨床外科看護総論 : 第1章 E「創傷治癒」(p.34~52) 救急看護学 : 第6章 O「創傷処置」(p.341~342) クリティカルケア看護学 : 第3章 I「創傷とケア」(p.98~105)
		b 創傷のアセスメント	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第8章 A「創傷管理の基礎知識」(p.262~265)、B「創傷処置」(p.266~272) 救急看護学 : 第5章 I-1「筋・骨格系の観察とアセスメント」(p.147~149)
		c 洗浄、保護、包帯法	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第8章 B「創傷処置」(p.266~272) 救急看護学 : 第6章 O「創傷処置」(p.341~342)
		d 褥瘡の予防と治癒の促進	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第8章 C「褥瘡予防」(p.277~283) 成人看護学 [7] (脳・神経) : 第6章 B-13「褥瘡の予防と看護」(p.301~306) 成人看護学 [12] (皮膚) : 特論「褥瘡患者の看護」(p.245~266) 臨床外科看護総論 : 第1章 E-7「褥瘡の予防と処置」(p.47~52) クリティカルケア看護学 : 第3章 I-2-2「褥瘡」(p.102) リハビリテーション看護 : 第4章 C-6-1「褥瘡」(p.256~258)
	C 与薬	a 与薬における看護師の役割	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第9章 A-2「看護師の役割」(p.288~290) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第2章 E-2-2「看護業務の視点で内服与薬業務の危険とその要因を知る」(p.99~105) 薬理学 : 第1章 B-2「薬物療法における看護師の役割」(p.9~13) 臨床薬理学 : 第1章 B「患者と薬物治療」(p.23~26)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 薬剤の種類と取り扱い方法	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第9章「与薬の技術」(p.285~343) 臨床薬理学 : 第1章A「医薬品の取り扱い」(p.6~23)
		c 与薬方法と効果の観察	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第9章「与薬の技術」(p.285~343) 臨床薬理学 : 第1章B「薬物治療の実際」(p.23~33)
	D 輸液・輸血管理	a 輸液・輸血の種類と取り扱い方法	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第9章H-2-4「静脈内注射」(p.320~336)、I「輸血管理」(p.337~343) 成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第4章C-5-2「出血とその対策」(p.86~90)、第5章D-5「輸血療法」(p.187~190) 薬理学 : 付章「輸液製剤・輸血剤」(p.298~311) 救急看護学 : 第6章H「輸液と輸血」(p.313~316)
		b 輸液・輸血の管理方法	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第9章H-2-4「静脈内注射」(p.320~336)、I「輸血管理」(p.337~343) 成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第5章D-5「輸血療法」(p.187~190) 救急看護学 : 第6章H「輸液と輸血」(p.313~316)
		c 輸液・輸血の副作用(有害事象)の観察	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第9章H-2-4「静脈内注射」(p.320~336)、I「輸血管理」(p.337~343) 成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第4章C-5-2「出血とその対策」(p.86~90)、第5章D-5「輸血療法」(p.187~190) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第2章D-2-3「ABO血液型不適合輸血の初期症状と観察のポイント」(p.91~92) 救急看護学 : 第6章H「輸液と輸血」(p.313~316)
	E 救命救急処置	a 生命の危機的状況のアセスメント	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第10章A-2「急変時における初期対応」(p.346~348) 臨床外科看護総論 : 第5章A-2-1「救急処置法の原則」(p.185~186) 救急看護学 : 第4章「救急患者の観察とアセスメント」(p.95~156) クリティカルケア看護学 : 第2章C「系統別アセスメントの実際」(p.26~37)
		b 一次救命処置〈BLS〉	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第10章B-2「一次救命処置の実際」(p.352~361) 臨床外科看護総論 : 第5章A-1「救急処置の範囲と対象」(p.184) 救急看護学 : 第5章A-1「一次救命処置(BLS)」(p.160~170) クリティカルケア看護学 : 第5章A-1「一次救命処置」(p.146~149)
		c 止血法	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第10章C「止血法」(p.363~366) 臨床外科看護総論 : 第4章A-4「止血」(p.151~153) 救急看護学 : 第6章B「止血法」(p.289~295)
	F 生体機能のモニタリング	a 診察・検査時の看護師の役割	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第11章A「症状・生体機能管理技術の基礎知識」(p.374~375)、第12章「診察・検査・処置の介助」(p.403~420) 臨床検査 : 第2章A-3「検査における看護師の役割」(p.26~28)
		b 検体検査(血液、尿、便、喀痰、胸水、腹水、髄液)	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第11章B「検体検査」(p.375~402)、第12章B-8「穿刺」(p.413~420) 成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章B-1「血液検査」(p.74~76)、B-2「喀痰検査」(p.76~79)、B-4「胸水検査」(p.79~82)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 生体検査(エックス線撮影、超音波、CT、MRI、心電図、内視鏡、核医学)	成人看護学 [5] (消化器) : 第4章 B-1「糞便検査」(p.78~81) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第4章 B-1「尿の検査」(p.70~74) 臨床検査 : 第3章「一般検査」(p.62~86) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第11章 C-1「心電図検査」(p.388~391)、C-2「心電図モニター」(p.391~393)、第12章 B-1「X線撮影」(p.405~406)、B-2「コンピュータ断層撮影」(p.406~407)、B-3「磁気共鳴画像」(p.407~408)、B-4「内視鏡検査」(p.408~410)、B-5「超音波検査」(p.410~411)、B-7「核医学検査」(p.412~413)
		d 経皮的動脈血酸素飽和度〈SpO ₂ 〉の測定、血糖測定	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 B-5「画像診断」(p.82~89)、B-6「内視鏡検査」(p.89~94) 成人看護学 [3] (循環器) : 第4章 B「検査」(p.52~81) 臨床検査 : 第10章「生体検査」(p.272~333) 臨床放射線医学 : 第1部「画像検査」(p.18~168) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第11章 B-1「血液検査」(p.375~382)、C-3「SpO₂モニター」(p.393~396) 成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 B-8-2「動脈血ガス分析」(p.101~108) 成人看護学 [3] (循環器) : 第4章 B-6「血行動態モニタリング」(p.74~77)
		e モニタリング機器の取り扱い	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第4章 B-3-1「血糖値と高血糖状態の評価」(p.75~76) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第11章 C「生体情報のモニタリング」(p.387~402) 基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 付章 B「測定用医療機器の原理と実際」(p.352~362)

目標Ⅲ. 保健・医療・福祉の中で看護の果たす役割について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
6 看護の役割と機能	A 看護の場に応じた活動	a 在宅における看護活動	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第6章 B-2-2「地域における看護」(p.222~229) 在宅看護論 : 第1章「在宅看護の目的と特徴」(p.10~24)
		b 医療施設における看護活動	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第6章 B-2-1「医療施設における看護」(p.217~222) 基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 第1章 C-2「病院・施設における看護」(p.46~51)
		c 保健施設と福祉施設における看護活動	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第6章 B-2-2「地域における看護」(p.222~229)
	B 保健・医療・福祉の連携と継続看護	a 保健・医療・福祉のチームにおける看護職の役割と機能	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第1章 C-4「多職種チームとしての情報共有と継続的かかわり」(p.56~59)、C-5「在宅療養を可能にする連携と継続的なかかわり」(p.60~62) 在宅看護論 : 第4章 F「ケアマネジメントと社会資源の活用」(p.100~104)、G「地域における多職種連携」(p.104~109)
		b 保健・医療・福祉の連携を支える仕組み	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第1章 C-4「多職種チームとしての情報共有と継続的かかわり」(p.56~59)、C-5「在宅療養を可能にする連携と継続的なかかわり」(p.60~62) 在宅看護論 : 第1章 B-2「対象者のケアニーズに応じた在宅看護の提供」(p.20~23)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 施設内・施設間における継続看護	社会保障・社会福祉：第8章 F「連携の重要性」(p.241～245)、G「社会福祉実践と医療・看護との連携」(p.245～252)、H「連携の場面とその方法」(p.252～256) 基礎看護学 [1] (看護学概論)：第1章 C「看護の継続性と情報共有」(p.40～53)、第6章 B-2-3「継続看護」(p.211～213) 在宅看護論：第1章 B-2「対象者のケアニーズに応じた在宅看護の提供」(p.20～23)

成人看護学

成人看護学

目標Ⅰ．成人各期の健康保持・増進や疾病の予防について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
1 成人の特徴と生活	A 成人期の発達課題の特徴	a 青年期・壮年期・向老期の身体的特徴 b 青年期・壮年期・向老期の心理・社会的特徴	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 A「対象の理解: 大人になること、大人であること」(p.4~27) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 A「対象の理解: 大人になること、大人であること」(p.4~27) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 B-2-6「アイデンティティを求めるたたかいとモラトリアム」(p.77)、B-2-7「大人になるということ」(p.78)、B-2-8「新たな老年期の課題」(p.78)
	B 成人の生活	a 家族形態と機能 b 生活様式	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 B-3「家族からとらえる大人」(p.34~35)、第3章 H「家族支援」(p.136~140) 公衆衛生 : 第7章 B「成人保健」(p.172~175)、B-7「家族のライフステージに応じた健康課題と健康づくり」(p.189~191) 社会保障・社会福祉 : 第2章 A-3「家族・個人の変化」(p.37~39) 家族論・家族関係論 : 第1章「家族とは」(p.2~20) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 B-1-1「大人の生活」(p.28~29)、第5章 B-1「ライフスタイルと健康問題」(p.164~165)
	C 成人を取り巻く環境	a 社会状況の変化	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 B-1「生活を営むこと」(p.28~30)、B-2「仕事をもち、働くこと」(p.30~34)、第2章 A「大人の生活からとらえる健康」(p.40~62) 社会保障・社会福祉 : 第2章 A「現代社会の変化」(p.30~44)
2 成人における健康の保持・増進や疾病の予防	A 生活習慣に関連する健康課題	a 生活習慣病の要因 b 健康問題の現状と推移 c 生活習慣の是正	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A「大人の生活からとらえる健康」(p.40~62)、第5章「生活ストレスと看護」(p.162~180) 公衆衛生 : 第7章 B-4「生活習慣病対策」(p.181~184) 医学概論 : 第8章 E「生活習慣病と一次予防」(p.138~139) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A「大人の生活からとらえる健康」(p.40~62)、第5章「健康をおびやかす要因と看護」(p.161~180) 栄養学 : 第10章 A「食生活の変遷と栄養の問題点」(p.244~247) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第4章「ヘルスプロモーションと看護」(p.145~160)、第5章「健康をおびやかす要因と看護」(p.161~180)、第10章「学習者である患者への看護技術」(p.257~272) 栄養学 : 第10章 B「生活習慣病の予防」(p.247~248)
	B 職業に関連する健康課題	a 就労条件・環境と疾病との関係 b 職業性疾患の要因と健康診断の受診行動	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-2-4「自殺・職業性疾病・作業関連疾患」(p.55~57)、第4章 B-2「職場における大人の健康生活をはぐくむ」(p.157~160)、第5章 C-1「就業・労働形態の変化がもたらす健康問題」(p.168~169) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-2-4「自殺・職業性疾病・作業関連疾患」(p.55~57)、第4章 B-2「職場における大人の健康生活をはぐくむ」(p.157~160)、第5章 C-1「就業・労働形態の変化がもたらす健康問題」(p.168~169)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	C ストレスに関連する健康課題	a ストレス関連疾患の要因 b ストレス対処方法	公衆衛生：第9章A「職場における健康とは」(p.302～316) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章A「大人の生活からとらえる健康」(p.40～62)、第5章「生活ストレスと看護」(p.162～180) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第5章「生活ストレスと看護」(p.162～180)、第11章A-4-3「治療・療養行動の推進力となるコーピングの強化」(p.280～281)、A-4-4「コーピング強化のための援助」(p.281～284) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第2章C「ストレスと健康の危機——予防という視点からみた精神障害」(p.38～40)

目標Ⅱ．急性期にある患者と家族の特徴を理解し看護を展開するための基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
3 急性期にある患者と家族の特徴と看護	A 患者の特徴	a 身体的特徴 b 心理的特徴 c 社会的特徴	基礎看護学 [4] (臨床看護総論)：第2章C-2-2「身体的ニーズ」(p.75～79) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第6章A-2「急激な健康破綻をきたした人の特徴」(p.192～195) クリティカルケア看護学：第1章B-1「クリティカルケア看護を必要とする患者の特徴と問題点」(p.8～10) 基礎看護学 [4] (臨床看護総論)：第2章C-2-1「心理的・社会的ニーズ」(p.74～75) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第6章A-2「急激な健康破綻をきたした人の特徴」(p.192～195) 基礎看護学 [4] (臨床看護総論)：第2章C-2-1「心理的・社会的ニーズ」(p.74～75) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第6章A-2「急激な健康破綻をきたした人の特徴」(p.192～195)
	B 家族の特徴	a 心理的特徴 b 社会的特徴	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第6章B-4「家族の看護」(p.200～201) クリティカルケア看護学：第1章B-2「危機的状況にある家族の特徴」(p.10～12) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第6章B-4「家族の看護」(p.200～201) クリティカルケア看護学：第1章B-2「危機的状況にある家族の特徴」(p.10～12)
	C 急性期における看護の基本	a 危機的状態への精神的支援 b 治療の緊急性と優先度、治療選択・意思決定への支援 c 代理意思決定支援	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第6章B-1「危機にある人々への支援」(p.195～199) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章F「災害とところのケア」(p.149～165) 救急看護学：第2章A「救急患者の特徴」(p.50～57)、B「救急患者家族の特徴」(p.57～61) クリティカルケア看護学：第5章N「危機状態にある患者・家族へのケア」(p.200～203) 精神保健福祉：第4章B-1「危機的状況に対する早期介入」(p.82～87) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章G「意思決定支援」(p.128～135)、第6章A-1「生命の危機状態」(p.182～192)、第11章A-2「主体的な治療選択を支える看護」(p.276～278) 救急看護学：第4章B-3「緊急度・重症度の判断と治療の優先順位」(p.105～106) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章G「意思決定支援」(p.128～135)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
4 救急看護、クリティカルケア	A 緊急度と重症度のアセスメント	a 意識レベル、神経学的所見	救急看護学：第2章B「救急患者家族の特徴」(p.57～61)、第3章B-2-3「家族への対応」(p.76)、C-3「家族への対応」(p.78～80)、第5章O-2「脳死患者・家族の看護」(p.279～282)
		b バイタルサイン	成人看護学 [7] (脳・神経)：第3章B-1「意識障害」(p.56～62)、第4章A「診断と診察の流れ」(p.90)、B-1「神経学的診察」(p.91～95) 救急看護学：第4章D-1「脳・神経系の観察とアセスメント」(p.114～121) クリティカルケア看護学：第2章C-3「脳・神経系(意識)」(p.31～37) 救急看護学：第4章B「全身と外観の観察とアセスメント」(p.99～106)
	B 救急看護・クリティカルケアの基本	a 心肺停止状態への処置	救急看護学：第5章A「心肺停止状態への対応」(p.160～176) クリティカルケア看護学：第5章A「心肺蘇生法」(p.146～151)
		b ショックへの処置	救急看護学：第5章D「ショック・循環障害への対応」(p.192～199) クリティカルケア看護学：第3章E-3「ショックに対する治療原則」(p.70)
		c 急性症状の応急処置	成人看護学 [7] (脳・神経)：第6章A-1-1「救急救命」(p.229) 救急看護学：第5章「主要病態に対する救急処置と看護」(p.160～282)
		d 外傷・熱傷・中毒の応急処置	救急看護学：第5章I「外傷への対応」(p.229～249)、J「熱傷への対応」(p.249～258)、K「中毒への対応」(p.258～263) クリティカルケア看護学：第3章I-2「クリティカルケア領域のおもな創傷ケア」(p.101～105)
		e 環境要因による障害の応急処置	救急看護学：第5章H「体温異常への対応」(p.224～229) クリティカルケア看護学：第3章I-2「クリティカルケア領域のおもな創傷ケア」(p.101～105)
		f 感染症への処置	クリティカルケア看護学：第3章H「重症感染症とケア」(p.93～98)
5 周術期にある患者と家族への看護	A 術前からの看護	a 手術療法の理解を促す援助	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第11章A「主体的治療・療養行動促進の看護技術」(p.275～284) 臨床外科看護総論：第7章C「手術前の具体的な援助」(p.242～2254)
		b 手術の意思決定への援助	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第11章A-2「主体的な治療選択を支える看護」(p.276～278) 臨床外科看護総論：第7章B-2「心の整理と意思決定の支援」(p.233～236)
		c 術後合併症のリスクアセスメントと援助	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第11章D-1「合併症予防のための援助」(p.298～300) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第14章C-1「頻繁にナースコールをする術後の患者」(p.352～355) 臨床外科看護総論：第7章C-4「全身状態を整える」(p.249～251)
		d 術前オリエンテーション	臨床外科看護総論：第7章C-2「手術前オリエンテーション」(p.244)
		e 不安のアセスメントと援助	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第11章A-4「主体的な治療・療養行動の促進」(p.279～284) 臨床外科看護総論：第7章C-3-1「不安の緩和」(p.245～246)
		f ボディイメージ〈身体像〉の変容への援助	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第11章F「身体像(ボディイメージ)の変化に対する看護」(p.311～317) 臨床外科看護総論：第7章C-3-2「身体像(ボディイメージ)変容の受容に対する支援」(p.246～249)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	B 術中の看護	a 開腹・開胸・開頭・鏡視(内視鏡)下の手術方法による影響と援助	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第11章 E-2 「手術による身体機能変化と日常生活機能への影響」 (p.308) 成人看護学 [5] (消化器) : 第6章 D-4 「手術療法を受ける患者の看護」 (p.319~329) 成人看護学 [7] (脳・神経) : 第4章 C-1 「外科的治療法」 (p.110~117) 臨床外科看護総論 : 第4章 「外科的治療の実際」 (p.144~1182)、第8章 「手術中患者の看護」 (p.262~304) 臨床外科看護総論 : 第8章 B-3-2 「手術体位とその介助」 (p.272~276)
		b 手術体位による影響と援助	臨床外科看護総論 : 第3章 A 「麻酔法」 (p.76~101)、第8章 B-3 「麻酔導入時の注意」 (p.268~272)
		c 麻酔による影響と援助	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第3章 E-2 「リスクマネジメント」 (p.118~119) 臨床外科看護総論 : 第8章 A-2 「手術室の安全管理」 (p.262~265)
		d 安全管理〈セーフティマネジメント〉(患者確認、ガーゼ遺存の防止)	
	C 術後の看護	a 生体反応	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第11章 C-1 「モニタリング」 (p.292~294) 臨床外科看護総論 : 第9章 A-2 「患者のアセスメント」 (p.307~309)
		b 術後の疼痛管理	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第11章 B-1 「急性疼痛に対する看護技術」 (p.284~289) 臨床外科看護総論 : 第9章 A-5 「手術後の疼痛管理」 (p.312~316) 臨床薬理学 : 第4章 G-1 「硬膜外カテーテルによる鎮痛薬の投与と投与量の調整」 (p.297~303)
		c 創傷管理	臨床外科看護総論 : 第1章 E-4 「創傷管理法」 (p.38~41)
		d ドレーン管理	臨床外科看護総論 : 第9章 A-7 「ドレーンの管理」 (p.319~323)
	D 術後合併症と予防	a 術後出血	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第4章 C-1 「開頭手術」 (p.113) 臨床外科看護総論 : 第9章 C-1 「手術後の出血」 (p.330)
		b 下肢静脈血栓、肺塞栓症	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第6章 D-6-3-6 「静脈血栓塞栓症(深部静脈血栓症・肺血栓塞栓症)の予防」 (p.287~289) 臨床外科看護総論 : 第9章 C-2-4 「深部静脈血栓症と肺血栓塞栓症」 (p.331~332)
		c 呼吸器合併症	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第11章 D-2-1 「酸素化の促進」 (p.300~302) 成人看護学 [2] (呼吸器) : 第6章 D-6-3-4 「合併症予防のための患者教育」 (p.283~287) 臨床外科看護総論 : 第9章 C-3 「呼吸器合併症」 (p.332~334)
		d 感染症	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第11章 D-2-4 「感染予防」 (p.304~306) 成人看護学 [7] (脳・神経) : 第4章 C-1 「開頭手術」 (p.113) 臨床外科看護総論 : 第9章 C-10 「術後感染症」 (p.341~343)
		e 廃用症候群	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第11章 E-1 「手術後の過度な安静による日常生活機能への影響」 (p.306~308) 臨床外科看護総論 : 第11章 D-2-2 「廃用症候群」 (p.389~391)
	E 術後の機能障害や生活制限への看護	a ボディイメージの受容への支援	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第11章 F 「身体像(ボディイメージ)の変化に対する看護技術」 (p.311~317) 臨床外科看護総論 : 第9章 D-1 「形態変化や機能障害に対する適応への援助」 (p.343~344)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 退院調整	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 13 章「退院支援の看護技術」(p.355~389) 在宅看護論 : 第 3 章 B「療養の場の移行」(p.56~69) 臨床外科看護総論 : 第 9 章 D-2「退院指導と継続看護」(p.344~345)
		c 機能訓練	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 8 章 B-2-1「急性期のリハビリテーションと看護」(p.228~229)、第 11 章 E-6「日常生活再構築に向けたリハビリテーション促進のための看護技術」(p.310~311) 臨床外科看護総論 : 第 9 章 A-4「早期離床の促進」(p.311~312)
		d セルフケア能力の獲得	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 11 章 A-4「主体的な治療・療養行動の促進」(p.279~284) 臨床外科看護総論 : 第 9 章 D「自己管理に向けた援助」(p.343~345)

目標Ⅲ. 慢性疾患がある患者と家族の特徴を理解し看護を展開するための基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
6 慢性疾患がある患者と家族の看護	A 慢性疾患がある患者と家族の特徴	a 慢性疾患の特徴	基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 第 2 章 D-1「慢性期の特徴」(p.86~92)、D-2「慢性期の患者のニーズ」(p.92~96) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 7 章 A「慢性的な健康状態の揺らぎを持つ患者の理解」(p.206~211)
		b 主な慢性疾患の疫学	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 2 章 A-2「大人の健康の状況」(p.49~57)
		c 慢性疾患とともにある生活	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 7 章 A「慢性的な健康状態の揺らぎを持つ患者の理解」(p.206~211)、B「慢性病患者のたえまない取り組み——セルフケア」(p.211~213)
	B 慢性疾患の治療と看護の基本	a 治療選択・意思決定への支援	基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 第 2 章 D-2「慢性期の患者のニーズ」(p.92~96)、D-3「慢性期にある患者への看護援助」(p.96~101) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 7 章 C「慢性病との共存の過程を支える看護」(p.213~219)
		b 継続的な支援体制と連携	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 3 章 D「チームアプローチ」(p.106~110) 在宅看護論 : 第 3 章 A「在宅看護の提供方法」(p.52~56)
	C セルフケア・自己管理への看護	a セルフケア能力と行動のアセスメント	基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 第 2 章 D-2「慢性期の患者のニーズ」(p.92~96)、D-3「慢性期にある患者への看護援助」(p.96~101)
		b セルフケアに影響する要因	基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 第 2 章 D-2「慢性期の患者のニーズ」(p.92~96) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 7 章 B「慢性病患者のたえまない取り組み——セルフケア」(p.211~213)、C「慢性病との共存の過程を支える看護」(p.213~219)、第 10 章「学習者である患者への看護技術」(p.258~272) 公衆衛生 : 第 7 章 B-6-1「健康教育とエンパワメント」(p.186~187) 臨床外科看護総論 : 第 9 章 E「自己管理に向けた援助」(p.371~373)
		c セルフケアの工夫への支援	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 7 章 B「慢性病患者のたえまない取り組み——セルフケア」(p.211~213)、C「慢性病との共存の過程を支える看護」(p.213~219)、第 10 章「学習者である患者への看護技術」(p.258~272)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d アドヒアランスや主体性の尊重 e 疾病認識と自己モニタリング f 生活と自己管理の調整	在宅看護論：第1章 B-2-3「シンプルな医療へのアレンジ」(p.22～23) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第10章 B-2「コンプライアンス(アドヒアランス)を高めるための知識と技術」(p.261～264) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第7章 C「慢性病との共存の過程を支える看護」(p.213～219) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第7章「健康生活の慢性的な揺らぎの再調整を促す看護」(p.206～219)、第10章「学習者である患者への看護技術」(p.258～272) 臨床外科看護総論：第9章 E「自己管理に向けた援助」(p.371～373)
	D 社会的支援の獲得への看護	a 患者と家族の相互作用と関係性 b 患者と家族の抱える問題 c 退院調整と多職種連携 d 患者会・家族会の活用と支援 e 医療費助成制度の活用	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章 H「家族支援」(p.136～140) 臨床外科看護総論：第1章 B-1「家族の理解」(p.33～38) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章 H「家族支援」(p.136～140) 臨床外科看護総論：第1章 B-2「家族の健康上のニーズ」(p.38～45) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第13章「退院支援の看護技術」(p.356～389) 在宅看護論：第3章 B「療養の場の移行」(p.56～69) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章 C「人々の集団における調和や変化を促す看護アプローチ」(p.101～106)、第7章 C-1「セルフマネジメント」(p.213～215)、第14章 B「がんとの共生を支えるセルフヘルプ活動」(p.396～401) 公衆衛生：第7章 B-6-2「グループを活用したエンパワメント」(p.187～188) 在宅看護論：第2章 C-5-2「ピアサポート」(p.49) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第7章 C-1「セルフマネジメントの支援」(p.213～215)、第13章 B-3-4「社会資源利用方法」(p.366)、C-3-1「看護専門職として行う退院支援活動」(p.382～387) 成人看護学 [4] (血液・造血器)：第1章 A-3-2「難病」(p.8～9) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第6章 A-5-3「在宅療養支援態勢」(p.239～242) 成人看護学 [11] (膠原病)：第1章 A-2「医療の動向」(p.91～92) 在宅看護論：第4章 B「在宅看護にかかわる法令・制度」(p.78～84)

目標Ⅳ. リハビリテーションの特徴を理解し看護を展開するための基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
7 リハビリテーションの特徴と看護	A リハビリテーションの特徴	a リハビリテーションの定義	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第8章 A-3「障害がある人のリハビリテーション」(p.226～227) 成人看護学 [3] (循環器)：第6章 F「心臓リハビリテーションと看護」(p.348～357) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第6章 C-2-2「リハビリテーションを受ける患者の看護」(p.316～320) 社会保障・社会福祉：第7章 B-2-2「リハビリテーション」(p.175) リハビリテーション看護：第1章 A「リハビリテーションの定義と理念」(p.2～7)、第2章 A-1「リハビリテーション看護の定義」(p.40～41)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b リハビリテーションにおける看護の役割 c 機能障害と分類	精神保健福祉：第4章 C-1「精神科リハビリテーションとリカバリー」(p.101～107) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第8章 B-2「看護の実際」(p.222～224) リハビリテーション看護：第2章「リハビリテーション看護概論」(p.39～84) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第8章 A-1「障害とは」(p.222～225) 公衆衛生：第7章 F-1「障害・難病とは」(p.234～236) リハビリテーション看護：第1章 C「疾病・障害・生活機能の分類」(p.15～22)
	B 機能障害のアセスメント	a 生活機能障害と日常生活動作〈ADL〉 b 居住環境	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第8章 B-2「看護の実際」(p.222～224) リハビリテーション看護：第2章 C-2-1「ICFによる生活機能の全体的な構造」(p.61)、C-2-2「日常生活活動(ADL)の評価」(p.61～67) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第8章 B-2-2「回復期のリハビリテーションと看護」(p.229～233)、B-2-3「維持期のリハビリテーションと看護」(p.233～234) 在宅看護論：第5章 B-2「情報収集とアセスメント」(p.117～131)
	C 障害に対する受容と適応への看護	a 廃用症候群の予防 b 日常生活動作〈ADL〉・活動範囲の拡大に向けた援助 c 補助具・自助具の活用 d 心理的葛藤への援助	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第8章 B-2-1「急性期のリハビリテーションと看護」(p.228～229) リハビリテーション看護：第3章 B-3「骨折のリハビリテーションプログラム」(p.94～96)、B-4-2「関節拘縮」(p.102～106)、B-4-3「筋萎縮」(p.106～115)、第4章 A-5-2「運動障害」(p.148～164)、B-5-1「運動障害」(p.201～218) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第8章 B-2-2「回復期のリハビリテーションと看護」(p.229～233) リハビリテーション看護：第2章 C-3-1「日常生活活動の援助」(p.70～71)、第3章 B-4「障害とリハビリテーション看護」(p.96～113)、C-4-5「看護」(p.126～132)、第4章 A-5「障害とリハビリテーション看護」(p.145～196)、B-5「障害とリハビリテーション看護」(p.201～226)、C-5「障害とリハビリテーション看護」(p.231～256) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第8章 B-2-2「回復期のリハビリテーションと看護」(p.229～233) 成人看護学 [10] (運動器)：第6章 F-3「慢性期患者の看護」(p.283～289) リハビリテーション看護：第3章 C-4-5「看護」(p.126～132)、第4章 A-5-2「運動障害」(p.148～164)、B-5-1「運動障害」(p.201～218)、C-5-1「運動麻痺」(p.231～244) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第8章 A-2「障害がある人の障害の認識過程」(p.225～226)、B-2-2「回復期のリハビリテーションと看護」(p.229～233)、第11章「身体像(ボディイメージ)の変化に対する看護技術」(p.311～317) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第1章 B-2-2「心理・社会的な問題に対する援助」(p.16～18) 臨床外科看護総論：第7章 C-3-2「身体像(ボディイメージ)の変化受容に対する支援」(p.262～265)、第9章 E-1「形態変化や機能障害に対する適応への援助」(p.371～372) リハビリテーション看護：第2章 B-2「障害者の体験」(p.47～57)、C-3-2「障害受容に対する援助」(p.73～75)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	D チームアプローチと社会資源の活用	a 多職種連携	リハビリテーション看護：第1章 E-2「連携職種」(p.29～32)、E-3「多職種連携のあり方」(p.32～36) 在宅看護論：第4章 G-3「地域の社会資源との連携」(p.108)
		b 身体障害者福祉法に基づく社会資源の活用	公衆衛生：第7章 F-3-1「生活支援・療養支援」(p.239～243) 社会保障・社会福祉：第1章 B-3-2「福祉6法」(p.19～23) 看護関係法令：第8章 D-3-4「身体障害者福祉法」(p.229～230) リハビリテーション看護：第1章 B-2「障害者を支えるおもな制度」(p.10～12)
	E 患者の社会参加への支援	a 就労条件・環境の調整	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第8章 B-2-3「維持期のリハビリテーションと看護」(p.233～234) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第1章 B-2-2「心理・社会的な問題に対する援助」(p.16～18)、第6章 A-3-5「社会生活への復帰に向けての援助」(p.236) 精神保健福祉：第5章 B-4-2「就労支援の実際」(p.145～147)、第7章 B-2「就労支援の実際」(p.221～225) リハビリテーション看護：第2章 C-3-7「社会参加への援助」(p.83～84)
		b 社会参加を促す要素と阻害要因	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第8章 A「障害がある人とリハビリテーション」(p.222～227) リハビリテーション看護：第2章 C-3-7「社会参加への援助」(p.83～84)

目標Ⅴ. がん患者と家族の特徴を理解し看護を展開するための基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
8 がん患者と家族への看護	A がん患者の抱える苦痛	a 転移・浸潤による身体的・心理的苦痛	がん看護学：第3章 A-1「身体的苦痛」(p.91～95) 緩和ケア：第7章「身体的ケア」(p.116～193)、第8章「精神的ケア」(p.196～233)
		b 再発や経過の不確かさに伴う心理的苦痛	がん看護学：第3章 A-2「心理的苦痛」(p.95～98) 緩和ケア：第8章「精神的ケア」(p.196～233)
		c 社会的偏見や制約に伴う苦痛	がん看護学：第3章 A「がん患者の苦痛に対するマネジメント」(p.90～103) 緩和ケア：第9章「社会的ケア」(p.236～250)
		d スピリチュアルな苦痛	精神看護学 [1] (精神看護の展開)：第14章 C-4「執拗に痛みを訴える患者」(p.361～364) がん看護学：第3章 A「がん患者の苦痛に対するマネジメント」(p.90～103) 緩和ケア：第10章「スピリチュアルケア」(p.252～267)
	B がん患者の生活上の困難	a 全身消耗、倦怠感、疼痛等に伴う活動制限	がん看護学：第2章 B-6「がんに伴うカヘキシアと倦怠感」(p.72～75)、第3章 A「がん患者の苦痛に対するマネジメント」(p.90～103)
	C がん患者の治療と看護	a 広範囲で侵襲性の高い手術療法	臨床外科看護各論：第1章Ⅱ「肺・胸部疾患患者の看護」(p.38～79)、第3章Ⅱ「消化器・腹部疾患患者の看護」(p.306～351)、第4章Ⅱ-A「開頭術を受ける患者の看護」(p.392～410)、第5章Ⅱ-B「頭頸部がん患者の看護」(p.441～458) がん看護学：第4章 A「手術療法」(p.136～153)、第5章 B「がん手術療法における看護」(p.215～232)
		b 化学療法	薬理学：第2章「抗がん薬」(p.90～100) 臨床薬理学：第4章 F-2「抗がん薬が血管外に漏出したときの副腎皮質ステロイド薬の局所注射」(p.289～296) がん看護学：第4章 B「薬物療法」(p.153～180)、第5章 C「薬物療法における看護」(p.232～248)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 放射線療法	がん看護学：第4章C「放射線療法」(p.180～200)、第5章D「放射線療法における看護」(p.248～261) 臨床放射線医学：第2部「放射線治療」(p.172～242)
		d 集学的治療	がん看護学：第2章B-4-1「集学的治療」(p.64～66)
	D がん患者の社会参加への支援	a 就労条件・環境の調整	がん看護学：第1章A-3「がんサバイバーシップケア」(p.15～19)、第6章B「がん患者の療養支援」(p.290～306) 緩和ケア：第9章「社会的ケア」(p.236～250)
		b 社会参加を促す要素と阻害要因	がん看護学：第1章A-3「がんサバイバーシップケア」(p.15～19)、第3章B-2「セルフヘルプグループ」(p.111～115) 緩和ケア：第9章「社会的ケア」(p.236～250)

目標Ⅵ. 終末期にある患者、および緩和ケアを必要とする患者と家族の特徴を理解し看護を展開するための基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
9 終末期にある患者および緩和ケアを必要とする患者と家族への看護	A 緩和ケアを必要とする患者と家族への看護	a がん患者	がん看護学：第2章B-7「緩和ケア」(p.75～88) 緩和ケア：第1章D「わが国のがん対策と緩和ケア」(p.10～11)
		b 心不全患者	成人看護学 [3] (循環器)：第6章E-2「心不全患者の看護」(p.316～328) 緩和ケア：第5章A-2「慢性・進行性の呼吸・循環器系疾患の患者」(p.68)
		c 慢性呼吸不全患者	緩和ケア：第5章A-2「慢性・進行性の呼吸・循環器系疾患の患者」(p.68)
		d 慢性疼痛のある患者	在宅看護論：第6章C-10「疼痛緩和」(p.296～301) 緩和ケア：第7章B-1「がん疼痛」(p.128～150)
	B エンド・オブ・ライフ・ケア (end-of-life care)	a 症状アセスメントとマネジメント	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第12章「症状マネジメントにおける看護技術」(p.320～353) 在宅看護論：第6章B-8「在宅におけるエンドオブライフケア」(p.224～232) 緩和ケア：第7章「身体的ケア」(p.116～193)、第8章「精神的ケア」(p.196～233)
		b 全人的苦痛のアセスメントとマネジメント	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第9章C「人生の最期のときを過ごしている人の理解」(p.242～248)、D「人生の最期のときを支える看護」(p.249～254)、第12章「症状マネジメントにおける看護技術」(p.320～353) 在宅看護論：第6章B-8「在宅におけるエンドオブライフケア」(p.224～232) 臨床外科看護総論：第2章E-3「全人的苦痛の緩和」(p.119～124) 緩和ケア：第1章B「緩和ケアの理念」(p.4～5)、第6章B「緩和ケアに用いられる看護介入」(p.93～95)
		c 苦痛緩和と意思決定支援	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第9章D「人生の最期のときを支える看護」(p.249～254) 在宅看護論：第6章B-8「在宅におけるエンドオブライフケア」(p.224～232) 臨床外科看護総論：第2章E-3-1「身体的苦痛の緩和」(p.119～123) 緩和ケア：第4章「緩和ケアにおけるコミュニケーションと意思決定支援」(p.54～64)
		d 予期的悲嘆に対するアセスメントとケア	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第9章D「人生の最期のときを支える看護」(p.249～254) 在宅看護論：第6章B-8「在宅におけるエンドオブライフケア」(p.224～232) 緩和ケア：第9章C-4「家族・遺族のケア」(p.246)、第11章D「遺族ケア」(p.286～290)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		e アドバンスケアプランニング	在宅看護論：第6章 B-8「在宅におけるエンドオブライフケア」(p.224～232)、第7章 A-1-2「在宅療養準備期のおもな看護計画」(p.307～309) 緩和ケア：第3章 B-4-1「アドバンス・ケア・プランニング」(p.47～48)
		f 家族ケア	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第15章 B「死にゆく人と周囲の人々へのケア」(p.482～487) 在宅看護論：第6章 B-8「在宅におけるエンドオブライフケア」(p.224～232) 臨床外科看護総論：第2章 E-2-3「家族のケア」(p.119) 緩和ケア：第11章「家族ケア」(p.270～290)
	C 臨死期の看護	a 身体的ケア	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第9章 D「人生の最期のときを支える看護」(p.249～254) 在宅看護論：第6章 B-8「在宅におけるエンドオブライフケア」(p.224～232) 緩和ケア：第7章「身体的ケア」(p.116～193)
		b 精神的ケア	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第9章 D「人生の最期のときを支える看護」(p.249～254) 在宅看護論：第6章 B-8「在宅におけるエンドオブライフケア」(p.224～232) 緩和ケア：第8章「精神的ケア」(p.196～233)
		c 家族の悲嘆へのケア、代理意思決定支援	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章 G「意思決定支援」(p.128～135)、第9章 D「人生の最期のときを支える看護」(p.249～254) 在宅看護論：第6章 B-8「在宅におけるエンドオブライフケア」(p.224～232) 緩和ケア：第11章「家族ケア」(p.270～290)
		d 脳死状態への対応	成人看護学 [7] (脳・神経)：第3章 B-1-4「さまざまな意識障害と脳死」(p.62) 救急看護学：第5章 O「脳死状態への対応」(p.276～282)

目標Ⅶ. 各機能障害のある患者の特徴および病期や障害に応じた看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
10 呼吸機能障害のある患者の看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	a 酸素化障害	成人看護学 [2] (呼吸器)：第2章 B-3「ガス交換」(p.35～38)、第4章 B-8-2「ガス交換機能検査」(p.101～108) クリティカルケア看護学：第2章 C-1「呼吸器系」(p.26～27)
		b 換気障害	成人看護学 [2] (呼吸器)：第2章 B-2「換気運動」(p.33～35)、第4章 B-8-1「換気機能検査」(p.97～101) 臨床検査：第10章 I-B「呼吸機能検査」(p.292～302)
		c 呼吸運動障害	成人看護学 [2] (呼吸器)：第2章 B-1「呼吸調節」(p.32～33)、第4章 B-8「呼吸機能検査」(p.97～108) 臨床検査：第10章 I-B「呼吸機能検査」(p.292～302)
		d 生命・生活への影響	成人看護学 [2] (呼吸器)：第1章 B「患者の特徴」(p.11～14) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第6章 B-11「呼吸障害のある患者の看護」(p.291～295) クリティカルケア看護学：第3章 C「呼吸障害とケア」(p.56～63)
	B 検査・処置を受ける患者への看護	a 動脈血液ガス分析	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第11章 B-1「血液検査」(p.375～382) 成人看護学 [2] (呼吸器)：第4章 B-8-2「動脈血ガス分析」(p.101～108) 臨床検査：第5章 J「血液ガス分析」(p.157～162)
		b 呼吸機能検査	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第12章 B-6「肺機能検査(スパイロメトリー)」(p.411～412)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 気管支鏡検査	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 B-8 「呼吸機能検査」 (p.97~108) 臨床検査 : 第10章 I-B 「呼吸機能検査」 (p.292~302)
		d 胸腔穿刺	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 B-6-1 「気管支鏡」 (p.89~94)、第6章 C-1-1 「気管支鏡検査」 (p.242~244) 臨床検査 : 第10章 III 「内視鏡検査」 (p.328~333) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術 II) : 第12章 C-8-1 「胸腔穿刺」 (p.414~415)
		e 肺生検	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 B-7-1 「細胞診」 (p.94)、第6章 C-2-2 「胸腔穿刺」 (p.245~246) 臨床検査 : 第3章 C 「体腔内貯留液検査」 (p.80~82) 成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 B-7 「生検」 (p.94~96)、第6章 C-2 「肺組織の生検を受ける患者の看護」 (p.245~247) 臨床検査 : 第9章 B-1 「生検(バイオプシー)」 (p.265~269)
	C 治療を受ける患者の看護	a 酸素療法	基礎看護学 [3] (基礎看護技術 II) : 第7章 A 「酸素吸入療法」 (p.214~220) 成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 C-2 「酸素療法」 (p.111~114)、第6章 D-2 「酸素療法を受ける患者の看護」 (p.250~254) 在宅看護論 : 第6章 C-7 「在宅酸素療法 (HOT)」 (p.276~281)
		b 非侵襲的陽圧換気	基礎看護学 [3] (基礎看護技術 II) : 第7章 D 「人工呼吸療法」 (p.240~246) 成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 C-3 「人工呼吸療法」 (p.114~119)、第6章 D-3 「人工呼吸器を装着する患者の看護」 (p.254~269) 在宅看護論 : 第6章 C-6 「非侵襲的陽圧換気療法 (NPPV)」 (p.271~276)
		c 侵襲的陽圧換気	基礎看護学 [3] (基礎看護技術 II) : 第7章 D 「人工呼吸療法」 (p.240~246) 成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 C-3 「人工呼吸療法」 (p.114~119)、C-5-5 「気管切開」 (p.125~126)、第6章 D-3 「人工呼吸器を装着する患者の看護」、D-4 「気管切開を受ける患者の看護」 (p.254~278) 在宅看護論 : 第6章 C-8 「在宅人工呼吸療法 (HMV) と排痰法」 (p.282~289)
		d 肺切除術	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 C-7-1 「開胸術と肺切除」 (p.127~133)、第6章 D-c-1 「一側肺全摘術後の患者の看護」 (p.299~300) 臨床外科看護各論 : 第1章 I-A-6-3 「肺がんの治療・予後」 (p.17~21)、II-A 「肺切除術患者の看護」 (p.38~57)
		e 胸腔ドレナージ	基礎看護学 [3] (基礎看護技術 II) : 第7章 C 「持続吸引」 (p.233~236) 成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 C-6 「胸腔ドレナージ」 (p.126~127)、第6章 D-5 「胸腔ドレナージを受ける患者の看護」 (p.278~280) 臨床外科看護各論 : 第1章 II-A-2 「手術後の看護」 (p.43~57)
		f 吸入による薬物療法	基礎看護学 [3] (基礎看護技術 II) : 第7章 D 「吸入」 (p.237~240)、第9章 C 「吸入」 (p.293~294) 成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 C-1 「吸入療法」 (p.109~111)、第6章 D-1 「吸入療法を受ける患者の看護」 (p.247~250) クリティカルケア看護学 : 第5章 B-6 「吸入療法」 (p.158~159)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		g 薬物療法	臨床薬理学：第3章 F「気管支喘息」(p.111～119)、G「慢性閉塞性肺疾患」(p.120～124) 成人看護学 [2] (呼吸器)：第5章各疾患の「治療」の項目(p.138～222) 成人看護学 [11] (アレルギー)：第5章 C-2「薬物療法を受ける患者の看護」(p.58～60) 薬理学：第8章 A「呼吸器系に作用する薬物」(p.222～226) 臨床薬理学：第2章 E「鎮咳・去痰薬」(p.60～64)
	D 病期や機能障害に応じた看護	a 腫瘍(肺癌、中皮腫)	成人看護学 [2] (呼吸器)：第5章 G-2「悪性腫瘍」(p.198～210)、I-1-5「胸膜腫瘍」(p.215～216)、第6章 E-8「肺がん患者の看護」(p.343～352)
		b 炎症性疾患(肺炎、気管支炎、胸膜炎)	成人看護学 [2] (呼吸器)：第5章 A-1-2「急性気管支炎」(p.139)、A-3「肺炎」(p.142～153)、I-1-1「胸膜炎」(p.211～212)、第6章 E-1「肺炎患者の看護」(p.303～306)
		c 慢性閉塞性肺疾患〈COPD〉	成人看護学 [2] (呼吸器)：第5章 C-3「慢性閉塞性肺疾患」(p.183～188)、第6章 E-4「慢性閉塞性肺疾患患者の看護」(p.321～336) リハビリテーション看護：第5章 A「慢性閉塞性肺疾患」(p.263～280)
		d 気管支喘息	成人看護学 [2] (呼吸器)：第5章 C-1「気管支喘息」(p.176～181)、第6章 E-3「気管支喘息患者の看護」(p.315～321) 成人看護学 [11] (アレルギー)：第5章「気管支喘息患者の看護」(p.61～63)
11 循環機能障害のある患者の看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	a ポンプ機能障害	成人看護学 [3] (循環器)：第3章「症状とその病態生理」(p.32～46)、第5章 B「心不全」(p.149～161)、第6章 E-2「心不全患者の看護」(p.316～328)
		b 刺激伝導障害	成人看護学 [3] (循環器)：第3章「症状とその病態生理」(p.32～46)、第5章 D「不整脈」(p.171～198)、第6章 E-4「不整脈患者の看護」(p.331～334)
		c 血管・リンパ管障害	成人看護学 [3] (循環器)：第3章「症状とその病態生理」(p.32～46)、第5章 J「動脈系疾患」(p.220～226)、K「静脈系疾患」(p.226～230)、L「リンパ系疾患」(p.230～231)、第6章 E-8「動脈系疾患患者の看護」(p.340～344)、E-9「静脈系疾患患者の看護」(p.344～348)
		d 生命・生活への影響	成人看護学 [3] (循環器)：第1章 B「患者の特徴」(p.8～10)
	B 検査・処置を受ける患者への看護	a 心電図	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第11章 C-1「心電図検査」(p.388～391)、C-2「心電図モニター」(p.391～393) 成人看護学 [3] (循環器)：第4章 B-1「心電図」(p.52～63)
		b 心血管超音波	成人看護学 [3] (循環器)：第4章 B-3「心エコー法」(p.63～66) 臨床検査：第10章 I-A「循環機能検査」(p.273～292)、II-A「超音波検査」(p.318～323)
		c 血管造影	成人看護学 [3] (循環器)：第4章 B-5「心臓カテーテル法」(p.68～74)、第6章 C-1「心臓カテーテル法を受ける患者の看護」(p.254～256) 臨床放射線医学：第7章「IVR・血管造影」(p.147～168)
		d 心臓カテーテル	成人看護学 [3] (循環器)：第4章 B-5「心臓カテーテル法」(p.68～74)、第6章 C-1「心臓カテーテル法を受ける患者の看護」(p.254～256)
	C 治療を受ける患者への看護	a 経皮的冠動脈形成術〈PCI〉	成人看護学 [3] (循環器)：第4章 C-1-2「経皮的冠動脈インターベンション(PCI)」(p.83～85)、第6章 C-1「心臓カテーテル法を受ける患者の看護」(p.254～256)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 冠動脈バイパス術〈CABG〉	臨床外科看護各論：第2章Ⅱ-B-3「非開心術患者の看護」(p.160～161) 成人看護学 [3] (循環器)：第4章C-2-2「冠動脈バイパス術」(p.98～102)、第6章D-4「冠動脈バイパス術を受ける患者の看護」(p.289～293) 臨床外科看護各論：第2章Ⅱ-B-2「冠動脈バイパス術を受ける患者の看護」(p.158～160)
		c 弁置換術・弁形成術	成人看護学 [3] (循環器)：第4章C-2-3「弁膜症に対する手術」(p.102～106)、第6章D-5「弁置換術・弁形成術を受ける患者の看護」(p.293～297) 臨床外科看護各論：第2章Ⅰ-A-3-a「弁膜症」(p.92～99)、Ⅱ-B-1「弁置換術を受ける患者の看護」(p.156～158)
		d 大動脈内バルーンパンピング〈IABP〉	成人看護学 [3] (循環器)：第4章C-3-1「大動脈内バルーンパンピング」(p.114)、第6章D-8「補助循環装置を装着する患者の看護」(p.304～306) 臨床外科看護各論：第2章Ⅰ-A-5-1「補助循環」(p.108～110)
		e ペースメーカー	成人看護学 [3] (循環器)：第4章C-1-3「ペースメーカー治療」(p.86～90)、第6章E-4-b「ペースメーカーを装着した患者への看護」(p.332～334) 臨床外科看護各論：第2章Ⅰ-A-4-2「ペースメーカー植込み」(p.106～107)
		f 植込み型除細動器	成人看護学 [3] (循環器)：第4章D-4-4「植込み型除細動器(ICD)」(p.197～198) 臨床外科看護各論：第2章Ⅰ-A-4-4「植込み型除細動器」(p.107)
		g 血栓溶解療法・血栓除去術	成人看護学 [3] (循環器)：第4章C-2-5「血栓除去術」(p.113～114)、第5章A-2-b-5「治療」(p.139～143)、第6章D-2「血栓除去術を受ける患者の看護」(p.301～304) 薬理学：第7章G-5「血栓溶解薬および抗血小板薬」(p.216～218) 臨床外科看護各論：第2章Ⅰ-B-4-2「深部静脈血栓症」(p.133～135) 臨床薬理学：第3章E「抗血小板薬・抗凝固療法」(p.105～110)
	D 病期や機能障害に応じた看護	a 心不全	成人看護学 [3] (循環器)：第6章E-2「心不全患者の看護」(p.316～328) 臨床薬理学：第3章C「心不全」(p.92～98)
		b 虚血性心疾患	成人看護学 [3] (循環器)：第6章E-1「虚血性心疾患患者の看護」(p.306～316) リハビリテーション看護：第5章B「虚血性心疾患」(p.281～298)
		c 弁膜症	臨床薬理学：第3章B「急性冠症候群」(p.86～91) 成人看護学 [3] (循環器)：第6章E-5「弁膜症患者(感染性心内膜炎患者)の看護」(p.334～336)
		d 不整脈	成人看護学 [3] (循環器)：第6章E-4「不整脈患者の看護」(p.331～334) 臨床薬理学：第3章D「不整脈」(p.99～104)
		e 閉塞性動脈硬化症(下肢動脈閉塞症)	成人看護学 [3] (循環器)：第6章E-8-b「動脈閉塞性疾患患者の看護」(p.341～344)
12 消化・吸収機能障害のある患者への看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	a 咀嚼・嚥下障害	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉)：特論「嚥下障害患者の看護」(p.244～270) 成人看護学 [15] (歯・口腔)：第3章B-3「咀嚼障害・嚥下障害」(p.43～45)、第6章A-2「顎口腔機能障害のある患者の看護」(p.170～180) クリティカルケア看護学：第5章M-1「摂食・嚥下機能の障害の観察」(p.196～197)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 消化管機能障害	成人看護学 [5] (消化器) : 第 6 章 E-1 「食道疾患患者の看護」 (p.335~348)、E-2 「胃・十二指腸疾患患者の看護」 (p.348~361)、E-3 「腸・腹膜疾患患者の看護」 (p.361~390)
		c 膵液分泌障害	成人看護学 [5] (消化器) : 第 6 章 E-5 「膵臓疾患患者の看護」 (p.417~425)
		d 胆汁分泌障害	成人看護学 [5] (消化器) : 第 6 章 E-4 「肝臓・胆嚢疾患患者の看護」 (p.390~417)
		e 生命・生活への影響	成人看護学 [5] (消化器) : 第 1 章 「消化器の看護を学ぶにあたって」 (p.6~17)
	B 検査・処置を受ける患者への看護	a 上部消化管内視鏡	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 12 章 B-4 「内視鏡検査」 (p.408~410) 成人看護学 [5] (消化器) : 第 6 章 C-2-1 「上部消化管内視鏡検査を受ける患者の看護」 (p.300~301) 臨床検査 : 第 10 章Ⅲ 「内視鏡検査」 (p.328~333)
		b 大腸内視鏡	成人看護学 [5] (消化器) : 第 6 章 C-2-2 「大腸内視鏡検査を受ける患者の看護」 (p.301~302) 臨床検査 : 第 10 章Ⅲ 「内視鏡検査」 (p.328~333)
		c 内視鏡的逆行性胆管膵管造影 (ERCP)	成人看護学 [5] (消化器) : 第 6 章 C-1-3 「胆道・胆嚢造影検査を受ける患者の看護」 (p.300)
		d 消化管造影	成人看護学 [5] (消化器) : 第 6 章 C-1 「造影検査を受ける患者の看護」 (p.299~300) 臨床放射線医学 : 第 2 章 D-2-2 「腹部」 (p.44)
		e 造影 CT・MRI	臨床放射線医学 : 第 3 章 D-3 「腹部」 (p.66~70)
		f 直腸診	成人看護学 [5] (消化器) : 第 4 章 A-5 「直腸指診」 (p.77~78)
	C 治療を受ける患者への看護	a 咽頭・喉頭摘出術	成人看護学 [5] (消化器) : 第 6 章 E-1 「食道疾患患者の看護」 (p.335~348) 成人看護学 [14] (耳鼻咽喉) : 第 6 章 D 「音声ならびに嚥下の障害に対するリハビリテーションと看護」 (p.190~194) 臨床外科看護各論 : 第 5 章Ⅱ-B 「頭頸部がん患者の看護」 (p.457~477)
		b 食道切除術	成人看護学 [5] (消化器) : 第 6 章 E-1 「食道疾患患者の看護」 (p.335~348) 臨床外科看護各論 : 第 3 章Ⅱ-C-1 「食道の手術を受ける患者の看護」 (p.330~336) クリティカルケア看護学 : 第 4 章 E 「食道離断・再建術後の看護」 (p.132~136) 栄養食事療法 : 第 12 章 D 「食道がんの手術」 (p.183~185)
		c 胃切除術	成人看護学 [5] (消化器) : 第 6 章 D-4 「手術療法を受ける患者の看護」 (p.319~329)、E-2 「胃・十二指腸疾患患者の看護」 (p.348~361) 臨床外科看護各論 : 第 3 章Ⅱ-C-2 「胃の手術を受ける患者の看護」 (p.336~343) 栄養食事療法 : 第 12 章 B 「胃の摘出手術」 (p.177~180)
		d 大腸切除術	成人看護学 [5] (消化器) : 第 6 章 E-3 「腸・腹膜疾患患者の看護」 (p.361~390) 臨床外科看護各論 : 第 3 章Ⅱ-C-3 「大腸の手術を受ける患者の看護」 (p.343~354) 栄養食事療法 : 第 12 章 C 「大腸がんの手術」 (p.180~183)
		e 膵切除術	成人看護学 [5] (消化器) : 第 6 章 E-5 「膵臓疾患患者の看護」 (p.417~425) 臨床外科看護各論 : 第 3 章Ⅱ-F 「膵臓の手術を受ける患者の看護」 (p.362~365)
		f 腹腔鏡視下手術	成人看護学 [5] (消化器) : 第 6 章 D-4 「手術療法を受ける患者の看護」 (p.319~329)、E-3 「腸・腹膜疾患患者の看護」 (p.361~390)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		g 人工肛門造設術	臨床外科看護各論：第3章Ⅱ-B「腹腔鏡手術を受ける患者の看護」(p.328～330) 成人看護学 [5] (消化器)：第6章 E-3「腸・腹膜疾患患者の看護」(p.361～390)
		h 手術後ドレナージ	臨床外科看護各論：第3章Ⅱ-C-3-a「腹会陰式直腸切斷術を受ける患者の看護」(p.345～350) 成人看護学 [5] (消化器)：第6章 D-4「手術療法を受ける患者の看護」(p.319～329)
		i 胆道・胆嚢ドレナージ	臨床外科看護各論：第3章Ⅱ-A-2「手術後の看護」(p.325～328) 成人看護学 [5] (消化器)：第6章 E-4「肝臓・胆嚢疾患患者の看護」(p.390～417)
		j 経腸栄養法	臨床外科看護各論：第3章Ⅱ-E「胆嚢・胆道手術患者の看護」(p.360～362) 栄養学：第9章 B-1「経腸栄養法」(p.187～188) 栄養食事療法：第2章 B-2「経管・経腸栄養法」(p.24～26)
		k 経静脈栄養法	栄養学：第9章 B-2「経静脈栄養法」(p.188～189) 栄養食事療法：第2章 B-3「経静脈栄養法」(p.26) 臨床薬理学：第4章 B-2「持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整」(p.243～251)
	D 病期や機能障害に応じた看護	a 口腔・咽頭腫瘍(舌癌、咽頭癌、喉頭癌)	成人看護学 [5] (消化器)：第7章 A「下咽頭がん患者の看護」(p.230～235) 成人看護学 [15] (歯・口腔)：第6章 D-1「口腔がん患者の看護」(p.205～221) 臨床外科看護各論：第5章Ⅱ-B「頭頸部がん患者の看護」(p.457～477)
		b 上部消化管腫瘍(食道癌、胃癌)	成人看護学 [5] (消化器)：第6章 E-1-1「食道がん患者の看護」(p.336～346)、E-2-2「胃がん患者の看護」(p.352～361) 臨床外科看護各論：第3章Ⅱ-C-1「食道の手術を受ける患者の看護」(p.330～336)、Ⅱ-C-2「胃の手術を受ける患者の看護」(p.336～343)
		c 下部消化管腫瘍(大腸癌、結腸癌)	成人看護学 [5] (消化器)：第6章 E-3-8「大腸がん患者の看護」(p.383～390) 臨床外科看護各論：第3章Ⅱ-C-3「大腸の手術を受ける患者の看護」(p.343～354)
		d 人工肛門造設後	成人看護学 [5] (消化器)：特論「ストーマケア」(p.452～470) 臨床外科看護各論：第3章Ⅱ-C-3-b-2「手術後の看護」(p.350～354) 栄養食事療法：第6章 G「人工肛門造設患者」(p.85～86)
		e 炎症性疾患(潰瘍性大腸炎・Crohn〈クローン〉病)	成人看護学 [5] (消化器)：第6章 E-3-1「潰瘍性大腸炎患者の看護」(p.361～364)、E-3-2「クローン病患者の看護」(p.364～367) 栄養食事療法：第6章 E「クローン病」(p.78～81)、H「潰瘍性大腸炎」(p.86～87)
		f 潰瘍性疾患(胃・十二指腸潰瘍)	成人看護学 [5] (消化器)：第6章 E-2-1「胃・十二指腸潰瘍患者の看護」(p.348～351) 栄養食事療法：第6章 B「胃・十二指腸潰瘍」(p.73～76) 臨床薬理学：第3章 H「胃・十二指腸潰瘍」(p.125～131)
		g 胆石症	成人看護学 [5] (消化器)：第6章 E-4-8「胆石発作時の看護」(p.411～412)
		h 膵炎	成人看護学 [5] (消化器)：第6章 E-5-1「急性膵炎患者の看護」(p.417～419)、E-5-2「慢性膵炎患者の看護」(p.419～420)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
13 栄養代謝機能障害のある患者の看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	a 肝機能障害	成人看護学 [5] (消化器) : 第 6 章 E-4 「肝臓・胆嚢疾患患者の看護」 (p.390~417) 栄養食事療法 : 第 6 章 「消化器疾患患者の栄養食事療法」 (p.95~99) 臨床検査 : 第 5 章 B 「血清酵素の検査」 (p.123~128)、E 「胆汁排泄関連物質の検査」 (p.140~143)
		b 代謝機能障害	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第 5 章 B 「代謝疾患」 (p.132~184)、第 6 章 C 「代謝疾患患者の看護」 (p.235~282) 栄養学 : 第 9 章 F-3 「栄養・代謝疾患患者の食事療法」 (p.214~222) 栄養食事療法 : 第 8 章 「栄養代謝性疾患患者の栄養食事療法」 (p.130~146) 臨床検査 : 第 5 章 C 「糖代謝の検査」 (p.128~135)、D 「脂質代謝の検査」 (p.135~140)、F 「窒素化合物の検査」 (p.143~145)
		c 生命・生活への影響	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第 5 章 B 「代謝疾患」 (p.132~184)、第 6 章 C 「代謝疾患患者の看護」 (p.235~282)
	B 検査・処置を受ける患者への看護	a 腹部超音波	成人看護学 [5] (消化器) : 第 6 章 C-3-5 「腹部超音波検査を受ける患者の看護」 (p.303) 臨床検査 : 第 10 章 II-A-3 「腹部超音波(エコー)検査」 (p.320~323)
		b 肝生検	成人看護学 [5] (消化器) : 第 6 章 C-3 「肝生検を受ける患者の看護」 (p.302~303) 臨床検査 : 第 9 章 B-1 「生検(バイオプシー)」 (p.265~266)
		c 腹腔鏡	成人看護学 [5] (消化器) : 第 6 章 C-2-3 「腹腔鏡検査を受ける患者の看護」 (p.302)
	C 治療を受ける患者への看護	a 肝庇護療法	成人看護学 [5] (消化器) : 第 6 章 E-4 「肝臓・胆嚢疾患患者の看護」 (p.390~417)
		b インターフェロン療法	成人看護学 [5] (消化器) : 第 6 章 E-4 「肝臓・胆嚢疾患患者の看護」 (p.390~417)
		c 食道静脈瘤内視鏡治療	臨床外科看護各論 : 第 3 章 I-F-2-2 「食道・胃静脈瘤」 (p.284~290)
		d 肝動脈塞栓術	成人看護学 [5] (消化器) : 第 6 章 E-4 「肝臓・胆嚢疾患患者の看護」 (p.390~417) 臨床外科看護各論 : 第 3 章 I-D-3-1 「原発性肝がん」 (p.253~259)
		e 肝切除術	成人看護学 [5] (消化器) : 第 6 章 E-4 「肝臓・胆嚢疾患患者の看護」 (p.390~417) 臨床外科看護各論 : 第 3 章 I-D-3-1 「原発性肝がん」 (p.253~259)、II-D 「肝がん患者の看護」 (p.358~360) クリティカルケア看護学 : 第 4 章 F 「肝切除術後の看護」 (p.136~139)
	D 病期や機能障害に応じた看護	a 肝炎	成人看護学 [5] (消化器) : 第 6 章 E-4-1 「急性肝炎患者の看護」 (p.390~395)、E-4-2 「慢性肝炎患者の看護」 (p.395~397) 栄養学 : 第 9 章 F-2-C 「肝臓・胆嚢疾患」 (p.211~214) 栄養食事療法 : 第 5 章 M 「慢性肝炎」 (p.95~96) 臨床薬理学 : 第 3 章 J 「慢性肝炎」 (p.137~145)
		b 肝硬変	成人看護学 [5] (消化器) : 第 6 章 E-4-3 「肝硬変症患者の看護」 (p.397~401) 栄養学 : 第 9 章 F-2-C 「肝臓・胆嚢疾患」 (p.211~214) 栄養食事療法 : 第 5 章 O 「肝硬変症」 (p.97~99)
		c 肝癌	成人看護学 [5] (消化器) : 第 6 章 E-4-5 「肝(臓)がん患者の看護」 (p.403~406) 臨床外科看護各論 : 第 3 章 II-D 「肝がん患者の看護」 (p.358~360)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d 高尿酸血症、脂質異常症、肥満	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第 6 章 C-2 「脂質異常症患者の看護」 (p.271~275)、C-3 「肥満患者の看護」 (p.275~278)、C-5 「尿酸代謝異常患者の看護」 (p.281~282) 栄養学 : 第 9 章 F-3 「栄養・代謝疾患患者の食事療法」 (p.214~222) 栄養食事療法 : 第 8 章 A 「肥満」 (p.130~133)、E 「脂質異常症」 (p.141~144)、F 「高尿酸血症・痛風」 (p.144~146) 臨床薬理学 : 第 3 章 N 「脂質異常症」 (p.169~174)
14 内部環境 (体温、血糖、体液量、電解質、酸塩基平衡) 調節機能障害のある患者の看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	a 体温調節機能障害	成人看護学 [11] (感染症) : 第 6 章 B-1 「発熱」 (p.352~353) 救急看護学 : 第 5 章 H 「体温異常への対応」 (p.224~229)
		b 血糖調節機能障害	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第 5 章 B-1 「糖尿病」 (p.132~164)、第 6 章 C-1 「糖尿病患者の看護」 (p.236~271) 臨床検査 : 第 5 章 C 「糖代謝の検査」 (p.128~135)
		c 体液量調節機能障害	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第 3 章 C 「浮腫」 (p.49~51)、D 「脱水」 (p.51~52) 臨床検査 : 第 5 章 I 「水・電解質の検査」 (p.152~157)
		d 電解質調節機能障害	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第 3 章 F-4 「電解質の異常」 (p.57~58) 臨床検査 : 第 5 章 I 「水・電解質の検査」 (p.152~157)
		e 酸塩基平衡調節機能障害	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第 2 章 B-4 「酸塩基平衡」 (p.38~39)、第 4 章 B-8-2 「酸塩基平衡」 (p.105~108) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第 3 章 F-5 「酸塩基平衡の障害」 (p.58~59) 臨床検査 : 第 3 章 A 「尿検査」 (p.62~77)、第 5 章 J 「血液ガス分析」 (p.157~162)
		f 生命・生活への影響	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第 5 章 B-1 「糖尿病」 (p.132~164)、第 6 章 C-1 「糖尿病患者の看護」 (p.236~271) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第 6 章 IV-B 「疾患を持つ患者の看護」 (p.240~251)
	B 検査・処置を受ける患者への看護	a 糖負荷試験 (OGTT)	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第 4 章 B-3-2 「インスリン分泌能の評価」 (p.76~78)、第 6 章 C-1-c-3 「看護活動」 (p.246~270) 臨床検査 : 第 5 章 C 「糖代謝の検査」 (p.128~135)
		b 血糖自己測定 (SMBG)	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第 6 章 C-1-c-3- [4] 「血糖自己測定実施への援助」 (p.261~262)
		c 静脈性尿路造影	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第 4 章 B-4 「画像検査」 (p.79~87)、第 6 章 III-3 「画像検査を受ける患者の看護」 (p.228~230)
		d 腎生検	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第 4 章 B-7 「生検」 (p.93~94)、第 6 章 III-4 「生検を受ける患者の看護」 (p.230~233) 臨床検査 : 第 9 章 B-1 「生検 (バイオプシー)」 (p.265~266)
	C 治療を受ける患者への看護	a インスリン補充療法	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第 5 章 B-1-4 「糖尿病の治療」 (p.137~147)、第 6 章 C-1-c-3 「看護活動」 (p.246~270) 薬理学 : 第 9 章 A-1-1 「インスリン製剤」 (p.242~245) 臨床薬理学 : 第 4 章 C 「インスリンの投与量の調整」 (p.252~258)
		b 糖尿病経口薬による治療	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第 5 章 B-1-4 「糖尿病の治療」 (p.137~147)、第 6 章 C-1-c-3 「看護活動」 (p.256~262) 薬理学 : 第 9 章 A-1-2 「経口血糖降下薬」 (p.245~247)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 食事・運動療法	臨床薬理学：第3章M「糖尿病」(p.159～168) 成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章B-1-4「糖尿病の治療」(p.137～147)、「糖尿病の治療——運動療法」(p.141～143)、第6章C-1-c-3「看護活動」(p.246～270) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第6章IV-A-2「食事療法・運動療法を受ける患者の看護」(p.238～240) 栄養学：第9章F-3「栄養・代謝疾患患者の食事療法」(p.214～222)、F-4「腎臓疾患患者の食事療法」(p.222～227) 栄養食事療法：第8章「栄養代謝性疾患患者の栄養食事療法」(p.130～146)
		d 急性期持続血液濾過透析	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第4章E-3「持続血液透析濾過法」(p.110)、第6章IV-C-5「持続血液透析濾過を受ける患者の看護」(p.264～265)
		e 血液透析	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第4章E「透析療法」(p.103～110)、第6章IV-C「透析治療を受ける患者の看護」(p.251～265) 臨床薬理学：第3章L「透析患者における薬剤管理」(p.153～159)
		f 腹膜透析 (CAPD)	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第4章E-2「腹膜透析」(p.108～110)、第6章IV-C-3「腹膜透析患者の看護」(p.258～263)
		g 腎移植	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第4章F「腎移植」(p.111～113)、第6章IV-E「腎移植を受ける患者の看護」(p.303～307)
	D 病期や機能障害に応じた看護	a 低体温症	病態生理学：第2章B-4「低体温」(p.37～38)
		b 1型糖尿病	成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第6章C-1「糖尿病患者の看護」(p.236～271) 臨床薬理学：第3章M「糖尿病」(p.159～168)
		c 2型糖尿病	成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第6章C-1「糖尿病患者の看護」(p.236～271) 臨床薬理学：第3章M「糖尿病」(p.159～168)
		d 急性腎不全	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第6章IV-B-8「急性腎不全・急性腎障害患者の看護」(p.246～248)
		e 慢性腎不全	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第6章IV-B-9「慢性腎不全・慢性腎臓病患者の看護」(p.248～251)
		f 慢性腎臓病	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第6章IV-B-9「慢性腎不全・慢性腎臓病患者の看護」(p.248～251) 臨床薬理学：第3章K「慢性腎臓病」(p.146～152)
		g 腎移植術後	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第6章V-E「腎移植を受ける患者の看護」(p.303～307)
15 内分泌機能障害のある患者の看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	a 甲状腺機能障害	成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章A-3「甲状腺疾患」(p.97～112)、第6章B-3「甲状腺疾患患者の看護」(p.205～222) 臨床検査：第7章C「甲状腺ホルモンの検査」(p.202～208)
		b 副腎機能障害	成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章A-5「副腎疾患」(p.118～125)、第6章B-5「副腎疾患患者の看護」(p.228～235) 臨床検査：第7章E「副腎皮質ホルモンの検査」(p.209～214)、F「副腎髄質ホルモンの検査」(p.214～215)
		c 下垂体機能障害	成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章A-1「視床下部——下垂体前葉系疾患」(p.82～94)、A-2「視床下部——下垂体後葉系疾患」(p.94～97)、第6章B-2「下垂体疾患患者の看護」(p.196～205) 臨床検査：第7章A「下垂体性前葉ホルモンの検査」(p.196～200)、B「下垂体性後葉ホルモンの検査」(p.200～201)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所	
	B 検査・処置を受ける患者への看護	d 生命・生活への影響	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第 6 章 B「内分泌疾患患者の看護」(p.193～235)	
		a ホルモン血中・尿中濃度測定	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第 4 章 A-1「ホルモンの血中濃度測定」(p.62～63)、A-2「ホルモンおよび代謝産物の尿中量測定」(p.63～64)、第 6 章 A-1-2「ホルモンの血中濃度測定時の看護」(p.194) 臨床検査 : 第 7 章「内分泌学的検査」(p.194～221)	
		b ホルモン負荷試験	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第 4 章 A-4「ホルモン負荷試験」(p.65～68)、第 6 章 A-1-3「ホルモン負荷試験時の看護」(p.195) 臨床検査 : 第 7 章「内分泌学的検査」(p.194～221)	
	C 治療を受ける患者への看護	a 甲状腺ホルモン療法	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第 6 章 B-3「甲状腺疾患患者の看護」(p.205～222)	
		b 甲状腺切除術	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第 6 章 B-3-4「甲状腺切除術を受ける患者の看護」(p.214～219) 臨床外科看護各論 : 第 5 章 I-B-3-2「治療」(p.451～453)	
	D 病期や機能障害に応じた看護	a 甲状腺疾患(甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症)	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第 6 章 B-3「甲状腺疾患患者の看護」(p.205～222)	
		b 腫瘍(甲状腺癌、下垂体腫瘍)	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第 6 章 B-2「下垂体疾患患者の看護」(p.196～205)、B-3-3「甲状腺腫瘍患者の看護」(p.213)	
	16 身体防御機能の障害のある患者の看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	a 皮膚粘膜障害	成人看護学 [12] (皮膚) : 第 5 章「疾患の理解」(p.79～156)
			b 免疫機能障害	成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第 5 章 A-2「出血傾向のある患者の看護」(p.141～145)、A-3「白血球減少のある患者の看護」(p.145～147) 成人看護学 [11] (アレルギー) : 第 4 章「症状と疾患の理解」(p.36～46)、第 5 章「患者の看護」(p.48～70) 成人看護学 [11] (膠原病) : 第 5 章「疾患の理解」(p.124～150) 微生物学 : 第 7 章「感染に対する生体防御機構」(p.97～132)
c 骨髄機能障害			成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第 5 章「患者の看護」(p.136～206)	
d 生命・生活への影響			成人看護学 [11] (アレルギー) : 第 5 章「患者の看護」(p.48～70) 成人看護学 [11] (膠原病) : 第 6 章「患者の看護」(p.152～180)	
B 検査・処置を受ける患者への看護		a スキンテスト	成人看護学 [11] (アレルギー) : 第 3 章 A-2-2「スキンテスト」(p.30) 成人看護学 [12] (皮膚) : 第 4 章 B-1「皮膚科的検査法」(p.53～59)	
		b 粘膜・皮膚生検	成人看護学 [12] (皮膚) : 第 4 章 C-3「病理組織検査法」(p.63) 臨床検査 : 第 9 章 B-1「生検(バイオプシー)」(p.265～266)	
		c 骨髄穿刺	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 12 章 B-8-4「骨髄穿刺」(p.419～420) 成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第 6 章 C-2「主要な検査と看護」(p.149～150) 臨床検査 : 第 4 章 E「骨髄検査」(p.112～116)	
C 治療を受ける患者への看護		a 減感作療法	成人看護学 [11] (アレルギー) : 第 3 章 B-1-5「減感作療法」(p.33～34)、第 5 章 C-3「減感作療法を受ける患者の看護」(p.60～61)	
		b 免疫抑制薬	成人看護学 [11] (膠原病) : 第 4 章 C-2「薬物療法」(p.117～121)、第 6 章 D-1「薬物療法を受ける患者の看護」(p.161～165)	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c ステロイド療法	成人看護学 [12] (皮膚) : 第 4 章 C-1 「全身療法 (内服・注射薬)」 (p.64～67)、C-2 「外用療法」 (p.67～69)、第 6 章 E-1 「内服療法を受ける患者の看護」 (p.187～188)、E-2 「外用療法を受ける患者の看護」 (p.188～197) 薬理学 : 第 3 章 B 「免疫抑制薬」 (p.106～107) 成人看護学 [11] (アレルギー) : 第 3 章 B-1-1 「副腎皮質ステロイド」 (p.31～32)、第 5 章 C-2 「薬物療法を受ける患者の看護」 (p.58～59) 成人看護学 [11] (膠原病) : 第 4 章 C-2 「薬物療法」 (p.117～121)、第 6 章 D-1 「薬物療法を受ける患者の看護」 (p.161～165) 成人看護学 [12] (皮膚) : 第 4 章 C-1 「全身療法 (内服・注射薬)」 (p.64～67)、C-2 「外用療法」 (p.67～69)、第 6 章 E-1 「内服療法を受ける患者の看護」 (p.187～188)、E-2 「外用療法を受ける患者の看護」 (p.188～197) 薬理学 : 第 10 章 A-2-1 「炎症性皮膚疾患の治療薬」 (p.259～261) 臨床薬理学 : 第 4 章 F 「副腎皮質ステロイド薬による治療」 (p.284～296)
		d 造血幹細胞移植	成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第 4 章 C-3 「造血幹細胞移植」 (p.78～84)、第 5 章 D-4 「造血幹細胞移植を受ける患者の看護」 (p.172～187) がん看護学 : 第 5 章 E 「造血幹細胞移植と看護」 (p.262～276)
		e 抗ヒト免疫不全ウイルス〈HIV〉療法	成人看護学 [11] (感染症) : 第 5 章 R-1 「HIV 感染症」 (p.310～313)、第 6 章 D-1 「HIV/AIDS 患者の看護」 (p.358～362)
	D 病期や機能障害に応じた看護	a アレルギー性疾患	成人看護学 [11] (アレルギー) : 第 5 章 「患者の看護」 (p.48～70) 成人看護学 [12] (皮膚) : 第 6 章 F-1 「アトピー性皮膚炎患者の看護」 (p.202～206) 栄養食事療法 : 第 15 章 E 「食物アレルギー」 (p.225～227)
		b 自己免疫疾患	成人看護学 [11] (膠原病) : 第 6 章 「患者の看護」 (p.152～180)
		c 血液悪性疾患	成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第 5 章 D 「造血器腫瘍患者の看護」 (p.151～206) 栄養食事療法 : 第 10 章 C 「白血球」 (p.155～156)
		d ヒト免疫不全ウイルス〈HIV〉感染症	成人看護学 [11] (感染症) : 第 6 章 D-1 「HIV/AIDS 患者の看護」 (p.358～362)
17 脳・神経機能障害のある患者の看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	a 生命維持活動調節機能障害	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第 3 章 B-1 「意識障害」 (p.56～63)、B-5 「自律性のある機能の障害」 (p.76～81)、第 6 章 B-1 「意識障害のある患者の看護」 (p.243～248)、B-9 「嚥下障害のある患者の看護」 (p.280～286)、B-10 「排尿障害のある患者の看護」 (p.286～291)、B-11 「呼吸障害のある患者の看護」 (p.291～295)
		b 運動・感覚機能障害	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第 3 章 B-3 「運動機能障害」 (p.68～74)、B-4 「感覚機能障害」 (p.74～76)、第 6 章 B-4 「運動麻痺のある患者の看護」 (p.258～266)、B-5 「運動失調・不随意運動のある患者の看護」 (p.266～271)、B-7 「筋力低下のある患者の看護」 (p.275～278)、B-8 「感覚障害のある患者の看護」 (p.278～280) リハビリテーション看護 : 第 4 章 A-5-2 「運動障害」 (p.148～164)、B-5-1 「運動障害」 (p.201～218)、C-5-1 「運動麻痺」 (p.231～244)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 言語機能障害	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第3章 B-2-1 「失語症」(p.64~67)、第6章 B-2 「言語障害のある患者の看護」(p.248~252) リハビリテーション看護 : 第4章 A-5-3 「構音障害」(p.164~168)、A-5-5 「失語」(p.175~182)、B-5-2 「構音障害」(p.218~222)
		d 高次脳機能障害	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第3章 B-2 「高次脳機能障害」(p.63~68)、第6章 B-2 「言語障害のある患者の看護」(p.248~252) リハビリテーション看護 : 第4章 A-5-5-NOTE 「高次脳機能障害」(p.177)
		e 生命・生活への影響	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第1章 A-2 「脳・神経疾患患者の概況と看護」(p.7~9)、B 「患者の特徴と看護の役割」(p.9~18)、第3章 A 「脳・神経障害とは」(p.54~55)
	B 検査・処置を受ける患者への看護	a 脳波検査	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第4章 B-2-9 「脳波検査」(p.106~107) 臨床検査 : 第10章 I-C-1 「脳波検査」(p.302~308)
		b 髄液検査	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第4章 B-2-11 「脳脊髄液(髄液)検査」(p.107~109) 臨床検査 : 第3章 D 「脳脊髄液(髄液)検査」(p.82~84)
		c 脳血管造影	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第4章 B-2-4 「脳血管撮影」(p.101~104) 臨床放射線医学 : 第4章 D-1 「頭部」(p.84~86)
	C 治療を受ける患者への看護	a 開頭術	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第4章 C-1-1 「開頭手術」(p.110~113)、第6章 C-1 「開頭手術を受ける患者の看護」(p.307~312) 臨床外科看護各論 : 第4章 II-A 「開頭術を受ける患者の看護」(p.403~415)
		b 穿頭術	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第4章 C-1-2 「穿頭術」(p.114) 臨床外科看護各論 : 第4章 II-A 「開頭術を受ける患者の看護」(p.403~415)
		c 血管バイパス術	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第5章 A-1-3 内 「外科的治療」(p.142)
		d 血管内治療	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第4章 C-1-6 「脳血管内治療」(p.115~117)、C-2-1 「薬物治療・血漿交換療法」(p.117~120) 臨床外科看護各論 : 第4章 I-A-3 「脳血管疾患」(p.381~385)
		e 脳室ドレナージ術	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第4章 C-1-1 「開頭手術」(p.110~113)、第6章 C-1-2 「手術後の看護」(p.309~312) 臨床外科看護各論 : 第4章 II-B 「脳室ドレナージ術を受ける患者の看護」(p.415~419)
		f 脳室-腹腔(V-P)シャント術	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第4章 C-1-3 「脳室-腹腔短絡(シャント)術(V-Pシャント術)」(p.114) 臨床外科看護各論 : 第4章 II-C 「脳室-腹腔短絡術(V-Pシャント術)を受ける患者の看護」(p.420~425)
		g 低体温療法	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章 F-2-2 「ICUにおける低体温療法」(p.250~255) 成人看護学 [7] (脳・神経) : 第4章 C-2-2 内 「低体温療法」(p.121)、第6章 D-5 「頭部外傷患者の看護」(p.348~352)
	D 病期や機能障害に応じた看護	a 脳血管障害(大脳、小脳)	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第3章 B-2-1 「失語症」(p.64~67)、B-3-2 「運動失調」(p.71~72)、第5章 A-1 「脳血管障害」(p.124~146)、第6章 B-5 「運動失調・不随意運動のある患者の看護」(p.266~271)、D-1 「クモ膜下出血患者の看護」(p.326~331)、D-2 「脳梗塞患者の看護」(p.331~338)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 脳腫瘍(大脳、小脳)	リハビリテーション看護：第4章A「脳血管障害」(p.136～196) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章A-2「脳腫瘍」(p.146～151)、第6章D-3「脳腫瘍患者の看護」(p.338～344)、D-4「下垂体腺腫の摘出術を受ける患者の看護」(p.344～348)
		c 感染症(脳炎、髄膜炎)	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章F「脳・神経の感染症」(p.198～202)
		d 頭部外傷	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章A-3「頭部外傷」(p.152～157)、第6章D-5「頭部外傷患者の看護」(p.348～352)、第7章B「慢性硬膜下血腫で穿頭血腫洗浄ドレナージ術を受ける患者の看護」(p.383～394) 臨床外科看護各論：第4章II-B「頭部外傷患者の看護」(p.425～432)
		e 脊髄損傷	成人看護学 [10] (運動器)：第5章D-1「脊髄損傷」(p.117)、第6章G-4「脊髄損傷患者の看護」(p.304～312) 臨床外科看護各論：第4章I-B-4「外傷に伴う脊髄疾患」(p.398～400) リハビリテーション看護：第4章C「脊髄損傷」(p.226～259)
		f 重症筋無力症	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章D-5「重症筋無力症」(p.181～184)
		g Guillain-Barré (ギラン・バレー) 症候群	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章C-3「ギラン・バレー症候群」(p.169～170)
		h 筋萎縮性側索硬化症 (ALS)	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章E-2-3「筋萎縮性側索硬化症」(p.192～195)、第6章D-7「筋萎縮性側索硬化症患者の看護」(p.355～358)
18 感覚機能障害のある患者の看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	a 視覚障害	成人看護学 [7] (脳・神経)：第3章B-4「感覚機能障害」(p.74～76) 成人看護学 [13] (眼)：第3章「症状とその病態生理」(p.28～33)、第5章A「機能の障害」(p.72～81) リハビリテーション看護：第6章A「視覚障害」(p.304～324)
		b 聴覚障害	成人看護学 [7] (脳・神経)：第3章B-4「感覚機能障害」(p.74～76) 成人看護学 [14] (耳鼻咽喉)：第6章E「疾患をもつ患者の看護」(p.200～214) リハビリテーション看護：第6章B「聴覚障害」(p.324～334)
		c 嗅覚障害	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉)：第6章E「疾患をもつ患者の看護」(p.200～214)
		d 味覚障害	成人看護学 [15] (歯・口腔)：第3章B-5「味覚障害」(p.47)、第6章B-2-3「味覚障害のある患者の看護」(p.173～175)
		e 触覚障害	臨床外科看護各論：第4章I-C「末梢神経の疾患」(p.400～402)
		f 生命・生活への影響	成人看護学 [13] (眼)：第1章B「患者の特徴と看護の役割」(p.7～12) 成人看護学 [14] (耳鼻咽喉)：第1章B「患者の特徴と看護の役割」(p.8～19)
	B 検査・処置を受ける患者への看護	a 眼底検査	成人看護学 [13] (眼)：第4章B-6「眼底検査」(p.45～48)、第6章C-3「眼底検査」(p.142～143)
		b 聴力検査	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉)：第4章B-1「聴力検査」(p.67～75)
		c 経鼻内視鏡検査	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉)：第4章B-5「内視鏡検査」(p.84～85)
		d 味覚検査	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉)：第4章B-7「味覚検査」(p.85～86)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
19 運動機能障害のある患者の看護	C 治療を受ける患者への看護	a 眼底光凝固療法	成人看護学 [13] (眼) : 第4章 C-6「光凝固」(p.64)、第6章 E-7「光凝固を受ける患者の看護」(p.150)
		b 網膜剥離治療	成人看護学 [13] (眼) : 第5章 B-7-5「網膜剥離」(p.98~100)、第6章 F-1-3「網膜剥離の患者の看護」(p.168~171)
		c 眼内レンズ挿入術	成人看護学 [13] (眼) : 第5章 B-8-b「白内障手術」(p.107~109)
		d 鼓室形成術	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉) : 第5章 A-2-6「慢性中耳炎」(p.116~119)
		e 小線源治療	臨床放射線医学 : 第10章 B「頭頸部がん」(p.211~214)
	D 病期や機能障害に応じた看護	a 中途視覚障害者	成人看護学 [13] (眼) : 序章「眼疾患をもつ患者の姿」(p.2~3)、第1章 B「患者の特徴と看護の役割」(p.7~12)、第6章 H「ロービジョンケア」(p.181~184)
		b 突発性難聴	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉) : 第5章 A-3-6「突発性難聴」(p.127~128)、第6章 E-1「難聴のある患者の看護」(p.200~206)
		c Ménière〈メニエール〉病	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉) : 第5章 A-3-2「メニエール病(特発性内リンパ水腫)」(p.123~124)、第6章 D-3「メニエール病患者の看護」(p.210~214)、第7章 B「メニエール病患者の看護」(p.236~241)
		d 副鼻腔炎	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉) : 第5章 B-3-1「急性副鼻腔炎」(p.142)、B-3-2「慢性副鼻腔炎」(p.142~145)、第6章 E-5「慢性副鼻腔炎患者の看護」(p.217~220)
		e 末梢神経障害	臨床外科看護各論 : 第4章 I-C「末梢神経の疾患」(p.400~402)
19 運動機能障害のある患者の看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	a 姿勢機能障害	成人看護学 [10] (運動器) : 第3章「症状とその病態生理」(p.50~66)、第6章 B「症状に対する看護」(p.206~218)
		b 移動機能障害	成人看護学 [10] (運動器) : 第3章「症状とその病態生理」(p.50~66)、第6章 B「症状に対する看護」(p.206~218)
		c 作業機能障害	成人看護学 [10] (運動器) : 第3章「症状とその病態生理」(p.50~66)、第6章 B「症状に対する看護」(p.206~218)
		d 生命・生活への影響	成人看護学 [10] (運動器) : 第3章「症状とその病態生理」(p.50~66)
	B 検査・処置を受ける患者への看護	a 関節可動域〈ROM〉検査、徒手筋力テスト〈MMT〉	成人看護学 [10] (運動器) : 第2章 B-2「関節の機能」(p.34~38)、第4章 A-4「神経学的検査」(p.71~72)
		b 脊髓造影、椎間板造影	成人看護学 [10] (運動器) : 第4章 A-5「画像検査」(p.72~74) 臨床放射線医学 : 第4章 D-2「脊椎・脊髓」(p.86)
		c 膝関節鏡	成人看護学 [10] (運動器) : 第4章 B-3「関節鏡検査」(p.76)
		d 筋生検	成人看護学 [10] (運動器) : 第4章 C-4-3「筋生検」(p.77) 臨床検査 : 第9章 B-1「生検(バイオプシー)」(p.265~266)
	C 治療を受ける患者への看護	a ギプス固定	成人看護学 [10] (運動器) : 第6章 D-1「ギプス固定を受ける患者の看護」(p.223~231)
		b 牽引法	成人看護学 [10] (運動器) : 第6章 D-3「牽引療法を受ける患者の看護」(p.232~241)
		c 人工関節置換術	成人看護学 [10] (運動器) : 第7章 B「関節リウマチで人工関節置換術を受ける患者の看護」(p.328~336)
	D 病期や機能障害に応じた看護	a 関節リウマチ	成人看護学 [10] (運動器) : 第7章 B「関節リウマチで人工関節置換術を受ける患者の看護」(p.328~336) 成人看護学 [11] (膠原病) : 第6章 D-1「関節リウマチ患者の看護」(p.166~170)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
20 排尿機能障害のある患者の看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	b 椎間板ヘルニア	臨床薬理学：第3章P「関節リウマチ」(p.179～184) 成人看護学 [10] (運動器)：第6章G-2「腰椎椎間板ヘルニア患者の看護」(p.298～301) 臨床外科看護各論：第4章I-B-1「脊椎変性症による脊髄の病変」(p.392～396)
		c 四肢切断後	成人看護学 [10] (運動器)：第6章E-5「四肢の切断手術を受ける患者の看護」(p.257～261)
20 排尿機能障害のある患者の看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	a 蓄尿・排尿障害	成人看護学 [7] (脳・神経)：第3章B-5-3「排泄障害」(p.79～80)、第6章B-10「排尿障害のある患者の看護」(p.286～291) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第3章B「排尿に関連した症状」(p.46～49)、第6章II「症状に対する看護」(p.203～220)
		b 生命・生活への影響	成人看護学 [7] (脳・神経)：第3章B-5-3「排泄障害」(p.79～80)、第6章B-10「排尿障害のある患者の看護」(p.286～291) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第3章B「排尿に関連した症状」(p.46～49)
	B 検査・処置を受ける患者への看護	a 尿流動態検査	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第6章III-5「尿流動態検査(ウロダイナミックスタディ)を受ける患者の看護」(p.233)
		b 残尿測定	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第6章II-3-2「残尿のある患者の看護」(p.210～211)
		c 膀胱鏡	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第6章III-2「膀胱鏡検査を受ける患者の看護」(p.227～228) 臨床検査：第10章III「内視鏡検査」(p.328～333)
	C 治療を受ける患者への看護	a 膀胱切除術	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第6章V-B-1-b「膀胱全摘除術および尿路変向術を受ける患者の看護」(p.271～278)
		b 前立腺切除術	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第6章V-B-2「前立腺の手術を受ける患者の看護」(p.278～283)
		c ホルモン療法	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第6章V-C-3「内分泌療法を受ける患者の看護」(p.295～296)
	D 病期や機能障害に応じた看護	a 腎・尿路結石	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第6章V-B-5「尿路結石の手術を受ける患者の看護」(p.288～289)
		b 腫瘍(腎癌、膀胱癌)	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第6章V-B-1「膀胱の手術を受ける患者の看護」(p.271～278)、B-3「腎臓の手術を受ける患者の看護」(p.283～285)
		c 前立腺肥大	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第6章II-3「下部尿路症状のある患者の看護」(p.207～220)
21 性・生殖・乳腺機能障害のある患者の看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	a 性・生殖機能障害	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第6章V-F「性・生殖機能障害のある患者の看護」(p.308～312) 成人看護学 [9] (女性生殖器)：第6章E「臓器別疾患・機能的疾患患者の看護」(p.238～269)
		b ホルモン欠落症状	成人看護学 [9] (女性生殖器)：第6章I「ホルモン療法を受ける患者の看護」(p.318～321)
	B 検査・処置を受ける患者への看護	a ヒトパピローマウイルス(HPV)検査	成人看護学 [9] (女性生殖器)：第4章A-3「細菌・ウイルス・原虫検査」(p.56～57) 臨床検査：第9章A「細胞診」(p.259～263)
		b 腹部超音波、経腔超音波検査	成人看護学 [9] (女性生殖器)：第4章A-4-1「超音波検査法」(p.57～58)、第6章C-3「検査・処置時の看護」(p.220～222) 臨床検査：第10章II-A-3「腹部超音波(エコー)検査」(p.320～323)
		c 乳房超音波検査	臨床放射線医学：第5章D「超音波診断」(p.106～117) 成人看護学 [9] (女性生殖器)：第5章B-7-1「乳がん(乳腺悪性腫瘍)」(p.145～164)、第6章C-3「検査・処置時の看護」(p.220～222) 臨床検査：第10章II-A「超音波検査」(p.318～323)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	C 治療を受ける患者への看護	d マンモグラフィー	臨床放射線医学：第5章 D-2「乳腺」(p.109～110) 成人看護学 [9] (女性生殖器)：第5章 B-7-1「乳がん(乳腺悪性腫瘍)」(p.145～164)、第6章 C-3「検査・処置時の看護」(p.220～222) 臨床放射線医学：第2章 D-5「乳房撮影(マンモグラフィ)」(p.41)
		a 勃起障害治療	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第5章 O-2-1「男性性機能障害」(p.191)、第6章 V-F「性・生殖機能障害のある患者の看護」(p.308～310)
		b 性交障害治療	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第5章 O-2「男性性機能障害」(p.191～192)、第6章 V-F「性・生殖機能障害のある患者の看護」(p.308～310)
		c 乳癌手術	成人看護学 [9] (女性生殖器)：第5章 B-7-1「乳がん(乳腺悪性腫瘍)」(p.145～164)、第6章 E-7-2「乳房腫瘍患者の看護」(p.251)、F-2「乳房の手術を受ける患者の看護」(p.289～304) 臨床外科看護各論：第1章 II-C「乳房の手術を受ける患者の看護」(p.63～81)
		d 女性生殖器手術	成人看護学 [9] (女性生殖器)：第4章 B-9「手術」(p.86～92)、第5章 B「臓器別疾患」(p.101～170)、第6章 F-1「外性器・内性器の手術を受ける患者の看護」(p.270～289)
		e 男性生殖器手術	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第5章 M-5「前立腺がん」(p.182～184)、M-6「精巣腫瘍」(p.184～186)、M-7「陰茎がん」(p.186)
		f ホルモン療法	成人看護学 [9] (女性生殖器)：第5章 B-7-1「乳がん(乳腺悪性腫瘍)」(p.145～164)、第6章 F-2「乳房の手術を受ける患者の看護」(p.289～304)、I「ホルモン療法を受ける患者の看護」(p.318～321)
	D 病期や機能障害に応じた看護	a 女性生殖器の疾患(子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣嚢腫)	成人看護学 [9] (女性生殖器)：第6章 E-3「子宮疾患患者の看護」(p.243～248)、E-5「卵巣疾患患者の看護」(p.249～250)
		b 男性生殖器の疾患(前立腺炎、前立腺肥大)	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第5章 I「尿路・性器の感染症」(p.153～159)、N「発生・発育の異常」(p.186～190)
		c 腫瘍(乳癌、子宮体癌、子宮頸癌、卵巣癌、前立腺癌)	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第5章 M-5「前立腺がん」(p.182～184)、M-6「精巣腫瘍」(p.184～186)、M-7「陰茎がん」(p.186) 成人看護学 [9] (女性生殖器)：第6章 E-3「子宮疾患患者の看護」(p.243～248)、E-5「卵巣疾患患者の看護」(p.249～250)、E-7「乳房疾患患者の看護」(p.251) 臨床外科看護各論：第1章 II-C「乳房の手術を受ける患者の看護」(p.63～81)
		d 生殖機能障害(月経異常、更年期障害)	成人看護学 [9] (女性生殖器)：第6章 E-8「月経異常・月経随伴症状のある患者の看護」(p.252～254)、E-10-1「更年期障害患者の看護」(p.264～266)

老年看護学

老年看護学

目標Ⅰ. 加齢に伴う高齢者の生活と健康状態の変化について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
1 高齢者の理解の基本となる概念	A 老年期と発達・変化	a ライフサイクルからみた高齢者	基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 第1章 A-4-1 「ライフサイクルからみた高齢者の特徴」 (p.20~22) 老年看護学 : 第1章 A 「老いを学ぶ入口」 (p.2~5) 老年看護学 : 第1章 B-1 「加齢と老化」 (p.5~8) 老年看護 病態・疾患論 : 第1章 「高齢者の生理的特徴」 (p.16~36) 老年看護学 : 第1章 C-2 「老年期の発達課題」 (p.15~19) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 B-2-8 「新たな老年期の課題」 (p.78)
		b 加齢と老化	
		c 発達課題	
	B 高齢者の生活の質の保障	a ノーマライゼーション	老年看護学 : 第2章 C-4 「権利擁護のための制度」 (p.64~68) 公衆衛生 : 第7章 C-3 「アクティブエイジングという意識改革」 (p.194~195) 老年看護学 : 第2章 B-1 「高齢者とソーシャルサポート」 (p.35~36) 老年看護学 : 第1章 A 「老いを学ぶ入口」 (p.2~5)、B 「老いるということ」 (p.5~13)
		b 自立支援	
		c 多様な価値観	
	C 加齢への適応	a 喪失体験と獲得体験	老年看護学 : 第1章 C-2 「老年期の発達課題」 (p.15~19) 公衆衛生 : 第7章 C-8 「地域コミュニティによる支えとは」 (p.205~207) 老年看護学 : 第3章 B-3 「理念・概念の活用」 (p.78~81)
		b サクセスフルエイジング	老年看護学 : 第7章 B-2 「リハビリテーションを担う医療施設の特徴と看護」 (p.351~355)
		c リハビリテーションの意味	老年看護学 : 第6章 D 「終末期における看護」 (p.325~334)
		d 終末期のとらえ方	老年看護学 : 第1章 C-2 「老年期の発達課題」 (p.15~19)
		e スピリチュアリティ	
	D 高齢者のいる家族の変化	a 家族構成とニーズの変化	老年看護学 : 第2章 A-2 「高齢者のいる世帯」 (p.25~26) 社会保障・社会福祉 : 第2章 A-3 「家族・個人の変化」 (p.37~39)、第7章 A-3 「高齢者のいる世帯」 (p.163)
		b 高齢者のいる家族の発達課題	老年看護学 : 第7章 C 「介護を必要とする高齢者を含む家族への看護」 (p.360~369)
		c 家族の機能の変化	老年看護学 : 第7章 C 「介護を必要とする高齢者を含む家族への看護」 (p.360~369) 社会保障・社会福祉 : 第2章 A-3 「家族・個人の変化」 (p.37~39)、第7章 A-3 「高齢者のいる世帯」 (p.163)
2 高齢者の生活	A 高齢者の機能と評価	a 国際生活機能分類 (ICF)	老年看護学 : 第3章 B 「老年看護の役割」 (p.73~81)
		b 高齢者総合機能評価 (CGA)	老年看護学 : 第5章 A-1-3 「日常生活活動(動作)の評価指標」 (p.147~151) 老年看護 病態・疾患論 : 第3章 A-2 「高齢者総合機能評価(CGA)」 (p.85~88)
		c 日常生活動作 (ADL)	老年看護学 : 第5章 A-1-3 「日常生活活動(動作)の評価指標」 (p.147~151) 老年看護 病態・疾患論 : 第3章 A-2 「高齢者総合機能評価(CGA)」 (p.85~88)
		d 手段的日常生活動作 (IADL)	老年看護学 : 第5章 A-1-3 「日常生活活動(動作)の評価指標」 (p.147~151)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		e 障害高齢者の日常生活自立度〈寝たきり度〉判定基準	老年看護 病態・疾患論：第3章 A-2「高齢者総合機能評価(CGA)」(p.85～88)
		f 認知症高齢者の日常生活自立度〈寝たきり度〉判定基準	老年看護学：第5章 A-1-3「日常生活活動(動作)の評価指標」(p.147～151)
		g 要介護・要支援の認定と区分	老年看護学：第5章 A-1-3「日常生活活動(動作)の評価指標」(p.147～151)
			老年看護学：第2章 B-2-2「介護保険制度の整備」(p.39～48)
			社会保障・社会福祉：第4章 B-4「要介護・要支援の認定」(p.93～94)
		h 心理・情緒機能	老年看護 病態・疾患論：第2章 B-6-1「抑うつ」の成因と分類」(p.60～61)、第3章 A-2「高齢者総合機能評価(CGA)」(p.85～88)
	B 高齢者の生活に関連する保健医療福祉制度	a 医療保険制度	老年看護学：第2章 B「高齢社会における保健医療福祉の動向」(p.35～50)
			看護関係法令：第7章 A-3「高齢者の医療の確保に関する法律」(p.197～199)
			社会保障・社会福祉：第3章 D「高齢者医療制度」(p.71～76)
		b 介護保険制度	老年看護学：第2章 B「高齢社会における保健医療福祉の動向」(p.35～50)
			社会保障・社会福祉：第4章 B「介護保険制度の概要」(p.91～112)
		c 高齢者の人権に関する制度	看護関係法令：第7章 A-4「介護保険法」(p.199～206)
			老年看護学：第2章 C-4「権利擁護のための制度」(p.64～68)
			社会保障・社会福祉：第4章 B-8「利用者の権利擁護」(p.111～112)
	C その人らしい生活の継続	a 時代背景に関連する人生と経験の多様性、生活史	老年看護学：第1章 A「老いを学ぶ入口」(p.2～5)
		b 生活習慣、生活様式	老年看護学：第2章 A-4「高齢者の暮らし」(p.30～35)
		c 生活リズム	老年看護学：第2章 A-4「高齢者の暮らし」(p.30～35)
		d 治療・介護の必要度と生活の場	老年看護 病態・疾患論：終章「高齢者の在宅医療とエンドオブライフケア」(p.290～298)
		e 多様な生活の場とリロケーション	老年看護学：第7章 A-3「高齢者を包括的・継続的に支援する活動」(p.343～346)
3 高齢者の健康	A 高齢者の健康と疾病	a 高齢者の健康の特徴	老年看護学：第2章 A-3「高齢者の健康状態」(p.26～27)
		b 生理的老化と病的老化	老年看護学：第1章 B-1「加齢と老化」(p.5～8)
			老年看護 病態・疾患論：第1章 A「老化と寿命」(p.16～20)
	B 加齢に伴う身体機能の変化	c 高齢者の疾病の特徴	老年看護 病態・疾患論：第4章「高齢者の疾患の特徴」(p.118)
		a 神経系	老年看護 病態・疾患論：第1章 B「認知・知覚機能の老化」(p.20～26)
		b 運動器系	老年看護学：第4章 A-1-9「運動系」(p.110～114)
			老年看護 病態・疾患論：第1章 F「運動機能の老化」(p.32～34)、第4章 J「運動器の疾患」(p.220)
		c 感覚器系	老年看護学：第4章 A-1-2「皮膚とその付属器」(p.90～94)、A-1-3「視聴覚とその他の感覚」(p.94～99)
			老年看護 病態・疾患論：第1章 B「認知・知覚機能の老化」(p.20～26)、第4章 L「感覚器の疾患」(p.240～241)
		d 循環器系	老年看護学：第4章 A-1-4「循環系」(p.99～101)
			老年看護 病態・疾患論：第1章 C「呼吸・循環機能の老化」(p.26～28)
		e 血液・造血器系	老年看護 病態・疾患論：第3章 I-1「血液学検査」(p.107)、第4章 H「血液の疾患」(p.205)
		f 免疫系	老年看護 病態・疾患論：第1章 E「免疫機能の老化」(p.32)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
4 老年看護の基本		g 呼吸器系	老年看護学：第4章 A-1-5「呼吸器系」(p.101～103) 老年看護 病態・疾患論：第1章 C「呼吸・循環機能の老化」(p.26～28)
		h 消化器系	老年看護学：第4章 A-1-5「消化・吸収」(p.103～105) 老年看護 病態・疾患論：第4章 E「消化器系の疾患」(p.177)
		i 代謝系	老年看護 病態・疾患論：第1章 D「代謝・排泄機能の老化」(p.29～32)
		j 泌尿器	老年看護学：第4章 A-1-8「泌尿生殖器と性」(p.106～110) 老年看護 病態・疾患論：第4章 I「腎・泌尿器系の疾患」(p.210～211)
		k 内分泌	老年看護学：第4章 A-1-7「ホルモンの分泌」(p.105～106) 老年看護 病態・疾患論：第3章 I-3「内分泌検査」(p.110)、第4章 F「内分泌・代謝系の疾患」(p.193～194)
		l 生殖器系	老年看護学：第4章 A-1-8「泌尿生殖器と性」(p.106～110) 老年看護 病態・疾患論：第1章 G「性機能の老化」(p.34～36)
	C 加齢に伴う認知機能の変化	a 知能	老年看護学：第1章 B-3-1「知能」(p.11～12) 老年看護 病態・疾患論：第1章 B「認知・知覚機能の老化」(p.20～26)
		b 記憶力、判断力、計算力、遂行力	老年看護学：第1章 B-3-1「知能」(p.11～12) 老年看護 病態・疾患論：第1章 B「認知・知覚機能の老化」(p.20～26)
	D 加齢に伴う心理・社会的変化	a 役割と社会活動の変化	老年看護学：第2章 A-5-4「社会活動・社会参加」(p.34～35)
		b 余暇活動と生きがい	老年看護学：第1章 B-4「社会的側面の変化」(p.13)
		c 住宅環境	老年看護学：第2章 A-5-2「住まい」(p.34～35)
		d 就労、雇用	老年看護学：第2章 A-5-3「就業」(p.33～34)
		e 収入、生計	老年看護学：第2章 A-5-1「経済状態」(p.30～32)
4 老年看護の基本	A 老年看護の変遷	a 高齢者に関する保健医療福祉の変遷	老年看護学：第2章 B「高齢社会における保健医療福祉の動向」(p.35～50) 公衆衛生：第7章 C-5「日本の高齢者保健に関する法制度の変遷」(p.196～197) 社会保障・社会福祉：第1章 B-3-2「福祉6法」(p.19～23)、第7章 A「高齢者福祉」(p.162～168) 老年看護学：第3章 B-3「理論・概念の活用」(p.78～81)
		b 概念(エンパワメント、ストレングスモデル、ライフレビュー、コンフォート理論)の活用	
	B 老年看護の倫理	a 高齢者差別の防止	老年看護学：第2章 C-1-2「エイジズム」(p.53)
		b 高齢者虐待の防止	老年看護学：第2章 C-2「高齢者虐待」(p.54～60) 在宅看護論：第5章 D-6「虐待の防止」(p.165～166) 公衆衛生：第7章 C-7-6「介護者の健康、虐待予防」(p.204～205) 社会保障・社会福祉：第4章 B-8「利用者の権利擁護」(p.111～112) 看護関係法令：第8章 C-2-2「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」(p.224～225)
		c 安全確保と身体拘束	老年看護学：第2章 C-3「身体への拘束」(p.60～64)
		d 高齢者の権利擁護〈アドボカシー〉	老年看護学：第2章 C-1-3「権利擁護」(p.54) 社会保障・社会福祉：第4章 B-8「利用者の権利擁護」(p.111～112)
		e 認知症高齢者の権利擁護〈アドボカシー〉	老年看護学：第2章 C-4「権利擁護のための制度」(p.64～68) 在宅看護論：第5章 D-5「成年後見」(p.162～164)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		f 高齢者の意思決定への支援	社会保障・社会福祉 ：第4章 B-8「利用者の権利擁護」(p.111～112) 老年看護学 ：第3章 B-2-1「高齢者の意思決定する力を信頼し、支援すること」(p.75～76) 公衆衛生 ：第7章 C-7-4「判断力が低下した場合の財産管理・契約・療養」(p.203)
		g 終末期における生き方や死の迎え方の意向	老年看護学 ：第3章 B-2-3「死にいたるプロセスを整えること」(p.77) 公衆衛生 ：第7章 C-7-5「終末期医療の意思決定——アドバンスケアプランニング」(p.203～204)
	C 老年看護の特徴	a 安全・安楽な生活の援助	老年看護学 ：第3章 B-2「老年看護の特徴」(p.74～78)
		b 健康の保持増進と廃用症候群の予防	老年看護学 ：第3章 B-2「老年看護の特徴」(p.74～78)
		c 疾患の治癒・回復の特徴に応じた援助	老年看護学 ：第3章 B-2「老年看護の特徴」(p.74～78)
		d 個別の日常生活能力、目標に合わせた援助	老年看護学 ：第3章 B-2「老年看護の特徴」(p.74～78)
		e 人生の統合をはかる支援	老年看護学 ：第6章 D「終末期における看護」(p.325～334)
		f 家族との協働	老年看護学 ：第3章 B-2「老年看護の特徴」(p.74～78) 人間関係論 ：第9章 B「家族看護のすすめ方」(p.199～210) 家族論・家族関係論 ：第5章「患者家族と在宅ケア」(p.138～166)
		g 安全管理〈セーフティマネジメント〉	老年看護学 ：第8章 A「高齢者と医療安全」(p.372～382)
		h チームアプローチ(多職種連携)	老年看護学 ：第2章 B-3「高齢者を支える職種と活動の多様化」(p.51～53)、第7章 A-3-1「ケアマネジメントとチームアプローチ」(p.343～344)
		i 地域包括ケアシステム	老年看護学 ：第7章 A-3-3「地域包括ケア」(p.345～346) 在宅看護論 ：第1章 B-1「超高齢多死社会の進展と地域包括ケア」(p.17～20) 公衆衛生 ：第7章 C-6「地域の特性に応じた地域包括ケアシステム」(p.197～200)

目標Ⅱ. さまざまな健康状態にある高齢者と家族の生活および健康を支える看護についての基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
5 高齢者の生活を支える看護	A コミュニケーション	a コミュニケーション能力	老年看護学 ：第5章 F「コミュニケーション」(p.217～230)
		b コミュニケーションを促す要素と阻害要因	老年看護学 ：第5章 F「コミュニケーション」(p.217～230)
		c 高齢者とのコミュニケーションの方法	老年看護学 ：第5章 F「コミュニケーション」(p.217～230)
	B 寛ぎ、安心、安全	a 寛ぎ・安心・安全	老年看護学 ：第8章 A-3「病院・施設におけるリスクマネジメント」(p.376～378)
		b 寛ぎ・安心・安全の確保のための援助	老年看護学 ：第8章 A-3「病院・施設におけるリスクマネジメント」(p.376～378)
	C 歩行、移動、姿勢保持	a 歩行・移動動作・姿勢保持	老年看護学 ：第5章 A-1「基本動作と環境アセスメントと看護」(p.138～151)
		b 歩行・移動動作・姿勢保持のための援助	老年看護学 ：第5章 A-1「基本動作と環境アセスメントと看護」(p.138～151)
		c 転倒・転落の発生の要因	老年看護学 ：第5章 A-2「転倒のアセスメントと看護」(p.151～158) 老年看護 病態・疾患論 ：第2章 C-1「転倒・骨折」(p.63～67) 在宅看護論 ：第5章 C-2-1「転倒予防に関する教育と環境整備」(p.139～140)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d 転倒・転落の防止	看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第4章-B-1「転倒・転落を理解する——転倒・転落の発生構造」(p.142～144) 老年看護学 : 第5章 A-2「転倒のアセスメントと看護」(p.151～158) 老年看護 病態・疾患論 : 第2章 C-1「転倒・骨折」(p.63～67) 在宅看護論 : 第5章 C-2-2「転倒事故の予防」(p.140～141)、C-2-3「転落事故の予防」(p.141～142) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第4章-B「転倒・転落事故防止」(p.142～168) 老年看護学 : 第5章 A-2「転倒のアセスメントと看護」(p.151～158) 老年看護 病態・疾患論 : 第2章 C-1「転倒・骨折」(p.63～67)
		e 転倒の影響	老年看護学 : 第5章 A-2「転倒のアセスメントと看護」(p.151～158) 老年看護 病態・疾患論 : 第2章 C-1「転倒・骨折」(p.63～67)
	D 食生活	a 食生活の状況	老年看護学 : 第5章 B「食事・食生活」(p.163～178) 在宅看護論 : 第6章 B-2-2「食生活・嚥下に関するアセスメント」(p.189～191) 栄養学 : 第6章 D-2-4「食行動に関するアセスメント」(p.117)、第7章 C-5「食事調査」(p.145～146) 栄養食事療法 : 第16章 A「高齢者の栄養管理の基本」(p.232～237)
		b 嚥下能力・嗜好性・環境に応じた食生活の援助	老年看護学 : 第5章 B「食事・食生活」(p.163～178) 在宅看護論 : 第6章 B-2-3「食生活・嚥下への援助のポイント」(p.192～195) 栄養学 : 第8章 I「高齢期における栄養」(p.175～183)
	E 排泄	a 排泄の状況	老年看護学 : 第5章 C「排泄」(p.178～189) 在宅看護論 : 第6章 B-3「排泄に関する在宅看護技術」(p.195～200)
		b 排泄能力の変化に応じた援助	老年看護学 : 第5章 C「排泄」(p.178～189)
	F 清潔・身だしなみ、衣生活	a 清潔・身だしなみの行為	老年看護学 : 第5章 D「清潔」(p.178～189) 在宅看護論 : 第6章 B-5-2「清潔に関する在宅看護技術」(p.210～216)
		b 更衣動作	老年看護学 : 第5章 A-1-2「基本動作と環境の理解と看護」(p.139～147)
		c 入浴行動に伴う危険性、負担に応じた清潔・衣生活の援助	老年看護学 : 第5章 A-1-2「基本動作と環境の理解と看護」(p.139～147)、D「清潔」(p.190～204)
	G 活動と休息	a 活動と休息	老年看護学 : 第5章 E「生活リズム」(p.204～217)
		b 生活リズムの調整	老年看護学 : 第5章 E「生活リズム」(p.204～217)
	H 性〈セクシュアリティ〉	a 性〈セクシュアリティ〉	老年看護学 : 第4章 A-8「泌尿生殖器と性」(p.106～110)
		b 性〈セクシュアリティ〉への援助	老年看護学 : 第4章 A-8「泌尿生殖器と性」(p.106～110)
	I 社会参加	a 社会参加の状況	老年看護学 : 第2章 A-5-4「社会活動・社会参加」(p.34～35)
		b 生きがいを持てる身近な場所への参加の援助	老年看護学 : 第2章 A-5-4「社会活動・社会参加」(p.34～35) 公衆衛生 : 第7章 C-3「アクティブエイジングという意識改革」(p.194～195) 社会保障・社会福祉 : 第7章 A-5「高齢者の健康増進と社会参加促進対策」(p.166)
6 さまざまな健康状態や受療状況に応じた高齢者の看護	A 健康の維持と介護予防	a 健康の維持・増進の状況	老年看護学 : 第7章 A-1「介護予防と看護」(p.336～340)
		b 受療状況	老年看護学 : 第2章 A-3-1「受療の状況」(p.26～27)
		c 介護予防の促進と評価	老年看護学 : 第7章 A-1-1「介護予防の意義とヘルスプロモーション」(p.336～339)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d フレイル	老年看護 病態・疾患論：序章 B-1「在宅・地域医療の現場における現状と課題」(p.4~5)、第2章 B-2「やせ(るいそう)」(p.51~52)、第3章 J「栄養評価」(p.111~112)
	B 急性期の高齢者への看護	a 急性期の高齢者の特徴	老年看護学：第7章 B-1「急性期治療を担う医療施設の特徴と看護」(p.346~351) 老年看護 病態・疾患論：序章 B-2「急性期医療の現場における現状と課題」(p.6)
		b 手術療法を受ける高齢者の援助	老年看護学：第6章 A-5「手術療法と看護」(p.254~261)
		c 手術療法以外の急性期の高齢者の援助	老年看護学：第7章 B-1「急性期治療を担う医療施設の特徴と看護」(p.346~351)
	C 慢性期の高齢者への看護	a 慢性期の高齢者の特徴	老年看護学：第7章 B-3「療養生活を支える保健医療福祉施設の特徴と看護」(p.356~360) 老年看護 病態・疾患論：序章 B-3「慢性期医療の現場における現状と課題」(p.6~8)
		b 慢性期の高齢者の援助	老年看護学：第7章 B-3「療養生活を支える保健医療福祉施設の特徴と看護」(p.356~360)
	D 回復期の高齢者への看護	a 回復期の高齢者の特徴	老年看護学：第7章 B-2「リハビリテーションを担う医療施設の特徴と看護」(p.351~355) 老年看護 病態・疾患論：第6章「高齢者のリハビリテーション」(p.276~277)
		b 生活機能の維持と向上	老年看護学：第7章 B-2「リハビリテーションを担う医療施設の特徴と看護」(p.351~355)
		c リハビリテーションを受ける高齢者の援助	老年看護学：第7章 B-2「リハビリテーションを担う医療施設の特徴と看護」(p.351~355)
	E エンド・オブ・ライフ・ケア (end-of-life care)	a 身体徴候のアセスメントと援助	老年看護学：第6章 D-3「看護の実際」(p.328~333) 在宅看護論：第6章 B-8「在宅におけるエンドオブライフケア」(p.224~232) 緩和ケア：第6章「緩和ケアにおける看護介入」(p.78~113)、第7章「身体的ケア」(p.116~193)
		b 苦痛の緩和と安楽への援助	老年看護学：第6章 D-3「看護の実際」(p.328~333) 在宅看護論：第6章 B-8「在宅におけるエンドオブライフケア」(p.224~232) 緩和ケア：第6章「緩和ケアにおける看護介入」(p.78~113)、第7章「身体的ケア」(p.116~193)、第8章「精神的ケア」(p.196~223)
		c 精神的苦痛や混乱に対する援助	老年看護学：第6章 D-3「看護の実際」(p.328~333) 在宅看護論：第6章 B-8「在宅におけるエンドオブライフケア」(p.224~232) 緩和ケア：第8章「精神的ケア」(p.196~223)
		d 臨死期の評価と援助	老年看護学：第6章 D-3「看護の実際」(p.328~333) 在宅看護論：第6章 B-8「在宅におけるエンドオブライフケア」(p.224~232)
		e 家族の参加と家族への援助	老年看護学：第6章 D-3「看護の実際」(p.328~333) 在宅看護論：第6章 B-8「在宅におけるエンドオブライフケア」(p.224~232) 公衆衛生：第7章 C-8「地域コミュニティによる支えとは」(p.205~207) 緩和ケア：第11章「家族ケア」(p.270~290)
		f グリーフケア	老年看護学：第6章 D-3-4「家族への援助」(p.332~334) 在宅看護論：第6章 B-8「在宅におけるエンドオブライフケア」(p.224~232) 公衆衛生：第7章 C-8「地域コミュニティによる支えとは」(p.205~207) 緩和ケア：第9章 D-4「家族・遺族のケア」(p.246)、第11章 D「遺族ケア」(p.286~290)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
7 高齢者に特有な症候・疾患・障害と看護	F 外来を受診する高齢者の看護	a 外来受診時の高齢者の特徴	老年看護 病態・疾患論：A-1「高齢者の問診の要点」(p.83～85)
		b 診察時の援助	老年看護 病態・疾患論：第3章「高齢者のフィジカルアセスメント」(p.82～115)
		c 疾患・治療の理解と治療継続への援助	老年看護 病態・疾患論：序章C「高齢者医療の目標設定・エンドポイント」(p.10～11)、D「老年看護に求められる素養」(p.12～13)
	G 検査を受ける高齢者の看護	a 安全・安楽な検査の実施	老年看護学：第6章A-1「検査と看護」(p.234～236)
		b 加齢による検査結果への影響	老年看護学：第6章A-1「検査と看護」(p.234～236)
	H 薬物治療を受ける高齢者の看護	a 加齢に伴う薬物動態の変化	老年看護学：第6章A-3「薬物療法と看護」(p.243～250)
7 高齢者に特有な症候・疾患・障害と看護	A 廃用症候群	a 加齢による病態と要因	老年看護学：第5章A-3「廃用症候群のアセスメントと看護」(p.159～163)
		b アセスメント	老年看護 病態・疾患論：第1章C「おもにADL低下に合併する症候」(p.62～63)、第6章B「寝たきり患者のリハビリテーション」(p.280～283)
		c 予防と援助	老年看護学：第5章A-3「廃用症候群のアセスメントと看護」(p.159～163)
	B 脱水症	a 加齢による病態と要因	老年看護学：第4章B-4「脱水」(p.125～129)
		b アセスメント	老年看護 病態・疾患論：第2章A-4「脱水症」(p.44～47)
		c 予防と援助	老年看護学：第4章B-4「脱水」(p.125～129)
	C 摂食・嚥下障害	a 加齢による病態と要因	老年看護学：第5章B-2-3「摂食・嚥下機能の変調」(p.166～167)
		b アセスメント	老年看護 病態・疾患論：第2章C-4「嚥下障害」(p.56～60)
		c 予防と援助	老年看護学：第5章B-3「摂食・嚥下機能のアセスメント」(p.167～169)
7 高齢者に特有な症候・疾患・障害と看護	A 廃用症候群	a 加齢による病態と要因	老年看護 病態・疾患論：第1章C「おもにADL低下に合併する症候」(p.62～63)、第6章B「寝たきり患者のリハビリテーション」(p.280～283)
		b アセスメント	老年看護学：第5章A-3「廃用症候群のアセスメントと看護」(p.159～163)
		c 予防と援助	老年看護学：第5章A-3「廃用症候群のアセスメントと看護」(p.159～163)
	B 脱水症	a 加齢による病態と要因	老年看護 病態・疾患論：第1章C「おもにADL低下に合併する症候」(p.62～63)、第6章B「寝たきり患者のリハビリテーション」(p.280～283)
		b アセスメント	老年看護学：第5章A-3「廃用症候群のアセスメントと看護」(p.159～163)
		c 予防と援助	老年看護学：第5章A-3「廃用症候群のアセスメントと看護」(p.159～163)
	C 摂食・嚥下障害	a 加齢による病態と要因	リハビリテーション看護：第3章B-3「骨折のリハビリテーションプログラム」(p.94～96)、B-4-2「関節拘縮」(p.102～106)、B-4-3「筋萎縮」(p.106～115)、第4章A-5-2「運動障害」(p.148～164)、B-5-1「運動障害」(p.201～218)
		b アセスメント	老年看護学：第4章B-4「脱水」(p.125～129)
		c 予防と援助	老年看護 病態・疾患論：第2章A-4「脱水症」(p.44～47)
7 高齢者に特有な症候・疾患・障害と看護	A 廃用症候群	a 加齢による病態と要因	老年看護学：第4章B-4「脱水」(p.125～129)
		b アセスメント	老年看護 病態・疾患論：第2章A-4「脱水症」(p.44～47)
		c 予防と援助	老年看護学：第4章B-4「脱水」(p.125～129)
	B 脱水症	a 加齢による病態と要因	老年看護 病態・疾患論：第2章A-4「脱水症」(p.44～47)
		b アセスメント	老年看護学：第4章B-4「脱水」(p.125～129)
		c 予防と援助	老年看護 病態・疾患論：第2章A-4「脱水症」(p.44～47)
	C 摂食・嚥下障害	a 加齢による病態と要因	老年看護学：第5章B-2-3「摂食・嚥下機能の変調」(p.166～167)
		b アセスメント	老年看護 病態・疾患論：第2章C-4「嚥下障害」(p.56～60)
		c 予防と援助	老年看護学：第5章B-3「摂食・嚥下機能のアセスメント」(p.167～169)
7 高齢者に特有な症候・疾患・障害と看護	A 廃用症候群	a 加齢による病態と要因	老年看護 病態・疾患論：第2章C-4「嚥下障害」(p.56～60)
		b アセスメント	老年看護学：第5章B-3「摂食・嚥下機能のアセスメント」(p.167～169)
		c 予防と援助	老年看護 病態・疾患論：第2章C-4「嚥下障害」(p.73～77)
	B 脱水症	a 加齢による病態と要因	在宅看護論：第6章B-2-2「食生活・嚥下に関するアセスメント」(p.189～191)
		b アセスメント	老年看護学：第5章B-4「食事に対する看護」(p.169～178)
		c 予防と援助	老年看護学：第5章B-4「食事に対する看護」(p.169～178)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			老年看護 病態・疾患論：第2章 C-4「嚥下障害」(p.73～77) 在宅看護論：第6章 B-2-2「食生活・嚥下に関するアセスメント」(p.189～191) 栄養学：第9章 F-8「咀嚼・嚥下障害患者の食事療法」(p.230～231) 栄養食事療法：第3章 F「摂食・嚥下障害」(p.40～43)
	D 低栄養	a 加齢による病態と要因	老年看護学：第6章 A-2「栄養ケア・マネジメント」(p.236～243) 老年看護 病態・疾患論：第2章 B-2「やせ(るいそう)」(p.51～52) 栄養学：第8章 I-1-4「高齢者のタンパク質・エネルギー低栄養状態」(p.178～180) 栄養食事療法：第16章「高齢者の栄養食事療法」(p.232～233)
		b アセスメント	老年看護学：第6章 A-2「栄養ケア・マネジメント」(p.236～243) 老年看護 病態・疾患論：第2章 B-2「やせ(るいそう)」(p.51～52)、第3章 J「栄養評価」(p.111～113) 栄養学：第8章 I-1-4「高齢者のタンパク質・エネルギー低栄養状態」(p.178～180) 栄養食事療法：第16章「高齢者の栄養食事療法」(p.233～234)
		c 予防と援助	老年看護学：第6章 A-2「栄養ケア・マネジメント」(p.236～243) 栄養食事療法：第16章「高齢者の栄養食事療法」(p.234～237)
	E 尿失禁	a 加齢による病態と要因	老年看護学：第5章 C「排泄」(p.178～189) 老年看護 病態・疾患論：第2章 C-2「排尿障害(尿失禁)」(p.67～71)
		b アセスメント	老年看護学：第5章 C「排泄」(p.178～189) 老年看護 病態・疾患論：第2章 C-2「排尿障害(尿失禁)」(p.67～71) 在宅看護論：第6章 B-3-3「排尿のアセスメント」(p.197～198)
		c 予防と援助	老年看護学：第5章 C「排泄」(p.178～189) 老年看護 病態・疾患論：第2章 C-2「排尿障害(尿失禁)」(p.67～71) 在宅看護論：第6章 B-3-4「尿失禁の予防と工夫」(p.198～199)
	F 便秘・下痢	a 加齢による病態と要因	老年看護学：第5章 C「排泄」(p.178～189) 老年看護 病態・疾患論：第2章 C-3「便秘」(p.71～73)
		b アセスメント	成人看護学 [5] (消化器)：第3章 F「下痢」(p.55～56)、G「便秘」(p.56～58) 老年看護学：第5章 C「排泄」(p.178～189) 老年看護 病態・疾患論：第2章 C-3「便秘」(p.71～73)
		c 予防と援助	老年看護学：第5章 C「排泄」(p.178～189) 老年看護 病態・疾患論：第2章 C-3「便秘」(p.71～73) 在宅看護論：第6章 B-3-6「便秘・便失禁の予防と工夫」(p.200)
	G 睡眠障害	a 加齢による病態と要因	老年看護学：第5章 E-1「高齢者と生活リズム」(p.204～205)、E-2「高齢者に特徴的な変調」(p.205～209) 老年看護 病態・疾患論：第2章 B-5「睡眠障害」(p.58～59)
		b アセスメント	老年看護学：第5章 E-3「生活リズムのアセスメント」(p.210～213)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 予防と援助	老年看護 病態・疾患論：第2章 B-5「睡眠障害」(p. 58～59) 老年看護学：第5章 E-4「生活リズムを整える看護」(p.213～217) 老年看護 病態・疾患論：第2章 B-5「睡眠障害」(p. 58～59)
	H 視覚障害	a 加齢による病態と要因	老年看護学：第4章 A-3「視聴覚とその他の感覚」(p. 94～99) 老年看護 病態・疾患論：第1章 B-2「感覚機能の老化」(p. 23～26)、第4章 L-1「緑内障」(p. 241～242)、L-2「糖尿病網膜症」(p.242～243)、L-3「加齢黄斑変性」(p.243)、L-4「白内障」(p.244)
		b アセスメント	老年看護学：第4章 A-3「視聴覚とその他の感覚」(p. 94～99) 老年看護 病態・疾患論：第1章 B-2「感覚機能の老化」(p. 23～26)、第4章 L-1「緑内障」(p. 241～242)、L-2「糖尿病網膜症」(p.242～243)、L-3「加齢黄斑変性」(p.243)、L-4「白内障」(p.244)
		c 予防と援助	成人看護学 [13] (眼)：第6章 G-1-1「白内障の看護」(p.161～165) 老年看護学：第6章 A-5-4「高齢者に特徴的な手術」(p.259～270) 老年看護 病態・疾患論：第1章 B-2「感覚機能の老化」(p. 23～26)、第4章 L-1「緑内障」(p. 241～242)、L-2「糖尿病網膜症」(p.242～243)、L-3「加齢黄斑変性」(p.243)、L-4「白内障」(p.244)
	I 聴覚障害	a 加齢による病態と要因	老年看護学：第4章 A-3-2「聴覚」(p.96～98)、第5章 F-2「高齢者におこりやすいコミュニケーション障害」(p.218～228) 老年看護 病態・疾患論：第1章 B-2「感覚機能の老化」(p.23～26)、第4章 L-5「難聴」(p.244～246)
		b アセスメント	老年看護学：第4章 A-3-2「聴覚」(p.96～98)、第5章 F-2「高齢者におこりやすいコミュニケーション障害」(p.218～228) 老年看護 病態・疾患論：第1章 B-2「感覚機能の老化」(p.23～26)、第4章 L-5「難聴」(p.244～246)
		c 予防と援助	老年看護学：第5章 F-2「高齢者におこりやすいコミュニケーション障害」(p.218～228) 老年看護 病態・疾患論：第1章 B-2「感覚機能の老化」(p.23～26)、第4章 L-5「難聴」(p.244～246)
	J 皮膚の障害	a 加齢による病態と要因	老年看護学：第4章 B-3「掻痒(かゆみ)」(p.122～125) 老年看護 病態・疾患論：第4章 K「皮膚の疾患」(p. 231～240)
		b アセスメント	老年看護学：第4章 B-3「掻痒(かゆみ)」(p.122～125) 老年看護 病態・疾患論：第4章 K「皮膚の疾患」(p. 231～240)
		c 予防と援助	老年看護学：第4章 B-3「掻痒(かゆみ)」(p.122～125) 老年看護 病態・疾患論：第4章 K「皮膚の疾患」(p. 231～240)
	K 認知症	a 加齢による病態と要因	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 I「認知症」(p.217～224) 老年看護学：第6章 C-3「認知症」(p.304～325) 老年看護 病態・疾患論：第1章 B-1「脳の老化」(p. 20～23)、第4章 A「認知症」(p.119～120) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章 C-7-1「認知症」(p.210～217)
		b 環境と行動・心理症状	老年看護学：第6章 C-3「認知症」(p.304～325) 老年看護 病態・疾患論：第4章 A-2「認知症の症状」(p.120～123)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 認知機能の評価	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 C-7-1 「認知症」 (p.210~217) 公衆衛生 : 第 7 章 C-7-3 「認知症の人々の暮らし」 (p.202~203) 老年看護学 : 第 6 章 C-3 「認知症」 (p.304~325) 老年看護 病態・疾患論 : 第 4 章 A-3 「認知症の診断に必要な検査」 (p.123~125)
		d 予防治療、療法的アプローチ	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 C-7-1 「認知症」 (p.210~217) 在宅看護論 : 第 6 章 B-6 「認知機能のアセスメント法と援助技術」 (p.216~222) 成人看護学 [7] (脳・神経) : 第 5 章 I 「認知症」 (p.217~224)、第 6 章 B-3 「認知症患者の看護」 (p.253~258) 老年看護学 : 第 6 章 C-3 「認知症」 (p.304~325) 老年看護 病態・疾患論 : 第 4 章 A-4 「認知症をきたす疾患の診断と治療」 (p.125~131)、A-6 「認知症の予防」 (p.132~133)
		e コミュニケーション方法、療養環境の調整	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 C-7-1 「認知症」 (p.210~217)、第 6 章 B-1-8 「抗認知症薬」 (p.253~254) 臨床薬理学 : 第 3 章 R 「認知症(アルツハイマー病)」 (p.191~195) 精神保健福祉 : 第 4 章 B-2-4 「認知症への対応」 (p.96~98)
		f 急性期一般病床での援助	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第 6 章 B-3 「認知症患者の看護」 (p.253~258) 老年看護学 : 第 6 章 C-3 「認知症」 (p.304~325) 老年看護 病態・疾患論 : 第 4 章 A-7 「認知症患者の看護と介護」 (p.133~134)
		g 家族への支援とサポートシステム	老年看護学 : 第 6 章 C-3 「認知症」 (p.304~325) 老年看護 病態・疾患論 : 第 4 章 A-7 「認知症患者の看護と介護」 (p.133~134)
	L せん妄	a 加齢による疾患の特徴と要因	老年看護学 : 第 6 章 C-2 「せん妄」 (p.297~304) 老年看護 病態・疾患論 : 第 2 章 A-2 「せん妄」 (p.42~43)
		b 症状と生活への影響のアセスメント	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 B-2-5 「意識の障害」 (p.159~162) 老年看護学 : 第 6 章 C-2 「せん妄」 (p.297~304) 老年看護 病態・疾患論 : 第 2 章 A-2 「せん妄」 (p.42~43)
		c 予防、治療と援助	老年看護学 : 第 6 章 C-2 「せん妄」 (p.297~304) 老年看護 病態・疾患論 : 第 2 章 A-2 「せん妄」 (p.42~43)
	M うつ病	a 加齢による疾患の特徴と要因	老年看護学 : 第 6 章 C-1 「うつ」 (p.292~297) 老年看護 病態・疾患論 : 第 2 章 B-6 「抑うつ」 (p.59~62)、第 4 章 B-3 「うつ状態(うつ病)」 (p.145~149)
		b 症状と生活への影響のアセスメント	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 C-3 「気分[感情] 障害 [双極性障害および関連障害群、抑うつ障害群]」 (p.183~192) 老年看護学 : 第 6 章 C-1 「うつ」 (p.292~297) 老年看護 病態・疾患論 : 第 2 章 B-6 「抑うつ」 (p.59~62)、第 4 章 B-3 「うつ状態(うつ病)」 (p.145~149)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 予防、治療と援助	老年看護学：第6章 C-1「うつ」(p.292～297) 老年看護 病態・疾患論：第2章 B-6「抑うつ」(p.59～62)、第4章 B-3「うつ状態(うつ病)」(p.145～149)
	N Parkinson〈パーキンソン〉症候群	a 加齢による疾患の特徴と要因	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 E-2-1「パーキンソン病」(p.187～192)、E-2-2「パーキンソン症候群」(p.192) 老年看護学：第6章 B-3「パーキンソン病・パーキンソン症候群」(p.268～270) 老年看護 病態・疾患論：第4章 B-2「パーキンソン病」(p.143～145)
		b 症状と生活への影響のアセスメント	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 E-2-1「パーキンソン病」(p.187～192)、E-2-2「パーキンソン症候群」(p.192)、第6章 D-9「パーキンソン病患者の看護」(p.361～368) 老年看護学：第6章 B-3「パーキンソン病・パーキンソン症候群」(p.268～270) 老年看護 病態・疾患論：第4章 B-2「パーキンソン病」(p.143～145)
		c 予防、治療と援助	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 E-2-1「パーキンソン病」(p.187～192)、E-2-2「パーキンソン症候群」(p.192)、第6章 D-9「パーキンソン病患者の看護」(p.361～368)、第7章 A「パーキンソン病患者の看護」(p.374～383) 老年看護学：第6章 B-3「パーキンソン病・パーキンソン症候群」(p.268～270) 老年看護 病態・疾患論：第4章 B-2「パーキンソン病」(p.143～145) 臨床薬理学：第3章 Q「パーキンソン病」(p.185～190)
	O 骨粗鬆症	a 加齢による疾患の特徴と要因	老年看護学：第6章 B-7「骨粗鬆症」(p.278～281) 老年看護 病態・疾患論：第1章 D-3「骨代謝機能の老化」(p.33～34)、第2章 C-1「転倒・骨折」(p.63～67)、第4章 J-7「骨粗鬆症」(p.228～231)
		b 症状と生活への影響のアセスメント	老年看護学：第6章 B-7「骨粗鬆症」(p.278～281) 老年看護 病態・疾患論：第2章 C-1「転倒・骨折」(p.63～67)、第4章 J-7「骨粗鬆症」(p.228～231)
		c 予防、治療と援助	老年看護学：第6章 B-7「骨粗鬆症」(p.278～281) 老年看護 病態・疾患論：第4章 J-7「骨粗鬆症」(p.228～231)
	P 骨折	a 加齢による疾患の特徴と要因	老年看護学：第6章 B-8「骨折」(p.281～285) 老年看護 病態・疾患論：第2章 C-1「転倒・骨折」(p.63～67)、第4章 J-1「大腿部頸部骨折」(p.221～222)
		b 症状と生活への影響のアセスメント	老年看護学：第6章 B-8「骨折」(p.281～285) 老年看護 病態・疾患論：第4章 J-1「大腿部頸部骨折」(p.221～222)
		c 予防、治療と援助	老年看護学：第6章 B-8「骨折」(p.281～285) 老年看護 病態・疾患論：第4章 J-1「大腿部頸部骨折」(p.221～222)
	Q 感染症	a 加齢による疾患の特徴と要因	老年看護 病態・疾患論：第4章 N「感染症」(p.254～260)
		b 症状と生活への影響のアセスメント	老年看護 病態・疾患論：第4章 N「感染症」(p.254～260)
		c 予防、治療と援助	老年看護 病態・疾患論：第4章 N「感染症」(p.254～260)
	R L～Q以外の高齢者に特有な疾患	a 加齢による疾患の特徴と要因	老年看護 病態・疾患論：第4章「高齢者の疾患の特徴」(p.118～260)
		b 症状と生活への影響のアセスメント	老年看護 病態・疾患論：第4章「高齢者の疾患の特徴」(p.118～260)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
8 治療・介護を必要とする高齢者の家族の看護	A 高齢者の家族の健康と生活への影響	c 予防、治療と援助	老年看護学 病態・疾患論：第4章「高齢者の疾患の特徴」(p.118～260)
		a 看護の対象としての家族	老年看護学：第7章 C-1「介護家族の生活と健康」(p.360～364) 在宅看護論：第2章 C「家族」(p.39～50) 家族論・家族関係論：第5章「患者家族と在宅ケア」(p.138～166)
		b 介護者の健康	老年看護学：第7章 C-1「介護家族の生活と健康」(p.360～364) 在宅看護論：第2章 C「家族」(p.39～50)
	B 家族全体への影響と介護への適応	c 介護者の社会生活	老年看護学：第7章 C-1「介護家族の生活と健康」(p.360～364) 在宅看護論：第2章 C「家族」(p.39～50) 家族論・家族関係論：第5章「患者家族と在宅ケア」(p.138～166)
		a 家族システムのアセスメント	老年看護学：第7章 C-2「介護家族への看護」(p.364～368) 在宅看護論：第2章 C「家族」(p.39～50) 人間関係論：第9章 B-2「家族が危機を乗り越えるための援助」(p.205～209) 家族論・家族関係論：第5章「患者家族と在宅ケア」(p.138～166)
		b 家族の発達課題とニーズの競合	老年看護学：第3章 B-2-4「家族のニーズに応じた支援を行うこと」(p.77～78) 在宅看護論：第5章 B-2-3「情報の整理とアセスメントの展開方法」(p.121～131)
		c 介護状況と介護力の評価	老年看護学：第7章 C-2「介護家族への看護」(p.364～368) 在宅看護論：第5章 B-2-3「情報の整理とアセスメントの展開方法」(p.121～131)
		d 介護への適応のための援助	老年看護学：第7章 C-2「介護家族への看護」(p.364～368) 在宅看護論：第2章 C「家族」(p.39～50)、第5章 B-2-3「情報の整理とアセスメントの展開方法」(p.121～131)

目標Ⅲ. 多様な生活の場で高齢者の健康を支える看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
9 多様な生活の場で展開する高齢者への看護	A 医療施設に入院する高齢者の暮らしと看護	a 医療施設の種類と特徴	老年看護学：第7章 B-1-1「急性期治療を担う医療施設の状況」(p.346～347)
		b 入院する高齢者の暮らしの特徴と看護の役割	老年看護学：第7章 B-1-2「急性期治療の場に求められる看護の役割」(p.347～351)
	B 介護保険施設等に入所する高齢者の暮らしと看護	a 介護保険施設等の種類と特徴	老年看護学：第7章 B-3-1「療養生活を支える施設の種類と特徴」(p.356)
		b 入所者の暮らしの特徴と看護の役割	老年看護学：第7章 B-3-1「療養生活の場に求められる看護の役割」(p.357～358)
	C 地域密着型サービス、居宅サービスを利用する高齢者の暮らしと看護	a 地域密着型サービス、居宅サービスの種類と特徴	老年看護学：第2章 B-2-2「介護保険制度の整備」(p.39～48)
		b サービスを利用する高齢者の暮らしの特徴と看護の役割	老年看護学：第7章 A-2「介護・医療ニーズの高い在宅高齢者への看護」(p.340～355)
	D 生活の場の移動と看護の継続	a 入院時・入所時・サービス利用開始時の援助	在宅看護論：第3章 B-3「入退院時における医療機関との連携」(p.64～67)、B-4「入退所時における施設との連携」(p.67～69)
		b 退院支援、退所支援	老年看護学：第7章 B-1-3「退院に向けた取り組み」(p.349～351)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 看護職間の情報提供、目標の共有と評価	在宅看護論：第3章 B-2「退院支援・退院調整」(p.57～64)、B-4-2「施設退所時の連携」(p.68～69) 在宅看護論：第3章 B-3「入退院時における医療機関との連携」(p.64～67)、B-4「入退所時における施設との連携」(p.67～69)
	E 長期入院・入所高齢者の看護	a 長期入院・入所高齢者のアセスメント	老年看護 病態・疾患論：序章 B-3「慢性期医療の現場における現状と課題」(p.6～8)、第6章 B「寝たきり患者のリハビリテーション」(p.280～283) 精神保健福祉：第6章 B「高齢精神障害者の地域移行支援の展開」(p.173～185)
		b 長期入院・入所高齢者の生活上の課題と援助	老年看護 病態・疾患論：序章 B-3「慢性期医療の現場における現状と課題」(p.6～8)、第6章 B「寝たきり患者のリハビリテーション」(p.280～283) 精神保健福祉：第6章 B「高齢精神障害者の地域移行支援の展開」(p.173～185)
	F 福祉用具・介護用品の活用	a 適応・活用状況に関するアセスメント	老年看護 病態・疾患論：第6章 E「福祉支援機器・システム」(p.285～288)
		b 安全で有効な活用の支援	老年看護 病態・疾患論：第6章 E「福祉支援機器・システム」(p.285～288)
	G 看護と介護の協働と連携	a 介護職員の専門性と役割の共有	老年看護学：第7章 B-3-3「介護職との連携・協働」(p.358～360) 老年看護 病態・疾患論：終章 A「高齢者の在宅医療における看護の役割」(p.290～292)、E「高齢者医療におけるチーム医療」(p.295～298) 在宅看護論：第4章 G「地域における多職種連携」(p.104～109)
		b 介護職員による医療行為	老年看護学：第7章 B-3-3「介護職との連携・協働」(p.358～360) 老年看護 病態・疾患論：終章 A「高齢者の在宅医療における看護の役割」(p.290～292)、E「高齢者医療におけるチーム医療」(p.295～298) 在宅看護論：第6章 C-8-4「排痰に関する在宅看護技術」(p.287～289)
	H 多職種連携、チームアプローチ	a 多職種の中での専門性の発揮	在宅看護論：第4章 G「地域における多職種連携」(p.104～109)
		b 目標達成に向けた連携の方法	老年看護 病態・疾患論：終章 A「高齢者の在宅医療における看護の役割」(p.290～292)、E「高齢者医療におけるチーム医療」(p.295～298) 在宅看護論：第4章 G「地域における多職種連携」(p.104～109)
	I 高齢者に特徴的な災害時の看護	a 避難・誘導方法	老年看護学：第8章 C「高齢者と災害看護」(p.384～394) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章 E-3「高齢者に対する災害看護」(p.135～138)
		b 避難所での生活と健康の維持	老年看護学：第8章 C「高齢者と災害看護」(p.384～394) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章 E-3「高齢者に対する災害看護」(p.135～138)
		c 福祉避難所における援助	老年看護学：第8章 C「高齢者と災害看護」(p.384～394) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章 E-3「高齢者に対する災害看護」(p.135～138)

小児看護学

小児看護学

目標Ⅰ. 子どもの成長・発達と健康増進のための子どもと家族への看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
1 子どもと家族を取り巻く環境	A 小児医療・小児看護の変遷と課題	a 小児医療の変遷と課題	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第1章 C「小児看護の変遷」(p.15~18)
		b 小児看護の変遷と課題	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第1章 C「小児看護の変遷」(p.15~18)
		c 諸統計からみた子どもと家族の健康課題	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第1章 B「小児と家族の諸統計」(p.8~15)
	B 子どもの権利	a 小児医療における子どもの権利の変遷	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第1章 D-1「子どもの権利」(p.19)
		b 小児医療・小児看護における倫理的配慮	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第1章 D「小児看護における倫理」(p.18~25)
		c 子どもの虐待防止	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第8章「子どもの虐待と看護」(p.492~504) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第6章 G「児童虐待と看護」(p.301~307) 社会保障・社会福祉 : 第7章 C-4「児童虐待対策」(p.208~212) 看護関係法令 : 第8章 B-2-2「児童虐待の防止等に関する法律」(p.220)
	C 子どもと家族を取り巻く社会資源の活用	a 母子保健施策の活用	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第8章 B-2「現在の母子保健」(p.178~181)
		b 小児保健医療福祉施策の活用	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第8章 C「医療費の支援」(p.181~183)
2 子どもの成長・発達	A 子どもの成長・発達の原則と影響因子	a 成長・発達の概念	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第2章 A「成長・発達とは」(p.30~32)
		b 成長・発達の原則	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第2章 B「成長・発達の進み方(一般的原則)」(p.32~33)
		c 成長・発達に影響する因子	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第2章 C「成長・発達に影響する因子」(p.34~35)
		d 発達課題と発達理論	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第2章 A「成長・発達とは」(p.30~32)、B「成長・発達の進み方(一般的原則)」(p.32~33) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 B-2「ライフサイクルとアイデンティティ——エリクソンの漸成的発達理論」(p.73~78)、B-3「無意識と精神分析：フロイトの精神力動理論」(p.78~87)、B-4「対象関係論」(p.87~92)、B-5「ボウルビーの愛着理論」(p.92~96)
	B 子どもの成長・発達のアセスメント	a 形態的成長と機能的発達の評価	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第2章「子どもの成長・発達」(p.30~50)、各発達段階ごとに第4~6章(p.67~151)に収載
		b 身体発育の評価	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第2章 D「成長の評価」(p.35~46)
		c 発達検査	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第2章 E「発達の評価」(p.47~50)
		d 心理・社会的発達の評価	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第4章 B-7「情緒・社会的機能」(p.92~93)、第5章 A-7「情緒・社会的機能」(p.104~108)、B-4「知的・情緒機能」(p.119~120)、B-5「社会的機能」(p.120~122)、第6章 3「知的・情緒(心理)的・社会的機能」(p.135~138)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		e 養育環境	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 4 章 B-8 「乳児の養育および看護」 (p.93~97)、第 5 章 A-8 「幼児の養育および看護」 (p.108~116)、B-7 「学童を取り巻く諸環境」 (p.123~124)、B-8 「学童の養育および看護」 (p.124~129)、第 6 章 10 「思春期の看護」 (p.146~151)
	C 小児期における成長・発達の特徴と看護	a 神経系	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 4 章 A-2-9 「神経系」 (p.78~79)、B-2 「身体生理の特徴」 (p.86~87)、第 5 章 A-2 「身体生理の特徴」 (p.100~101)、B-2 「身体生理の特徴」 (p.117~118)
		b 運動器系	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 4 章 B-4 「運動機能」 (p.88~89)、第 5 章 A-4 「運動機能」 (p.101)、B-3 「感覚・運動機能」 (p.118~119)
		c 感覚器系	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 4 章 B-3 「感覚機能」 (p.86~88)、第 5 章 A-3 「感覚機能」 (p.100~101)、B-3 「感覚・運動機能」 (p.118~119)
		d 循環器系	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 4 章 A-2-2 「循環」 (p.73~74)、B-2 「身体生理の特徴」 (p.86~87)、第 5 章 A-2 「身体生理の特徴」 (p.100~101)、B-2 「身体生理の特徴」 (p.117~118)
		e 免疫系	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 4 章 A-2-8 「免疫」 (p.78)、B-2 「身体生理の特徴」 (p.86~87)、第 5 章 A-2 「身体生理の特徴」 (p.100~101)、B-2 「身体生理の特徴」 (p.117~118)
		f 呼吸器系	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 4 章 A-2-1 「呼吸」 (p.68~73)、B-2 「身体生理の特徴」 (p.86~87)、第 5 章 A-2 「身体生理の特徴」 (p.100~101)、B-2 「身体生理の特徴」 (p.117~118)
		g 消化器系	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 4 章 A-2-4 「消化器」 (p.75~76)、B-2 「身体生理の特徴」 (p.86~87)、第 5 章 A-2 「身体生理の特徴」 (p.100~101)、B-2 「身体生理の特徴」 (p.117~118)
		h 代謝系	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 4 章 A-2-5 「体液生理」 (p.76)、B-2 「身体生理の特徴」 (p.86~87)、第 5 章 A-2 「身体生理の特徴」 (p.100~101)、B-2 「身体生理の特徴」 (p.117~118)
		i 泌尿器系	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 4 章 A-2-5 「体液生理」 (p.76)、B-2 「身体生理の特徴」 (p.86~87)、第 5 章 A-2 「身体生理の特徴」 (p.100~101)、B-2 「身体生理の特徴」 (p.117~118)
		j 体温調節	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 4 章 A-2-3 「体温」 (p.74~75)、B-2 「身体生理の特徴」 (p.86~87)、第 5 章 A-2 「身体生理の特徴」 (p.100~101)、B-2 「身体生理の特徴」 (p.117~118)
		k 大泉門、小泉門	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 4 章 B-1 「形態的特徴」 (p.85~86)
		l 生歯	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 2 章 D-3 「生歯」 (p.43~45)
		m 認知、思考	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 4 章 B-5 「知的機能」 (p.89~91)、第 5 章 A-5 「知的機能」 (p.102~103)、B-4 「知的・情緒機能」 (p.119~120)、第 6 章 3 「知的・情緒(心理)的・社会的機能」 (p.135~136)
		n 社会性、道徳性	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 4 章 B-7 「情緒・社会的機能」 (p.92~93)、第 5 章 A-7 「情緒・社会的機能」 (p.104~108)、B-5 「社会的機能」 (p.120~122)、第 6 章 3 「知的・情緒(心理)的・社会的機能」 (p.135~136)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
3 小児各期における健康増進のための子どもと家族への看護		o コミュニケーション、言語	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第4章 B-6「コミュニケーション機能」(p.91~92)、第5章 A-6「コミュニケーション機能」(p.103~104)、B-5「社会的機能」(p.120~122)、第6章 3「知的・情緒(心理)的・社会的機能」(p.135~136)
		p 情緒	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第4章 B-7「情緒・社会的機能」(p.92~93)、第5章 A-7「情緒・社会的機能」(p.104~108)、B-4「知的・情緒機能」(p.119~120)、B-4「知的・情緒機能」(p.119~120)、第6章 3「知的・情緒(心理)的・社会的機能」(p.135~138)
		q アタッチメント、分離不安	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第4章 B-7-1「愛着形成」(p.92) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 B-5「ボウルビーの愛着理論」(p.92~96)
	A 新生児期の成長・発達に応じた生活への支援	a 栄養と授乳	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第3章 D-1「乳児期の栄養」(p.56~64) 栄養学 : 第8章 A「乳児期における栄養」(p.148~152)
		b 事故防止	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第4章 A-4-2「事故防止」(p.83~84)
		c 親子関係の確立	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第4章 A-4-5「愛着形成」(p.84~85) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 B-5「ボウルビーの愛着理論」(p.92~96)
		d 家族の育児技術の獲得	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第4章 A-4「新生児の養育および看護」(p.80~85)
	B 乳児期の成長・発達に応じた生活への支援	a 栄養と離乳	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第3章 D-1「乳児期の栄養」(p.56~64) 栄養学 : 第8章 A「乳児期における栄養」(p.148~152)
		b 運動と遊び	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第4章 B-8-2「遊びの支援」(p.96)
		c 感染予防と予防接種	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第8章 D-2「現在の予防接種」(p.186~190) 看護関係法令 : 第4章 C-3「予防接種法」(p.153~157)
		d 事故防止	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第4章 B-8-3「事故防止」(p.96)
		e 親子関係の確立	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第4章 A-4-5「愛着形成」(p.84~85) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 B-5「ボウルビーの愛着理論」(p.92~96)
		f 家族の育児技術の獲得	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第4章 B-8「乳児の養育および看護」(p.93~97)
	C 幼児期の成長・発達に応じた生活への支援	a 食生活と食育	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第3章 D-2「幼児期の栄養」(p.64~65) 栄養学 : 第8章 B「幼児期における栄養」(p.153~154)
		b 運動と遊び	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第5章 A-8-2「遊びと運動の支援」(p.113)
		c 生活リズムの確立	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第5章 A-8-1「日常生活の自立と世話」(p.109~113)
		d 基本的生活習慣の確立	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第5章 A-8-1「日常生活の自立と世話」(p.109~113) 栄養学 : 第8章 B「幼児期における栄養」(p.153~154)
		e 感染予防と予防接種	看護関係法令 : 第4章 C-3「予防接種法」(p.153~157)
		f 事故防止と安全教育	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第5章 A-8-3「事故防止」(p.114~115)
		g 親子関係の確立	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第5章 A-7-1「愛着形成と分離不安」(p.104) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 B-4「対象関係論」(p.87~92)、B-5「ボウルビーの愛着理論」(p.92~96)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	D 学童期の成長・発達に応じた生活への支援	h 社会化	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 5 章 A-7 「情緒・社会的機能」 (p.104~108)
		i 育児技術の獲得	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 5 章 A-8-1 「日常生活の自立と世話」 (p.109~113)
		a 肥満や食生活の乱れ	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 3 章 D-3-2 「食生活の問題」 (p.65~66) 栄養学 : 第 8 章 C 「学童期における栄養」 (p.154~159)
		b う歯の予防	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 5 章 B-8-5 「疾病予防」 (p.128)
		c 近視の予防	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 5 章 B-8-5 「疾病予防」 (p.128)
		d スポーツ外傷の予防	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 5 章 B-8-4 「生活習慣病の予防」 (p.126~128)、B-8-6 「安全教育・事故予防」 (p.128)
		e 学校感染症の予防	看護関係法令 : 第 4 章 B-4 「学校保健安全法」 (p.135~136)
		f 生活習慣病の予防	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 5 章 B-8-4 「生活習慣病の予防」 (p.128) 栄養学 : 第 8 章 C 「学童期における栄養」 (p.154~159)
		g 学習と遊び	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 5 章 B-8-3 「学習と遊び」 (p.125~126) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 3 章 B-2-5 「遊びとユーモア」 (p.76~77)
		h 事故防止と安全教育	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 5 章 B-8-6 「安全教育・事故予防」 (p.128)
		i セルフケアと保健教育	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 5 章 B-8 「学童の養育および看護」 (p.124~129)
		j 食生活と食育	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 3 章 D-3 「学童期・思春期の栄養」 (p.65~66)、第 5 章 B-8-2 「食生活」 (p.125) 栄養学 : 第 8 章 C 「学童期における栄養」 (p.154~159)
		k 仲間との関係や学校への適応	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 5 章 B-8-1 「学校生活への適応」 (p.124~125)
	E 思春期の成長・発達に応じた生活への支援	a 体格と体力	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 6 章 1 「形態的特徴」 (p.132~133)
		b 第二性徴	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 6 章 2 「身体生理的特徴」 (p.133~135)
		c アイデンティティの確立	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 6 章 3-3 「自我発達」 (p.136~137) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 3 章 B-2-6 「アイデンティティを求めるたたかいとモラトリアム」 (p.77)
		d 情緒的变化と家族関係	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 6 章 3-2 「情緒的発達」 (p.135~136)、3-4 「社会性の発達」 (p.137~138)
		e 仲間との関係	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 6 章 3-4 「社会性の発達」 (p.137~138)
		f 性〈セクシュアリティ〉意識の変化と逸脱行動	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 6 章 3-5 「性的傾向」 (p.138)、8-4 「性の逸脱行動」 (p.145) 公衆衛生 : 第 7 章 A-6-1 「思春期保健対策」 (p.167~168)
		g 異性への関心	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 6 章 3-5 「性的傾向」 (p.138)
		h ライフスタイルと生活リズムの変化	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 6 章 4 「生活の特徴」 (p.138~140)
		i 喫煙・飲酒の防止	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 6 章 4 「飲酒・喫煙」 (p.143)
		j 不登校の実態と支援	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 6 章 5-3 「不登校」 (p.141~142)、10 「思春期の支援」 (p.146~151)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		k いじめ・校内暴力の防止	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 13 章 E-3-2 「不登校」 (p.326) 公衆衛生 : 第 8 章 B-4-2 「不登校」 (p.296~297) 小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 6 章 5-2 「いじめ」 (p.141)、8-3 「暴力行為」 (p.145)、10 「思春期の支援」 (p.146~151) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 13 章 E-3-1 「いじめ」 (p.325~326) 公衆衛生 : 第 8 章 B-4-1 「いじめ」 (p.295~296) 看護関係法令 : 第 8 章 B-2-4 「いじめ防止対策推進法」 (p.221)
		l 自殺の防止	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 6 章 5-1 「自殺」 (p.141)、10 「思春期の支援」 (p.146~151) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 7 章 E-4-1 「自殺・うつ病対策」 (p.341~343) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 10 章 B-1 「自殺」 (p.158~166) 看護関係法令 : 第 4 章 B-7 「自殺対策基本法」 (p.138~139)

目標Ⅱ. 病気や診療・入院が子どもと家族へ与える影響と看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
4 病気や診療・入院が子どもと家族に与える影響と看護	A 病気に対する子どもの理解と説明	a 病気に対する子どもの理解の特徴	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 1 章 A-1-1 「病気・障害の受けとめ、理解」 (p.202~203)
		b 子どもの理解に関係する要因	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 1 章 A-2 「子どもの病気・障害に対する家族の反応」 (p.205~208)
		c 発達に応じた病気の説明	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 1 章 B-2 「子どもの治療・健康管理にかかわる看護」 (p.208~212)
		d インフォームド・アセント	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 1 章 B-2-2 「治療における意思決定の支援」 (p.210~211)
	B プレパレーション	a 子どもへの説明と同意	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 1 章 B-2-2 「治療における意思決定の支援」 (p.210~211)
		b 家族の準備状態の把握	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 1 章 A-2 「子どもの病気・障害に対する家族の反応」 (p.205~208)
		c 検査・処置を受ける子どもと家族への支援	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 1 章 B-2 「子どもの治療・健康管理にかかわる看護」 (p.208~212)
	C 病気や診療・入院が子どもに与える影響と看護	a 成長・発達に及ぼす影響	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 1 章 A 「病気・障害が子どもと家族に与える影響」 (p.202~208)
		b 病気や診療・入院に伴うストレスと影響要因	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 1 章 A-1-2 「病気・治療に伴うストレス」 (p.203~204)
		c 子どもの反応とストレス対処行動	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 1 章 A-1-3 「ストレスに対する反応・対処」 (p.204~205)
	D 子どもの病気や診療・入院がきょうだい・家族に及ぼす影響と看護	a 子どもの病気や診療・入院に伴うきょうだい・家族のストレス	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 1 章 A-2 「子どもの病気・障害に対する家族の反応」 (p.205~208)
		b きょうだい・家族のストレスへの支援	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 1 章 B-4 「健康問題をもつ家族の看護」 (p.214~215)
	E 痛みを表現している子どもと家族への看護	a 子どもの痛みの受け止め方	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 5 章 3-1 「子どもの痛み」 (p.343~345)
		b 痛みの表現方法	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 5 章 3 「痛み」 (p.343~350)
		c 痛みの客観的評価	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 5 章 3-2 「痛みを伴う子どもの看護」 (p.345~350)
		d 痛みの緩和に向けた援助	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 5 章 3-2 「痛みを伴う子どもの看護」 (p.345~350)
	F 活動制限が必要な子どもと家族への看護	a 活動制限の目的	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 1 章 「病気・障害を持つ子どもと家族の看護」 (p.202~215)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 活動制限の身体的・心理社会的影響	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 1 章「病気・障害を持つ子どもと家族の看護」(p.202~215)
		c 子どもの発達に応じた日常生活への援助	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 1 章「病気・障害を持つ子どもと家族の看護」(p.202~215)
		a 隔離の目的・方法	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第 6 章 A-3-2「隔離の考え方」(p.139~140)
		b 隔離の身体的・心理社会的影響	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第 6 章 A-3-2「隔離の考え方」(p.139~140)
	G 感染対策上隔離が必要な子どもと家族への看護	c 子どもの発達に応じた日常生活への援助	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第 6 章 A-3-3「感染症の子どもの基本的看護」(p.140~141)
		d 家族の面会や付き添いにおける援助	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第 6 章 A-3-3「感染症の子どもの基本的看護」(p.140~141)
		a 外来における緊急度の把握・トリアージ	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 2 章 B-4「外来における子どもと家族の看護」(p.231~234)
		b 外来における感染症対策	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 2 章 B-2「外来の環境」(p.229~230)
	H 外来における子どもと家族への看護	c 受診時の子どもと家族の緊張と不安の軽減	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 2 章 B-4「外来における子どもと家族の看護」(p.231~234)
		d 健康診査・育児相談	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 2 章 B-3「外来を受診する子どもと家族の特徴」(p.230~231)
5 検査や処置を受ける子どもと家族への看護	* a~l に共通する中項目 A 診療(検査、処置)に伴う技術と看護 B プレパレーションと看護	a バイタルサインの測定	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 4 章 A-2「バイタルサイン」(p.285~293)
		b 身体計測	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 4 章 A-3「身体測定」(p.294~299)
		c 採血	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 6 章 C-4-3「採血」(p.443~446)
		d 採尿	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 6 章 C-4-1「採尿」(p.438~442)
		e 骨髄穿刺	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 6 章 C-4-4「骨髄穿刺」(p.446~450)
		f 腰椎穿刺	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 6 章 C-4-5「腰椎穿刺」(p.450~453)
		g 与薬	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 6 章 C-1「与薬」(p.416~428)
		h 注射	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 6 章 C-1-4「注射」(p.423~428)
		i 輸液療法	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 6 章 C-2「輸液管理」(p.428~436)
		j 吸引	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 6 章 C-9-1「鼻腔・口腔・咽頭内吸引」、C-9-2「気管内吸引」(p.460~464)
		k 酸素療法	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 6 章 C-9-3「酸素療法」(p.464~466)
		l 経管栄養	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 6 章 C-7「経管栄養」(p.455~456)

目標Ⅲ. 特別な状況にある子どもと家族への看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
6 特別な状況にある子どもと家族への看護	A 虐待を受けている子どもと家族への看護	a 子どもへの虐待の特徴	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 8 章「子どもの虐待と看護」(p.492~504)
		b 虐待のリスク要因と虐待の早期発見	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 8 章 3「リスク要因と発生予防・早期発見」(p.495~498) 公衆衛生 : 第 7 章 A-5「児童虐待防止のための母子保健活動」(p.164~167) 看護関係法令 : 第 8 章 B-2-2「児童虐待の防止等に関する法律」(p.220)
		c 虐待の未然防止に向けての支援	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第 8 章 3「リスク要因と発生予防・早期発見」(p.495~498)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d 多機関・多職種の連携・協働	公衆衛生：第7章 A-5「児童虐待防止のための母子保健活動」(p.164～167) 看護関係法令：第8章 B-2-2「児童虐待の防止等に関する法律」(p.220) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論)：第8章「子どもの虐待と看護」(p.492～504) 看護関係法令：第8章 B-2-2「児童虐待の防止等に関する法律」(p.220)
	B 災害を受けた子どもと家族への看護	a 災害による子どもへの影響とストレス b 災害を受けた子どもと家族への援助 c 災害時における緊急度の把握・トリアージ	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論)：第2章 D「災害時の子どもと家族の看護」(p.241～247) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章 E-1「子どもに対する災害看護」(p.127～132) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論)：第2章 D「災害時の子どもと家族の看護」(p.241～247) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章 E-1「子どもに対する災害看護」(p.127～132) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論)：第2章 D「災害時の子どもと家族の看護」(p.241～247) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章 D-1-6「トリアージ」(p.95～102)、E-1「子どもに対する災害看護」(p.127～132)

目標Ⅳ. 健康課題をもつ子どもと家族への看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
7 急性期にある子どもと家族への看護	A 急性症状のある子どもと家族への看護	a 急性的な経過をたどる疾患の特徴と治療 b 発熱 c 脱水 d 下痢・嘔吐 e 呼吸困難 f けいれん	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論)：第3章 B「急性期にある子どもと家族の看護」(p.253～257) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論)：第5章 9「発熱」(p.374～379) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論)：第5章 13「脱水」(p.387～394) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論)：第5章 10「嘔吐」、11「下痢」(p.379～384) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論)：第5章 4「呼吸困難」(p.351～354) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論)：第5章 8「けいれん」(p.368～374)
	B 救急救命処置が必要な子どもと家族への看護	a 子どもの救急におけるトリアージと対応 b 子どもの意識レベル c 主な誤飲物質と処置 d 子どもの熱傷の特徴・重症度および処置 e 溺水と処置 f 子どもの一次救命処置 g 生命が危険な状況にある子どもと家族への援助	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論)：第2章 B-4「外来における子どもと家族の看護」(p.231～234)、第6章 C-10「救命処置」(p.468～475) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論)：第5章 7-3「意識障害を伴う子どもの看護」(p.362～367) 小児看護学 [2] (小児臨床看護各論)：第19章 B-3「誤飲・誤嚥」(p.521～523) 小児看護学 [2] (小児臨床看護各論)：第19章 B-5「熱傷」(p.524～528) 小児看護学 [2] (小児臨床看護各論)：第19章 B-4「溺水」(p.523～524) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論)：第6章 C-10「救命処置」(p.468～475) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論)：第3章 D「終末期の子どもと家族の看護」(p.270～279)
	C 周手術期における子どもと家族への看護	a 子どもの手術の特徴 b 手術を要する健康障害と手術の時期 c 計画手術、緊急手術	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論)：第3章 C-1-1「小児期の手術の特徴」(p.258～259) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論)：第3章 C-1「周手術期の特徴」(p.258～261) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論)：第3章 C-1-1「小児期の手術の特徴」(p.258～259)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
8 慢性的な疾患・障害がある子どもと家族への看護		d 日帰り手術	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第3章 C「周手術期の子どもと家族の看護」(p.257~270)
		e 子どもと家族の術前準備	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第3章 C-2-1「術前の看護」(p.262~266)
		f 子どもの安全・安楽への援助	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第3章 C-2「子どもと家族の看護」(p.262~270)
		g 手術中・手術直後の家族への援助	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第3章 C-2「子どもと家族の看護」(p.262~270)
		h 手術後の身体状態のアセスメントと援助	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第3章 C-2-2「術後急性期の看護」(p.267~269)
		i 退院に向けての援助	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第3章 C-2-3「術後回復期の看護」(p.269~270)
	D 出生直後から集中治療が必要な子どもと家族への看護	a ハイリスク新生児の特徴	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第2章「新生児の看護」(p.18~64)
		b 集中治療における援助	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第2章「新生児の看護」(p.18~64)
		c 親子・家族関係確立への支援	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第2章「新生児の看護」(p.18~64)
	A 慢性疾患をもつ子どもと家族への看護	a 慢性的な経過をたどる疾患の特徴と治療	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第3章 A-1「慢性期の特徴」(p.250~251)
		b 小児慢性特定疾患治療研究事業	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第8章 C-2「小児慢性特定疾患医療費助成制度」(p.182~183) 社会保障・社会福祉 : 第3章 F「公費負担医療」(p.79~81)、第7章 C-2-2「母子保健法と母子保健施策」(p.199~202)
		c 疾患による子どもと家族の生活の変化	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第3章 A「慢性期にある子どもと家族の看護」(p.250~253)
		d 学習支援、復学支援	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第3章 A「慢性期にある子どもと家族の看護」(p.250~253)
		e 発達に応じたセルフケア能力の獲得	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第3章 A「慢性期にある子どもと家族の看護」(p.250~253)
		f セルフケア能力の獲得のための養育と家族への支援	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第3章 A「慢性期にある子どもと家族の看護」(p.250~253)
		g 地域との連携・調整	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第3章 A「慢性期にある子どもと家族の看護」(p.250~253)
	B 先天性疾病のある子どもと家族への看護	a 先天異常の種類と特徴	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第1章「染色体異常・胎内環境により発症する先天異常と看護」(p.2~15)、第8章 B-2「先天性心疾患」(p.193~202)
		b 子どもの発達段階に応じた援助	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第1章「染色体異常・胎内環境により発症する先天異常と看護」(p.2~15)
		c 子どもの疾患に対する家族の理解と受容	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第1章「染色体異常・胎内環境により発症する先天異常と看護」(p.2~15)
		d 養育とケア技術獲得に関する家族への援助	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第1章「染色体異常・胎内環境により発症する先天異常と看護」(p.2~15)
	C 心身障害のある子どもと家族への看護	a 心身障害の定義と種類	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 A-4-3「知的能力の障害による生活上の問題」(p.66~67)、第5章 C-10-1「知的能力障害／知的発達障害 [DSM]」(p.228~229)
		b 家族と子どもの障害の受容	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第1章「病気・障害を持つ子どもと家族の看護」(p.202~215)
		c 重症心身障害児と家族	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第13章 B-発達学習「重症心身障害児」(p.389)
		d 医療的ケアの必要な超重症児と家族	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第13章 B-発達学習「重症心身障害児」(p.389)
		e 発達障害児と家族	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第18章 B-2「発達障害(神経発達症群)」(p.494~498)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	D 医療的ケアを必要として退院する子どもと家族への看護	a 入院生活から在宅への移行に向けた支援 b 多職種との連携と社会資源の活用 c 在宅療養中の子どもと家族 d 子どものセルフケア行動の促進	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第2章 A-3-3「退院を見すえた看護」(p.228) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第2章 A-3-3「退院を見すえた看護」(p.228)、C-1「在宅療養の環境と看護の役割」(p.234~236) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第2章 C-2「在宅療養中の子どもと家族の特徴」(p.236~237) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第2章 C-3「在宅療養中の子どもと家族の看護」(p.237~241)
9 終末期にある子どもと家族への看護	A 子どもの死の理解と看護	a 子どもの死の概念 b 死に対する子どもの反応	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第3章 D-2「子どもの生命・死についてのとらえ方」(p.272~273) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第3章「終末期の子どもと家族の看護」(p.270~279)
	B 終末期にある子どもと家族への緩和ケア	a 終末期にある子どもの心身の状態と緩和ケア b 子どもの死を看取る家族の反応	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第3章 D-3「子どもと家族の看護」(p.273~279) 緩和ケア : 第5章 B「小児の緩和ケア」(p.69~73) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第3章 D-3「子どもと家族の看護」(p.273~279) 緩和ケア : 第5章 B-3「家族へのケア」(p.73)

母性看護学

母性看護学

目標Ⅰ. リプロダクティブ・ヘルスの基礎(概念、生理、倫理、法・制度)や動向および看護の基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
1 リプロダクティブ・ヘルスに関する看護	A リプロダクティブ・ヘルスに関する概念	a リプロダクティブ・ヘルス／ライツ	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第1章 D「リプロダクティブヘルス／ライツ」(p.24～27) 母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第2章「出生前からのリプロダクティブヘルスケア」(p.12～56) 公衆衛生 : 第5章 D-公衆衛生ナビ「性と生殖に関する健康と権利」(p.117)
		b 性〈セクシュアリティ〉	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第1章 C「セクシュアリティ」(p.20～24)
		c セックス、ジェンダー	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第1章 C「セクシュアリティ」(p.20～24)
		d 性の多様性(性同一性障害、性分化疾患、LGBT)	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第1章 C「セクシュアリティ」(p.20～24)
	B 生殖に関する生理	a ヒトの発生・性分化のメカニズム	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第3章 A-2「妊娠と胎児の性分化」(p.110～124) 解剖生理学 : 第1章 B-4「細胞の増殖と染色体」(p.24～27)、第10章 C「受精と胎児の発生」(p.496～512)
		b 性周期(初経、月経)	成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第2章 B-3「性周期と性ホルモン」(p.28～30) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第3章 A-1-4「女性生殖器の機能」(p.103～110) 解剖生理学 : 第10章 B-5「女性の生殖機能」(p.493～496)
		c 性行動、性反応	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第1章 C「セクシュアリティ」(p.20～24)
		d 受精、着床	成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第2章 B-5「妊娠の成立」(p.32～34) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第3章 A-2-1「妊娠の成立」(p.110～117) 母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 A-1-2「妊娠の成立」(p.59～63) 解剖生理学 : 第10章 C「受精と胎児の発生」(p.496～512)
	C リプロダクティブ・ヘルスに関する世界・日本の動向	a 出生に関する統計	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 A-2-1「出生に関する動向」(p.59～65)
		b 新生児・乳児・周産期死亡に関する統計	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 A-2-2「死亡に関する動向」(p.65～73) 公衆衛生 : 第7章 A-1-1「日本の母子保健統計の動向」(p.150～152)
		c 妊産婦死亡に関する統計	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 A-2-2「死亡に関する動向」(p.65～73) 公衆衛生 : 第7章 A-1-1「日本の母子保健統計の動向」(p.150～152)
		d 死産、流産、人工妊娠中絶に関する統計	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 A-2-2「死亡に関する動向」(p.65～73) 公衆衛生 : 第7章 A-1-1「日本の母子保健統計の動向」(p.150～152)
	D リプロダクティブ・ヘルスに関する倫理	a プライバシーの保護	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第1章 G「母性看護における倫理」(p.45～50)
		b 自己決定の尊重	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第1章 G「母性看護における倫理」(p.45～50)
		c 人工妊娠中絶と倫理的課題	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第1章 G-1「生命倫理と看護倫理」(p.46～49)、第6章 D「人工妊娠中絶と看護」(p.278～282)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d 生殖補助医療と倫理的課題	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第1章 F-2-2「医療技術の進歩と課題」(p.42~44)、G「母性看護における倫理」(p.45~50) 母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第2章 C「不妊治療と看護」(p.27~56)
		e 出生前診断と倫理的課題	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第1章 G「母性看護における倫理」(p.45~50) 母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第2章 B「遺伝相談」(p.12~27)
	E リプロダクティブ・ヘルスに関する法や施策と支援	a 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律〈DV防止法〉	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第6章 F「性暴力を受けた女性に対する看護」(p.291~300) 社会保障・社会福祉 : 第7章 C-2-4「DV対策」(p.202~203) 看護関係法令 : 第9章 B-7「配偶者からの暴力及び被害者の保護等に関する法律」(p.247~248)
		b 性暴力被害者支援	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第6章 F「性暴力を受けた女性に対する看護」(p.291~300)
		c 虐待防止に関する法律	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第6章 G「児童虐待と看護」(p.301~307) 公衆衛生 : 第7章 A-5「児童虐待防止のための母子保健活動」(p.164~167) 社会保障・社会福祉 : 第7章 C-2-4「DV対策」(p.202~203) 看護関係法令 : 第9章 B-7「配偶者からの暴力及び被害者の保護等に関する法律」(p.247~248)
		d 母体保護法	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 A-2「母性看護に関するおもな法律」(p.301~307) 看護関係法令 : 第4章 B-3「母体保護法」(p.134~135)
		e 女性の就労に関する法律	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 A-2「母性看護に関するおもな法律」(p.301~307) 母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 D-2-6「妊婦の就労」(p.157~159)、第6章 D-2「職場復帰」(p.353~354) 公衆衛生 : 第9章 C-3「男女共同参画とワークライフバランス」(p.320~321) 看護関係法令 : 第9章 A-1「労働基準法」(p.234~237)、A-6-4「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律」(p.243~244)

目標Ⅱ. ウィメンズヘルスに関する看護の基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
2 女性のライフサイクル各期における看護	A 思春期・成熟期女性の健康課題	a 第二性徴	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 A-2-1「青年期：大人になること」(p.9~17) 小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第6章 2-2「第二性徴の進行」(p.133)、10-2「第二性徴に関する援助」(p.146) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第5章 B-1-1「身体的特徴」(p.185~187)
		b 性意識・性行動の発達	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第5章 B-1-2「心理・社会的特徴」(p.188~192) 家族論・家族関係論 : 第2章 B-1「性意識と性行動」(p.35~37)
		c 家族計画、受胎調節	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第6章 A「家族計画」(p.250~256) 母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第6章 C-4「家族関係再構築への看護」(p.349~351)
		d 月経異常、月経随伴症状	成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第5章 C-1「月経異常・月経随伴症状」(p.171~176)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		e 性感染症 (STI)	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 5 章 B-2-1 「月経異常」 (p.192~198) 成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第 5 章 D-1 「性感染症 (STD)」 (p.198~201) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 5 章 B-2-2 「性感染症」 (p.198~201)、第 6 章 B 「性感染症とその予防」 (p.256~269)、C 「HIV に感染した女性に対する看護」 (p.269~278)
		f 不妊症 (男性不妊症、女性不妊症)	成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第 5 章 C-3 「不妊症」 (p.178~193) 母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 2 章 C 「不妊治療と看護」 (p.27~56)
		g 女性生殖器の疾患 (子宮筋腫、子宮内膜症)	成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第 5 章 B-3-5 「子宮筋腫」 (p.123~126)、B-3-6 「子宮内膜症」 (p.126~128) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 5 章 C-2 「月経困難症を引き起こす子宮筋腫・子宮内膜症と看護」 (p.213~215)
	B 更年期・老年期女性の健康課題	a ホルモンの変化と検査・治療	成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第 5 章 C-2 「更年期障害」 (p.176~178) 老年看護 病態・疾患論 : 第 1 章 G 「性機能の老化」 (p.34~36) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 5 章 D-1 「更年期女性の特徴」 (p.217~221)
		b 更年期症状	成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第 5 章 C-2 「更年期障害」 (p.176~178) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 5 章 D-2 「健康問題と看護」 (p.221~231)
		c 骨粗鬆症	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 5 章 D-2 「健康問題と看護」 (p.221~229) 老年看護 病態・疾患論 : 第 1 章 F-2 「骨代謝の老化」 (p.33~34)、第 4 章 J-7 「骨粗鬆症」 (p.228~231)
		d 閉経	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 5 章 D-1 「更年期女性の特徴」 (p.217~221)
		e 骨盤臓器脱、尿失禁	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 5 章 E-2-1 「女性生殖器疾患と看護」 (p.239~241)
		f 萎縮性炎症、外陰炎	成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第 5 章 B-1-2 「外陰炎」 (p.102~103)、B-2-2 「萎縮性炎症 (老人性炎症)」 (p.108~109)、第 6 章 E-10-3 「萎縮性炎症患者の看護」 (p.267~268) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 5 章 E-2-1 「女性生殖器疾患と看護」 (p.239~241)

目標Ⅲ. 妊娠・分娩・産褥期および早期新生児期における看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
3 妊娠・分娩・産褥期および早期新生児期における看護の対象と基盤となる概念	A 対象理解の基盤となる概念	a 母性、父性、親性	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 1 章 A 「母性とは」 (p.2~13) 母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 1 章 「子どもを産み育てることとその看護を学ぶにあたって」 (p.2~9) 公衆衛生 : 第 7 章 A-6 「親性をはぐくむ母子保健活動 (思春期含む)」 (p.167~169)
		b 母親役割、父親役割	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 1 章 B 「母子関係と家族発達」 (p.13~19)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
4 妊娠期の看護	B 看護の基盤となる概念	c 母子相互作用、愛着形成	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第1章「子どもを産み育てることとその看護を学ぶにあたって」(p.2~9)、第3章 D-3-3「家族役割調整のための保健相談」(p.173~176)、第4章 C-2「産婦と家族の心理・社会面のアセスメント」(p.217~219) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第1章 B「母子関係と家族発達」(p.13~19) 母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第5章 B-1-9「母子関係における新生児の評価」(p.281~283)、第6章 A-2-1「産婦の心理的变化」(p.312~316)
		d 早期の母子接触	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第4章 E-4「分娩3・4期の看護」(p.249~250)
		e 家族の発達・機能	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第1章 B「母子関係と家族発達」(p.13~19) 母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第4章 D-6「家族発達を促す看護」(p.239~240)
		a 女性を中心としたケア (Women-centered care)	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第4章 C-2「女性の意思決定を支える看護技術」(p.162~165)
		b 家族を中心としたケア (Family-centered care)	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第1章 F-1-3「母性看護実践の中核となる理念」(p.36~41)
		c ウェルネス	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 B「健康のとらえ方」(p.94~96) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第4章 A「母性看護における看護過程」(p.146~156)
	A 正常な妊娠の経過	d エンパワメント	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第7章 C-3「エンパワメント」(p.218~219) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第1章 E-1「ヘルスプロモーションとは」(p.28~29) 公衆衛生 : 第7章 B-6「健康教育」(p.186~189)
		e ヘルスプロモーション	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第1章 E-1「ヘルスプロモーションとは」(p.28~29)
		f セルフケア	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第1章 E-2「女性の生涯にわたる健康教育」(p.29~33)
		a 妊娠期の定義	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 A-1「妊娠の生理」(p.58~64)
		b 妊娠の成立	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第3章 A-2-1「妊娠の成立」(p.110~117) 母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 A-1-2「妊娠の成立」(p.59~63)
		c 妊娠の経過と胎児の発育	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 A「妊娠期の身体的特性」(p.58~77)、C「妊婦と胎児のアセスメント」(p.87~126)
4 妊娠期の看護	A 正常な妊娠の経過	d 母体の生理的变化	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 A-3「母体の生理的变化」(p.73~77)
		e 妊婦と家族の心理・社会的変化	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 B「妊娠期の心理・社会的特性」(p.78~86)
		f 妊娠による不快症状	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 D-2-8「妊娠中のマイナートラブル」(p.160~162)
	B 妊婦・胎児の健康と生活のアセスメント	a 妊娠週数	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 C-1-11「妊娠時期の診断」(p.91~93)
		b 妊婦の健康状態と胎児の発育	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 C「妊婦と胎児のアセスメント」(p.87~126)
		c 食事と栄養	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 D-2-1「妊娠中の食生活」(p.130~145) 栄養学 : 第8章 F「妊娠期における栄養」(p.164~167) 栄養食事療法 : 第14章 A「妊産婦の栄養と食事」(p.206~213)
		d 排泄	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 D-2-2「排泄」(p.145~146)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		e 活動と休息	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 D-2-5 「活動と休息」 (p.152~157)
		f 清潔	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 D-2-3 「清潔」 (p.146~147)
		g 性生活	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 D-2-7 「妊娠中の性生活」 (p.159~160)
		h 嗜好品 (喫煙、アルコール、カフェイン)	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 D-2-1 「妊娠中の食生活」 (p.130~145)
		i 妊婦健康診査	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 C 「妊婦と胎児のアセスメント」 (p.87~126)
		j Leopold (レオポルド) 触診法	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 C-3-3 「胎児の触知、胎位・胎向の診断」 (p.98~100)
		k 子宮底・腹囲の測定	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 C-3-2 「胎児発育の評価法」 (p.95~99)
		l 間欠的胎児心拍数聴取	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 C-4-3 「妊婦・胎児の身体的健康状態のアセスメント」 (p.111~120)
		m 胎児心拍数陣痛図、ノンストレステスト (NST)	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 C-3-4 「胎児の健康状態」 (p.100~103)
		n 胎児の超音波断層法	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 C-3-2 「胎児発育の評価法」 (p.95~99)
	C 妊婦と家族への看護	a 食生活の教育	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 D-2-1 「妊娠中の食生活」 (p.130~145)
		b 健康維持・増進、セルフケアに関する教育	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 D 「妊婦と家族の看護」 (p.126~176)
		c マイナートラブルへの対処	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 D-2-8 「妊娠中のマイナートラブル」 (p.160~162)
		d 家族の再調整	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 D-3-3 「家族役割調整のための保健相談」 (p.173~176)
		e 出産の準備	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 D-3-1 「分娩準備教育」 (p.163~170)
		f 育児の準備	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 D-3-2 「育児のための保健相談」 (p.170~173)
	D 妊娠期の健康問題に対する看護	a 不育症、流産、早産	成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第5章 C-4 「不育症」 (p.193~198) 母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 I-E 「妊娠持続期間の異常」 (p.387~390)
		b 感染症	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 I-B 「妊娠期の感染症」 (p.369~381)
		c 常位胎盤早期剥離	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 II-D-5 「常位胎盤早期剥離」 (p.412~414)
		d 前置胎盤	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 II-D-3 「前置胎盤」 (p.411~412)
		e 妊娠高血圧症候群	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 I-C-2 「妊娠高血圧症候群」 (p.382~383)、I-G-6 「妊娠高血圧症候群妊婦の看護」 (p.398)
		f 妊娠糖尿病	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 I-A-4-3 「糖尿病」 (p.363~365)、I-G-5-2 「糖尿病」 (p.397)
		g 出生前診断	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第2章 B-2 「出生前診断」、B-3 「出生前診断の実際」 (p.14~20)
		h 妊娠貧血	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 D-2-1 「妊娠中の食生活」 (p.130~145)
		i 妊娠悪阻	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 I-C-1 「妊娠悪阻」 (p.381~382)
		j 高年妊娠、若年妊娠	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 I-G-1 「高年妊婦の看護」 (p.393~394)、I-G-2 「若年妊婦の看護」 (p.394)
		k 胎児機能不全	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 II-E 「胎児機能不全」 (p.416~418)、II-J-3 「胎児機能不全を生じるリスクのある産婦の看護」 (p.437~440)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
5 分娩期の看護	A 正常な分娩の経過	a 分娩期の定義	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第4章 A-1「分娩とは」(p.178~179)
		b 分娩の3要素	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第4章 B「分娩の3要素」(p.179~184)
		c 分娩の経過	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第4章 B「分娩の経過」(p.190~205)
	B 産婦・胎児の健康のアセスメント	a 産婦の健康状態	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第4章 C-1「産婦と胎児の健康状態のアセスメント」(p.205~217)
		b 分娩経過と進行	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第4章 B「分娩の経過」(p.190~205)、C-1「産婦と胎児の健康状態のアセスメント」(p.205~217)
		c 陣痛、産痛	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第4章 B-3「産痛」(p.194~196)、C-1「産婦と胎児の健康状態のアセスメント」(p.205~217)
		d 産道	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第4章 A-2-2「産道」(p.182~184)
		e 破水	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第4章 B-1-2「分娩第2期(娩出期)」(p.192~193)
		f 胎児の健康状態	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第4章 B-4「胎児に及ぼす影響」(p.197~199)、C-1「産婦と胎児の健康状態のアセスメント」(p.205~217)
		g 産婦と家族の心理・社会的状態	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第4章 B-5「産婦の心理・社会的変化」(p.199~205)
		h 連続的胎児心拍数モニタリング	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第4章 B-4-2「胎児心拍数への影響」(p.197~199)
	C 産婦と家族への看護	a 産婦の基本的ニーズへの支援	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第4章 D「産婦と家族の看護」(p.220~240)
		b 産痛の緩和と分娩進行に対応した看護	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第4章 D-3「安楽な分娩への看護」(p.222~227)、D-4「出産体験が肯定的になる(よいお産になる)ための看護」(p.227~236)
		c 産婦と家族の心理への看護	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第4章 E「分娩期の看護の実際」(p.240~250)
	D 分娩期の健康問題に対する看護	a 前期破水	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 II-D-3「卵膜の異常」(p.414~415)、II-J-1「破水が生じた産婦の看護」(p.433~435)
		b 帝王切開術	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 II-I-5「帝王切開」(p.432)、II-K-1「帝王切開術を受ける産婦の看護」(p.440~450)
		c 分娩時異常出血	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 II-H「分娩時異常出血」(p.424~247)、II-L「分娩時異常出血のある産婦の看護」(p.450~456)
		d 胎児機能不全	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 II-E「胎児機能不全」(p.416~418)、II-J-3「胎児機能不全を生じるリスクのある産婦の看護」(p.437~440)
		e 陣痛異常(微弱陣痛、過強陣痛)	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 II-B-1「陣痛の異常」(p.404~406)
6 産褥期の看護	A 正常な産褥の経過	a 産褥期の定義	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第6章 A-1-1「産褥の定義」(p.308)
		b 産褥期の身体的特徴	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第6章 A-1「産褥期の身体的変化」(p.308~311)
		c 全身の変化	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第6章 A-1-5「全身の変化」(p.311)
		d 生殖器の変化	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第6章 A-1-2「子宮の復古と悪露」(p.308~310)
		e 乳房の変化	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第6章 A-1-3「乳汁分泌」(p.310~311)
		f 産婦と家族の心理・社会的変化	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第6章 A-2「産褥期の心理・社会的変化」(p.311~320)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	B 褥婦の健康と生活の アセスメント	a 全身状態	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 6 章 B 「褥婦の アセスメント」 (p.320~331)
		b 子宮復古	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 6 章 B-1-1 「退 行性変化」 (p.320~321)
		c 分娩による損傷の状態	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 6 章 B 「褥婦の アセスメント」 (p.320~331)
		d 母乳育児の状況、栄養法	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 6 章 B-2-2 「褥 婦の身体の状態」 (p.325~329)、C-3-1 「児の栄養 (授乳)」 (p.342~348)
		e 食事と栄養	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 6 章 B-2-2 「褥 婦の身体の状態」 (p.325~329)、C-1-1 「褥婦のセル フケアの不足に対する看護」 (p.331~341) 栄養学 : 第 8 章 G 「授乳期における栄養」 (p.167~168) 栄養食事療法 : 第 14 章 A 「妊産婦の栄養と食事」 (p. 206~213)
		f 排泄	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 6 章 B-2-2 「褥 婦の身体の状態」 (p.325~329)、C-1-1 「褥婦のセル フケアの不足に対する看護」 (p.331~341)
		g 活動と休息	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 6 章 B-2-3 「褥 婦の生活パターンとセルフケアレベル」 (p.329)、C- 1-1 「褥婦のセルフケアの不足に対する看護」 (p.331 ~341)
		h 清潔	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 6 章 B-2-3 「褥 婦の生活パターンとセルフケアレベル」 (p.329)、C- 1-1 「褥婦のセルフケアの不足に対する看護」 (p.331 ~341)
		i 褥婦と家族の心理・社会的状態	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 6 章 B-2 「褥婦 の健康状態のアセスメント」 (p.322~331)
		j 育児準備	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 6 章 D-1 「育児 不安と育児支援」 (p.351~353)
	C 褥婦と家族への看護	a 産褥復古に関する支援	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 6 章 C-1 「身体 機能の回復および進行性変化への看護」 (p.331~341)
		b 母乳育児への支援	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 6 章 C-3-1 「児 の栄養(授乳)」 (p.342~348)
		c バースレビュー	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 4 章 D-4-3 「出 産体験のふり返りへの看護」 (p.236)
		d 褥婦の日常生活とセルフケア	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 6 章 C-1 「身体 機能の回復および進行性変化への看護」 (p.331~341)
		e 食生活の教育	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 6 章 C-1 「身体 機能の回復および進行性変化への看護」 (p.331~341)
		f 親子の愛着形成の支援	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 6 章 A-2 「産褥 期の心理・社会的変化」 (p.311~320)
		g 育児技術獲得への支援	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 6 章 C-3 「育児 にかかわる看護」 (p.342~349)
		h 家族の再調整	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 6 章 C-4 「家族 関係再構築への看護」 (p.349~351)
	D 産褥期の健康問題に対 する看護	a 帝王切開術後	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 7 章 IV-E-3-1 「健 康上の問題をかかえる褥婦の看護」 (p.494~497)
		b 子宮復古不全	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 7 章 IV-A 「子宮 復古不全」 (p.484)
		c 産褥熱	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 7 章 IV-B-1 「産 褥熱」 (p.485)
		d 乳腺炎	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 7 章 IV-B-5 「乳 腺炎」 (p.485)、IV-E-2 「乳房トラブル」 (p.491~494)
		e 産後精神障害	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 7 章 IV-D 「精神 障害」 (p.486~488)、V 「精神障害合併妊婦と家族の 看護」 (p.503~510) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 C-7-2 「症 状精神病」 (p.217~219)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
7 早期新生児期の看護	A 早期新生児の特徴と生理的变化	f 尿路感染、排尿障害	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 7 章 IV-B-4 「泌尿器感染症」 (p.485)
		g 死産、障害がある新生児を出産した親	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 7 章 IV-E-3-2 「児に健康上の問題があるときの褥婦の看護」 (p.497～500)、IV-E-4 「児を亡くした褥婦・家族の看護」 (p.500～503)
		a 新生児期の定義と特徴	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 5 章 A 「新生児の生理」 (p.254～270)
		b 神経系	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 5 章 A-2-10 「新生児の反射」 (p.268～269)、A-2-11 「新生児の感覚機能」 (p.269～270)
		c 運動器系	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 5 章 A-2-10 「新生児の反射」 (p.268～269)
		d 感覚器系	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 5 章 A-2-11 「新生児の感覚機能」 (p.269～270)
		e 循環器系	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 5 章 A-2-3 「新生児の循環」 (p.261～262)
		f 生体の防御機能	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 5 章 A-2-8 「新生児の免疫」 (p.266～267)
		g 呼吸器系	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 5 章 A-2-2 「新生児の呼吸」 (p.260～261)
		h 消化器系	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 5 章 A-2-5 「新生児の消化と吸収」 (p.263～264)
		i 代謝系	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 5 章 A-2-6 「ビリルビン代謝と生理的黄疸」 (p.264～266)、A-2-7 「水電解質代謝・腎機能」 (p.266)
		j 泌尿器系	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 5 章 A-2-7 「水電解質代謝・腎機能」 (p.266)
		k 体温調節	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 5 章 A-2-4 「新生児の体温」 (p.262～263)
	B 早期新生児の健康と発育のアセスメント	a Apgar <アプガー> スコア	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 5 章 B-1-3 「出生直後の評価」 (p.273～275)
		b 成熟度の評価	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 5 章 B-1-4 「発育の評価」 (p.275～276)
		c 外観	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 5 章 B-1-5 「奇形の評価」 (p.276～277)、B-2-2 「子宮外生活への適応状態のアセスメント」 (p.286～292)
		d バイタルサイン	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 5 章 B-2-1 「基礎的情報の収集」 (p.283～286)
		e 皮膚、皮膚色	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 5 章 B-1-9 「新生児の皮膚」 (p.267～268)
		f 頭部、顔面	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 5 章 B-1-5 「奇形の評価」 (p.276～277)、B-2-2 「子宮外生活への適応状態のアセスメント」 (p.286～292)
		g 体幹、四肢	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 5 章 A-1-6 「新生児の姿勢」 (p.258～259)、B-2-2 「子宮外生活への適応状態のアセスメント」 (p.286～292)
		h 外性器	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 5 章 B-2-2 「子宮外生活への適応状態のアセスメント」 (p.286～292)
		i 神経学的状態	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 5 章 A-2-10 「新生児の反射」 (p.268～269)、A-2-11 「新生児の感覚機能」 (p.269～270)
		j 生理的体重減少	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 5 章 B-2-2 「子宮外生活への適応状態のアセスメント」 (p.286～292)
		k 生理的黄疸	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 5 章 A-2-6 「ビリルビン代謝と生理的黄疸」 (p.264～266)
		l 哺乳力	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 5 章 B-2-3 「新生児の生活のアセスメント」 (p.293～294)
		m 排尿、排便	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 5 章 B-2-2 「子宮外生活への適応状態のアセスメント」 (p.286～292)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	C 早期新生児と家族への看護	n 新生児マスキング	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 5 章 B-1-7「新生児マスキング」(p.277~279)
		a 気道の開通	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 5 章 A-2-1「子宮外適応現象」(p.259~260)、A-2-2「新生児の呼吸」(p.260~261)、C-1「出生直後の看護」(p.294~296)
		b 保温	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 5 章 A-2-4「新生児の体温」(p.262~263)、C-1「出生直後の看護」(p.294~296)
		c 全身計測	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 5 章 B-2-1「基礎的情報の収集」(p.283~286)
		d 全身の観察	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 5 章 B-2-2「子宮外生活への適応状態のアセスメント」(p.286~292)
		e 清潔	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 5 章 C-2-2「身体の清潔」(p.296~299)
		f 哺乳	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 5 章 C-2-4「新生児の栄養」(p.301~302)
		g 感染予防	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 5 章 C-2-5「新生児と医療事故、医療安全、感染予防」(p.302~303)
		h 事故防止	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 5 章 C-2-5「新生児と医療事故、医療安全、感染予防」(p.302~303)
		i 保育環境	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 5 章 C-3-2「児が順調に育っていくための環境づくり」(p.305~306)
	D 早期新生児の健康問題に対する看護	a 先天異常の新生児	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 5 章 B-1「新生児の診断」(p.270~283)
		b 早産児、低出生体重児	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 7 章 III-C「低出生体重児」(p.464~474)
		c 新生児一過性多呼吸 (TTN)	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 7 章 III-C「低出生体重児」(p.464~474)
		d 呼吸窮迫症候群 (RDS)	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 7 章 III-C-2-1「呼吸窮迫症候群」(p.466)
		e 胎便吸引症候群 (MAS)	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 7 章 II-D-4-3「羊水混濁」(p.416)
		f 高ビリルビン血症	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 7 章 III-D「高ビリルビン血症」(p.474~482)
		g 新生児ビタミン K 欠乏症	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 7 章 III-E「新生児・乳児ビタミン K 欠乏性出血症」(p.482~483)
		h 低血糖症	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 7 章 III-C「低出生体重児」(p.464~474)

目標Ⅳ. 周産期医療のシステムと母子保健施策の活用についての基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
8 周産期医療のシステムと母子保健施策	A 周産期医療のシステム	a 母体搬送	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 2 章 A-5「母性看護の場と職種」(p.83~86)
		b 新生児搬送	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 2 章 A-5「母性看護の場と職種」(p.83~86)
		c チーム医療	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 2 章 A-5「母性看護の場と職種」(p.83~86)
		d 周産期医療ネットワーク	母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 2 章 A-5「母性看護の場と職種」(p.83~86)
	B 母子保健法に関する施策の活用	a 妊婦健康診査	母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第 3 章 C-4-1「妊娠経過の診断(妊婦健康診査)」(p.103~105) 公衆衛生 : 第 7 章 A-3-2「妊産婦保健指導・訪問指導、妊婦健康診査」(p.159~160) 社会保障・社会福祉 : 第 7 章 C-2-2「母子保健法と母子保健施策」(p.199~202) 看護関係法令 : 第 4 章 B-2「母子保健法」(p.132~134)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 新生児訪問指導	公衆衛生：第7章 A-4-1「乳幼児保健指導・訪問指導」(p.160～161) 社会保障・社会福祉：第7章 C-2-2「母子保健法と母子保健施策」(p.199～202) 看護関係法令：第4章 B-2「母子保健法」(p.132～134)
		c 乳幼児健診	公衆衛生：第7章 A-2「乳幼児健康診査」(p.161～162) 社会保障・社会福祉：第7章 C-2-2「母子保健法と母子保健施策」(p.199～202) 看護関係法令：第4章 B-2「母子保健法」(p.132～134)
		d 未熟児養育医療と未熟児訪問指導	公衆衛生：第7章 A-4-1「乳幼児保健指導・訪問指導」(p.160～161) 社会保障・社会福祉：第7章 C-2-2「母子保健法と母子保健施策」(p.199～202) 看護関係法令：第4章 B-2「母子保健法」(p.132～134)
	C 子育て支援に関する施策の活用	a 産前・産後休業、育児休業	母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第3章 D-2-6「妊婦の勤労」(p.157～159)、第6章 D-2「職場復帰」(p.353～354) 公衆衛生：第9章 C-3「男女共同参画とワークライフバランス」(p.320～321) 看護関係法令：第9章 A-1「労働基準法」(p.234～237)
		b 妊娠・出産包括支援	母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第2章 A-4「母子保健に関連する施策」(p.77～82)
		c 子ども・子育て支援事業	公衆衛生：第7章 A-4-3「育児支援」(p.162～164) 社会保障・社会福祉：第7章 C-3「少子化対策と子育て支援」(p.205～208) 看護関係法令：第8章 B-2-1「子ども・子育て支援法」(p.219～220)
		d 在留外国人の母子支援	母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第6章 H「国際化社会と看護」(p.308～315) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第4章 D-2「日本における文化や制度を考慮した在日外国人への看護の実践」(p.242～244)
		e 災害時の母子支援	母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第1章 F-1-Column「母性看護における災害時の中長期・備えの支援」(p.37) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章 E-1「子どもに対する災害看護」(p.127～132)、E-2「妊産婦に対する災害看護」(p.132～135)

これからのシームレス教育を先取りした待望の“看護技術テキスト”

根拠と事故防止からみた 基礎・臨床 看護技術

編集 任 和子・秋山智弥 編集協力 京都大学医学部附属病院看護部

新人看護師の技術能力に関して、臨床現場が期待しているものとのギャップが指摘されて久しい。本書は「基礎教育と臨床の橋渡し」を目標に、基礎看護技術の内容はもちろん、臨床現場で実際に行われている看護技術も幅広く網羅。写真と動画で看護技術の細かい手順を目で見て理解できる。「根拠」「コツ」「注意」「Safety Check」など、ポイントとなる情報も豊富に掲載。看護技術のすべてが詰まった1冊。



●A5 頁844 2014年
定価:本体5,500円+税
[ISBN978-4-260-01928-6]

からみた 看護過程——医療情報を up to date, 看護診断を刷新!

病期・病態・重症度からみた

疾患別 看護過程

病態関連図 第3版

編集 井上智子・窪田哲朗



●A5 頁1984 2016年
定価:本体7,000円+税
[ISBN978-4-260-02835-6]

生活機能からみた

老年 看護過程

病態・生活機能関連図 第3版

編集 山田律子・萩野悦子・内ヶ島伸也
・井出 訓/編集協力 佐々木英忠



●A5 頁536 2016年
定価:本体3,600円+税
[ISBN978-4-260-02836-3]

発達段階からみた

小児 看護過程

病態関連図 第3版

編集 浅野みどり・杉浦太一・山田知子
編集協力 高橋義行・濱 麻人



●A5 頁816 2017年
定価:本体3,800円+税
[ISBN978-4-260-02837-0]

ウェルネスからみた

母性 看護過程

病態関連図 第3版

編集 佐世正勝・石村由利子



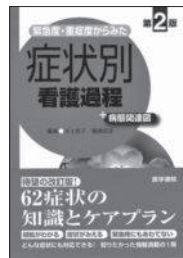
●A5 頁1016 2016年
定価:本体3,800円+税
[ISBN978-4-260-02838-7]

緊急度・重症度からみた

症状別 看護過程

病態関連図 第2版

編集 井上智子・稲瀬直彦



●A5 頁1120 2014年
定価:本体5,000円+税
[ISBN978-4-260-02071-8]

からみた 看護技術——豊富な写真とイラストに「動画付録」が追加

根拠と事故防止からみた

老年 看護技術

編集 亀井智子

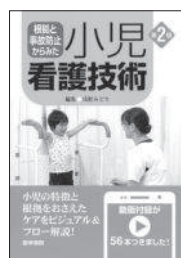


●A5 頁568 2016年
定価:本体4,000円+税
[ISBN978-4-260-02498-3]

根拠と事故防止からみた

小児 看護技術

編集 浅野みどり



●A5 頁552 2016年
定価:本体4,000円+税
[ISBN978-4-260-02500-3]

根拠と事故防止からみた

母性 看護技術

編集 石村由利子
編集協力 佐世正勝



●A5 頁508 2016年
定価:本体4,000円+税
[ISBN978-4-260-02499-0]



医学書院

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 [WEBサイト] <http://www.igaku-shoin.co.jp>
[販売部] TEL: 03-3817-5650 FAX: 03-3815-7804 E-mail: sd@igaku-shoin.co.jp

精神看護学

精神看護学

目標Ⅰ．精神保健の基本と保持・増進に向けた看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
1 精神保健の基本	A 精神の健康の概念	a 精神の健康の定義	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第2章 A「精神の健康とは」(p.26~33) 公衆衛生 : 第7章 D-1-1「精神保健領域における活動理念」(p.209~210) 精神保健福祉 : 第1章 B-1「精神保健福祉とは」(p.5~6)
		b 精神障害の一次予防・二次予防・三次予防	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第2章 C-4「精神保健における3つの予防概念」(p.41~42) 公衆衛生 : 第7章 D-1-2「地域での暮らしと精神の健康を支える」(p.210~212) 精神保健福祉 : 第4章「精神保健福祉活動の展開に必要な知識と技術」(p.66~120)
	B 心の機能と発達	a 精神と情緒の発達	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 B-2「ライフサイクルとアイデンティティ」(p.73~78)
		b 自我の機能	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 B-3-1「自我の構造」(p.80~81)、B-3-3「自我の発達段階」(p.85~87)
		c 防衛機制	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 B-3-2「不安と防衛：自我の防衛機制」(p.81~84)
		d 精神力動	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 B-3「無意識と精神分析：フロイトの精神力動理論」(p.78~87)
		e 転移感情	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第4章 A-8「治療的関係と家族」(p.127~128) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第4章 E-1「転移・逆転移」(p.43~44)
	C 精神の健康に関する普及啓発	a 偏見、差別、スティグマ	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第7章 D-1「逸脱とスティグマ」(p.311~312) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第9章 B-1-3「入院のデメリット」(p.93~96)
		b 精神保健医療福祉の改革ビジョン	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第1章 B-2「世界から見た日本の精神科医療の現状」(p.9~13)、第7章 B-5「2000年以降の長期入院患者の地域移行の動き」(p.301~303) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第13章 A-2「長期入院患者の地域移行への支援」(p.263~266) 社会保障・社会福祉 : 第7章 B-3「障害者福祉制度の変遷」(p.177~181)、B-4「新たな法体系の整備」(p.181~186) 精神保健福祉 : 第3章 B「施策の動向」(p.56~63)
	D 危機〈クライシス〉	a 危機〈クライシス〉の概念	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第6章 A-2-3「健康破綻による危機状況」(p.193~195) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第2章 C-3「精神保健における『危機』という考え方」(p.41) 精神保健福祉 : 第4章 B-1-1「危機的状況とはなにか」(p.82~83)
		b 危機〈クライシス〉の予防	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第2章 C-4「精神保健における3つの予防概念」(p.41~42) 精神保健福祉 : 第4章 B「早期の対応と地域生活をつなぐために——二次予防」(p.81~101)
		c 危機介入	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第6章 B-1「危機にある人々への支援」(p.195~199) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第2章 C-4「精神保健における3つの予防概念」(p.41~42)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d ストレスと対処	家族論・家族関係論：第6章 D-3-2「危機介入の理論と実際」(p.205～208) 精神保健福祉：第4章 B-1「危機的状況に対する早期介入」(p.82～87) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第5章 B-2-2「ストレスとその対処」(p.166～168) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第2章 C-5「危機の対処(コーピング)」(p.42～45)
		e 適応理論	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第2章 C-5「危機の対処(コーピング)」(p.42～45)、E-3「喪失と悲嘆」(p.49)
	E 災害時の地域における精神保健医療活動	a 災害時の精神保健医療活動	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第13章 G「災害と精神看護」(p.334～340) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章 E-5「精神障害者に対する災害看護」(p.140～143) 精神保健福祉：第4章 B-2-5「災害と精神保健福祉」(p.98～101)
		b 災害時の精神保健に関する初期対応	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章 C-4「緊急事態ストレスマネジメント(CISM)」(p.184～187)、第13章 G「災害と精神看護」(p.334～340) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章 E-5「精神障害者に対する災害看護」(p.140～143) 精神保健福祉：第4章 B-2-5「災害と精神保健福祉」(p.98～101)
		c 災害時の精神障害者への治療継続	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章 C「院内を中心とした災害時のケア」(p.182～187)、第13章 G「災害と精神看護」(p.334～340) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章 E-5「精神障害者に対する災害看護」(p.140～143)
	F 精神の健康とマネジメント	a 心身相関と健康	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第11章 A「精神科における身体のケア」(p.190)、B「身体にあらわれる心の痛み」(p.191～193)、第14章 B-2「リエゾン精神看護の歴史」(p.349)
		b 身体疾患がある者の精神の健康	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第11章 D「日常から気をつけておきたい身体合併症」(p.216～223)、第14章 A「身体疾患をもつ患者の精神保健」(p.344～346)
		c 精神疾患がある者の身体の健康	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第11章「身体をケアする」(p.190～244)
		d 患者と家族の精神の健康	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第4章 A-6「家族療法の考え方と技法」(p.122～125)、A-8「治療的関係と家族」(p.127～128)
		e 保健医療福祉に従事する者の精神の健康	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第14章 D「看護師の精神的健康への支援」(p.369～371)
		f 心身相関の考え方に基づくホリスティックケア	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第11章「身体をケアする」(p.190～244)
		g リエゾン精神看護	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第14章「リエゾン精神看護」(p.344～371)
		h 患者、家族、保健医療福祉の専門職間の連携促進	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第13章 A-4「クライアントとしてのコミュニティ」(p.269～270) 精神保健福祉：第6章「地域移行支援の展開」(p.158～203)、第7章「地域生活支援の展開」(p.206～240)

目標Ⅱ. 主な精神疾患・障害の特徴と看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
2 主な精神疾患・障害の特徴と看護	A 症状性を含む器質性精神障害	a 症状と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-7 「器質性精神障害」 (p.209～219)
		b 臨床検査および心理検査と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-7 「器質性精神障害」 (p.209～219)
		c 薬物療法と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-7 「器質性精神障害」 (p.209～219) 臨床薬理学 : 第4章 D-1 「精神および神経症状にかかわる薬物」 (p.259～260)
	B 精神作用物質使用による精神・行動の障害	a 症状と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-8 「精神作用物質使用による精神および行動の障害」 (p.220～225)
		b 臨床検査および心理検査と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-8 「精神作用物質使用による精神および行動の障害」 (p.220～225)
		c 薬物療法と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-8 「精神作用物質使用による精神および行動の障害」 (p.220～225) 臨床薬理学 : 第4章 D-1 「精神および神経症状にかかわる薬物」 (p.259～260)
	C 統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害	a 症状と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-2 「統合失調症」 (p.165～183)
		b 臨床検査および心理検査と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-2 「統合失調症」 (p.165～183)
		c 薬物療法と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-2 「統合失調症」 (p.165～183)、第6章 B-1-2 「抗精神病薬」 (p.240～249) 臨床薬理学 : 第4章 D-2 「抗精神病薬の臨時投与」 (p.261～267)
	D 気分〈感情〉障害	a 症状と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-3 「気分〈感情〉障害〔双極性障害および関連障害群、抑うつ症候群〕」 (p.183～192)
		b 臨床検査および心理検査と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-3 「気分〈感情〉障害〔双極性障害および関連障害群、抑うつ症候群〕」 (p.183～192)
		c 薬物療法と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-3 「気分〈感情〉障害〔双極性障害および関連障害群、抑うつ症候群〕」 (p.183～192)、第6章 B-1-3 「抗うつ薬」 (p.249～251)、B-1-4 「気分安定薬(抗躁薬)」 (p.251～252) 臨床薬理学 : 第3章 S 「うつ病・うつ状態」 (p.196～202)、第4章 D-3 「抗不安薬の臨時投与」 (p.269～272)
	E 神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害	a 症状と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-4 「神経性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害」 (p.193～203)
		b 臨床検査および心理検査と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-4 「神経性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害」 (p.193～203)
		c 薬物療法と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-4 「神経性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害」 (p.193～203)
	F 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	a 症状と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-5 「生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群」 (p.203～208)
		b 臨床検査および心理検査と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-5 「生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群」 (p.203～208)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 薬物療法と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 C-5 「生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群」 (p. 203～208)
	G パーソナリティ障害	a 症状と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 C-6 「パーソナリティ障害」 (p.208～209)
		b 臨床検査および心理検査と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 C-6 「パーソナリティ障害」 (p.208～209)
		c 薬物療法と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 C-6 「パーソナリティ障害」 (p.208～209)
	H 習慣および衝動の障害	a 症状と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 C-11 「秩序破壊的・衝動制御・素行障害群」 (p.232)
		b 臨床検査および心理検査と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 C-11 「秩序破壊的・衝動制御・素行障害群」 (p.232)
		c 薬物療法と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 C-11 「秩序破壊的・衝動制御・素行障害群」 (p.232)
	I 性同一性障害	a 症状と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 C-5-3 「性機能不全、性同一性障害など」 (p.207～208) 精神保健福祉 : 第 8 章 D 「ジェンダーと精神保健福祉」 (p.279～288)
		b 臨床検査および心理検査と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 C-5-3 「性機能不全、性同一性障害など」 (p.207～208)
		c 薬物療法と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 C-5-3 「性機能不全、性同一性障害など」 (p.207～208)
	J 知的障害 (精神遅滞)	a 症状と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 3 章 A-4-3 「知能能力の障害による生活上の問題」 (p.66～67)、第 5 章 C-10-1 「知的能力障害／知的発達障害 (DSM)」 (p.228～229)
		b 臨床検査および心理検査と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 3 章 A-4-2 「知能指数 (IQ)」 (p.65～66)、第 5 章 C-10-1 「知的能力障害／知的発達障害 (DSM)」 (p.228～229)
		c 薬物療法と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 C-10-1 「知的能力障害／知的発達障害 (DSM)」 (p.228～229)
	K 心理的発達の障害	a 症状と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 C-10 「神経発達障害群」 (p.227～232)
		b 臨床検査および心理検査と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 C-10 「神経発達障害群」 (p.227～232)
		c 薬物療法と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 C-10 「神経発達障害群」 (p.227～232)
	L 小児期・青年期に発症する行動・情緒の障害	a 症状と看護	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第 18 章 「精神疾患と看護」 (p.482～513) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 C-10 「神経発達障害群」 (p.227～232)
		b 臨床検査および心理検査と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 C-10 「神経発達障害群」 (p.227～232)
		c 薬物療法と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 C-10 「神経発達障害群」 (p.227～232)

目標Ⅲ. 精神看護の対象の理解と支援のための概念について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
3 精神看護の対象の理解と支援のための概念	A 援助関係の構築	a 信頼関係の基礎づくり	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 8 章 A 「ケアの前提——感情を通して自分を知り、相手を知ること」 (p.2～7)、B 「ケアの原則」 (p.8～15) 精神保健福祉 : 第 6 章 A-1 「支援開始時」 (p.158～163)
		b 患者－看護師関係の発展と終結	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 8 章 A 「ケアの前提——感情を通して自分を知り、相手を知ること」 (p.2～7)、B 「ケアの原則」 (p.8～15)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c プロセスレコードの活用	精神保健福祉：第 6 章 A-2「退院導入期」(p.163～169)、第 6 章 A-3「退院準備期」(p.169～172) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第 8 章 D「関係をアセスメントする——プロセスレコードの活用」(p.29～42)
	B セルフケアへの援助	a 食物・水分の摂取	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第 8 章-Column「看護の理論家たち⑤」オレムとアンダーウッド」(p.55)、第 9 章 B-4「入院時のアセスメント」(p.105～115) 精神保健福祉：第 6 章 A「長期入院患者の地域移行支援の展開」(p.158～173)、第 7 章 A-2「地域生活支援の展開と看護師の役割」(p.208～217)
		b 呼吸	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第 8 章-Column「看護の理論家たち⑤」オレムとアンダーウッド」(p.55)、第 9 章 B-4「入院時のアセスメント」(p.105～115)、第 11 章 D-4「肺炎」(p.218)
		c 排泄	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第 8 章-Column「看護の理論家たち⑤」オレムとアンダーウッド」(p.55)、第 9 章 B-4「入院時のアセスメント」(p.105～115)、第 11 章 E-3-4「排便のケア」(p.231～237)
		d 清潔と身だしなみ	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第 8 章-Column「看護の理論家たち⑤」オレムとアンダーウッド」(p.55)、第 9 章 B-4「入院時のアセスメント」(p.105～115)、第 11 章 C-1-3「患者の退行と看護師のあせり」(p.196) 精神保健福祉：第 6 章 A「長期入院患者の地域移行支援の展開」(p.158～173)、第 7 章 A-2「地域生活支援の展開と看護師の役割」(p.208～217)
		e 活動と休息	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第 8 章-Column「看護の理論家たち⑤」オレムとアンダーウッド」(p.55)、第 9 章 B-4「入院時のアセスメント」(p.105～115) 精神保健福祉：第 6 章 A「長期入院患者の地域移行支援の展開」(p.158～173)、第 7 章 A-2「地域生活支援の展開と看護師の役割」(p.208～217)
		f 対人関係	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第 8 章-Column「看護の理論家たち⑤」オレムとアンダーウッド」(p.55)、第 9 章 B-4「入院時のアセスメント」(p.105～115)、C-5-2「社会的学習と修正感情体験」(p.129～132) 精神保健福祉：第 6 章 A「長期入院患者の地域移行支援の展開」(p.158～173)、第 7 章 A-2「地域生活支援の展開と看護師の役割」(p.208～217)
		g 安全	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第 8 章-Column「看護の理論家たち⑤」オレムとアンダーウッド」(p.55)、第 9 章 B-4「入院時のアセスメント」(p.105～115)、第 10 章「安全をまもる」(p.144～187)
	C 生きる力と強さに着目した援助	a レジリエンス	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第 2 章 E「回復(リカバリー)を支える力「レジリエンス」」(p.49～51) 公衆衛生：第 7 章 D-1-1「精神保健領域における活動理念」(p.209～210)
		b リカバリ〈回復〉	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第 2 章 E「回復(リカバリー)を支える力「レジリエンス」」(p.49～51) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第 9 章「回復を助ける」(p.68～139) 公衆衛生：第 7 章 D-1-1「精神保健領域における活動理念」(p.209～210) 精神保健福祉：第 4 章 C「能力の再構築と再発防止のために——三次予防」(p.101～120)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c ストレngths (強み、力)	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第2章 E「回復(リカバリー)を支える力「レジリエンス」」(p.49～51) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第9章 A-3「回復のビジョン」(p.74～76)、第13章 A-3-2「ケアマネジメントを支える思想」(p.267～268) 精神保健福祉 : 第4章 C-2「リカバリーを支えるためのストレngthsモデル」(p.107～112)
		d エンパワメント	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第2章 E「回復(リカバリー)を支える力「レジリエンス」」(p.49～51) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第9章 A-3「回復のビジョン」(p.74～76)、第13章 A-3-2「ケアマネジメントを支える思想」(p.267～268) 公衆衛生 : 第7章 D-5「当事者の力」(p.224～225) 精神保健福祉 : 第4章 A「精神障害の予防のために——一次予防」(p.67～81)、C「能力の再構築と再発防止のために——三次予防」(p.101～120)、第5章 B-4「精神障害者の就労支援」(p.145～149)、第6章 A「長期入院患者の地域移行支援の展開」(p.158～173)

目標Ⅳ. 精神疾患・障害がある者の生物・心理・社会的側面に注目した、多角的なアセスメントに基づく看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
4 精神疾患・障害がある者への看護	A 脳の仕組みと精神機能	a 脳の部位と精神機能	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第2章 B-1「脳」(p.25～34)、E「運動機能と感覚機能」(p.47～52) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-2-4「統合失調症の成因」(p.174～176)、第6章 B-1-1「向精神薬とは」(p.239～240)、B-1-2「抗精神病薬」(p.240～249)
		b 神経伝達物質と精神機能・薬理作用	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第2章 A「神経系の分類と機能」(p.20～25) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第6章 B-1-1「向精神薬とは」(p.239～240)、B-1-2「抗精神病薬」(p.240～249) 臨床薬理学 : 第4章 D「精神および神経症状にかかわる薬剤の投与と調整」(p.259～276)
		c ストレス脆弱性仮説	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第1章 C-3「精神障害者がかかえる『現実の問題』と『生きにくさ』」(p.19)、第5章 C-2-4「統合失調症の成因」(p.174～176) 精神保健福祉 : 第5章 B-3-2「感情表出とストレス脆弱性モデル」(p.142～143)
		d 脳と免疫機能	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第2章 C-1「生体システムとしてのストレス反応」(p.38～39)
		e 睡眠障害と概日リズム〈サーカディアンリズム〉	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-5-2「睡眠障害(精神的要因によるもの)」(p.204～207) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第11章 F「睡眠の援助」(p.237～241) 臨床薬理学 : 第2章 G「睡眠薬」(p.73～77)
	B 心理・社会的療法	a 個人精神療法	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第6章 C-1「個人療法」(p.257～267)
		b 集団精神療法、集団力動	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第6章 C-2「集団精神療法」(p.267～272)
		c 心理教育的アプローチ	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第6章 C「精神療法」(p.257～274)
		d 認知行動療法	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-1-3「指導・教化によって自分をふり返り、新たな生き方を見いだす療法」(p.261～265)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		e 生活技能訓練〈SST〉	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 9 章 A-4-2 「認知行動療法 (CBT)」 (p.80~82) 精神保健福祉 : 第 4 章 C-3-3 「認知行動療法」 (p.115~116) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 6 章 C-2-4 「実際にある集団療法の例」 (p.269~270) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 9 章 A-4-1 「社会生活技能訓練 (SST)」 (p.77~80) 精神保健福祉 : 第 4 章 C-3-4 「社会生活技能訓練」 (p.116)
	C B 以外の治療法	a 電気けいれん療法	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 6 章 B-2 「電気けいれん療法」 (p.255~256) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 11 章 C-3 「電気けいれん療法の看護」 (p.210~216) 精神保健福祉 : 第 5 章 B1-1 「退院後に使用できる診療報酬」 (p.135)
	D 家族への看護	a 家族のストレスと健康状態のアセスメント b 家族の対処力とソーシャルサポートのアセスメント c 家族システムのアセスメント d 家族への教育的介入と支援 e 患者 - 家族関係	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 4 章 A 「全体としての家族」 (p.108~128) 在宅看護論 : 第 2 章 C 「家族」 (p.39~50)、第 5 章 B-2-3 「情報の整理とアセスメントの展開方法」 (p.121~131) 精神保健福祉 : 第 5 章 B-3 「家族支援」 (p.141~144) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 4 章 A 「全体としての家族」 (p.108~128) 在宅看護論 : 第 2 章 C 「家族」 (p.39~50)、第 5 章 B-2-3 「情報の整理とアセスメントの展開方法」 (p.121~131) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 4 章 A 「全体としての家族」 (p.108~128) 在宅看護論 : 第 2 章 C 「家族」 (p.39~50)、第 7 章 J 「統合失調症の療養者に対する在宅看護の事例展開」 (p.400~408) 精神保健福祉 : 第 5 章 B-3-1 「家族システム」 (p.141~142) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 4 章 A 「全体としての家族」 (p.108~128)、第 6 章 C-3 「家族療法」 (p.272~274) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 13 章 D-5 「家族を支援する」 (p.316~323) 在宅看護論 : 第 2 章 C 「家族」 (p.39~50)、第 7 章 J 「統合失調症の療養者に対する在宅看護の事例展開」 (p.400~408) 精神保健福祉 : 第 5 章 B-3 「家族支援」 (p.141~144) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 4 章 A 「全体としての家族」 (p.108~128)
	E 社会復帰・社会参加への支援	a リハビリテーションの概念 b 国際生活機能分類〈ICF〉 c 長期入院患者の退院支援	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 6 章 D-5 「精神科リハビリテーション」 (p.278) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 9 章 A-2 「精神科におけるリハビリテーションとは」 (p.72~74) 精神保健福祉 : 第 4 章 C-1-1 「精神科リハビリテーション」 (p.102~104) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 2 章 C-4 「国際生活機能分類 (ICF) の考え方」 (p.36~38) 公衆衛生 : 第 7 章 F-1 「障害・難病とは」 (p.234~236) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 13 章 A-2 「長期入院患者の地域移行への支援」 (p.263~266) 公衆衛生 : 第 7 章 D-2-1 「精神健康に困難を有する人の相談機関」 (p.212~213)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	F 精神保健医療福祉に関する社会資源の活用と調整	a 精神科デイケア、精神科ナイトケア	精神保健福祉：第4章 A-2-2「支援システムを構成するおもな社会資源」(p.75～78)、第6章 A「長期入院患者の地域移行支援の展開」(p.158～173) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第13章 C-2-3「精神科デイホスピタル(精神科デイケア)」(p.282～283)
		b 精神科訪問看護、訪問看護	精神保健福祉：第5章 B-1「活用できる社会資源」(p.132～138) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第13章 C-2-2「精神科訪問看護」(p.282) 在宅看護論：第2章 A-4-2「継続的な支援が必要な慢性的な療養状態」(p.34～35)、第7章 J「統合失調症の療養者に対する在宅看護の事例展開」(p.400～408) 精神保健福祉：第5章 B-1「活用できる社会資源」(p.132～138)
		c 困難事例に関する行政との連携(保健所、市町村、精神保健福祉センター)	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第13章 D-2「複合的な問題をかかえた長期入院患者の退院を支援する」(p.298～305) 精神保健福祉：第8章 A「貧困と精神保健福祉」(p.244～253)
	G 社会資源の活用とケアマネジメント	a 精神疾患・障害者ケアマネジメントの基本的考え方	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第13章 A-3「ケアマネジメントの発想と方法」(p.266～269)
		b 社会資源の活用とソーシャルサポート	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第13章 A-4「クライアントとしてのコミュニティ」(p.269～270) 公衆衛生：第7章 D-2「地域生活を支えるためのしくみ」(p.212～218) 精神保健福祉：第5章 B-1「活用できる社会資源」(p.132～138)、第7章 A-2-3「地域生活支援が必要な場面と、社会資源について」(p.210～217)
		c セルフヘルプグループ	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第4章 B-3-3「セルフヘルプグループの源流」(p.131～132)、第6章 C-2-4「実際にある集団療法の例」(p.269～270) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第13章 C-5-1「セルフヘルプグループ」(p.290) 公衆衛生：第7章 D-2-3「リカバリーを支えるために」(p.215～218) 社会保障・社会福祉：第8章 E-4「セルフヘルプ・グループ」(p.240～241) 精神保健福祉：第5章 B-5「ピアサポート」(p.149～153)
		d 自立支援医療	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第13章 C-2-1「自立支援医療費」(p.282) 社会保障・社会福祉：第3章 F「公費負担医療」(p.79～81)、第7章 B-3-7「障害者総合支援法の成立」(p.182～186) 精神保健福祉：第7章 A-2-3「地域生活支援が必要な場面と、社会資源について」(p.210～217)
		e 居宅介護(ホームヘルプ)、同行援護および行動援護	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第13章 C-3-3「その他のサービス」(p.287～288) 社会保障・社会福祉：第3章 F「公費負担医療」(p.79～81)、第7章 B-3-7「障害者総合支援法の成立」(p.182～186) 精神保健福祉：第3章 A-2-1「障害者総合支援法の概要」(p.47～52)、第7章 A-2-3「地域生活支援が必要な場面と、社会資源について」(p.210～217)
		f 重度訪問介護	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第13章 C-3「生活を支えるサービス」(p.284～288) 社会保障・社会福祉：第3章 F「公費負担医療」(p.79～81)、第7章 B-3-7「障害者総合支援法の成立」(p.182～186)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		g 生活介護	精神保健福祉：第3章 A-2-1「障害者総合支援法の概要」(p.47～52) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第13章 C-3「生活を支えるサービス」(p.284～288) 社会保障・社会福祉：第3章 F「公費負担医療」(p.79～81)、第7章 B-3-7「障害者総合支援法の成立」(p.182～186)
		h 短期入所〈ショートステイ〉	精神保健福祉：第3章 A-2-1「障害者総合支援法の概要」(p.47～52) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第13章 C-3-3「その他のサービス」(p.287～288) 社会保障・社会福祉：第3章 F「公費負担医療」(p.79～81)、第7章 B-3-7「障害者総合支援法の成立」(p.182～186)
		i 共同生活介護〈ケアホーム〉	精神保健福祉：第3章 A-2-1「障害者総合支援法の概要」(p.47～52)、第7章 A-2-3「地域生活支援が必要な場面と、社会資源について」(p.210～217) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第13章 C-3「生活を支えるサービス」(p.284～288) 社会保障・社会福祉：第3章 F「公費負担医療」(p.79～81)、第7章 B-3-7「障害者総合支援法の成立」(p.182～186)
		j 生活訓練	精神保健福祉：第3章 A-2-1「障害者総合支援法の概要」(p.47～52) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第13章 C-3-1「日中の活動の支援」(p.286) 社会保障・社会福祉：第3章 F「公費負担医療」(p.79～81)、第7章 B-3-7「障害者総合支援法の成立」(p.182～186)
		k 就労移行支援	精神保健福祉：第3章 A-2-1「障害者総合支援法の概要」(p.47～52)、第5章 B-1-2「障害者総合支援法における社会資源」(p.135～138) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第13章 C-3-1「日中の活動の支援」(p.286) 社会保障・社会福祉：第7章 B-5-2「就労支援」(p.188～192)
		l 就労継続支援 A 型・B 型	精神保健福祉：第3章 A-2-1「障害者総合支援法の概要」(p.47～52)、第5章 B-1-2「障害者総合支援法における社会資源」(p.135～138)、B-4「精神障害者の就労支援」(p.145～149)、第7章 A-2-3「地域生活支援が必要な場面と、社会資源について」(p.210～217)、B-2「就労支援の展開」(p.221～225) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第13章 C-3-1「日中の活動の支援」(p.286) 社会保障・社会福祉：第7章 B-5-2「就労支援」(p.188～192)
		m 共同生活援助〈グループホーム〉	精神保健福祉：第3章 A-2-1「障害者総合支援法の概要」(p.210～217)、第5章 B-1-2「障害者総合支援法における社会資源」(p.135～138)、第7章 A-2-3「地域生活支援が必要な場面と、社会資源について」(p.210～217)、B-2「就労支援の展開」(p.221～225) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第13章 C-3-2「住まいの場」(p.287) 社会保障・社会福祉：第3章 F「公費負担医療」(p.79～81)、第7章 B-3-7「障害者総合支援法の成立」(p.182～186) 精神保健福祉：第3章 A-2-1「障害者総合支援法の概要」(p.47～52)、第5章 B-1-2「障害者総合支援法における社会資源」(p.135～138)、第7章 A-2-3「地域生活支援が必要な場面と、社会資源について」(p.210～217)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		n 地域生活支援事業	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第13章 C-3「生活を支えるサービス」(p.284~288) 社会保障・社会福祉 : 第3章 F「公費負担医療」(p.79~81)、第7章 B-3-7「障害者総合支援法の成立」(p.182~186) 精神保健福祉 : 第3章 A-2「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)」(p.47~55)、第5章 B-1-2「障害者総合支援法における社会資源」(p.135~138)
		o 精神障害者保健福祉手帳	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第7章 E-2-3「生活を支えるための法律と制度」(p.330~334) 公衆衛生 : 第7章 D-2-2「地域での生活を支える制度」(p.213~215) 社会保障・社会福祉 : 第7章 B-1-4「精神障害者の特徴」(p.171~172) 看護関係法令 : 第4章 B-1-6「精神障害者保健福祉手帳」(p.129) 精神保健福祉 : 第3章 A-1「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」(p.40~47)、第7章 A-2-3「地域生活支援が必要な場面と、社会資源について」(p.210~217)

目標Ⅴ. 精神疾患・障害がある者の人権と安全を守り、回復を支援する看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
5 安全な治療環境の提供	A 安全管理〈セーフティマネジメント〉	a 病棟環境の整備と行動制限	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第9章 B-3-1「安心と安全の確保」(p.102)、C-1「治療と環境」(p.116~118)、第10章 A「リスクマネジメントの考え方と方法」(p.144~157)
		b 自殺、自殺企図、自傷行為	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第10章 B-1「自殺」(p.158~166)、第12章「サバイバーとしての患者とそのケア」(p.248~260) 精神保健福祉 : 第4章 B-2-3「自殺対策」(p.93~96)
		c 攻撃的行動、暴力、暴力予防プログラム	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第10章 B-2「暴力」(p.166~177)
		d 災害時の精神科病棟の安全の確保	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第10章 C「院内を中心とした災害時のケア」(p.182~187) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第2章 E-5「精神障害者に対する災害看護」(p.140~143)
6 精神保健医療福祉の変遷と法や施策	A 患者の権利擁護〈アドボカシー〉	a 当事者の自己決定の尊重	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第8章 B-1「人としての尊厳を尊重する」(p.8~10)、第13章 A-3-2「ケアマネジメントを支える思想」(p.267~268)
		b 入院患者の基本的な処遇	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第9章 B-2「入院するとき」(p.96~101) 看護関係法令 : 第4章 B-1-4「医療および保護」(p.127~129)
		c 精神医療審査会	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第9章 B-2「入院するとき」(p.96~101) 精神保健福祉 : 第2章 A-1-4「精神保健法の制定」(p.19~20)、第3章 A-1-1「精神保健福祉法の主要項目」(p.40~42) 看護関係法令 : 第4章 B-1-5「精神医療審査会・地方精神医療審査会」(p.129)
		d 隔離、身体拘束	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第10章 A-2「リスクマネジメントと行動制限」(p.146~157) 精神保健福祉 : 第8章 B-3-4「虐待防止の体制整備と取り組み」(p.261~264)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	B 精神保健医療福祉の変遷と看護	a 諸外国における精神医療の変遷	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 7 章 A 「精神障害と治療の歴史」 (p.282~293) 精神保健福祉 : 第 2 章 B 「諸外国における精神保健福祉改革」 (p.34~38)
		b 日本における精神医療の変遷	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 7 章 B 「日本における精神医学・精神医療の流れ」 (p.293~304) 精神保健福祉 : 第 2 章 A 「わが国の精神保健福祉の変遷」 (p.12~33)
		c 精神保健医療福祉における看護師の役割	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 1 章 D 「精神看護学でなにを学ぶのか」 (p.20~23)、第 7 章 E-1-3 「精神科看護師にとっての法律や制度」 (p.317~318) 精神保健福祉 : 第 7 章 A-2 「地域生活支援の展開と看護師の役割」 (p.208~217)
	C 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律〈精神保健福祉法〉の運用	a 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律〈精神保健福祉法〉の基本的な考え方	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 7 章 E-1-4 「精神科看護の基本となる法律」 (p.319~320) 看護関係法令 : 第 4 章 B-1 「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」 (p.125~132)
		b 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律〈精神保健福祉法〉による入院の形態	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 7 章 E-2-2 「医療を受けるための法律と制度」 (p.327~330) 看護関係法令 : 第 4 章 B-1-4 「医療および保護」 (p.127~129) 精神保健福祉 : 第 3 章 A-1 「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」 (p.40~47)
		c 精神保健指定医	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 7 章 E-2-2 「医療を受けるための法律と制度」 (p.327~330) 看護関係法令 : 第 4 章 B-1-3 「精神保健指定医」 (p.126~127) 精神保健福祉 : 第 3 章 A-1 「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」 (p.40~47)
7 精神保健医療福祉における多職種連携	A 多職種連携と看護の役割	a 医師、歯科医師	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 6 章 D-2 「治療共同体の実践」 (p.275~276) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 9 章 C-5-4 「情報の流れと双方向のコミュニケーション」 (p.134)
		b 保健師	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 13 章 C-1-3 「地域の相談窓口」 (p.281~282) 公衆衛生 : 第 7 章 D-1 「精神保健の活動理念」 (p.209~212)
		c 精神保健福祉士	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 13 章 C-1-3 「地域の相談窓口」 (p.281~282) 社会保障・社会福祉 : 第 1 章 B-6 「社会保障・社会福祉の従事者と担い手」 (p.26~27) 看護関係法令 : 第 3 章 C-2 「精神保健福祉士法」 (p.101~102) 精神保健福祉 : 第 4 章 A-2 「精神保健福祉に関する支援システム」 (p.73~81)
		d 作業療法士	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 6 章 D-4 「作業療法」 (p.277~278) 精神保健福祉 : 第 4 章 A-2 「精神保健福祉に関する支援システム」 (p.73~81)
		e 精神保健福祉相談員	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 13 章 C-1-3 「地域の相談窓口」 (p.281~282) 精神保健福祉 : 第 4 章 A-2 「精神保健福祉に関する支援システム」 (p.73~81)
		f ピアサポーター	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 13 章 C-5-1 「セルフヘルプグループ」 (p.290) 公衆衛生 : 第 7 章 D-3-2 「入院を減らす取り組み」 (p.219~220) 精神保健福祉 : 第 5 章 B-5 「ピアサポート」 (p.149~153)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		g 薬剤師	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 8 章 G-1 「病棟のダイナミクス」 (p.60)
		h 栄養士	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 8 章 G-1 「病棟のダイナミクス」 (p.60)
		i 臨床心理技術者(臨床心理士、公認心理師等)	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 6 章 C-1-2 「支持に力点をおいた療法(支持療法)」 (p.260～261) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 8 章 G-1 「病棟のダイナミクス」 (p.60) 精神保健福祉 : 第 4 章 B 「早期の対応と地域生活をつなぐために——二次予防」 (p.81～101)、第 5 章 B-2 「アウトリーチ」 (p.138～141)、B-6 「地域における精神障害者への危機介入」 (p.153～156)、第 6 章 A 「長期入院患者の地域移行支援の展開」 (p.158～173)

人間の心と身体の発達過程を解説した
看護・医療系専門職養成校向けテキストの改訂版

看護のための 人間 発達学

第5版

舟島なをみ

千葉大学教授

望月美知代

千葉大学看護学部看護教育学専門領域技術補佐員

人間が胎児期から乳幼児期、学童期、思春期、青年期、成人期、老年期へと成長発達していく過程における、さまざまな心と身体の正常な発達に関する解説書。第5版では、各種データを更新し、内容の充実を図るとともに、家庭・子どもの貧困、ニート、引きこもりといった今日的な話題も充足した。

■目次

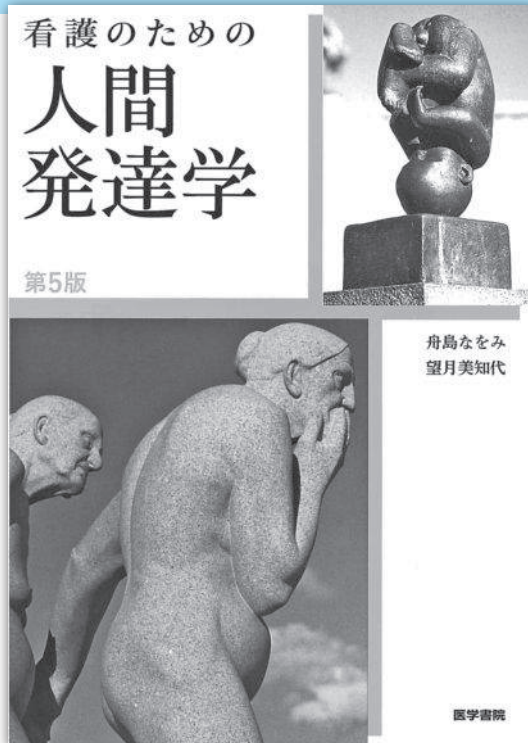
第Ⅰ部 人間発達学の概説

- 第1章 人間と発達
- 第2章 発達理論とその歴史的展開

第Ⅱ部 人間のライフサイクルと発達

- 第3章 胎児期の心と身体
- 第4章 乳幼児期の心と身体
- 第5章 学童期の心と身体
- 第6章 思春期の心と身体
- 第7章 青年期の心と身体
- 第8章 成人期の心と身体
- 第9章 老年期の心と身体

●B5 頁312 2017年
定価:本体 3,000円+税
[ISBN978-4-260-02875-2]



医学書院

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 [WEBサイト] <http://www.igaku-shoin.co.jp>
[販売部] TEL: 03-3817-5650 FAX: 03-3815-7804 E-mail: sd@igaku-shoin.co.jp

在宅看護論

在宅看護論

目標Ⅰ. 在宅看護における対象と基盤となる概念、安全と健康危機管理について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
1 在宅看護の対象と基盤となる概念	A 在宅看護の対象と背景	a 国民の価値観	基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 第1章 C-3 「在宅における看護」 (p.51~55) 老年看護学 : 第2章 「高齢社会と社会保障」 (p.22~68) 在宅看護論 : 第1章 A 「在宅看護の目ざすもの」 (p.10~16)、第2章 C-1 「在宅看護の対象者としての家族」 (p.39~40)、第5章 A-1 「療養者の多様な生活と価値観」 (p.112) 社会保障・社会福祉 : 第4章 A-1 「介護保険制度創設の背景」 (p.86)
		b 疾病がある者と家族	基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 第1章 B-2-2 「健康問題を持つ人とその家族への看護」 (p.40~45) 老年看護学 : 第7章 C-1 「介護家族の生活と健康」 (p.360~364)
		c 障害がある者と家族	在宅看護論 : 第2章 「在宅看護の対象者」 (p.26~50) 基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 第1章 C-3-1 「在宅における対象者と家族の健康上のニーズ」 (p.51~52) 老年看護学 : 第7章 C-1 「介護家族の生活と健康」 (p.360~364)
		d 疾病や障害がある者の社会参加	在宅看護論 : 第2章 「在宅看護の対象者」 (p.26~50) 老年看護学 : 第2章 A-5-4 「社会活動・社会参加」 (p.34~35) 在宅看護論 : 第1章 A 「在宅看護の目ざすもの」 (p.10~16)、第5章 B-2-1 「基本的な情報集の項目と情報の把握」 (p.118~119) 社会保障・社会福祉 : 第7章 A-2 「高齢者福祉の施策」 (p.163~167)、B-2 「障害者福祉の理念」 (p.174~177)、B-5 「障害者福祉の関連施策」 (p.186~195) リハビリテーション看護 : 第2章 C-3-7 「社会参加への援助」 (p.83~84)
	B 在宅療養を支援する仕組み	a 在宅医療・介護に関する仕組み	老年看護学 : 第2章 B-2-2 「介護保険制度の整備」 (p.39~48) 在宅看護論 : 第4章 「在宅看護にかかわる法令・制度とその活用」 (p.76~110) 社会保障・社会福祉 : 第4章 B 「介護保険制度の概要」 (p.91~112)
		b 地域包括ケアシステム	在宅看護論 : 第1章 B-1 「超高齢多死社会の進展と地域包括ケア」 (p.17~20) 老年看護学 : 第7章 A-3-3 「地域包括ケア」 (p.345~346) 公衆衛生 : 第7章 C-6 「地域の特定に応じた地域包括ケアシステム」 (p.197~200)
	C 在宅看護における権利の保障	a 在宅療養者の権利擁護〈アドボカシー〉(成年後見制度)	老年看護学 : 第2章 C-4-1 「成年後見制度」 (p.64~67) 在宅看護論 : 第5章 D-5 「成年後見」 (p.162~164) 社会保障・社会福祉 : 第4章 B-8 「利用者の権利擁護」 (p.111~112)
		b 虐待の防止	老年看護学 : 第2章 C-2 「高齢者虐待」 (p.54~60) 在宅看護論 : 第5章 D-6 「虐待の防止」 (p.165~166) 社会保障・社会福祉 : 第4章 B-8 「利用者の権利擁護」 (p.111~112)
		c 個人情報の保護と管理	在宅看護論 : 第5章 D-3 「個人情報の保護」 (p.159~162)、D-4 「個人情報等の情報の開示」 (p.162)
		d サービス提供者の権利の保護	在宅看護論 : 第5章 D-7 「サービス提供者の権利擁護」 (p.166~167)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	D 在宅療養者の自立・自律支援	a 価値観の尊重と意思決定支援	在宅看護論：第2章B「住まい方と健康」(p.36～39)、C-4-1「情報提供と意思決定支援」(p.47)、第3章B-1「患者・家族の意思決定支援と調整」(p.56～57)、C-2「自立・自律支援」(p.70～71)、第5章A-1「療養者の多様な生活と価値観」(p.112)
		b QOLの維持・向上	在宅看護論：第1章A-4「あらゆる面からQOLを考える」(p.14～16)、第3章C「在宅看護の基本となるもの」(p.69～72)
		c セルフケア	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第7章「健康生活の慢性的な揺らぎの再調整を促す看護」(p.206～219) 在宅看護論：第1章B-2「対象者のケアニーズに応じた在宅看護の提供」(p.20～23)、第3章C-2「自立・自律支援」(p.70～71)
		d 社会参加への援助	老年看護学：第2章A-5-4「社会活動・社会参加」(p.34～35) 在宅看護論：第1章A-4「あらゆる面からQOLを考える」(p.14～16)、第3章C「在宅看護の基本となるもの」(p.69～72)、第6章B-7「コミュニケーションの支援」(p.222～224) 社会保障・社会福祉：第7章A-2「高齢者福祉の施策」(p.163～167)、B-2「障害者福祉の理念」(p.174～177)、B-5「障害者福祉の関連施策」(p.186～195) リハビリテーション看護：第2章C-3-7「社会参加への援助」(p.83～84)
	E 在宅における病状・病態の経過の予測と予防	a 病状・病態の経過の予測	在宅看護論：第3章C-1「症状マネジメントとケア」(p.69)、第5章A-3「時間的な広がりへの着目」(p.113～114)
		b 予測に基づく予防	在宅看護論：第5章C「療養上のリスクマネジメント」(p.137～158)
		c 在宅での感染予防対策	在宅看護論：第5章C-5「感染の防止」(p.148～152)
	F 生活の場に応じた看護の特徴と看護の役割	a 外来看護	在宅看護論：第3章A-1「外来看護」(p.52～53)
		b 訪問看護	在宅看護論：第3章A-2「訪問看護」(p.53～54)
		c 入所施設での看護	在宅看護論：第3章A-3「施設での看護」(p.54～55)
		d 通所施設での看護	在宅看護論：第3章A-4「通所サービスでの看護」(p.55～56)
	G 在宅療養者の家族への看護	a 家族の介護力のアセスメントと調整	老年看護学：第7章C-2「介護家族への看護」(p.364～368) 在宅看護論：第2章C「家族」(p.39～50)、第5章B-2-3「情報の整理とアセスメントの展開方法」(p.121～131) 家族論・家族関係論：第5章「患者家族と在宅ケア」(p.138～166)
		b 家族関係の調整	在宅看護論：第2章C-4-4「家族関係の調整」(p.48) 家族論・家族関係論：第5章「患者家族と在宅ケア」(p.138～166)
		c ケア方法の指導	在宅看護論：第2章C-4-2「療養・介護指導」(p.47)
		d 介護者の健康	在宅看護論：第2章C-1-1「療養者と家族が"ともに生きる"ための支援」(p.40～41)、第5章B-2-3「情報の整理とアセスメントの展開方法」(p.121～131) 家族論・家族関係論：第5章D「患者家族への看護ケア」(p.160～166)
		e レスパイトケア	在宅看護論：第2章C-5-3「レスパイトケア」(p.49～50)
2 在宅看護における安全と健康危機管理	A 日常生活における安全管理	a 家屋環境の整備	在宅看護論：第5章B-2-3「情報の整理とアセスメントの展開方法」(p.121～131)、C-2「環境の整備による安全の確保」(p.139～145)
		b 転倒・転落の防止	老年看護学：第5章A-2「転倒のアセスメント」(p.151～158) 老年看護 病態・疾患論：第2章C-1「転倒・骨折」(p.63～67)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 誤嚥・窒息の防止	在宅看護論：第5章 C-2-1「転倒予防に関する教育と環境整備」(p.139)、C-2-2「転倒事故の予防」(p.140～141)、C-2-3「転落事故の予防」(p.141～142) 在宅看護論：第5章 C-2-5「窒息の予防」(p.143～144)、第6章 B-2「食生活・嚥下に関する在宅看護技術」(p.188～195) 看護の統合と実践 [2] (医療安全)：第4章 C「誤嚥事故防止」(p.168～174)
		d 熱傷・凍傷の防止	成人看護学 [12] (皮膚)：第5章 D-2-1「熱傷」(p.114～116)、D-3-1「凍傷」(p.116～117)、第6章 F-4「熱傷患者の看護」(p.212～214)
		e 熱中症の予防	在宅看護論：第5章 C-3「身体損傷の防止」(p.145) 老年看護 病態・疾患論：第2章 A-3「熱中症」(p.43～44) 在宅看護論：第5章 C-2-4「熱中症の予防」(p.142～143)
		f 閉じこもりの予防	老年看護 病態・疾患論：序章 NOTE「高齢者の閉じこもり」(p.5) 在宅看護論：第1章 B-2「対象者のケアニーズに応じた在宅看護の提供」(p.20～22)、第5章 B-4「移動・移乗に関する在宅看護技術」(p.200～210)、第6章 B-7「コミュニケーションの支援」(p.222～224)
		g 独居高齢者の防災	在宅看護論：第5章 C-2-6「火災の予防」(p.144～145)
	B 災害時における在宅療養者と家族の健康危機管理	a 在宅療養者・家族への防災対策の指導	在宅看護論：第5章 C-6「災害に対する準備と対応」(p.153～158) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章 E-6「慢性疾患患者に対する災害看護」(p.143～146)
		b 医療機関との連携による医療上の健康危機管理	在宅看護論：第5章 C-6「災害に対する準備と対応」(p.153～158) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章 E-6「慢性疾患患者に対する災害看護」(p.143～146)
		c 福祉機関との連携による生活上の健康危機管理	在宅看護論：第5章 C-6「災害に対する準備と対応」(p.153～158) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章 E-6「慢性疾患患者に対する災害看護」(p.143～146)
		d 行政(市町村・消防署・警察等)との連携	在宅看護論：第5章 C-6「災害に対する準備と対応」(p.153～158) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章 E-6「慢性疾患患者に対する災害看護」(p.143～146)
3 訪問看護の概要	A 訪問看護制度の理解	a 訪問看護の変遷	老年看護学：第7章 A-2-2「介護・医療ニーズの高い在宅高齢者への看護」(p.340～343) 在宅看護論：第4章 A「訪問看護制度の創設と発展経緯」(p.76～78)、付章 C「保健・医療・福祉の動向と訪問看護の歴史」(p.418～421)
		b 訪問看護の提供方法と種類	老年看護学：第7章 A-2-2「介護・医療ニーズの高い在宅高齢者への看護」(p.340～343)
		c 訪問看護制度の課題	在宅看護論：第4章 D「訪問看護の制度」(p.90～98) 在宅看護論：第1章 A「在宅看護の目ざすもの」(p.10～16)
	B 訪問看護制度の法的枠組み	a 介護保険法	老年看護学：第2章 B-2-2「介護保険制度の整備」(p.39～50) 在宅看護論：第4章 B-1「介護保険制度」(p.78～79)、C「介護保険制度」(p.84～91) 社会保障・社会福祉：第4章 B-5-3「居宅サービス」(p.96) 看護関係法令：第7章 A-4「介護保険法」(p.199～206)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 健康保険法	在宅看護論：第4章 B-2「医療保険制度」(p.80) 社会保障・社会福祉：第3章 C-2-3「訪問看護」(p.66～67) 看護関係法令：第7章 A-1「健康保険法」(p.191～196) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第7章 E-1-4「精神科看護の基本となる法律」(p.319～320) 在宅看護論：第4章 B-3「障害者総合支援法」(p.80～81) 社会保障・社会福祉：第7章 B-4-3「障害者総合支援法の成立」(p.182～186) 看護関係法令：第8章 D-2「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」(p.225～226)
	C 訪問看護サービスの仕組みと提供	a 訪問看護ステーションの開設基準	在宅看護論：第4章 D-2「訪問看護ステーションに関する規程」(p.94～95)
		b 訪問看護サービス開始までの流れ	在宅看護論：第4章 D-3「訪問看護の利用までの手順」(p.95～96)
		c 訪問看護サービスの展開	在宅看護論：第4章 D「訪問看護の制度」(p.90～109)
		d 訪問看護サービスの質保証	在宅看護論：第4章 E-3「訪問看護サービスの質保証」(p.99)
		e 訪問看護サービスの管理・運営	在宅看護論：第4章 E-2「訪問看護ステーションの管理・運営」(p.98～99)

目標Ⅱ．在宅療養者の特徴を理解し、病期や状況に応じて展開する在宅看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
4 在宅療養生活を支える看護	A 食事・栄養	a 食事摂取能力(嚥下・消化・吸収能力)	老年看護学：第5章 B-3「摂食・嚥下機能のアセスメント」(p.167～169) 在宅看護論：第6章 B-2-2「食生活・嚥下に関するアセスメント」(p.189～191) 栄養学：第9章 G-3「高齢者の在宅療養における栄養管理」(p.238～239)
		b 食事内容の選択、食材の調達の方法に関する援助	在宅看護論：第6章 B-2-3「食生活・嚥下への援助のポイント」(p.192～195) 栄養学：第9章 G-3「高齢者の在宅療養における栄養管理」(p.238～239) 栄養食事療法：第2章 A「病人食の分類と特徴」(p.14～23)
		c 栄養を補う食品の種類と選択方法に関する援助	在宅看護論：第6章 B-2-3「食生活・嚥下への援助のポイント」(p.192～195) 栄養学：第5章 C-19「特別用途食品」(p.103～104)、第9章 G-3「高齢者の在宅療養における栄養管理」(p.238～239) 栄養食事療法：第2章「栄養食事療法の実際」(p.14～30)
		d 食事摂取能力低下時の援助	老年看護学：第5章 B-4「食事に対する看護」(p.169～178) 老年看護 病態・疾患論：第2章 C-4「嚥下障害」(p.73～77) 在宅看護論：第6章 B-2-3「食生活・嚥下への援助のポイント」(p.192～195) 栄養学：第9章 F-8「咀嚼・嚥下障害患者の食事療法」(p.230～231) 栄養食事療法：第3章 F「摂食・嚥下障害」(p.40～43)
		e 口腔ケア	成人看護学 [15] (歯・口腔)：特論「口腔ケア」(p.256～274) 老年看護学：第5章 B-4-3「食後のケア」(p.174～178) 老年看護 病態・疾患論：第4章 M-2「口腔ケア」(p.251～254)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	B 排泄	a 排泄の状況と障害	在宅看護論：第6章 B-2-3「食生活・嚥下への援助のポイント」(p.192～195)、B-5-3「在宅における清潔の援助に関するポイント」(p.212～216) 老年看護学：第5章 C「排泄」(p.178～190) 老年看護 病態・疾患論：第2章 C-2「排尿障害(尿失禁)」(p.51～54) 在宅看護論：第6章 B-3-2「排泄に関するアセスメント」(p.196～197)
		b 排泄補助用具の種類と選択方法	老年看護学：第5章 C「排泄」(p.178～190) 在宅看護論：第6章 B-3-2「尿失禁の予防と工夫」(p.198～199)
		c 尿失禁の予防と援助	老年看護学：第5章 C「排泄」(p.178～190) 老年看護 病態・疾患論：第2章 C-2「排尿障害(尿失禁)」(p.67～71) 在宅看護論：第6章 B-3-2「尿失禁の予防と工夫」(p.198～199)
		d 便失禁の予防と援助	老年看護学：第5章 C「排泄」(p.178～190) 在宅看護論：第6章 B-3-6「便秘・便失禁の予防と工夫」(p.200)
		e 便秘の予防と援助	老年看護学：第5章 C「排泄」(p.178～190) 老年看護 病態・疾患論：第2章 C-3「便秘」(p.71～73) 在宅看護論：第6章 B-3-6「便秘・便失禁の予防と工夫」(p.200)
		f ストーマケア	成人看護学 [5] (消化器)：特論「ストーマケア」(p.452～470) 在宅看護論：第6章 C-3「ストーマ(人工肛門・人工膀胱)」(p.246～254)
	C 清潔	a 清潔の保持の状況	老年看護学：第5章 D「清潔」(p.190～204) 在宅看護論：第6章 B-5-2「清潔に関するアセスメント」(p.211～212)
		b 清潔の援助方法と自立支援	老年看護学：第5章 D「清潔」(p.190～204) 在宅看護論：第6章 B-5-3「在宅における清潔の援助に関するポイント」(p.212～216)
	D 移動	a 日常生活動作〈ADL〉・手段的日常生活動作〈IADL〉のアセスメント	老年看護学：第5章 A「日常生活を支える基本的活動」(p.138～150) 在宅看護論：第5章 B-2-3「情報の整理とアセスメントの展開方法」(p.121～131)、第6章 B-4-2「移動・移乗に関するアセスメント」(p.202～204)
		b 日常生活動作〈ADL〉・手段的日常生活動作〈IADL〉の維持および向上のための援助	老年看護学：第5章 A「日常生活を支える基本的活動」(p.138～150) 在宅看護論：第6章 B-4-3「在宅における移動・移乗の援助に関するポイント」(p.204～210)
		c 移動時の安全確保	老年看護学：第5章 A「日常生活を支える基本的活動」(p.138～150) 在宅看護論：第6章 B-4-3「在宅における移動・移乗の援助に関するポイント」(p.204～210)
		d 移動補助用具の種類と選択方法	老年看護学：第5章 A「日常生活を支える基本的活動」(p.138～150) 在宅看護論：第6章 B-4-3「在宅における移動・移乗の援助に関するポイント」(p.204～210)
5 在宅療養者の病期に応じた看護	A 日常生活動作〈ADL〉の低下および疾病の再発の予防が必要な療養者	a 日常生活のアセスメントと環境整備	老年看護学：第5章 A「日常生活を支える基本的活動」(p.138～150) 在宅看護論：第5章 B-2「情報収集とアセスメント」(p.117～131) リハビリテーション看護：第2章 C-2-2「日常生活活動(ADL)の評価」(p.61～67)
		b 在宅療養者と家族のセルフマネジメント力の維持・向上のための支援	在宅看護論：第2章 A-4-4「生活習慣病の予防や疾病の悪化防止の支援が必要な状態」(p.36)、C-4「家族への支援」(p.47～48)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 異常の早期発見と対応	リハビリテーション看護：第2章 C-3-2「セルフケアの援助」(p.71～73) 在宅看護論：第5章 C-1「在宅におけるリスクとは」(p.137～139)、第6章「在宅看護技術」(p.174～301)
		d 社会資源の活用・調整	リハビリテーション看護：第4章 A-6「再発作・転倒の予防と管理」(p.195～196) 在宅看護論：第4章 F「ケアマネジメントと社会資源の活用」(p.100～104)
	B 急性期にある療養者	a 緊急性と重症度のアセスメント	基礎看護学 [4] (臨床看護総論)：第2章 C「急性期における看護」(p.71～86) 老年看護学：第8章 B-1「救急を受診する高齢者の特徴」(p.382～383) 救急看護学：第3章 D「在宅療養における対応」(p.81～83)、第4章 B-3「在宅急変時における周囲の状況確認とスタンダードプリコーション」(p.98)
		b 状態に合わせた対応・調整	老年看護学：第8章 B-2「救命救急場面における看護師の役割」(p.384) 在宅看護論：第3章 B-3-2「入院時における連携」(p.66～67)、第4章 G-2「医師との連携」(p.106～107) 救急看護学：第3章 D「在宅療養における対応」(p.81～83)、第4章 B-3「在宅急変時における周囲の状況確認とスタンダードプリコーション」(p.98)
		c 急性症状への対応	基礎看護学 [4] (臨床看護総論)：第2章 C「急性期における看護」(p.71～86) 在宅看護論：第4章 G-2「医師との連携」(p.106～107) 救急看護学：第3章 D「在宅療養における対応」(p.81～83)、第4章 B-3「在宅急変時における周囲の状況確認とスタンダードプリコーション」(p.98)
		d 感染症(肺炎等)への対応	在宅看護論：第5章 C-5「感染の防止」(p.148～152) 救急看護学：第4章 B-3「在宅急変時における周囲の状況確認とスタンダードプリコーション」(p.98) 臨床薬理学：第4章 E「感染徴候がある者に対する薬物の臨時投与」(p.277～283)
	C 慢性期にある療養者	a 慢性期の特徴を踏まえた状態のアセスメント	基礎看護学 [4] (臨床看護総論)：第2章 D「慢性期における看護」(p.86～101) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第6章 A-5-2「在宅療養に対する援助」(p.238～239)、B-3「認知症患者の看護」(p.253～258) 在宅看護論：第7章 A-3「在宅療養安定期」(p.310～311)
		b 状態に合わせた対応・調整	基礎看護学 [4] (臨床看護総論)：第2章 D「慢性期における看護」(p.86～101) 在宅看護論：第2章 A-4-2「継続的な支援が必要な慢性的な療養状態」(p.34～35)
		c 急性増悪の早期発見と対応	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第6章 A-1-6「慢性病の急性増悪」(p.191～192) 在宅看護論：第6章「在宅看護技術」(p.174～301)、第7章 A-4「急性増悪期」(p.311～312)
		d 社会資源の活用・調整	在宅看護論：第4章 F「ケアマネジメントと社会資源の活用」(p.100～104)
	D 回復期(リハビリテーション期)にある療養者	a 在宅におけるリハビリテーション	老年看護学：第7章 B-2-1「回復期リハビリテーションとは」(p.352～353) 在宅看護論：第3章 A-4「通所サービスでの看護」(p.55～56)、第4章 G「地域における多職種連携」(p.104～105)
		b 生活機能・日常生活動作〈ADL〉のアセスメント	在宅看護論：第5章 B-2「情報収集とアセスメント」(p.117～131) リハビリテーション看護：第2章 C-2-2「日常生活活動(ADL)の評価」(p.61～67)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 状態に合わせた対応・調整	老年看護学：第5章 A「日常生活を支える基本的活動」(p.138～150) 在宅看護論：第2章 A-4-2「継続的な支援が必要な慢性的な療養状態」(p.34～35) リハビリテーション看護：第2章 C-3「援助方法」(p.70～84)
		d 合併症の予防と対応	在宅看護論：第2章 A-4-2「継続的な支援が必要な慢性的な療養状態」(p.34～35) リハビリテーション看護：各章「合併症の予防と管理」
		e 居住環境のアセスメントと対応・調整	老年看護学：第7章 B-2-1「回復期リハビリテーションとは」(p.352～353) 在宅看護論：第5章 B-2「情報収集とアセスメント」(p.117～131)
		f 社会資源の活用・調整	在宅看護論：第4章 F「ケアマネジメントと社会資源の活用」(p.100～104)
	E 終末期にある療養者	a 症状マネジメント	老年看護学：第6章 D「終末期における看護」(p.325～333) 在宅看護論：第2章 A-4-3「終末期ケアの必要な状態」(p.35～36)、第6章 B-8「在宅におけるエンドオブライフケア」(p.224～232) 緩和ケア：第7章「身体的ケア」(p.116～193)、第8章「精神的ケア」(p.196～233)
		b 終末期緩和ケアの実際	老年看護学：第6章 D「終末期における看護」(p.325～333) 在宅看護論：第6章 B-8「在宅におけるエンドオブライフケア」(p.224～232)
		c 看取りの援助	緩和ケア：第1章 C-3「在宅緩和ケア」(p.8～10) 老年看護学：第6章 D「終末期における看護」(p.325～333) 在宅看護論：第6章 B-8「在宅におけるエンドオブライフケア」(p.224～232)
		d 家族へのグリーフケア	老年看護学：第6章 D「終末期における看護」(p.325～333) 在宅看護論：第6章 B-8「在宅におけるエンドオブライフケア」(p.224～232) 公衆衛生：第7章 C-8「地域コミュニティによる支えとは」(p.205～207) 人間関係論：第8章 D「死別後の悲嘆プロセスを支える」(p.179～183) 緩和ケア：第11章 D「遺族ケア」(p.286～290)
	6 在宅療養において特徴的な疾病がある療養者への看護	A 小児の在宅療養者への看護	
		a 在宅療養継続のための療養者の健康危機管理	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論)：第2章 C「在宅療養中の子どもと家族の看護」(p.234～241) 在宅看護論：第2章 A-4-2「継続的な支援が必要な慢性的な療養状態」(p.34～35)
		b 療養者の自立支援と QOL の維持・向上(尊厳保持、成長、権利擁護〈アドボカシー〉を含む)のための在宅療養支援	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論)：第2章 C「在宅療養中の子どもと家族の看護」(p.234～241) 在宅看護論：第1章 A-4「あらゆる面から QOL を考える」(p.14～16)、第3章 C「在宅看護の基本となるもの」(p.69～72)
		c 在宅療養継続のための家族支援	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論)：第2章 C「在宅療養中の子どもと家族の看護」(p.234～241) 在宅看護論：第2章 C「家族」(p.39～50)、第7章 E「小児の療養者に対する在宅看護の事例展開」(p.344～355)
	B 認知症の在宅療養者への看護	a 在宅療養継続のための療養者の健康危機管理	在宅看護論：第2章 A-4-2「継続的な支援が必要な慢性的な療養状態」(p.34～35)、第6章 B-6「認知機能のアセスメント法と援助技術」(p.216～222)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 療養者の自立支援と QOL の維持・向上(尊厳保持、成長、権利擁護〈アドボカシー〉を含む)のための在宅療養支援	在宅看護論：第1章 A-4「あらゆる面から QOL を考える」(p.14～16)、第3章 C「在宅看護の基本となるもの」(p.69～72)
		c 在宅療養継続のための家族支援	在宅看護論：第2章 C「家族」(p.39～50)、第7章 D「認知症の療養者に対する在宅看護の事例展開」(p.334～343)
	C 精神疾患がある在宅療養者への看護	a 在宅療養継続のための療養者の健康危機管理	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第13章 D-3「再発の危機をのりこえる」(p.305～310) 在宅看護論：第2章 A-4-2「継続的な支援が必要な慢性的な療養状態」(p.34～35)
		b 療養者の自立支援と QOL の維持・向上(尊厳保持、成長、権利擁護〈アドボカシー〉を含む)のための在宅療養支援	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第13章 D-1「青年期の患者の地域生活を支える」(p.292～298)、D-2「複合的な問題をかかえた長期入院患者の退院を支援する」(p.298～305) 在宅看護論：第1章 A-4「あらゆる面から QOL を考える」(p.14～16)、第3章 C「在宅看護の基本となるもの」(p.69～72)
		c 在宅療養継続のための家族支援	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第13章 D-5「家族を支援する」(p.316～323) 在宅看護論：第2章 C「家族」(p.39～50)、第7章 J「統合失調症の療養者に対する在宅看護の事例展開」(p.400～408) 精神保健福祉：第5章 A-2「精神科領域における地域移行支援・地域生活支援とは」(p.128～132)、第5章 B-3「家族支援」(p.141～144)
	D 難病がある在宅療養者への看護	a 在宅療養継続のための療養者の健康危機管理	在宅看護論：第2章 A-4-2「継続的な支援が必要な慢性的な療養状態」(p.34～35) 公衆衛生：第7章 F-3-1「生活支援・療養支援」(p.239～243)
7 在宅における医療管理を必要とする人と看護	A 薬物療法	b 療養者の自立支援と QOL の維持・向上(尊厳保持、成長、権利擁護〈アドボカシー〉を含む)のための在宅療養支援	在宅看護論：第1章 A-4「あらゆる面から QOL を考える」(p.14～16)、第3章 C「在宅看護の基本となるもの」(p.69～72) 公衆衛生：第7章 F-3-1「生活支援・療養支援」(p.239～243)
		c 在宅療養継続のための家族支援	在宅看護論：第2章 C「家族」(p.39～50)、第7章 F「ALS で人工呼吸療法を実施する療養者の在宅看護の事例展開」(p.356～368)
	B 化学療法、放射線療法	a 服薬状況の把握と管理	在宅看護論：第5章 C-4-2「服薬の管理や残薬の確認」(p.147～148) 薬理学：第1章 B-2-4「服薬に関する患者指導」(p.12) 臨床薬理学：第1章 B-3-2「外来・在宅での医薬品の安全管理」(p.33～35)
		b 医師および薬剤師との連携	在宅看護論：第4章 G「地域における多職種連携」(p.104～109)、第5章 C-4-2「服薬の管理や残薬の確認」(p.147～148)
		c 糖尿病の管理	成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第6章 C-1-c-3「看護活動」(p.246～271) 臨床薬理学：第4章 C「インスリンの投与量の調整」(p.252～258)
	C 酸素療法	a 対象の特徴	基礎看護学 [4] (臨床看護総論)：第4章 B-2「化学療法を受ける患者・家族への看護援助」(p.263～268)、C-2「放射線療法を受ける患者・家族への看護援助」(p.275～278) 在宅看護論：第6章 C-9「外来がん治療の支援」(p.289～296)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 機器の種類と原理	在宅看護論：第6章 C-7「在宅酸素療法 (HOT)」(p. 276～281) 臨床外科看護総論：第3章 B-3「在宅酸素療法と在宅人工呼吸療法」(p.109) 成人看護学 [2] (呼吸器)：第4章 C-2-3「在宅酸素療法」(p.113～114)、第6章 D-2-2「在宅酸素療法」(p.252～254)
		c 合併症の予防	在宅看護論：第6章 C-7「在宅酸素療法 (HOT)」(p. 276～281) 成人看護学 [2] (呼吸器)：第4章 C-2-3「在宅酸素療法」(p.113～114)、第6章 D-2-2「在宅酸素療法」(p.252～254)
		d 安全管理と援助	在宅看護論：第6章 C-7「在宅酸素療法 (HOT)」(p. 276～281) 成人看護学 [2] (呼吸器)：第4章 C-2-3「在宅酸素療法」(p.113～114)、第6章 D-2-2「在宅酸素療法」(p.252～254) 在宅看護論：第6章 C-7「在宅酸素療法 (HOT)」(p. 276～281)
	D 人工呼吸療法 (非侵襲的換気療法)	a 対象の特徴	成人看護学 [2] (呼吸器)：第4章 C-3「人工呼吸療法」(p.114～119)、第6章 D-3「人工呼吸器を装着する患者の看護」(p.254～269) 在宅看護論：第6章 C-6「非侵襲的陽圧換気療法 (NPPV)」(p.271～276)
		b 人工呼吸器の原理・構造	成人看護学 [2] (呼吸器)：第4章 C-3「人工呼吸療法」(p.114～119)、第6章 D-3「人工呼吸器を装着する患者の看護」(p.254～269) 在宅看護論：第6章 C-6「非侵襲的陽圧換気療法 (NPPV)」(p.271～276)、C-8「在宅人工呼吸療法 (HMV)と排痰法」(p.282～289)
		c 気道浄化のケア	成人看護学 [2] (呼吸器)：第4章 C-3「人工呼吸療法」(p.114～119)、第6章 D-3「人工呼吸器を装着する患者の看護」(p.254～269) 在宅看護論：C-8「在宅人工呼吸療法 (HMV)と排痰法」(p.282～289)
		d 合併症の予防	成人看護学 [2] (呼吸器)：第4章 C-3「人工呼吸療法」(p.114～119)、第6章 D-3「人工呼吸器を装着する患者の看護」(p.254～269) 在宅看護論：第6章 C-6「非侵襲的陽圧換気療法 (NPPV)」(p.271～276)、C-8「在宅人工呼吸療法 (HMV)と排痰法」(p.282～289)
		e 在宅における安全管理と援助	成人看護学 [2] (呼吸器)：第4章 C-3「人工呼吸療法」(p.114～119)、第6章 D-3「人工呼吸器を装着する患者の看護」(p.254～269) 在宅看護論：第6章 C-6「非侵襲的陽圧換気療法 (NPPV)」(p.271～276)、C-8「在宅人工呼吸療法 (HMV)と排痰法」(p.282～289)
	E 膀胱留置カテーテル法	a 対象の特徴	在宅看護論：第6章 C-2「尿道留置カテーテル」(p.240～246)
		b 合併症の予防	在宅看護論：第6章 C-2「尿道留置カテーテル」(p.240～246)
		c 在宅における安全管理と援助	在宅看護論：第6章 C-2「尿道留置カテーテル」(p.240～246)
	F 胃瘻、経管・結腸栄養法	a 対象の特徴	成人看護学 [5] (消化器)：第6章 D-3「栄養療法・食事療法を受ける患者の看護」(p.311～319)、D-5「胃瘻・空腸瘻造設患者の看護」(p.329～332) 在宅看護論：第6章 C-4「経管栄養法」(p.254～265) 栄養学：第9章 B-1「経腸栄養法」(p.187～188)
		b 栄養剤の種類と特徴	在宅看護論：第6章 C-4「経管栄養法」(p.254～265) 栄養学：第9章 D「経腸栄養製品」(p.198～203)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 栄養評価	栄養食事療法：第2章 B-2「経管・経腸栄養法」(p.24～26) 在宅看護論：第6章 C-4「経管栄養法」(p.254～265) 栄養学：第7章「栄養状態の評価・判定」(p.128～146) 栄養食事療法：第2章 C「栄養アセスメントの基本」(p.26～30)
		d 合併症の予防	成人看護学 [5] (消化器)：第6章 D-3「栄養療法・食事療法を受ける患者の看護」(p.311～319)、D-5「胃瘻・空腸瘻造設患者の看護」(p.329～332) 在宅看護論：第6章 C-4「経管栄養法」(p.254～265) 栄養学：第9章 D-5「経腸栄養の合併症」(p.202～203)
		e 在宅における安全管理と援助	成人看護学 [5] (消化器)：第6章 D-3「栄養療法・食事療法を受ける患者の看護」(p.311～319)、D-5「胃瘻・空腸瘻造設患者の看護」(p.329～332) 在宅看護論：第6章 C-4「経管栄養法」(p.254～265)
	G 中心静脈栄養法	a 対象の特徴	成人看護学 [5] (消化器)：第6章 D-3「栄養療法・食事療法を受ける患者の看護」(p.311～319) 在宅看護論：第6章 C-5「在宅中心静脈栄養法(HPN)」(p.265～270) 栄養学：第9章 B-2「静脈栄養法」(p.188～189) 臨床外科看護総論：第3章 D-5-3「退院後の在宅栄養管理」(p.123)
		b 栄養剤の注入方法	在宅看護論：第6章 C-5「在宅中心静脈栄養法(HPN)」(p.265～270) 臨床薬理学：第4章 B-2「持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整」(p.243～251)
		c 栄養評価	在宅看護論：第6章 C-5「在宅中心静脈栄養法(HPN)」(p.265～270) 栄養学：第7章「栄養状態の評価・判定」(p.128～146)
		d 合併症の予防	在宅看護論：第6章 C-5「在宅中心静脈栄養法(HPN)」(p.265～270) 栄養学：第9章 E-2「静脈栄養の合併症」(p.204)
		e 在宅における安全管理と援助	成人看護学 [5] (消化器)：第6章 C-3-3「中心静脈栄養法」(p.306～307) 在宅看護論：第6章 C-5「在宅中心静脈栄養法(HPN)」(p.265～270)
	H 褥瘡管理	a 褥瘡発生のリスクアセスメントと予防	在宅看護論：第6章 C-1「褥瘡の予防とケア」(p.232～240)
		b 褥瘡のアセスメントと処置	成人看護学 [7] (脳・神経)：第6章 B-13「褥瘡の予防と看護」(p.301～306) 成人看護学 [12] (皮膚)：特論「褥瘡患者の看護」(p.245～266) 在宅看護論：第6章 C-1「褥瘡の予防とケア」(p.232～240)
		c 除圧・体位変換に関する器具の種類と選択	在宅看護論：第6章 C-1「褥瘡の予防とケア」(p.232～240)

目標Ⅲ. 地域包括ケアシステムにおける在宅看護の位置付けと看護の役割について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
8 療養の場の移行に伴う看護	A 医療機関との入退院時の連携	a 地域連携クリニカルパス	老年看護学：第7章 A-3-2「地域連携クリニカルパス」(p.344～345) 在宅看護論：第1章 B-2「対象者のケアニーズに応じた在宅看護の提供」(p.20～23)
		b 外来との連携	在宅看護論：第3章 B-2-b「退院支援のプロセスと退院支援に関するしくみ」(p.58～64)、B-3「入退院時における医療機関との連携」(p.64～67)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 病棟との連携	在宅看護論：第3章 B-2-b「退院支援のプロセスと退院支援に関するしくみ」(p.58～64)、B-3「入退院時における医療機関との連携」(p.64～67)
		d 退院支援部門との連携	在宅看護論：第3章 B-2-b「退院支援のプロセスと退院支援に関するしくみ」(p.58～64)、B-3「入退院時における医療機関との連携」(p.64～67)
		e 診療所との連携	在宅看護論：第3章 B-2-b「退院支援のプロセスと退院支援に関するしくみ」(p.58～64)、B-3「入退院時における医療機関との連携」(p.64～67)
	B 施設との入退所時の連携	a 介護保険施設等の公的施設との連携	在宅看護論：第3章 B-4「入退所時における施設との連携」(p.67～69)、第4章 G「地域における多職種連携」(p.104～109)
		b サービス付き高齢者向け住宅等の民間施設との連携	在宅看護論：第3章 B-4「入退所時における施設との連携」(p.67～69)、第4章 G「地域における多職種連携」(p.104～109)
9 地域包括ケアシステムにおける多職種連携	A 行政との連携	a 機関・職種の役割	在宅看護論：第4章 F-3「社会資源の活用」(p.102～103)、G「地域における多職種連携」(p.104～109)
		b 双方向で行う連携の目的と看護の役割	在宅看護論：第4章 G「地域における多職種連携」(p.104～109)
	B 地域包括支援センターとの連携	a 機関・職種の役割	在宅看護論：第4章 B「在宅看護にかかわる法令・制度」(p.78～84)、F-4「介護保険制度におけるケアマネジメント」(p.103～104)
		b 双方向で行う連携の目的と看護の役割	在宅看護論：第4章 G「地域における多職種連携」(p.104～109)
	C 居宅介護支援事業所との連携	a 機関・職種の役割	在宅看護論：第4章 D-3「訪問看護の利用までの手順」(p.95～96)、F-4「介護保険制度におけるケアマネジメント」(p.103～104)
		b 双方向で行う連携の目的と看護の役割	在宅看護論：第4章 G「地域における多職種連携」(p.104～109)
	D 介護サービス事業所との連携	a 機関・職種の役割	在宅看護論：第4章 C「介護保険制度」(p.84～90)
		b 双方向で行う連携の目的と看護の役割	在宅看護論：第3章 C-5「多職種協働」(p.72)、第4章 G「地域における多職種連携」(p.104～109)
	E 住民との連携	a ボランティア等の必要性と連携	在宅看護論：第1章 B-1「超高齢多死社会の進展と地域包括ケア」(p.17～20)、第4章 G-4「ネットワークづくり」(p.109)
10 在宅看護におけるケースマネジメント／ケアマネジメント	A 看護が担うケースマネジメント／ケアマネジメントの概念	a サービスの統合、ケアの継続性	在宅看護論：第4章 F「ケアマネジメントと社会資源の活用」(p.100～104)
		b 残存機能の維持、向上	在宅看護論：第3章 C-2「自立・自律支援」(p.70～71)
		c 多様化したニーズへの対応	在宅看護論：第1章 B-2「対象者のケアニーズに応じた在宅看護の提供」(p.20～23)
		d 意思決定支援	在宅看護論：第3章 C-4「権利擁護」(p.71～72)
	B ケースマネジメント／ケアマネジメントの過程	a ニーズのアセスメント	在宅看護論：第4章 F「ケアマネジメントと社会資源の活用」(p.100～104) 社会保障・社会福祉：第8章 B-2-2「アセスメント(事前評価)」(p.223)
		b ニーズに合わせたサービスの選択・計画	在宅看護論：第4章 F「ケアマネジメントと社会資源の活用」(p.100～104) 社会保障・社会福祉：第8章 B-2-3「援助計画の策定」(p.223～224)
		c サービスを結びつける調整	在宅看護論：第4章 F「ケアマネジメントと社会資源の活用」(p.100～104) 社会保障・社会福祉：第8章 B-2-3「援助計画の策定」(p.223～224)
		d 実施、モニタリング、評価、フィードバック	在宅看護論：第4章 F「ケアマネジメントと社会資源の活用」(p.100～104) 社会保障・社会福祉：第8章 B-2-4「援助計画の実施」(p.224)、B-2-5「モニタリング(結果評価)」(p.224)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	C 社会資源の理解と活用	a フォーマルサービスとインフォーマルサービス	老年看護学：第2章 B-1「高齢者とソーシャルサポート」(p.35～36) 在宅看護論：第4章 F「ケアマネジメントと社会資源の活用」(p.100～104) 社会保障・社会福祉：第8章 B-2-3「援助計画の策定」(p.223～224)

明るく楽しく、現場に即してのリスクアセスメント力育成トレーニング！

リスクアセスメント力が身につく 実践的医療安全 トレーニング

Web付録
付き

石川 雅彦 公益社団法人 地域医療振興協会・地域医療安全推進センター長
斉藤 奈緒美 公益社団法人 地域医療振興協会・医療安全課長

医療事故を未然に防ぐための「リスクアセスメント力」育成を図るため、「参加型」「具体的事例を活用」「職種横断的」トレーニングの24の具体例を掲載。実習前の準備から、MITT、HFMEAまで、医療安全の基本から実践まで幅広くカバー。そのまま研修、教育に活用でき、自分で読む形式でも医療安全のエッセンスが理解できる。実際に起きた事例をもとにした実践的内容。本書収載のパワーポイントのダウンロードサービス付。



● B5 頁288 2016年
定価：本体3,200円+税
[ISBN978-4-260-03012-0]

目次

第1章 医療安全の“実践力”を磨く — 知ること・関心をもつことから始まるリスクアセスメント

1. マニュアル遵守を促すトレーニング
2. “対話力”育成トレーニング
3. “病院の言葉”でコミュニケーションエラー未然防止トレーニング
4. “SBAR”活用による報告時の“アセスメント力”“提案力”育成トレーニング 他6項目

第2章 “いまさら聞けない”医療安全の基本 — 振り返りで気づきを深める

11. “気づき力”を育む「医療安全“ウォーリー”を探せ!」トレーニング
12. “なぜ・なぜ”分析リスクアセスメントトレーニング
13. “自ら考える力”を育む“なぜ”を深めるトレーニング
14. 実習前“リスクアセスメントマップ”作成トレーニング 他6項目

第3章 発展的リスクアセスメントトレーニング

21. PRAトレーニング①“状況判断・対応”トレーニング(基礎編)
22. PRAトレーニング②“状況判断・対応”トレーニング(上級編)
23. MITTを活用した体験から学ぶチームトレーニング企画(臨床編)
24. MITTを活用した体験から学ぶチームトレーニング企画(基礎編)



医学書院

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 [WEBサイト] <http://www.igaku-shoin.co.jp>
[販売部] TEL: 03-3817-5650 FAX: 03-3815-7804 E-mail: sd@igaku-shoin.co.jp

看護の統合と実践

看護の統合と実践

目標Ⅰ．看護におけるマネジメントの基本について理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
1 看護におけるマネジメント	A 看護マネジメントの概念	a 看護マネジメントの定義	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 6 章 D-1 「看護サービスの管理とはどのようなことか」 (p.255～257) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 1 章 A 「看護管理学とは」 (p.2～4)、C 「看護におけるマネジメント」 (p.6～13)
		b 看護組織と職務	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 6 章 D-3 「組織」 (p.260～267) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 3 章 B 「組織目的達成のマネジメント」 (p.80～86)
		c 組織経営と看護	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 6 章 D 「看護サービスの管理」 (p.255～276) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 3 章 B 「組織目的達成のマネジメント」 (p.80～86)
	B 医療・看護の質保証	a 医療・看護の質と指標	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 1 章 B-2 「看護実践とその質保障に必要な要件」 (p.33～46)、第 6 章 E 「医療安全と医療の質保証」 (p.276～287) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 3 章 I-1 「医療におけるサービスの質の評価」 (p.145～147) クリティカルケア看護学 : 第 7 章 A-2 「看護ケアの質の保証」 (p.226～227)
		b 病院機能評価	看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 3 章 I-2 「わが国における医療機能の評価」 (p.148)
		c 医療・看護の標準化とクリニカルパス	看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 2 章 E 「看護業務の実践」 (p.60～73)、D-Column 「クリティカルパスとチーム医療」 (p.52)
		d 看護業務管理、看護の交代勤務	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 6 章 D-2 「看護管理システム」 (p.257～259)、D-5 「人的資源の管理」 (p.270～276) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 3 章 C 「看護サービス提供のしくみづくり」 (p.87～96)
		e 看護業務基準、看護手順	看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 2 章 E-2 「看護基準と看護手順」 (p.61～62)
		f 看護制度、看護提供システム	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 6 章 C-4-2 「診療報酬制度における看護サービスの評価」 (p.249～255)、D-3-3 「看護部組織」 (p.264～267) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 3 章 C 「看護サービス提供のしくみづくり」 (p.87～96)、第 4 章 「看護を取り巻く諸制度」 (p.152～179)
		g 診療報酬制度	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 6 章 C-3 「看護サービスと経済のしくみ——診療報酬と人員配置」 (p.243～247) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 4 章 D-3 「看護ケアの対価」 (p.175～179) 社会保障・社会福祉 : 第 3 章 E-2 「診療報酬と薬価基準」 (p.77～79)
		h 重症度、医療・看護必要度	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 6 章 C-4-2 「診療報酬制度における看護サービスの評価」 (p.249～255) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 4 章 D-3 「看護ケアの対価」 (p.175～179)
	C 保健医療の機能分化と連携	a 看護の専門性と多職種連携	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 1 章 C-4 「多職種チームとしての情報共有と継続的かわり」 (p.56～59)、第 6 章 B-1 「看護サービスの担い手とチーム医療」 (p.215～217)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 病床機能報告	看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 3 章 D 「チーム医療」 (p.50~59)、第 4 章 B 「看護職」 (p.153~169) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 4 章 B-3-3 「医療法」 (p.158~160) 社会保障・社会福祉 : 第 2 章 B-1-3 「課題と改革の方向——社会保障と税の一体改革」 (p.45~46) 看護関係法令 : 第 3 章 A-13 「病床の機能分化, 連携の推進」 (p.70~71)
		c 医療計画	看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 4 章 B-3-3 「医療法」 (p.158~160) 社会保障・社会福祉 : 第 2 章 B-2-1 「医療提供体制の特色と課題」 (p.47) 看護関係法令 : 第 3 章 A-12 「医療計画など医療提供体制の確保」 (p.69~7)
		d 継続看護、入・退院調整	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 6 章 B-2-3 「継続看護」 (p.229~232)
		e 地域包括ケアシステム	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 6 章 B-2-3 「継続看護」 (p.229~232) 在宅看護論 : 第 1 章 B-1 「超高齢多死社会の進展と地域包括ケア」 (p.17~20) 公衆衛生 : 第 7 章 C-6 「地域の特定に応じた地域包括ケアシステム」 (p.197~200)
	D 情報のマネジメント	a 医療情報の利活用	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 1 章 C 「看護の継続性と情報共有」 (p.48~62) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 2 章 E-3 「情報の活用」 (p.62~69) 社会保障・社会福祉 : 第 2 章 B-2-2 「健康づくり対策の展開」 (p.47~48) 看護情報学 : 第 3 章 「保健医療と情報」 (p.40~62)、第 5 章 「医療における情報システム」 (p.90~128) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 3 章 G-5 「情報開示への対応」 (p.134~135)
		b 情報の公開	在宅看護論 : 第 5 章 D-3 「個人情報の保護」 (p.159~162)、D-4 「個人情報等の情報の開示」 (p.162) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 3 章 G 「情報のマネジメント」 (p.128~135)
		c 個人情報の保護と管理、診療情報等の開示	看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 2 章 E-3-6 「情報システムを用いた記録」 (p.68~69)
		d 診療記録等の電子化と医療情報システム	
	E 医療安全のマネジメント	a 安全管理体制整備と医療安全文化の醸成	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 6 章 E 「医療安全と医療の質保証」 (p.276~287) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 2 章 C 「安全管理」 (p.25~50) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 序章 「医療安全を学ぶことのたいせつさ」 (p.2~6)、第 7 章 A 「組織としての医療安全対策」 (p.216~224) クリティカルケア看護学 : 第 7 章 B 「クリティカルケア看護と安全管理」 (p.229~235)
		b 医療事故・インシデントレポートの分析と活用	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 6 章 E-5 「医療事故防止対策としてのインシデントレポートの活用」 (p.284~286) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 2 章 C-2 「医療事故対策」 (p.30~50) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第 7 章 A-3-3 「事故やヒヤリ・ハット報告によるリスクの把握・分析・対策体制の確立」 (p.219~224)
		c 多重課題の特徴と対応	看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 2 章 E-4-2 「優先順位の決定」 (p.72) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第 5 章 B 「間違いを誘発するタイムプレッシャーと途中中断」 (p.195~197)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	F 人材育成・活用	a 継続教育、キャリア開発	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 4 章 C-2 「継続教育」 (p.160~162)、C-4 「看護職のキャリア開発」 (p.165) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 3 章 D-1 「キャリアディベロップメント」 (p.97~104)、第 5 章 B-6-2 「継続教育」 (p.167)
		b 認定・専門看護師の資格と活動	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 4 章 C-3 「専門看護師・認定看護師・認定看護管理者」 (p.163~165) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 5 章 B-6-3 「専門看護師制度・認定看護師制度」 (p.168)
		c 特定行為に係る看護師の研修制度	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 4 章 D-2 「『特定行為に係る看護師の研修制度』の開始」 (p.173~176) 在宅看護論 : 第 4 章 G-2-4 「特定行為に係る看護師の研修制度」 (p.107) 看護関係法令 : 第 2 章 A-6 「研修」 (p.30) 臨床薬理学 : 序章 3 「薬物治療における看護師の役割拡大」 (p.3)
		d 看護師等の確保、就業継続、看護師等の届出制度	看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 4 章 B-3 「看護師等の人材確保の促進に関する法律」 (p.157) 看護関係法令 : 第 2 章 B 「看護師等の人材確保の促進に関する法律」 (p.47~50)
		e 看護師等の労働安全衛生	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 4 章 D-5-3 「看護管理と労働安全衛生」 (p.275~276) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 2 章 D-3 「労働環境」 (p.110~117)
	G 看護政策と行政	a 看護政策立案の過程	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 6 章 C-2 「看護政策——法をつくり、実行するしくみとその過程」 (p.240~243) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 4 章 D-4 「看護政策と制度」 (p.179~182)
		b 看護行政の組織と役割	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 6 章 C-2-3 「看護サービスにかかわる行政のしくみ」 (p.241~243) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 4 章 D-4 「看護政策と制度」 (p.179~182)

目標Ⅱ. 災害看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
2 災害と看護	A 災害医療	a 災害の特徴	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 7 章 B-1 「災害看護の概念と構造」 (p.320~323) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 3 章 H-2 「災害対策」 (p.138~145) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第 2 章 B 「災害医療の基礎知識」 (p.16~61) 公衆衛生 : 第 10 章 B-1 「災害の定義」 (p.331)、B-2 「災害時の問題」 (p.332) 救急看護学 : 第 1 章 C-3-4 「災害時の医療」 (p.36~37)、C-3-5 「災害看護」 (p.37~38)
		b 災害と法制度	看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第 2 章 B-6 「災害看護と法律」 (p.48~55) 公衆衛生 : 第 10 章 B-3-1 「災害対策の法体制」 (p.332~333) 看護関係法令 : 第 3 章 D-5-2 「災害時の医療に関する法」 (p.116~118)
		c 災害時の支援体制と医療体制	看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第 2 章 B 「災害医療の基礎知識」 (p.16~61) 公衆衛生 : 第 10 章 B-3-2 「代表的な災害医療の概要」 (p.333~335)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	B 災害の種類と特徴	a 自然災害	救急看護学：第1章 C-3-4「災害時の医療」(p.36～37)、C-3-5「災害看護」(p.37～38)、第3章 F「災害時における対応」(p.86～93) 基礎看護学 [1] (看護学概論)：第7章 B-1-2「災害の概念」(p.321～322)、B-2-1「災害が人々の健康に及ぼす影響」(p.323～326) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章 B-2「災害の種類と健康障害」(p.16～28)
		b 人為的災害	救急看護学：第1章 C-3-1「災害の定義と分類」(p.35) 基礎看護学 [1] (看護学概論)：第7章 B-1-2「災害の概念」(p.321～322)、B-2-1「災害が人々の健康に及ぼす影響」(p.323～326) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章 B-2「災害の種類と健康障害」(p.16～28)
		c 特殊災害	救急看護学：第1章 C-3-1「災害の定義と分類」(p.35) 基礎看護学 [1] (看護学概論)：第7章 B-1-2「災害の概念」(p.321～322) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章 B-2「災害の種類と健康障害」(p.16～28)
		d 複合災害	救急看護学：第1章 C-3-1「災害の定義と分類」(p.35) 基礎看護学 [1] (看護学概論)：第7章 B-1-2「災害の概念」(p.321～322) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章 B-2「災害の種類と健康障害」(p.16～28)
	C 災害各期の看護	a 災害看護の特徴	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第7章 B-1-3「災害看護とは」(p.321～323) 在宅看護論：第4章 D-3「災害時の在宅看護」(p.115～119) 看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第3章 H-2「災害対策」(p.138～145) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章 C「災害看護の基礎知識」(p.61～77)、D「災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護」(p.77～126)、E「被災者特性に応じた災害看護の展開」(p.126～149)
		b 災害各期(超急性期・急性期・慢性期・静穏期)の特徴	救急看護学：第1章 C-3-5「災害看護」(p.37～38) 基礎看護学 [1] (看護学概論)：第7章 B-3「災害サイクルにそった看護活動」(p.326～333)、B-4「心理的回復の過程」(p.333～334)、B-6「災害への備えとそのシステム」(p.335～338) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章 B-3-3「災害サイクルから考える災害医療」(p.32～35)、D「災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護」(p.77～126) 公衆衛生：第10章 B-4「災害サイクル」(p.335～336)
		c 各期における保健医療の役割と看護	救急看護学：第1章 C-3-3「災害サイクル」(p.35～36) 基礎看護学 [1] (看護学概論)：第7章 B-3「災害サイクルにそった看護活動」(p.326～333)、B-4「心理的回復の過程」(p.333～334)、B-6「災害への備えとそのシステム」(p.335～338) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章 B-3-3「災害サイクルから考える災害医療」(p.32～35)、D「災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護」(p.77～126)、第3章「地震災害看護の展開」(p.167～208) 公衆衛生：第10章 B-4「災害サイクル」(p.335～336) 救急看護学：第1章 C-3-5「災害看護」(p.37～38)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d 各期における要援護者への看護	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 7 章 B-3 「災害サイクルにそった看護活動」 (p.326～333)、B-4 「心理的回復の過程」 (p.333～334)、B-6 「災害への備えとそのシステム」 (p.335～338) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第 2 章 E 「被災者特性に応じた災害看護の展開」 (p.126～149) 救急看護学 : 第 1 章 C-3-5 「災害看護」 (p.37～38)

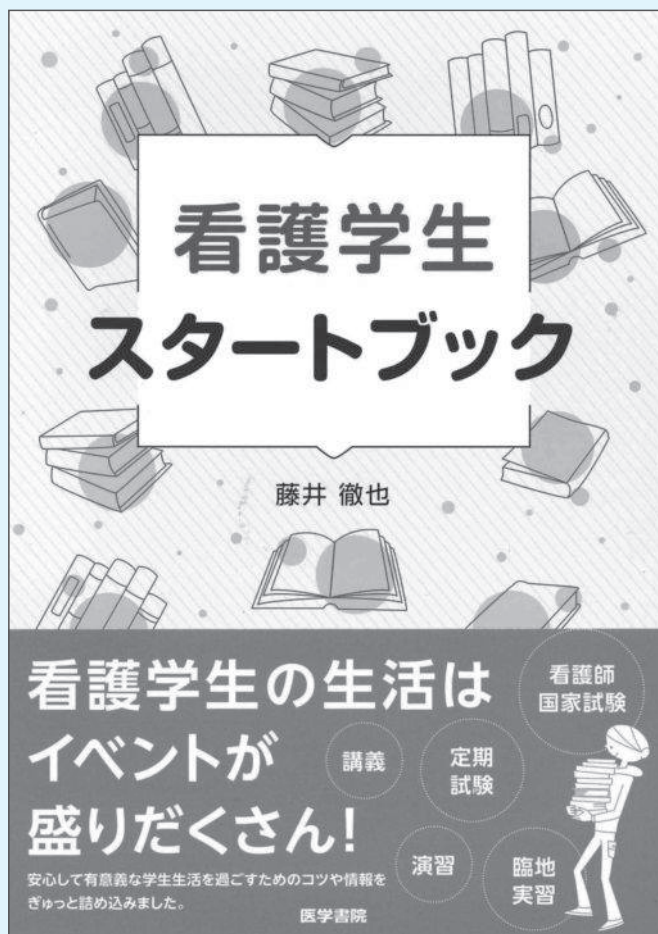
目標Ⅲ. グローバル化を視野に入れた国際社会における看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
3 国際化と看護	A 看護における国際化の視点	a グローバル化と世界共通の健康目標	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 7 章 A-1 「国際看護学とはなにか」 (p.290～291)、A-1-2 「国際看護学の2つの視点」 (p.291～292)、A-5-1 「プライマリヘルスケアとヘルスプロモーション」 (p.307～308) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第 1 章 A 「看護とグローバル化した社会」 (p.2～3)、第 4 章 B 「グローバルヘルス」 (p.220～228) 公衆衛生 : 第 5 章 E 「国際保健の共通目標」 (p.117～119)
		b グローバル化と人間の安全保障	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 7 章 A-5-2 「人間の安全保障」 (p.308) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第 1 章 A 「看護とグローバル化した社会」 (p.2～3)、第 4 章 B-1-4 「人間の安全保障」 (p.222～223)
		c 国家・地域間の健康格差	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 7 章 A-3 「健康と保健医療の世界的課題」 (p.293～300) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第 4 章 A 「国際看護学とは」 (p.210～220)、F 「開発協力と看護」 (p.251～272) 公衆衛生 : 第 5 章 B 「経済格差と健康格差」 (p.112～113)、C 「健康格差の解消のために」 (p.113～115)
		d 国際保健における日本の役割	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 7 章 A-4 「国際協力のしくみ」 (p.300～307) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第 4 章 A 「国際看護学とは」 (p.210～220)、C 「国際協力のしくみ」 (p.228～237) 公衆衛生 : 第 5 章 F 「国際保健と日本」 (p.119～121)
		e 諸外国の看護制度	看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第 4 章 A-2-5 「看護の国際組織と国際交流」 (p.220)、C 「国際協力のしくみ」 (p.228～237)、D-3 「看護師の国際的な移動」 (p.244～246)
	B 国際社会における看護の対象	a 在留外国人	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 7 章 A-7 「日本に在留する外国人の看護」 (p.311～317) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第 4 章 A-2-4 「文化を考慮した看護」 (p.219～220)、D 「文化を考慮した看護」 (p.237～246)
		b 在外日本人	看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第 4 章 A-2-4 「文化を考慮した看護」 (p.219～220)、D 「文化を考慮した看護」 (p.237～246)
		c 帰国日本人	看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第 4 章 A-2-4 「文化を考慮した看護」 (p.219～220)、D 「文化を考慮した看護」 (p.237～246)
		d 国際協力活動を必要とする人々・地域・組織	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 7 章 A-2 「開発途上国の定義」 (p.292～293)、A-3 「健康と保健医療の世界的課題」 (p.293～300) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第 4 章 C 「国際協力のしくみ」 (p.228～237)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	C 多様な文化と看護	a 文化を考慮した看護	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 7 章 A-8 「異文化理解」 (p.317~320) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 6 章 H 「国際化社会と看護」 (p.308~315) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第 4 章 A-2-4 「文化を考慮した看護」 (p.219~220)、D 「文化を考慮した看護」 (p.237~246)
		b 在留外国人の保健医療課題と看護	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 7 章 A-7 「日本に在留する外国人の看護」 (p.311~317) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第 4 章 A-2-4 「文化を考慮した看護」 (p.219~220)、D 「文化を考慮した看護」 (p.237~246)
	D 国際協力活動と看護	a 国際機関の役割	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 7 章 A-4-1 「国連 (UN)」 (p.300~304)、A-4-3 「非政府組織 (NGO)」 (p.306~307) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第 4 章 C 「国際協力のしくみ」 (p.228~237) 公衆衛生 : 第 5 章 D 「国際保健の担い手」 (p.115~117) 救急看護学 : 第 1 章 C-3-7 「国際緊急援助」 (p.39)
		b 国際協力活動において看護が果たす役割	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 7 章 A-4 「国際協力のしくみ」 (p.300~307)、A-6 「国際看護活動の展開」 (p.309~311) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第 4 章 E 「国際看護活動の展開過程」 (p.246~250)、F 「開発協力と看護」 (p.251~272)、G 「国際救援と看護」 (p.272~300)
		c 政府開発援助 (ODA) を通じた開発途上国援助	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第 7 章 A-4-2 「政府開発援助」 (p.304~306) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第 4 章 C-3-1 「政府開発援助 (ODA)」 (p.234~235)、F 「開発協力と看護」 (p.251~272)、G 「国際救援と看護」 (p.272~300) 公衆衛生 : 第 5 章 F 「国際保健と日本」 (p.119~121)

目標Ⅳ. 複合的な事象において看護の知識を統合し活用できる判断能力を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
4 各領域 (A ~ J) の看護の統合	A 基礎看護学 B 成人看護学 C 老年看護学 D 母性看護学 E 小児看護学 F 精神看護学 G 在宅看護論 H 看護におけるマネジメントの基本 I 災害と看護 J 国際化と看護		基礎看護学 [1] ~ [3] 成人看護学 [1] ~ [15] 老年看護学、老年看護 病態・疾患論 母性看護学 [1] ~ [2] 小児看護学 [1] ~ [2] 精神看護学 [1] ~ [2] 在宅看護論 看護の統合と実践 [1] (看護管理) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)



講義に演習、定期試験、臨地実習、さらには看護師国家試験まで、学生生活にはたくさんのイベントが待ち受けています。本書では、入学時から看護学生として知っていてほしいこと、身につけてほしい学びの技術について、ポイントを挙げて解説しています。初年次の看護学生の不安にこたえる1冊です。

目次

- 第1章 新生活スタート!
- 第2章 授業が始まったら
- 第3章 資料の集め方・読み方
- 第4章 レポートはこれで書ける!
- 第5章 定期試験が始まった!
- 第6章 臨地実習で慌てないために
- 終章 充実した学生生活を送るために

入学したら、まずはこの1冊!

看護学生 スタートブック

藤井徹也 聖隷クリストファー大学看護学部・教授

●A5 頁112 2017年 定価：本体1,200円＋税 [ISBN978-4-260-03011-3]



医学書院

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 [WEBサイト] <http://www.igaku-shoin.co.jp>
[販売部] TEL: 03-3817-5650 FAX: 03-3815-7804 E-mail: sd@igaku-shoin.co.jp

看護データブック

第5版

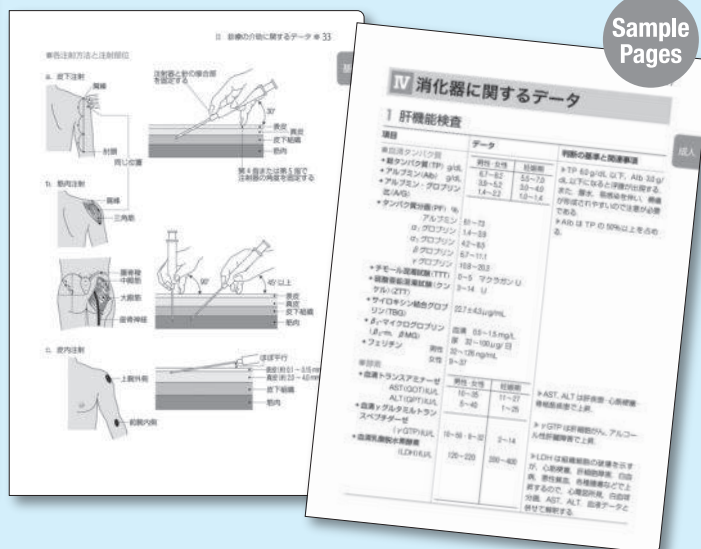
〔編集〕 神田清子 群馬大学大学院保健学研究科・教授
二渡玉江 群馬大学大学院保健学研究科・教授

臨地実習でも国家試験の勉強でも役に立つ



●B6 頁404 2017年
定価:本体1,800円+税 [ISBN978-4-260-02874-5]

本書では、看護に必要な検査値などの数値やアセスメントの基準を網羅しつつ、データの解釈や判断の基準などを簡潔に示している。今般第5版では、全体的にデータを更新するとともに、「がん看護学」のデータを充実させた。臨地実習や国家試験の勉強で参考になる1冊。



目次

基礎看護学に関するデータ
成人看護学に関するデータ
老年看護学に関するデータ
小児看護学に関するデータ

母性看護学に関するデータ
精神看護学に関するデータ
在宅看護に関するデータ
周手術期看護に関するデータ

救急看護学・クリティカルケアに関するデータ
がん看護学に関するデータ
リハビリテーション看護に関するデータ
保健・医療に関するデータ



医学書院

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 [WEBサイト] <http://www.igaku-shoin.co.jp>
[販売部] TEL: 03-3817-5650 FAX: 03-3815-7804 E-mail: sd@igaku-shoin.co.jp

アクティブラーニング をこえた 看護教育を実現する

著 鈴木 敏恵
シンクタンク未来教育ビジョン代表

与えられた学びから
意志ある学びへ

創造的に、アクティブに、
自らの力で未来に向かうことのできる
看護師の育成のために

インターネットが普及し、人工知能時代の到来を前に、「正解のない問題に自ら立ち向かえる力」を育成することが、ますます求められている。看護師であれば、最新の知識・技術を学び続ける力、コミュニケーション力や情報化へ対応する力などを強化することも必要である。本書では、看護師自らが考え、能動的に動くために必要なことは何かを主眼に、アクティブラーニングをこえた多くの実践的かつ有効な教育方法を紹介。

■ B5 頁248 2016年
定価：本体3,600円+税
[ISBN978-4-260-02385-6]

アクティブラーニングをこえた
看護教育を実現する

与えられた学びから 意志ある学びへ

鈴木敏恵

講義・演習・実習で「自ら考える力」を
グンと高める！

看護の課題発見から課題解決の思考プロセス

自律的な学びを実現する「実習ポートフォリオ」

基礎看護・地域看護・キャリアデザインのスラバスモデル

新しいカリキュラム構想と状況設定問題

知識と現実を結ぶ「ライフタイムマトリックス」「リアル10」

さあ、看護教育イノベーションの扉を開こう！

医学書院

目次

- I章 さあ看護教育を新しく魅力的にしよう！
- II章 学び続ける看護師になる新しい3つの教育手法
- III章 思考リテラシーの修得
- IV章 アクティブな看護教育へ
ープロジェクト学習の導入と実践
- V章 新しい看護教育 へー 講義・演習・実習
- VI章 自律的な学びを実現する「実習ポートフォリオ」
- VII章 新しいカリキュラムを構想するために



医学書院

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 [WEBサイト] <http://www.igaku-shoin.co.jp>
[販売部] TEL: 03-3817-5650 FAX: 03-3815-7804 E-mail: sd@igaku-shoin.co.jp

教育の効果を高めたい！
これからの看護教育を担うすべての指導者必読の1冊

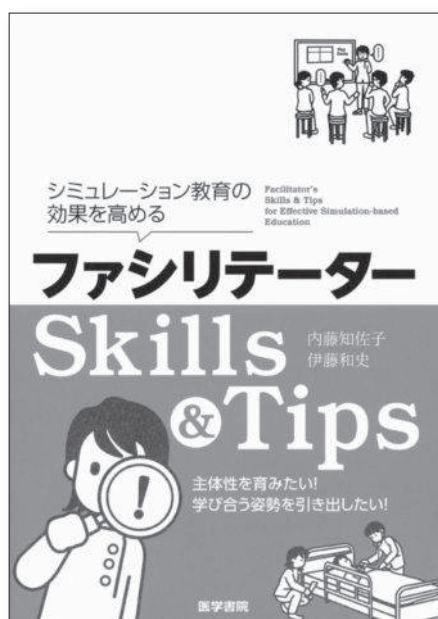
シミュレーション教育の
効果を高める

Facilitator's
Skills & Tips
for Effective Simulation-based
Education

ファシリテーター Skills & Tips

内藤知佐子 京都大学附属病院総合臨床教育・研修センター助教

伊藤和史 京都大学医学教育推進センター／京都大学附属病院総合臨床教育・研修センター特任准教授



講義・実習・OJT など日常のあらゆる
指導場面に使える！

主体的に学ぶ人材を育成するには——準備段階から振り返り(シナリオ作成～デブリーフィング)まで、年間300以上のシミュレーションを行う著者による指導者のためのスキルとコツが満載。アクティブラーニングに関するキーワードは、実際の活用法のみならず知識としてコラムで解説。「つい、誘導してしまう」「思うように動いてくれない」というお悩みに答えてくれる1冊。

● A5 頁264 2017年
定価：本体2,600円＋税 [ISBN978-4-260-03014-4]

目次

Prologue 学習者の主体性を引き出す指導者像

Chapter 1 シナリオ作成

シナリオ作成の手順とスキル活用マップ

シナリオサンプル

シナリオ作成に必要なスキル

Chapter 2 ブリーフィング

ブリーフィングの手順とスキル活用マップ

ブリーフィングに必要なスキル

Chapter 3 セッション

セッションの手順とスキル活用マップ

セッションに必要なスキル

Chapter 4 デブリーフィング

デブリーフィングの手順とスキル活用マップ

デブリーフィングに必要なスキル

Epilogue ファシリテーターの質向上のために

付録 アイスブレイク集



医学書院

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 [WEBサイト] <http://www.igaku-shoin.co.jp>
[販売部] TEL: 03-3817-5650 FAX: 03-3815-7804 E-mail: sd@igaku-shoin.co.jp

系統別

10年分を超える過去問題、模擬問題、解答・解説、参考資料を収録した国試の総合データベース
教員の問題集作成から学生の勉強まで、総合的にサポートします。

看護師 国家試験問題 保健師 国家試験問題

WEB法人サービス



オンラインで 国試対策問題集を 作成・解答！

- 2005～2017年国試過去問題・オリジナル模擬問題、およびその解答・解説を収録。
(オリジナル模擬問題は、看護師国家試験問題のみ)
- 書籍版「系統別看護師国家試験問題集」と同様、「国試でるでたBOOK」なども収録。問題を解きながら重要事項を参照できます。
- 約2,400問の試験問題データベースから、任意の条件で抽出した「オリジナル問題集」を簡単に作成できます。作成した問題集はプリントアウトできるだけでなく、パソコンまたはスマートデバイスで学生に解答させることもできます。

詳細は医学書院のオンラインサービスサイト
"IGAKU-SHOIN Library"をご覧ください

www.islib.jp

① フルプラン (学生が学外でも利用できるプラン)

学内外を問わず利用可能。
いつでもどこでも国試対策に取り組みます。

内容 教員用アプリ(同時起動無制限)
+
学生用アプリ(同時起動無制限)

対象 教員の利用および学内外での学生の利用

価格 看護師 + 保健師 1年間 本体450,000円+税

② 教員プラン

内容 教員用アプリのみ(同時起動3台まで)

対象 教員の利用

価格 看護師のみ 1年間 本体48,000円+税

看護師 + 保健師 1年間 本体90,000円+税

③ 施設小規模プラン (図書館での利用に便利)

内容 教員用アプリ(同時起動3台まで)
+
学生用アプリ(同時起動3台まで、学内のみ)

対象 教員の利用および
図書館などでの学生の利用

価格 看護師のみ 1年間 本体54,000円+税

看護師 + 保健師 1年間 本体102,000円+税

④ 施設大規模プラン (授業での利用に便利)

内容 教員用アプリ(同時起動3台まで)
+
学生用アプリ(同時起動無制限、学内のみ)

対象 教員の利用および
図書館などでの学生の利用
授業等で一度に大人数の学生の利用

価格 看護師のみ 1年間 本体240,000円+税

看護師 + 保健師 1年間 本体300,000円+税

プラン③④については、「スマートオプション」をお申し込みいただくと、学生用アプリが学外でも利用できるようになります。「スマートオプション」に関しては、左記Webサイトをご参照ください。



医学書院

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 [WEBサイト] <http://www.igaku-shoin.co.jp>
[販売部] TEL: 03-3817-5650 FAX: 03-3815-7804 E-mail: sd@igaku-shoin.co.jp

国試対策の決定版!
必修問題・過去問題・模擬問題・参考書がこの1冊に



この1冊で
合格!

看護師

国家試験問題集

必修問題 / 過去問題 / 国試でできたBOOK

2018 年版

『系統看護学講座』編集室編

●B5 頁1816 2017年 定価：本体5,400円＋税
[ISBN978-4-260-03040-3]

1冊で4つの国試対策。これで絶対合格!

① 必修対策ができる!



●11年分の
必修問題＋
精選・予想問題
560問 収載!

●出題基準に沿った配列で
効率よく学べます。

② 知識の整理ができる!



- 国試の頻出・重要事項を
まとめ、知識を整理
できるようにしました。
- よく出る「統計データ」と
「計算問題」について、
カラーで図解しました。

③ 過去問題を豊富に収載

④ 模擬問題で得点力アップ!

- 最新6年分(第101～106回)の全問題を収載。
- 「系統看護学講座」執筆者を中心とした
解説陣が全問題を詳しくていねいに解説。
- 理解をたすけるイラストや表を豊富に掲載。
- テーマ別の配置により、問題を解きながら
出題傾向をつかむことができます。
- 本番形式のオリジナル模擬問題で
実力をチェックしながら得点力が身につきます。



2018 年版

保健師

国家試験問題集

『標準保健師講座』編集室 編

●B5 頁736 2017年 定価：本体3,500円＋税
[ISBN978-4-260-03033-5]

保健師国試も
絶対合格!

スマホやPCでも学べる「電子版」つき



医学書院

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 [WEBサイト] <http://www.igaku-shoin.co.jp>
[販売部] TEL: 03-3817-5650 FAX: 03-3815-7804 E-mail: sd@igaku-shoin.co.jp

2017年版 系統看護学講座の構成 全69巻

専門分野 全27巻

専門分野Ⅰ

基礎看護学 [1] 看護学概論	2016年改訂	定価:本体2,400円+税
基礎看護学 [2] 基礎看護技術Ⅰ		定価:本体2,600円+税
基礎看護学 [3] 基礎看護技術Ⅱ	2017年改訂	定価:本体2,900円+税
基礎看護学 [4] 臨床看護総論	2016年改訂	定価:本体2,500円+税

専門分野Ⅱ

成人看護学 [1] 成人看護学総論		定価:本体2,300円+税
成人看護学 [2] 呼吸器		定価:本体2,400円+税
成人看護学 [3] 循環器		定価:本体2,400円+税
成人看護学 [4] 血液・造血器		定価:本体1,600円+税
成人看護学 [5] 消化器		定価:本体2,700円+税
成人看護学 [6] 内分泌・代謝		定価:本体2,100円+税
成人看護学 [7] 脳・神経	2016年改訂	定価:本体2,400円+税
成人看護学 [8] 腎・泌尿器		定価:本体2,300円+税
成人看護学 [9] 女性生殖器	2016年改訂	定価:本体2,300円+税
成人看護学 [10] 運動器	2016年改訂	定価:本体2,400円+税
成人看護学 [11] アレルギー 膠原病 感染症	2016年改訂	定価:本体2,200円+税
成人看護学 [12] 皮膚	2016年改訂	定価:本体1,900円+税
成人看護学 [13] 眼	2017年改訂	定価:本体1,800円+税
成人看護学 [14] 耳鼻咽喉	2017年改訂	定価:本体1,800円+税
成人看護学 [15] 歯・口腔	2017年改訂	定価:本体1,900円+税
老年看護学		定価:本体2,700円+税
老年看護 病態・疾患論		定価:本体2,300円+税
小児看護学 [1] 小児看護学概論 小児臨床看護総論		定価:本体2,800円+税
小児看護学 [2] 小児臨床看護各論		定価:本体3,300円+税
母性看護学 [1] 母性看護学概論	2016年改訂	定価:本体2,400円+税
母性看護学 [2] 母性看護学各論	2016年改訂	定価:本体3,000円+税
精神看護学 [1] 精神看護の基礎	2017年改訂	定価:本体2,200円+税
精神看護学 [2] 精神看護の展開	2017年改訂	定価:本体2,300円+税

統合分野 全4巻

在宅看護論	2017年改訂	定価:本体2,600円+税
看護の統合と実践 [1] 看護管理		定価:本体2,500円+税
看護の統合と実践 [2] 医療安全		定価:本体2,200円+税
看護の統合と実践 [3] 災害看護学・国際看護学		定価:本体2,300円+税

専門基礎分野 全11巻

人体の構造と機能 [1] 解剖生理学		定価:本体3,800円+税
人体の構造と機能 [2] 生化学		定価:本体2,200円+税
人体の構造と機能 [3] 栄養学		定価:本体1,900円+税
疾病のなりたちと回復の促進 [1] 病理学		定価:本体2,400円+税
疾病のなりたちと回復の促進 [2] 病態生理学	2016年改訂	定価:本体2,300円+税
疾病のなりたちと回復の促進 [3] 薬理学		定価:本体2,300円+税
疾病のなりたちと回復の促進 [4] 微生物学		定価:本体2,200円+税
健康支援と社会保障制度 [1] 総合医療論		定価:本体2,000円+税
健康支援と社会保障制度 [2] 公衆衛生		定価:本体2,200円+税
健康支援と社会保障制度 [3] 社会保障・社会福祉	2017年改訂	定価:本体2,200円+税
健康支援と社会保障制度 [4] 看護関係法令	2017年改訂	定価:本体2,400円+税

基礎分野 全10巻

物理学	定価:本体2,200円+税
化学	定価:本体2,100円+税
生物学	定価:本体2,400円+税
統計学	2016年改訂 定価:本体2,200円+税
社会学	定価:本体1,800円+税
心理学	2017年改訂 定価:本体2,300円+税
教育学	定価:本体2,100円+税
文化人類学	定価:本体2,100円+税
人間関係論	定価:本体2,000円+税
家族論・家族関係論	定価:本体2,000円+税

別巻 全17巻

臨床外科看護総論	2017年改訂	定価:本体2,800円+税
臨床外科看護各論	2017年改訂	定価:本体3,200円+税
救急看護学		定価:本体2,500円+税
がん看護学	2017年改訂	定価:本体2,200円+税
クリティカルケア看護学		定価:本体2,100円+税
リハビリテーション看護		定価:本体2,500円+税
緩和ケア		定価:本体2,200円+税
栄養食事療法		定価:本体1,800円+税
臨床検査		定価:本体2,200円+税
臨床放射線医学	2016年改訂	定価:本体2,200円+税
臨床薬理学	2017年改訂	定価:本体2,600円+税
看護史		定価:本体2,000円+税
医学概論		定価:本体1,600円+税
看護倫理		定価:本体1,800円+税
看護研究	2016年改訂	定価:本体2,400円+税
看護情報学	2017年改訂	定価:本体2,500円+税
精神保健福祉	2016年改訂	定価:本体2,400円+税

全巻揃い定価172,368円
(本体159,600円+税)

- 専門分野 27巻 定価69,012円
(本体63,900円+税)
- 統合分野 4巻 定価10,368円
(本体9,600円+税)
- 専門基礎分野 11巻 定価27,972円
(本体25,900円+税)
- 基礎分野 10巻 定価22,896円
(本体21,200円+税)
- 別巻 17巻 定価42,120円
(本体39,000円+税)



医学書院

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 [WEBサイト] <http://www.igaku-shoin.co.jp>
[販売部] TEL: 03-3817-5650 FAX: 03-3815-7804 E-mail: sd@igaku-shoin.co.jp